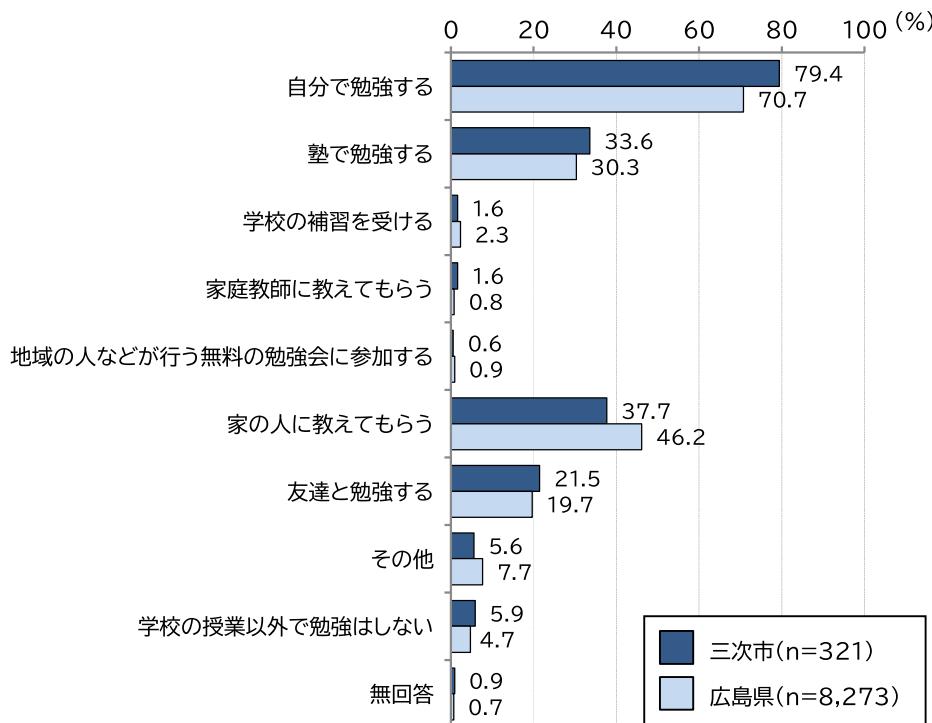


## 2 子どもの生活状況、「貧困の連鎖」リスクの発生状況

## (1)学習の状況

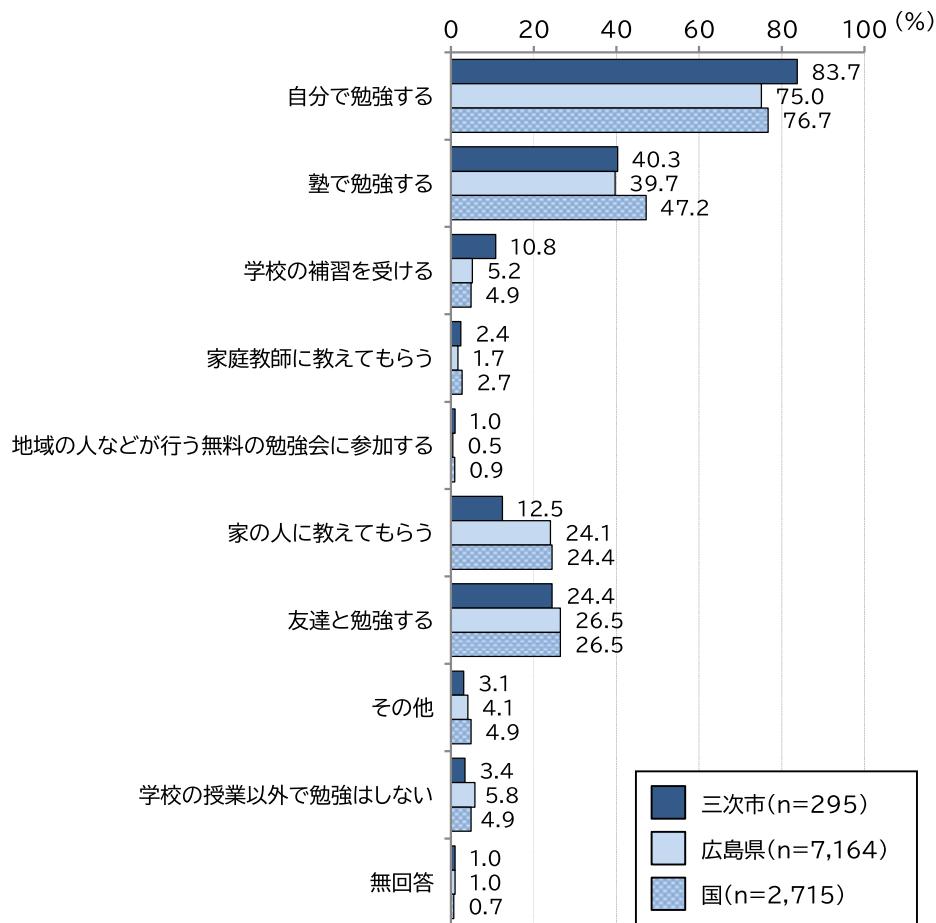
子ども票問2. あなたは、ふだん学校の授業以外で、どのように勉強をしていますか。(MA)  
※勉強には学校の宿題もふくみます。

## 【小学生】



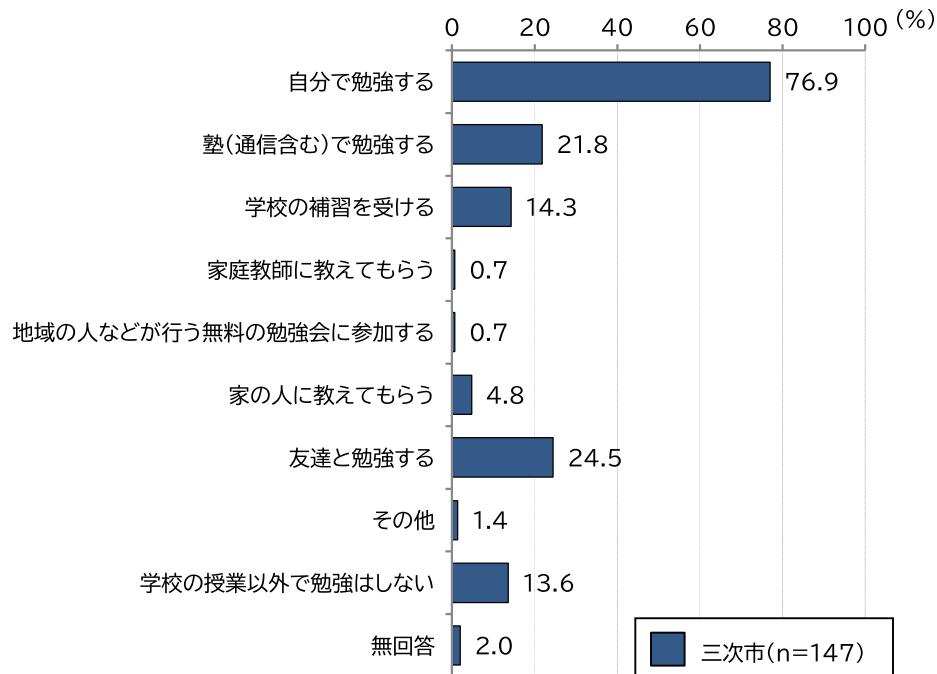
ふだんの勉強の仕方について、小学生では、「自分で勉強する」が 79.4%と最も高く、次いで「家の人에게教えてもらう」が 37.7%、「塾で勉強する」が 33.6%などの順となっている。広島県と比較すると、「家の人에게教えてもらう」は三次市(37.7%)が広島県(46.2%)を 8.5 ポイント下回っている。

## 【中学生】



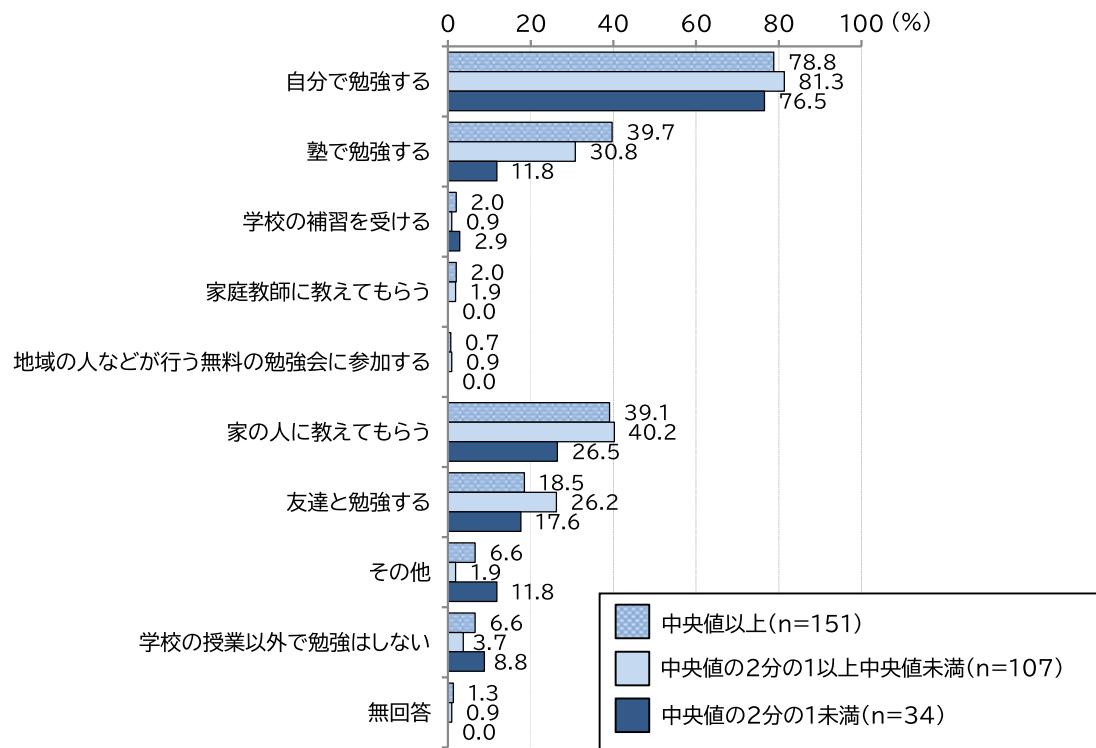
中学生では、「自分で勉強する」が 83.7%と最も高く、次いで「塾で勉強する」が 40.3%、「友達と一緒に勉強する」が 24.4%などの順となっている。広島県と比較すると、「家の人へ教えてもらう」は三次市(12.5%)が広島県(24.1%)を 11.6 ポイント下回っている。国と比較すると、「塾で勉強する」は三次市(40.3%)が国(47.2%)を 6.9 ポイント、「家の人へ教えてもらう」は三次市(12.5%)が国(24.4%)を 11.9 ポイント下回っている。

## 【高校生】



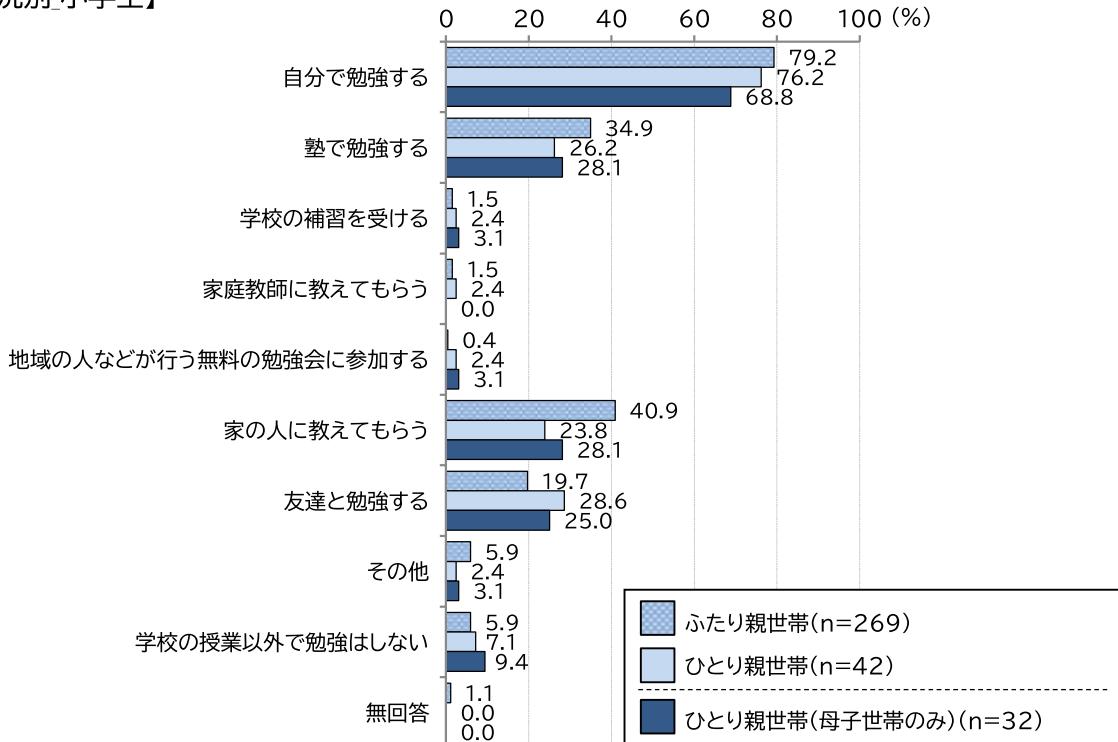
高校生では、「自分で勉強する」が 76.9%と最も高く、次いで「友達と勉強する」が 24.5%、「塾(通信含む)で勉強する」が 21.8%などの順となっている。

## 【等価世帯収入の水準別\_小学生】



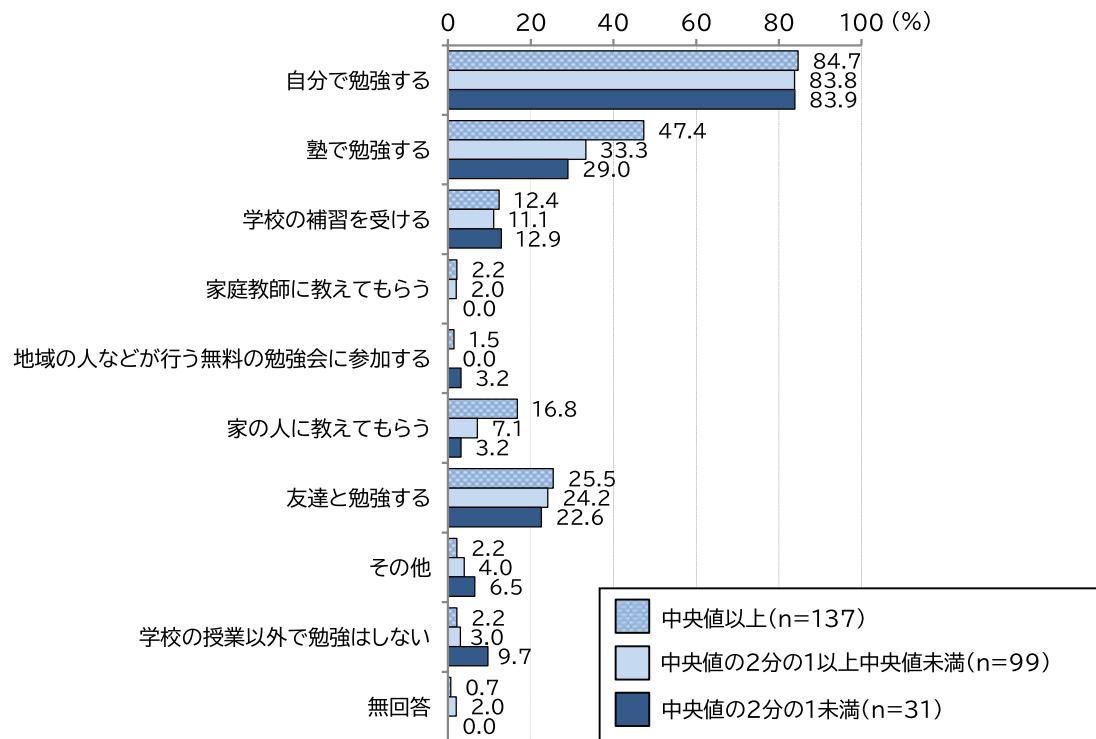
等価世帯収入の水準別にみると、「学校の授業以外で勉強はしない」は、「中央値以上」では 6.6%, 「中央値の2分の1以上中央値未満」では 3.7%, 「中央値の2分の1未満」では 8.8%となっている。

## 【世帯の状況別\_小学生】



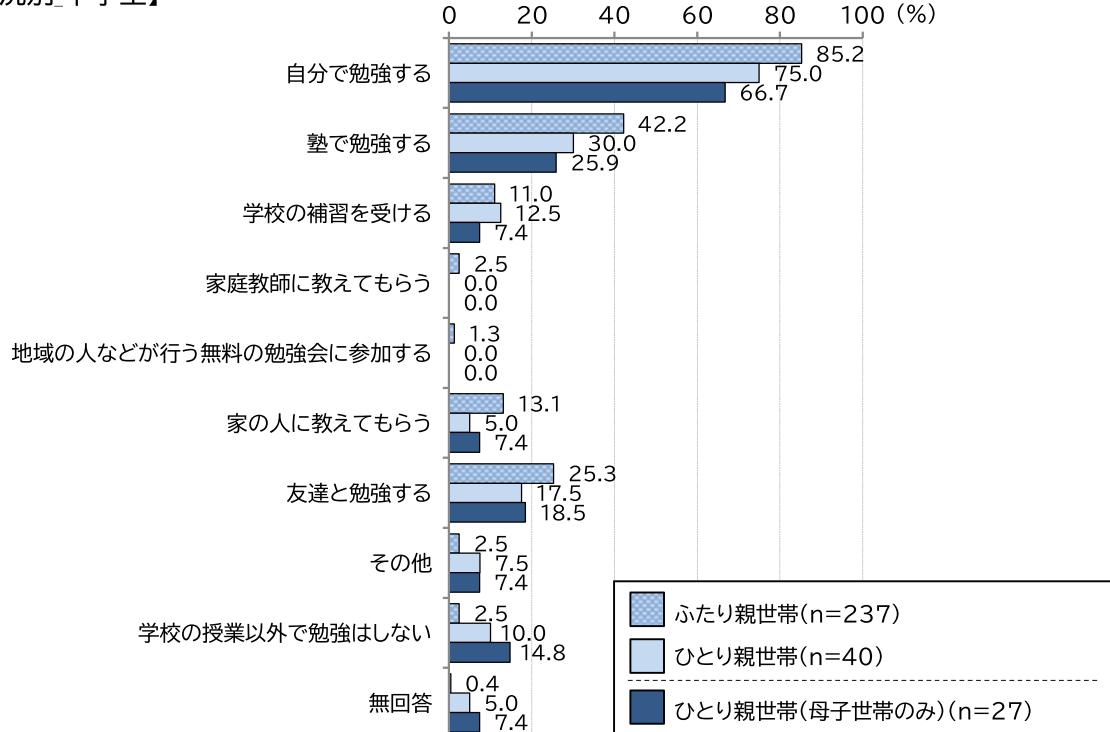
世帯の状況別にみると、「学校の授業以外で勉強はしない」は、「ふたり親世帯」では 5.9%, 「ひとり親世帯全体」では 7.1%, 「母子世帯のみ」では 9.4%となっている。

## 【等価世帯収入の水準別\_中学生】



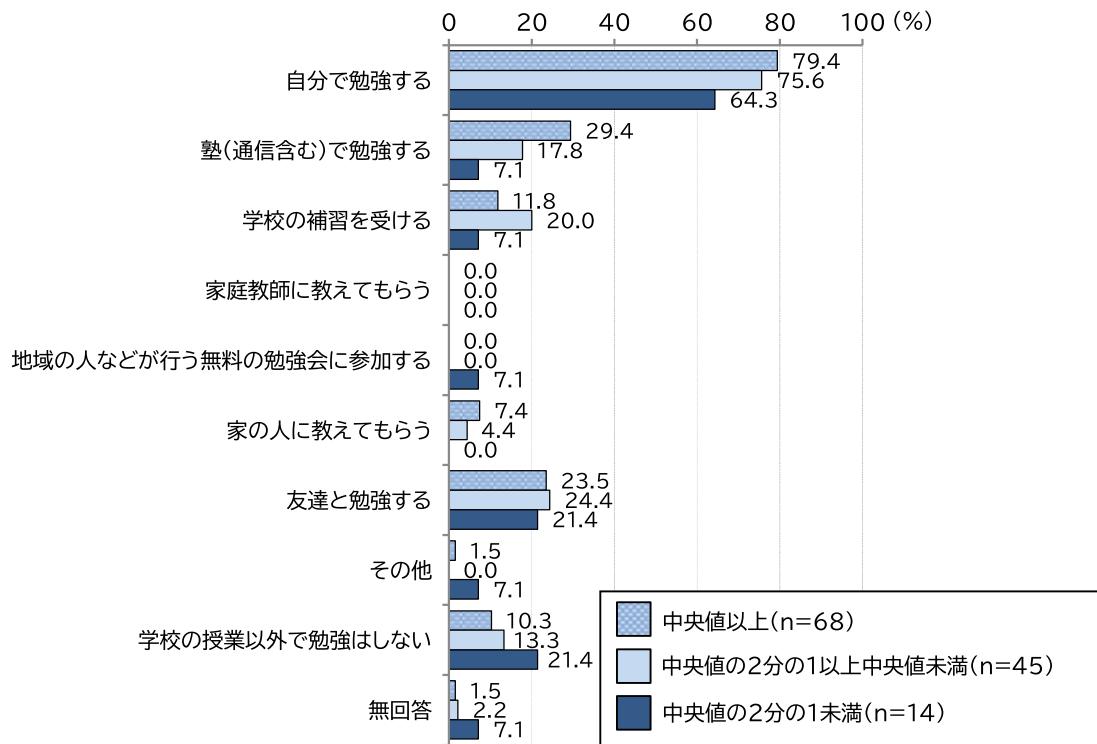
等価世帯収入の水準別にみると、「学校の授業以外で勉強はしない」は、「中央値以上」では 2.2%, 「中央値の2分の1以上中央値未満」では 3.0%, 「中央値の2分の1未満」では 9.7% となっている。

## 【世帯の状況別\_中学生】



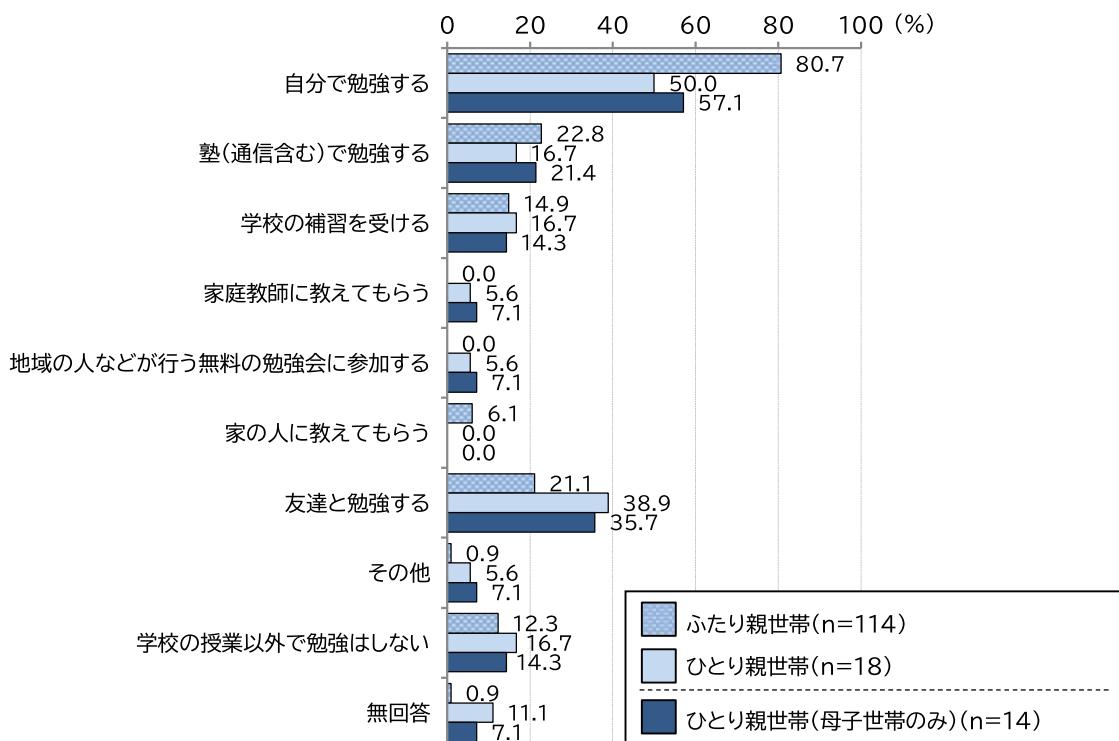
世帯の状況別にみると、「学校の授業以外で勉強はしない」は、「ふたり親世帯」では 2.5%, 「ひとり親世帯全体」では 10.0%, 「母子世帯のみ」では 14.8% となっている。

## 【等価世帯収入の水準別\_高校生】



等価世帯収入の水準別にみると、「学校の授業以外で勉強はしない」は、「中央値以上」では 10.3%, 「中央値の2分の1以上中央値未満」では 13.3%, 「中央値の2分の1未満」では 21.4%となっている。

## 【世帯の状況別\_高校生】

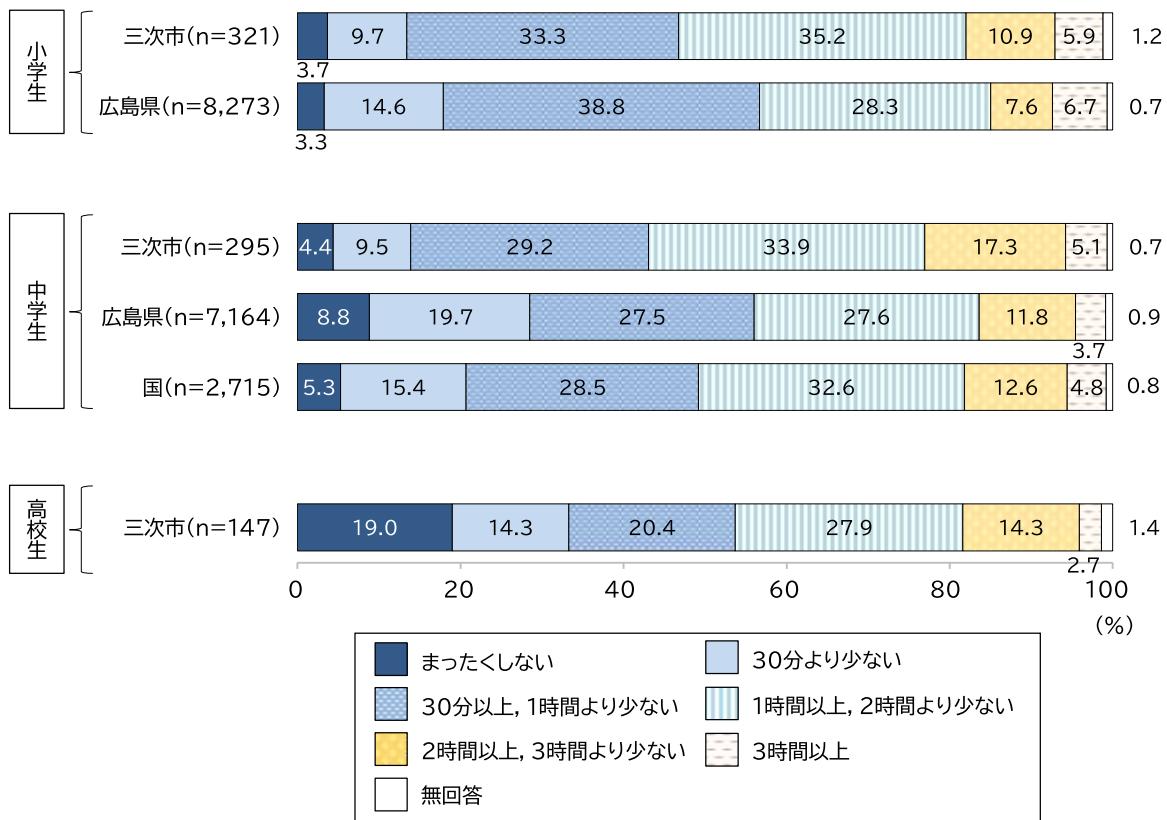


世帯の状況別にみると、「学校の授業以外で勉強はしない」は、「ふたり親世帯」では 12.3%, 「ひとり親世帯全体」では 16.7%, 「母子世帯のみ」では 14.3%となっている。

子ども票問3. あなたは、ふだん学校の授業以外に、1日あたりどれくらいの時間勉強をしますか。(SA)  
※学校の宿題をする時間や、塾などでの勉強時間もふくみます。

= 学校がある日(月～金曜日) =

【全体】

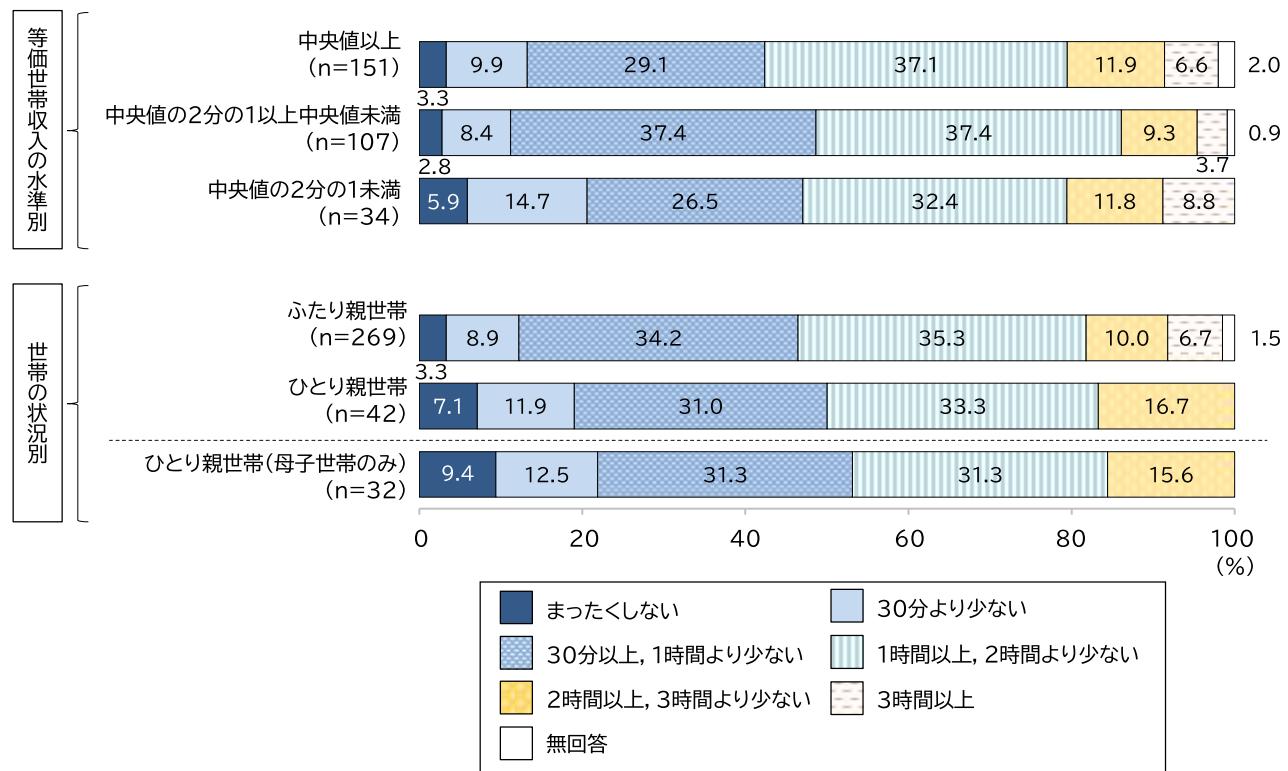


1日あたりの勉強時間(学校がある日)について、小学生では、「1時間以上、2時間より少ない」が35.2%と最も高く、次いで「30分以上、1時間より少ない」が33.3%、「2時間以上、3時間より少ない」が10.9%などの順となっている。また、「まったくしない」は3.7%となっている。広島県と比較すると、「まったくしない」は大きな差はみられない。

中学生では、「1時間以上、2時間より少ない」が33.9%と最も高く、次いで「30分以上、1時間より少ない」が29.2%、「2時間以上、3時間より少ない」が17.3%などの順となっている。また、「まったくしない」は4.4%となっている。広島県、国と比較すると、「まったくしない」はどちらとも大きな差はみられない。

高校生では、「1時間以上、2時間より少ない」が27.9%と最も高く、次いで「30分以上、1時間より少ない」が20.4%、「まったくしない」が19.0%などの順となっている。

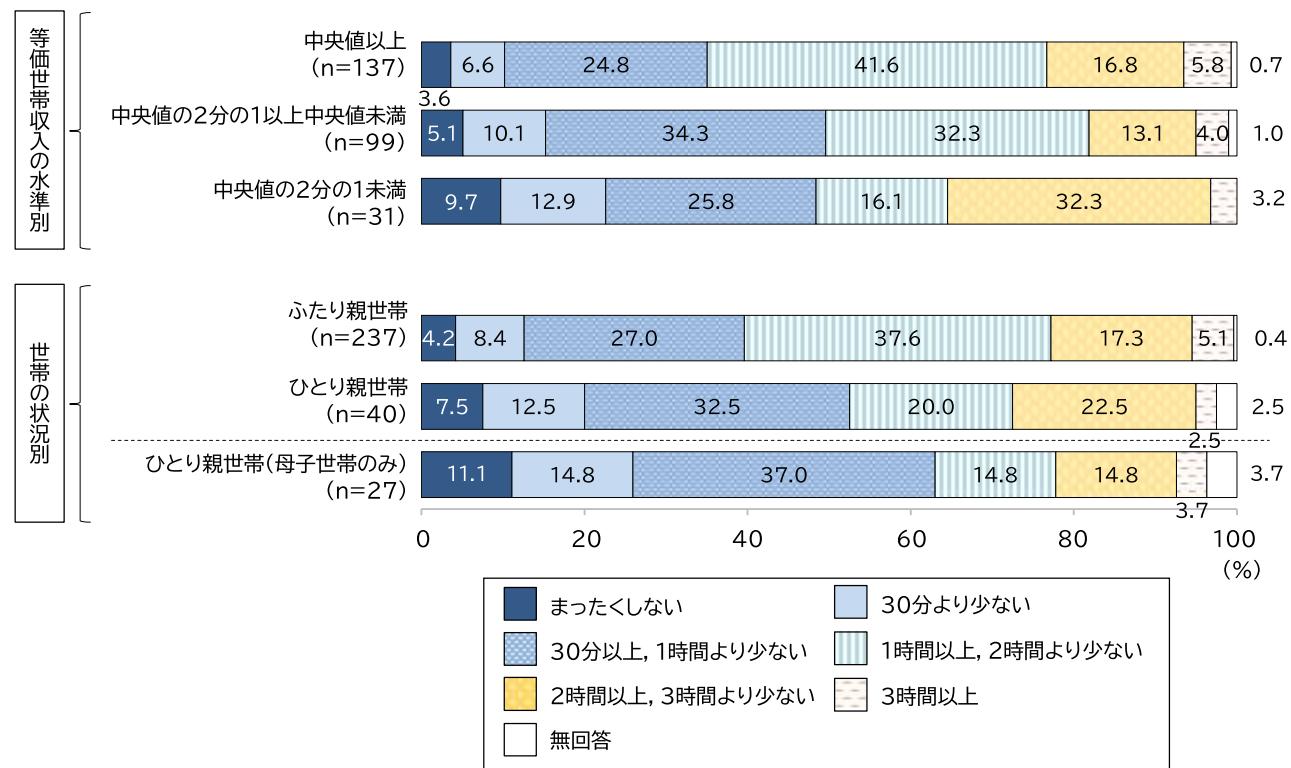
## 【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別\_小学生】



等価世帯収入の水準別にみると、「まったくしない」は、「中央値以上」では 3.3%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では 2.8%、「中央値の2分の1未満」では 5.9%となっている。

世帯の状況別にみると、「まったくしない」は、「ふたり親世帯」では 3.3%、「ひとり親世帯全体」では 7.1%、「母子世帯のみ」では 9.4%となっている。

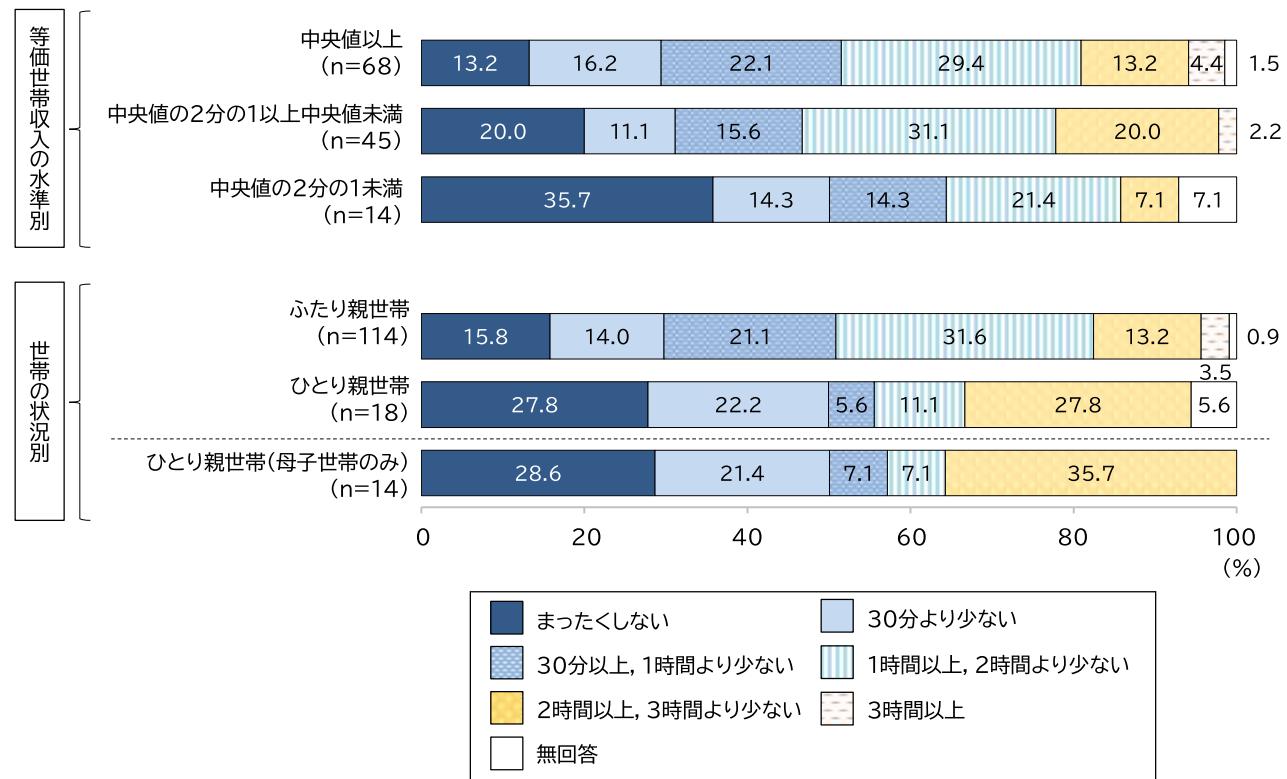
## 【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別\_中学生】



等価世帯収入の水準別にみると、「まったくしない」は、「中央値以上」では 3.6%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では 5.1%、「中央値の2分の1未満」では 9.7%となっている。

世帯の状況別にみると、「まったくしない」は、「ふたり親世帯」では 4.2%、「ひとり親世帯全体」では 7.5%、「母子世帯のみ」では 11.1%となっている。

## 【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別\_高校生】



等価世帯収入の水準別にみると、「まったくしない」は、「中央値以上」では 13.2%, 「中央値の2分の1以上中央値未満」では 20.0%, 「中央値の2分の1未満」では 35.7% となっている。

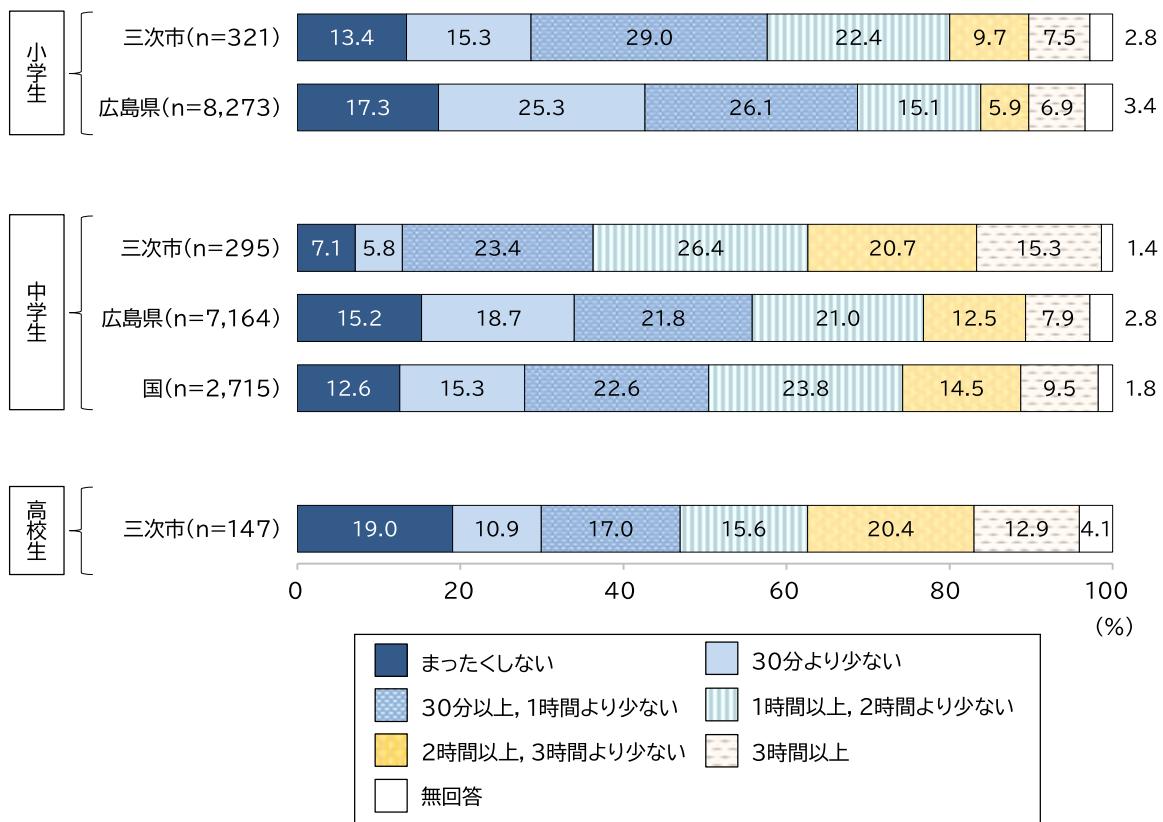
世帯の状況別にみると、「まったくしない」は、「ふたり親世帯」では 15.8%, 「ひとり親世帯全体」では 27.8%, 「母子世帯のみ」では 28.6% となっている。

## 2 子どもの生活状況、「貧困の連鎖」リスクの発生状況

### (1)学習の状況

= 学校がない日(土・日曜日・祝日) =

【全体】

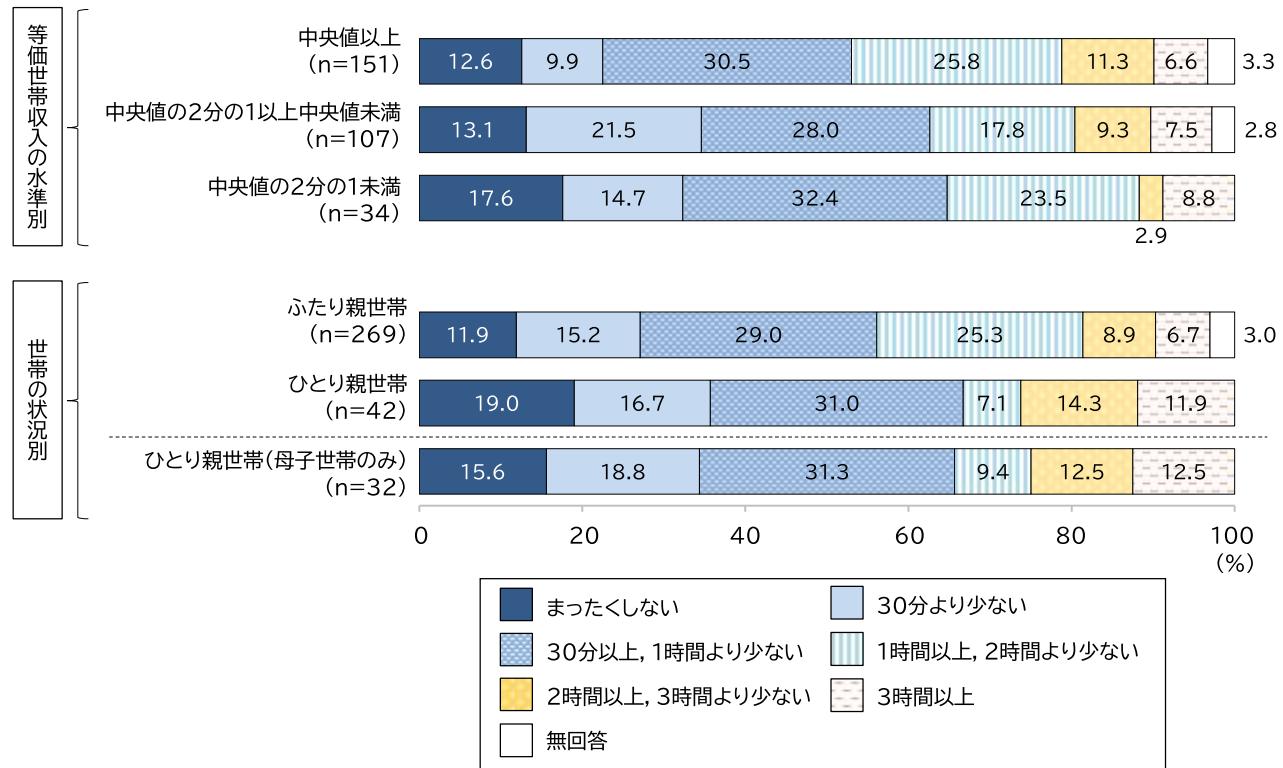


1日あたりの勉強時間(学校がない日)について、小学生では、「30分以上, 1時間より少ない」が29.0%と最も高く、次いで「1時間以上, 2時間より少ない」が22.4%、「30分より少ない」が15.3%などの順となっている。また、「まったくしない」は%となっている。広島県と比較すると、「まったくしない」は大きな差はみられない。

中学生では、「1時間以上, 2時間より少ない」が26.4%と最も高く、次いで「30分以上, 1時間より少ない」が23.4%、「2時間以上, 3時間より少ない」が20.7%などの順となっている。また、「まったくしない」は7.1%となっている。広島県と比較すると、「まったくしない」は三次市(7.1%)が広島県(15.2%)を8.1ポイント下回っている。国と比較すると、「まったくしない」は三次市(7.1%)が国(12.6%)を5.5ポイント下回っている。

高校生では、「2時間以上, 3時間より少ない」が20.4%と最も高く、次いで「まったくしない」が19.0%、「30分以上, 1時間より少ない」が17.0%などの順となっている。

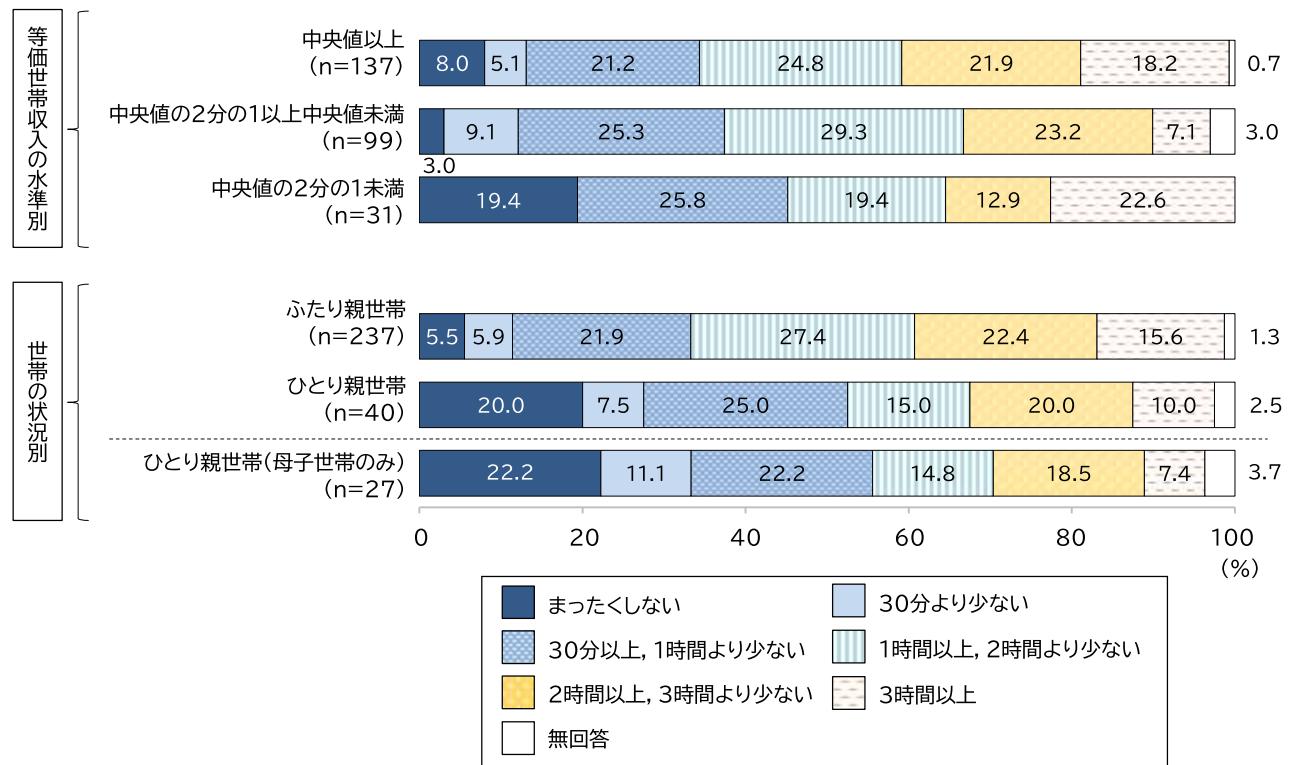
## 【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別\_小学生】



等価世帯収入の水準別にみると、「まったくしない」は、「中央値以上」では 12.6%, 「中央値の2分の1以上中央値未満」では 13.1%, 「中央値の2分の1未満」では 17.6% となっている。

世帯の状況別にみると、「まったくしない」は、「ふたり親世帯」では 11.9%, 「ひとり親世帯全体」では 19.0%, 「母子世帯のみ」では 15.6% となっている。

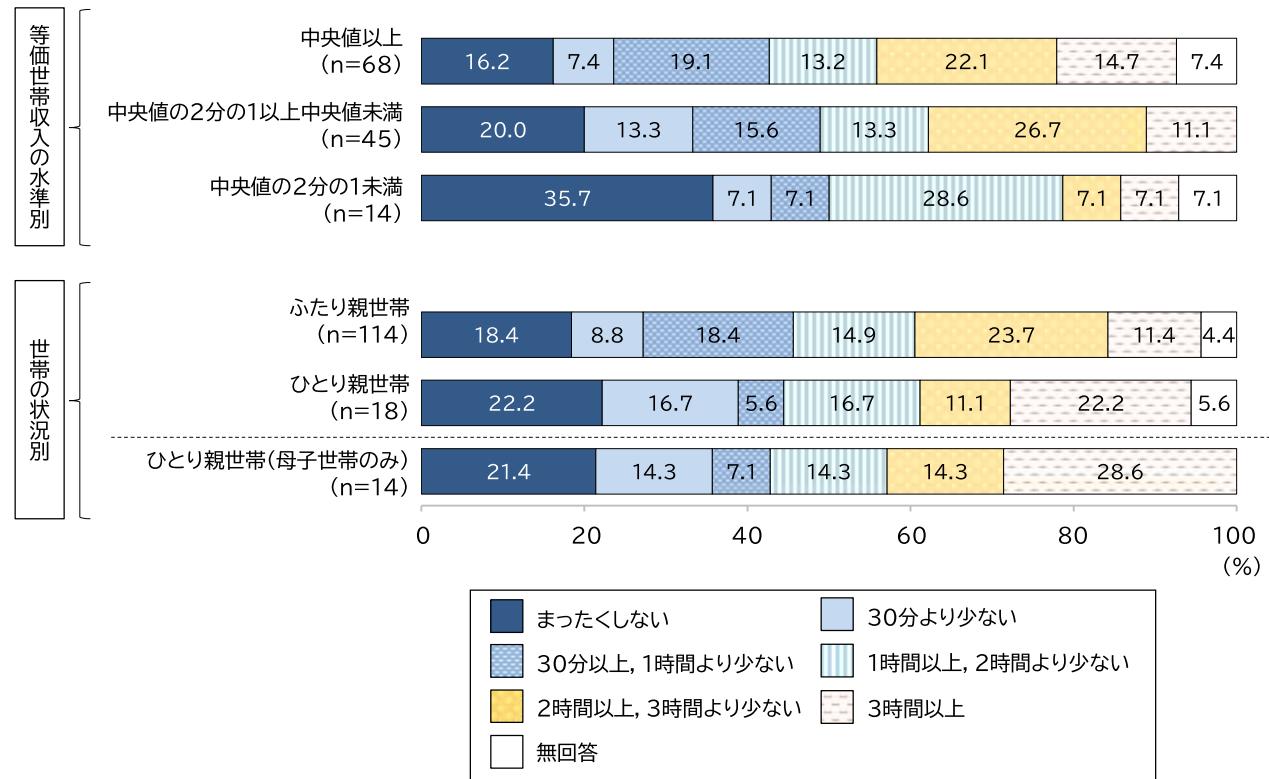
## 【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別\_中学生】



等価世帯収入の水準別にみると、「まったくしない」は、「中央値以上」では 8.0%, 「中央値の2分の1以上中央値未満」では 3.0%, 「中央値の2分の1未満」では 19.4% となっている。

世帯の状況別にみると、「まったくしない」は、「ふたり親世帯」では 5.5%, 「ひとり親世帯全体」では 20.0%, 「母子世帯のみ」では 22.2% となっている。

## 【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別\_高校生】

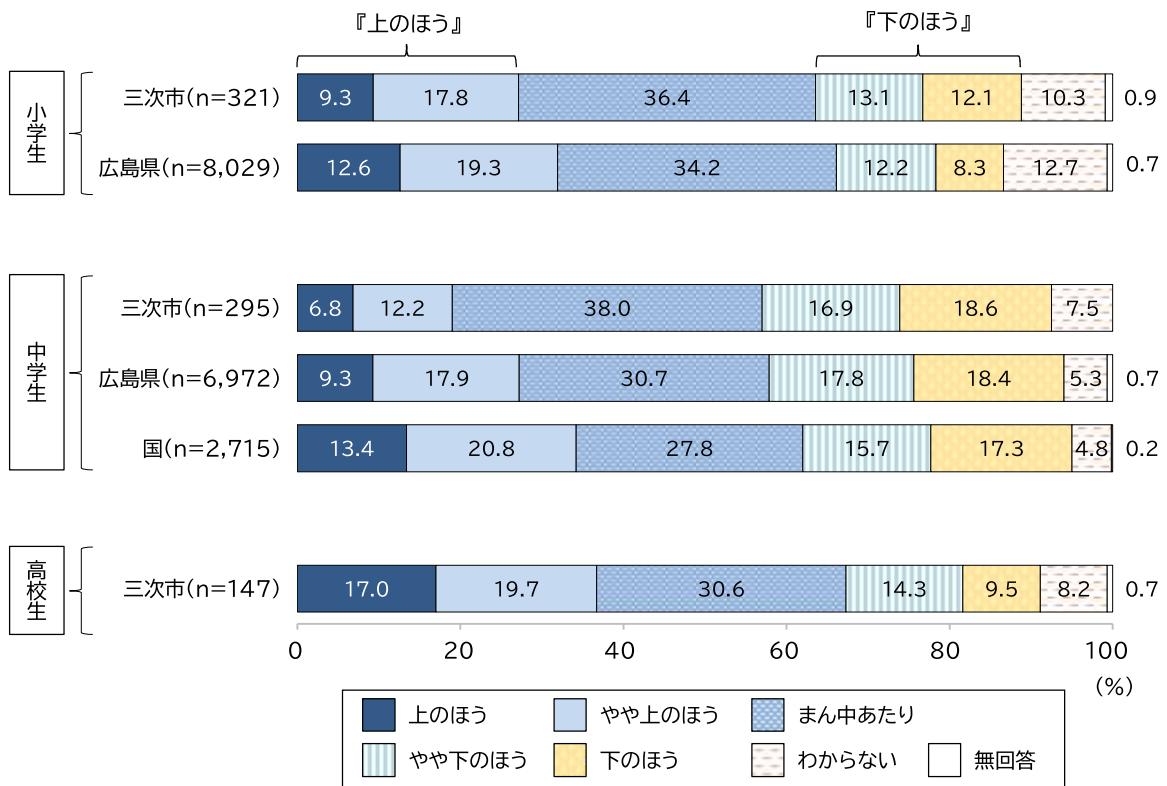


等価世帯収入の水準別にみると、「まったくしない」は、「中央値以上」では 16.2%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では 20.0%、「中央値の2分の1未満」では 35.7%となっている。

世帯の状況別にみると、「まったくしない」は、「ふたり親世帯」では 18.4%、「ひとり親世帯全体」では 22.2%、「母子世帯のみ」では 21.4%となっている。

## 子ども票問4. あなたの成績は、クラスの中でどのくらいだと思いますか。(SA)

【全体】

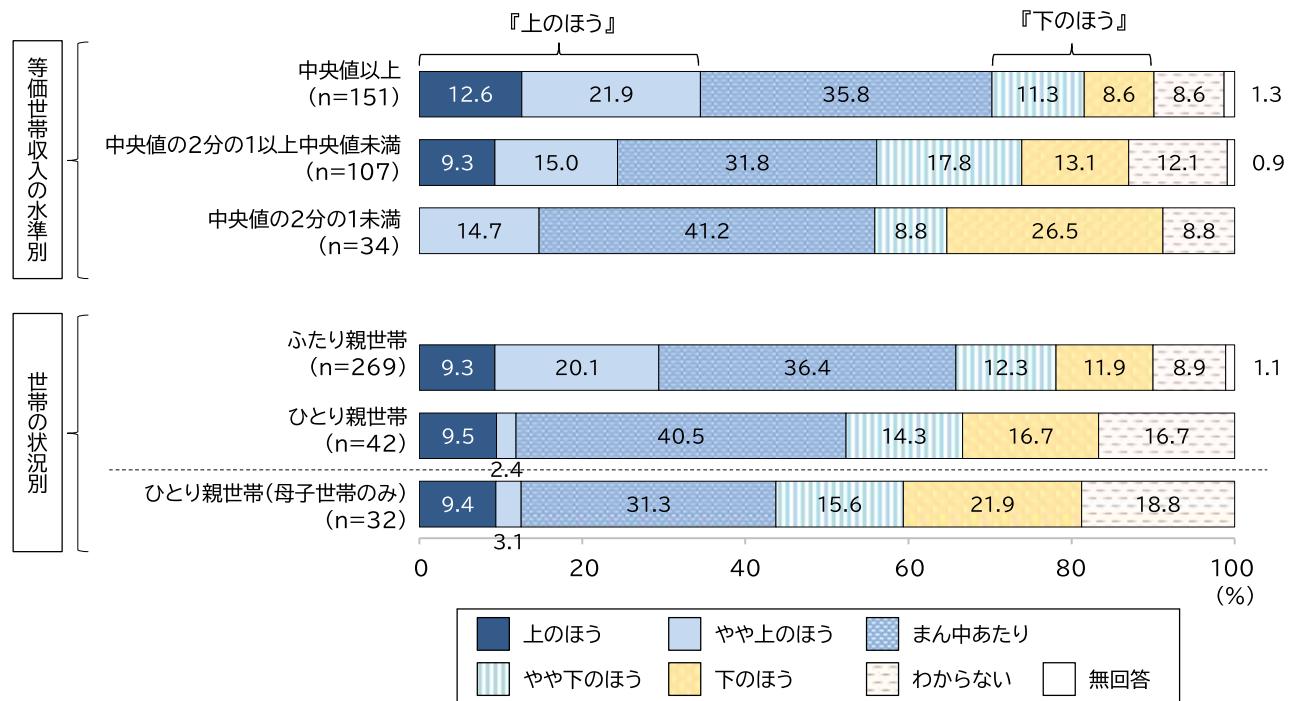


クラスの中での成績について、小学生では、『上のほう』(「上のほう」と「やや上のほう」を合わせた割合)が 27.1%、「まん中あたり」が 36.4%、『下のほう』(「やや下のほう」と「下のほう」を合わせた割合)が 25.2%となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。

中学生では、『上のほう』が 19.0%、「まん中あたり」が 38.0%、『下のほう』が 35.5%となっている。広島県、国と比較すると、『下のほう』は大きな差はみられない。

高校生では、『上のほう』が 36.7%、「まん中あたり」が 30.6%、『下のほう』が 23.8%となっている。

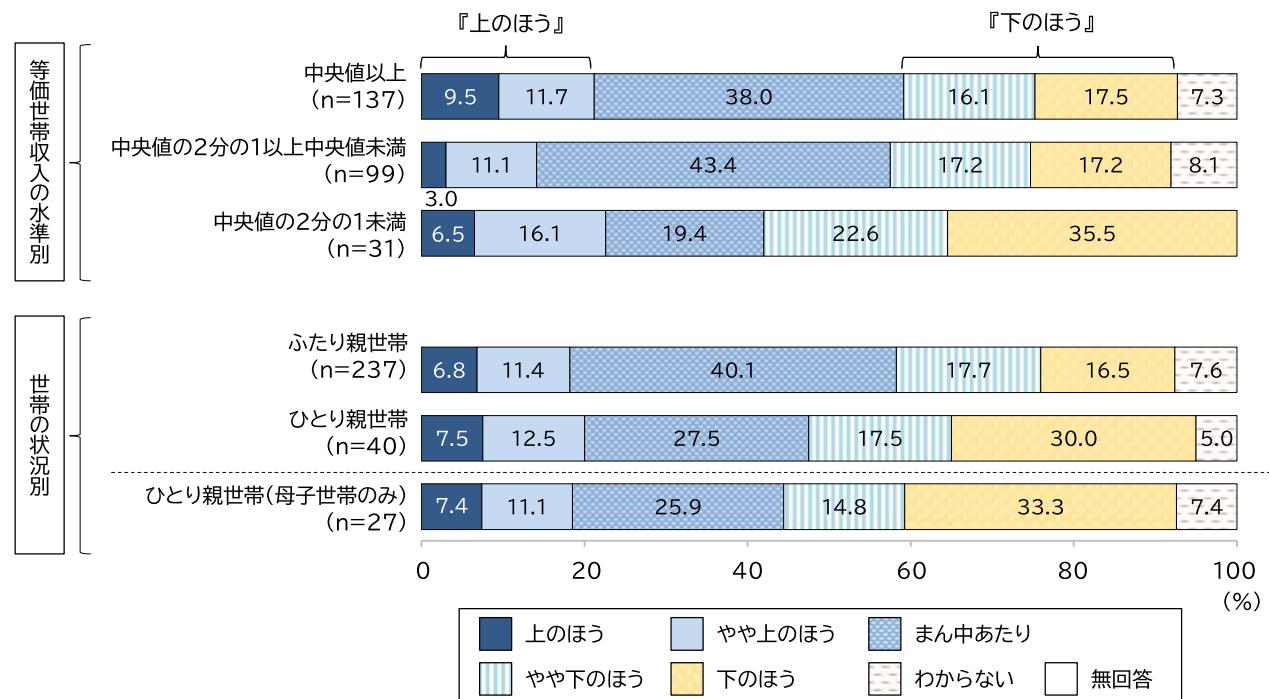
## 【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別\_小学生】



等価世帯収入の水準別にみると、『下のほう』は、「中央値以上」では 19.9%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では 30.9%、「中央値の2分の1未満」では 35.3%となっている。

世帯の状況別にみると、『下のほう』は、「ふたり親世帯」では 24.2%、「ひとり親世帯全体」では 31.0%、「母子世帯のみ」では 37.5%となっている。

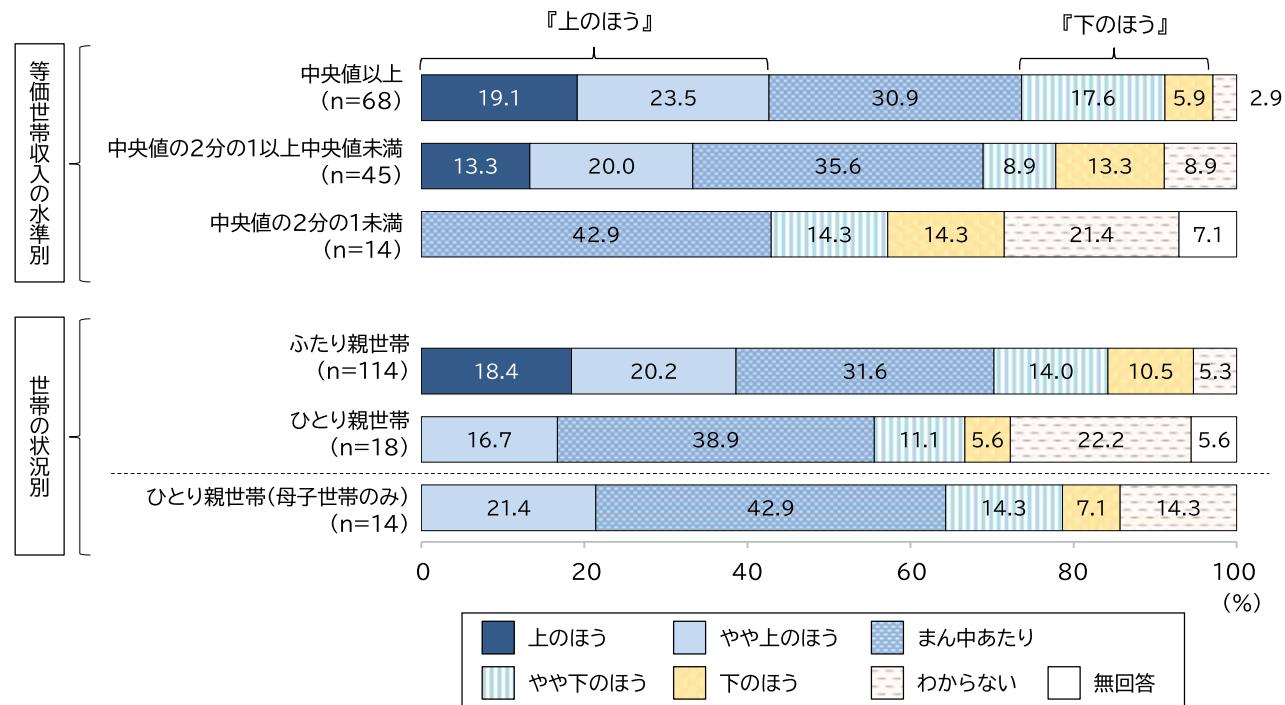
## 【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別\_中学生】



等価世帯収入の水準別にみると、『下のほう』は、「中央値以上」では 33.6%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では 34.4%、「中央値の2分の1未満」では 58.1%となっている。

世帯の状況別にみると、『下のほう』は、「ふたり親世帯」では 34.2%、「ひとり親世帯全体」では 47.5%、「母子世帯のみ」では 48.1%となっている。

## 【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別\_高校生】

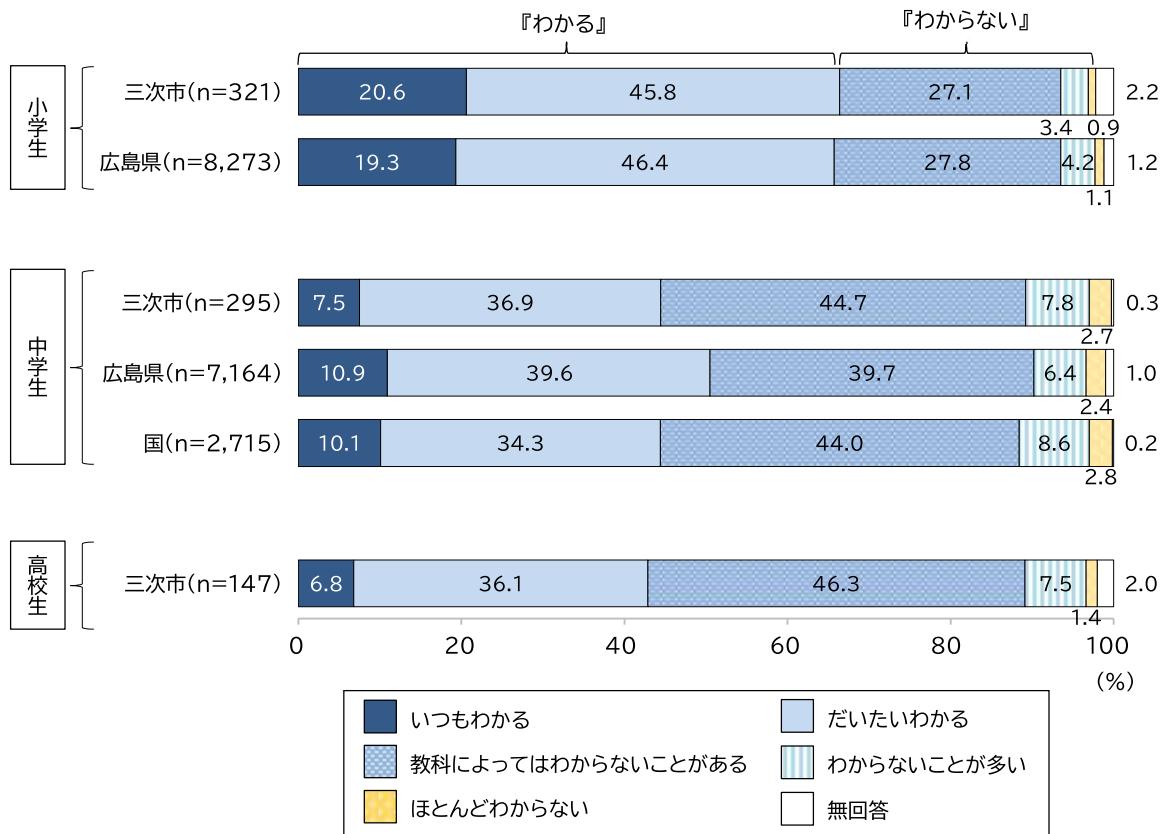


等価世帯収入の水準別にみると、『上のほう』は、「中央値以上」では 42.6%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では 33.3%、「中央値の2分の1未満」では 0.0%となっている。

世帯の状況別にみると、『上のほう』は、「ふたり親世帯」では 38.6%、「ひとり親世帯全体」では 16.7%、「母子世帯のみ」では 21.4%となっている。

## 子ども票問5. あなたは、学校の授業がわからないことがありますか。(SA)

【全体】

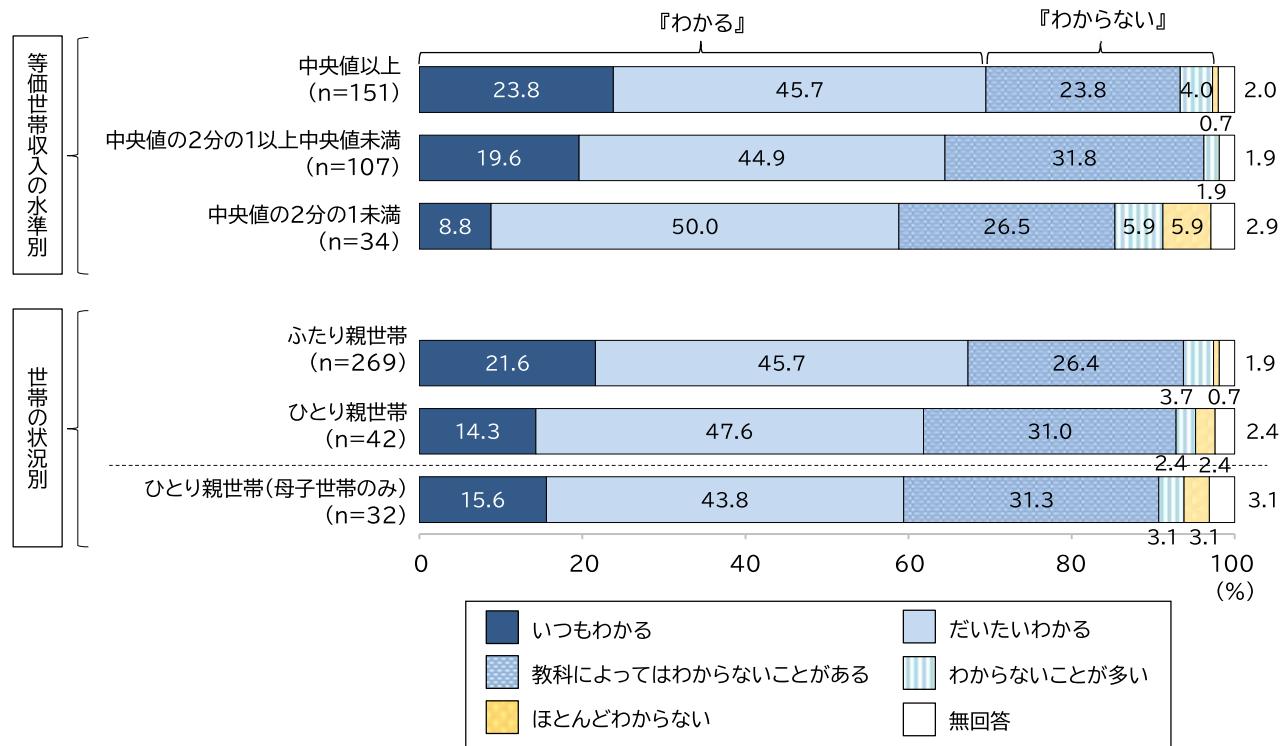


授業の理解状況について、小学生では、『わかる(「いつもわかる」と「だいたいわかる」を合わせた割合)』が 66.4%、『わからない(「教科によってはわからないことがある」と「わからないことが多い」と「ほとんどわからない」を合わせた割合)』が 31.4%となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。

中学生では、『わかる』が 44.4%、『わからない』が 55.2%となっている。広島県と比較すると、『わからない』は三次市(55.2%)が広島県(48.5%)を 6.7 ポイント上回っている。国と比較すると、大きな差はみられない。

高校生では、『わかる』が 42.9%、『わからない』が 55.2%となっている。

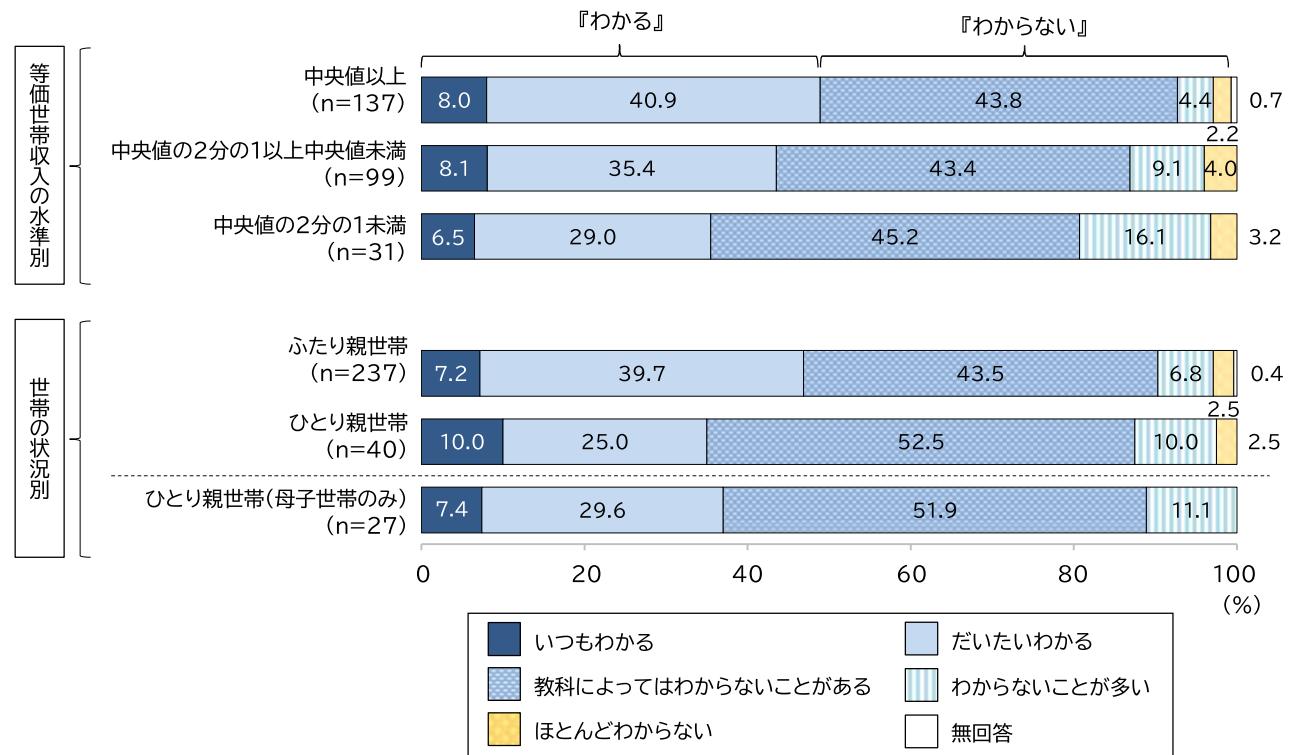
## 【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別\_小学生】



等価世帯収入の水準別にみると、『わからない』は、「中央値以上」では 28.5%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では 33.7%、「中央値の2分の1未満」では 38.3%となっている。

世帯の状況別にみると、『わからない』は、「ふたり親世帯」では 30.8%、「ひとり親世帯全体」では 35.8%、「母子世帯のみ」では 37.5%となっている。

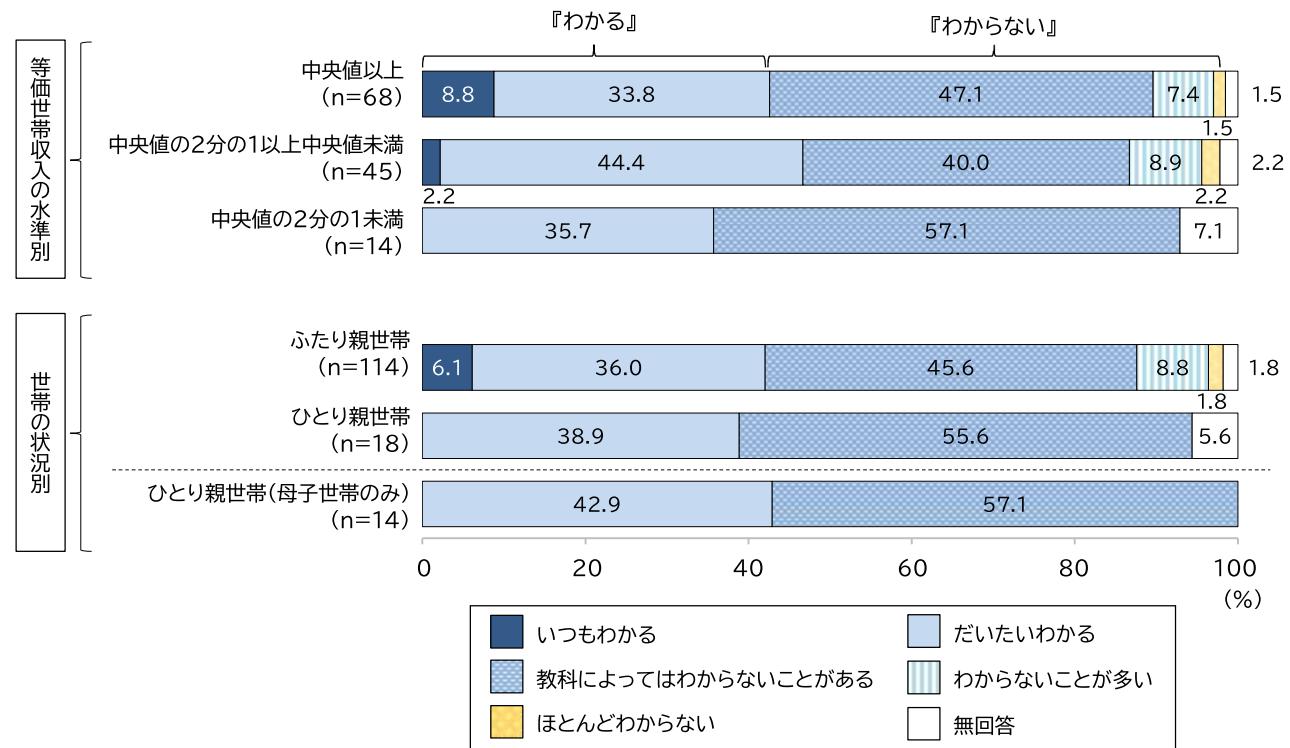
## 【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別\_中学生】



等価世帯収入の水準別にみると、『わからない』は、「中央値以上」では 50.4%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では 56.5%、「中央値の2分の1未満」では 64.5%となっている。

世帯の状況別にみると、『わからない』は、「ふたり親世帯」では 52.8%、「ひとり親世帯全体」では 65.0%、「母子世帯のみ」では 63.0%となっている。

## 【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別\_高校生】



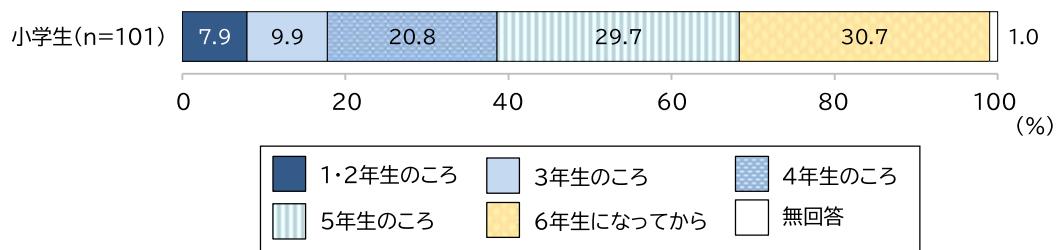
等価世帯収入の水準別にみると、『わからない』は、「中央値以上」では 56.0%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では 51.1%、「中央値の2分の1未満」では 57.1%となっている。

世帯の状況別にみると、『わからない』は、「ふたり親世帯」では 56.2%、「ひとり親世帯全体」では 55.6%、「母子世帯のみ」では 57.1%となっている。

※問5で「3~5」と答えた方に

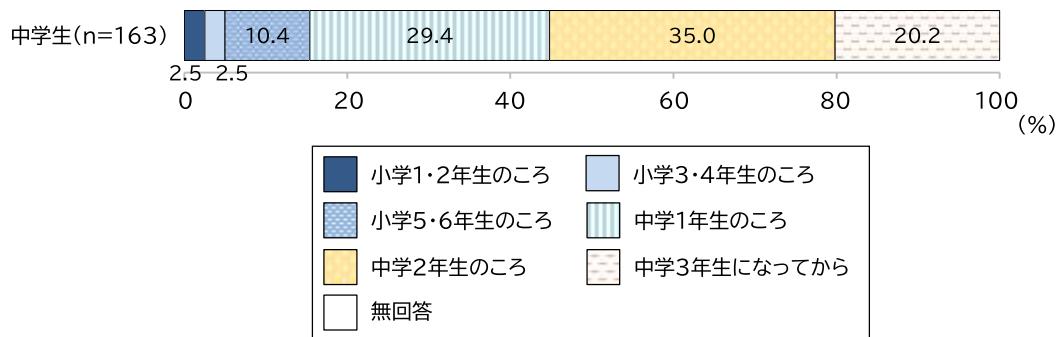
子ども票問6. いつごろから、授業がわからないことがあるようになりましたか。(SA)

### 【小学生】



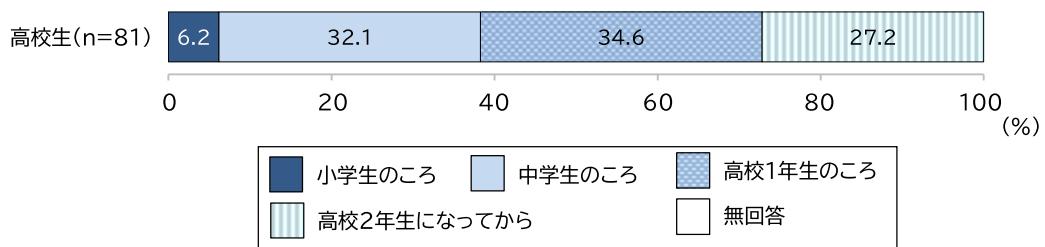
授業がわからなくなつた時期について、小学生では、「6年生になってから」が30.7%と最も高く、次いで「5年生のころ」が29.7%、「4年生のころ」が20.8%などの順となっている。

### 【中学生】



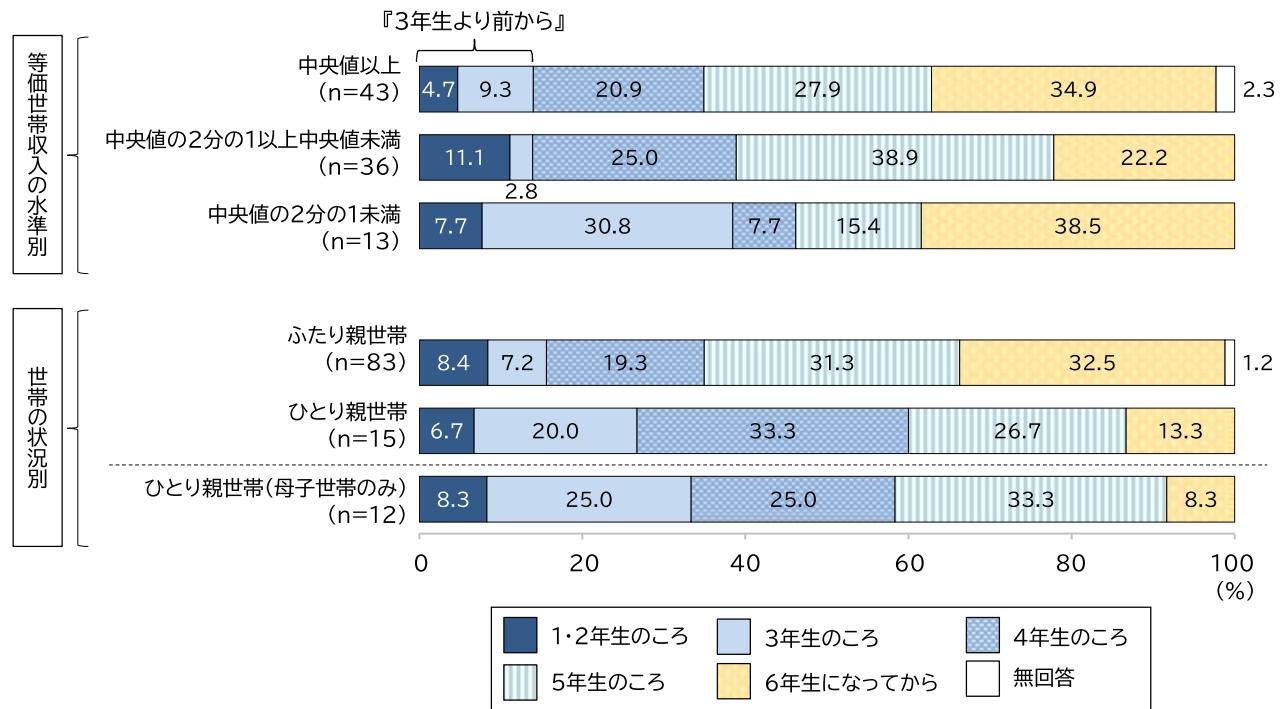
中学生では、「中学2年生のころ」が35.0%と最も高く、次いで「中学1年生のころ」が29.4%、「中学3年生になってから」が20.2%などの順となっている。

### 【高校生】



高校生では、「高校1年生のころ」が34.6%と最も高く、次いで「中学生のころ」が32.1%、「高校2年生になってから」が27.2%などの順となっている。

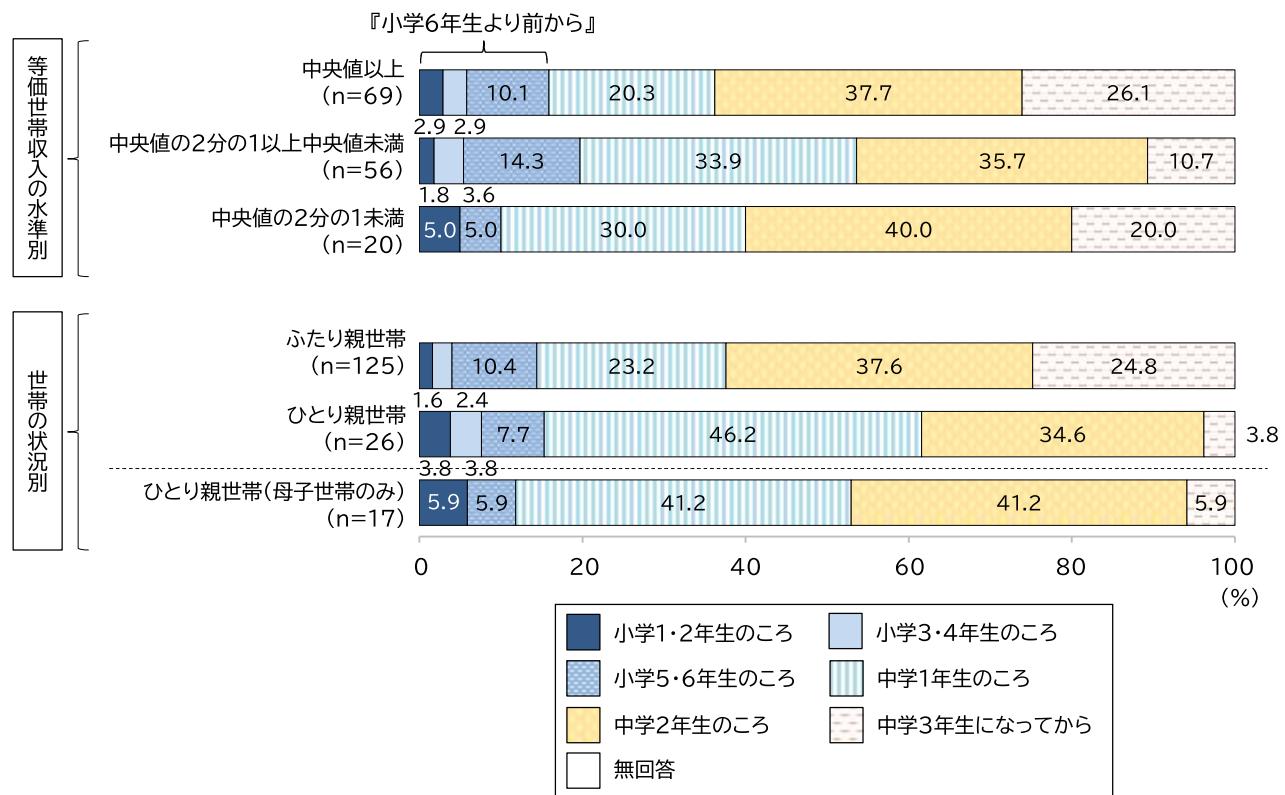
## 【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別\_小学生】



等価世帯収入の水準別にみると、『3年生より前から』(「1・2年生のころ」と「3年生のころ」を合わせた割合)は、「中央値以上」では 14.0%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では 13.9%、「中央値の2分の1未満」では 38.5%となっている。

世帯の状況別にみると、『3年生より前から』は、「ふたり親世帯」では 15.6%、「ひとり親世帯全体」では 26.7%、「母子世帯のみ」では 33.3%となっている。

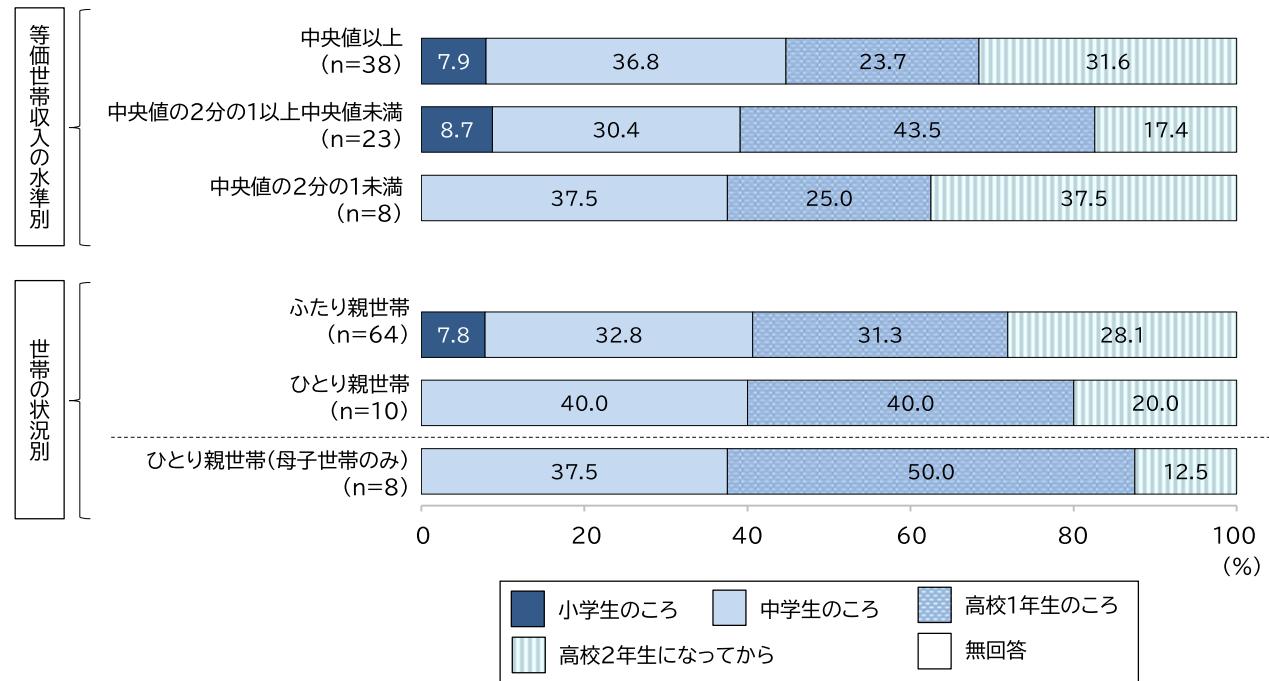
## 【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別\_中学生】



等価世帯収入の水準別にみると、『小学6年生より前から（「小学1・2年生のころ」と「小学3・4年生のころ」と「小学5・6年生のころ」を合わせた割合）』は、「中央値以上」では 15.9%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では 19.7%、「中央値の2分の1未満」では 10.0%となっている。

世帯の状況別にみると、『小学6年生より前から』は、「ふたり親世帯」では 14.4%、「ひとり親世帯全体」では 15.3%、「母子世帯のみ」では 11.8%となっている。

## 【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別\_高校生】



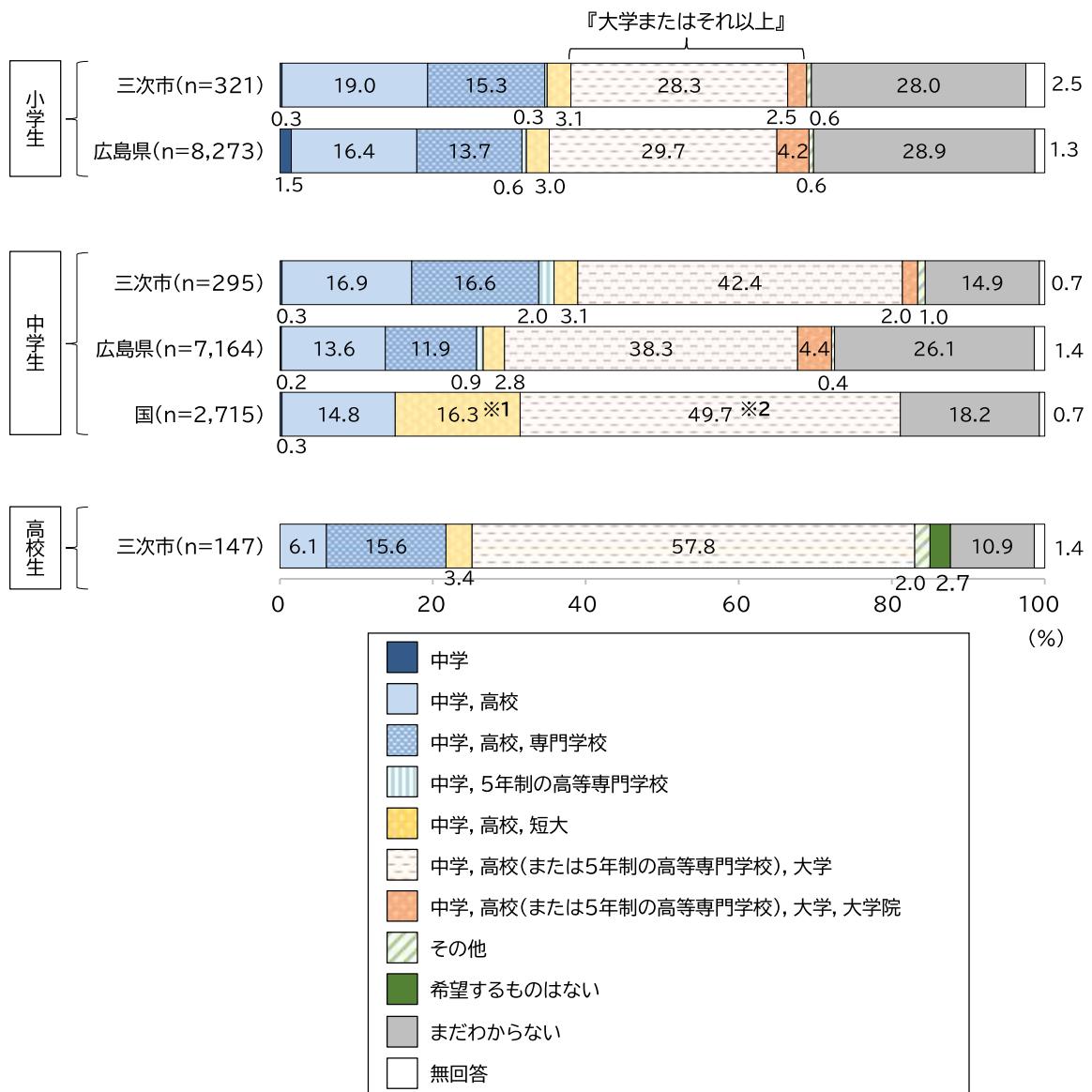
等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の2分の1未満」では、「小学生のころ」は、「中央値以上」では 7.9%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では 8.7%、「中央値の2分の1未満」では 0.0%となっている。

世帯の状況別にみると、「小学生のころ」は、「ふたり親世帯」では 7.8%、「ひとり親世帯全体」では 0.0%となっている。

## (2)進学希望

子ども票問7. あなたは、将来、どの学校に進学したいですか。(SA)

## 【全体】



※1:国調査では「短大・高専・専門学校まで」という選択肢になっている

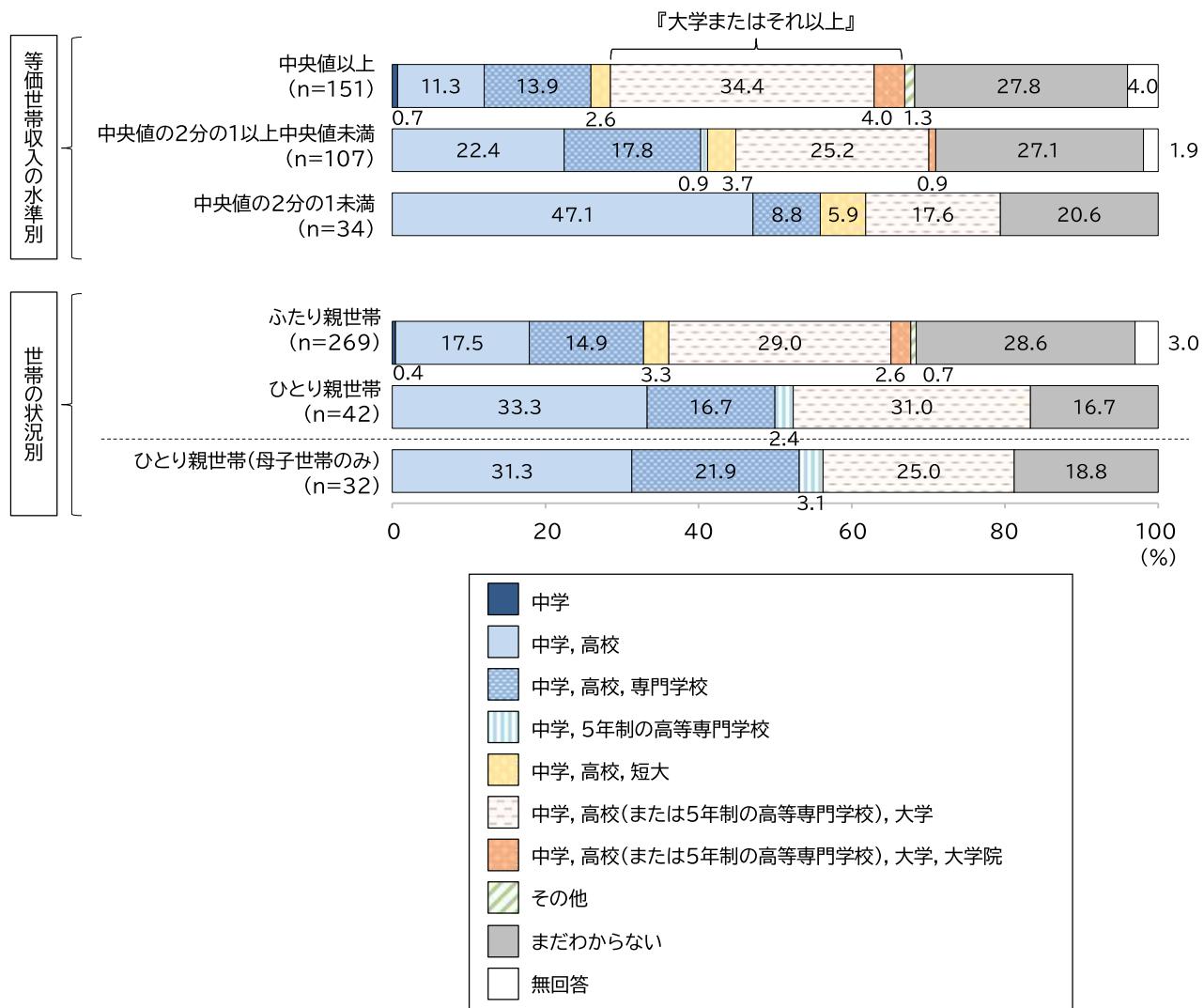
※2:国調査では「大学またはそれ以上」という選択肢になっている

進学希望について、小学生では、「中学、高校(または5年制の高等専門学校), 大学」が 28.3%と最も高く、次いで、「中学, 高校」が 19.0%, 「中学, 高校, 専門学校」が 15.3%などの順となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。

中学生では、「中学, 高校(または5年制の高等専門学校), 大学」が 42.4%と最も高く、次いで、「中学, 高校」が 16.9%, 「中学, 高校, 専門学校」が 16.6%などの順となっている。広島県と比較すると、大学またはそれ以上は大きな差はみられない。国と比較すると、『大学またはそれ以上』は三次市(44.4%)が国(49.7%)を 5.3 ポイント下回っている。

高校生では、「中学, 高校(または5年制の高等専門学校), 大学」が 57.8%と最も高く、次いで、「中学, 高校, 専門学校」が 15.6%, 「中学, 高校」が 6.1%などの順となっている。

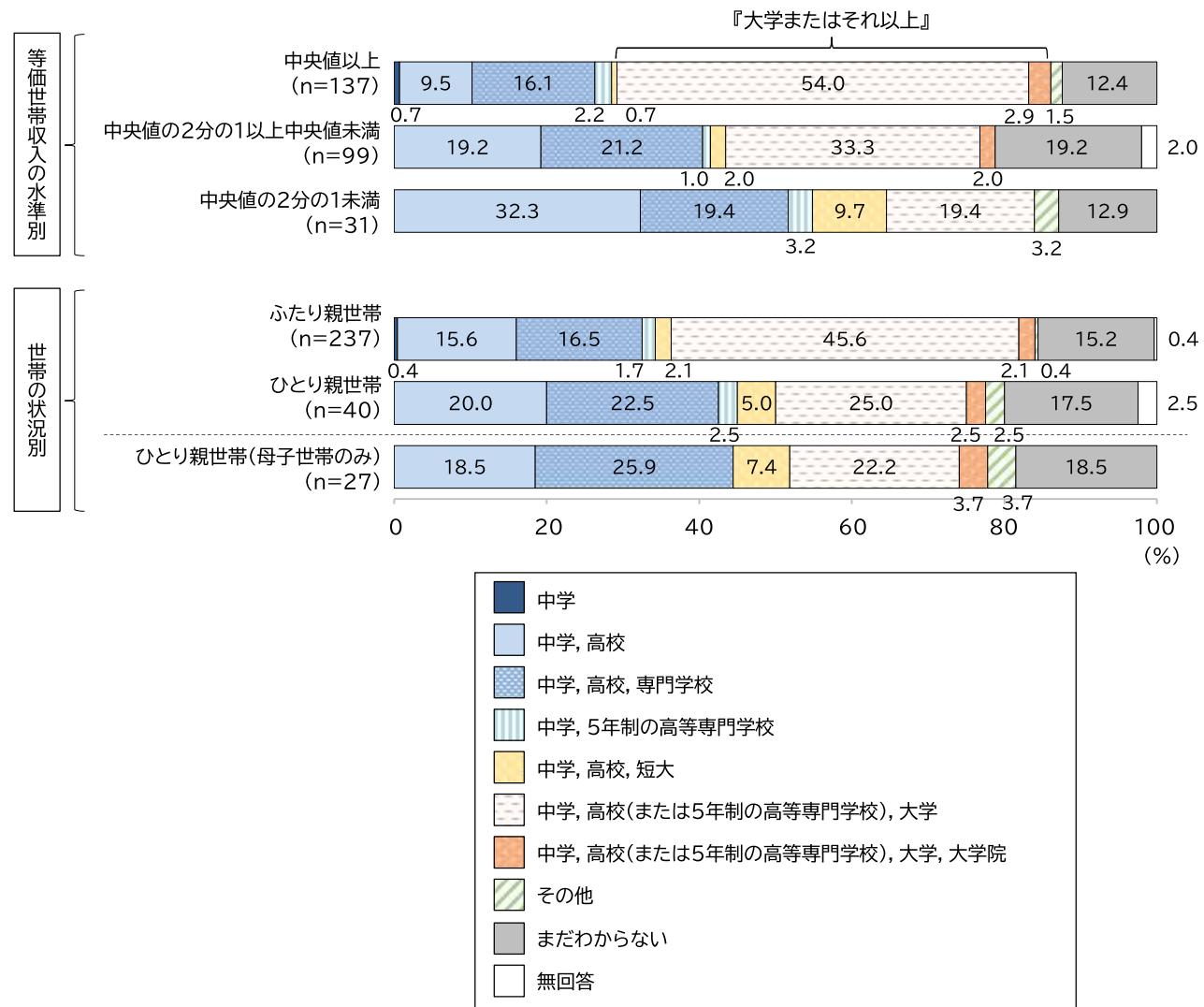
## 【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別\_小学生】



等価世帯収入の水準別にみると、『大学またはそれ以上』は、「中央値以上」では 38.4%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では 26.1%、「中央値の2分の1未満」では 17.6%となっている。

世帯の状況別にみると、『大学またはそれ以上』は、「ふたり親世帯」では 31.6%、「ひとり親世帯全体」では 31.0%、「母子世帯のみ」では 25.0%となっている。

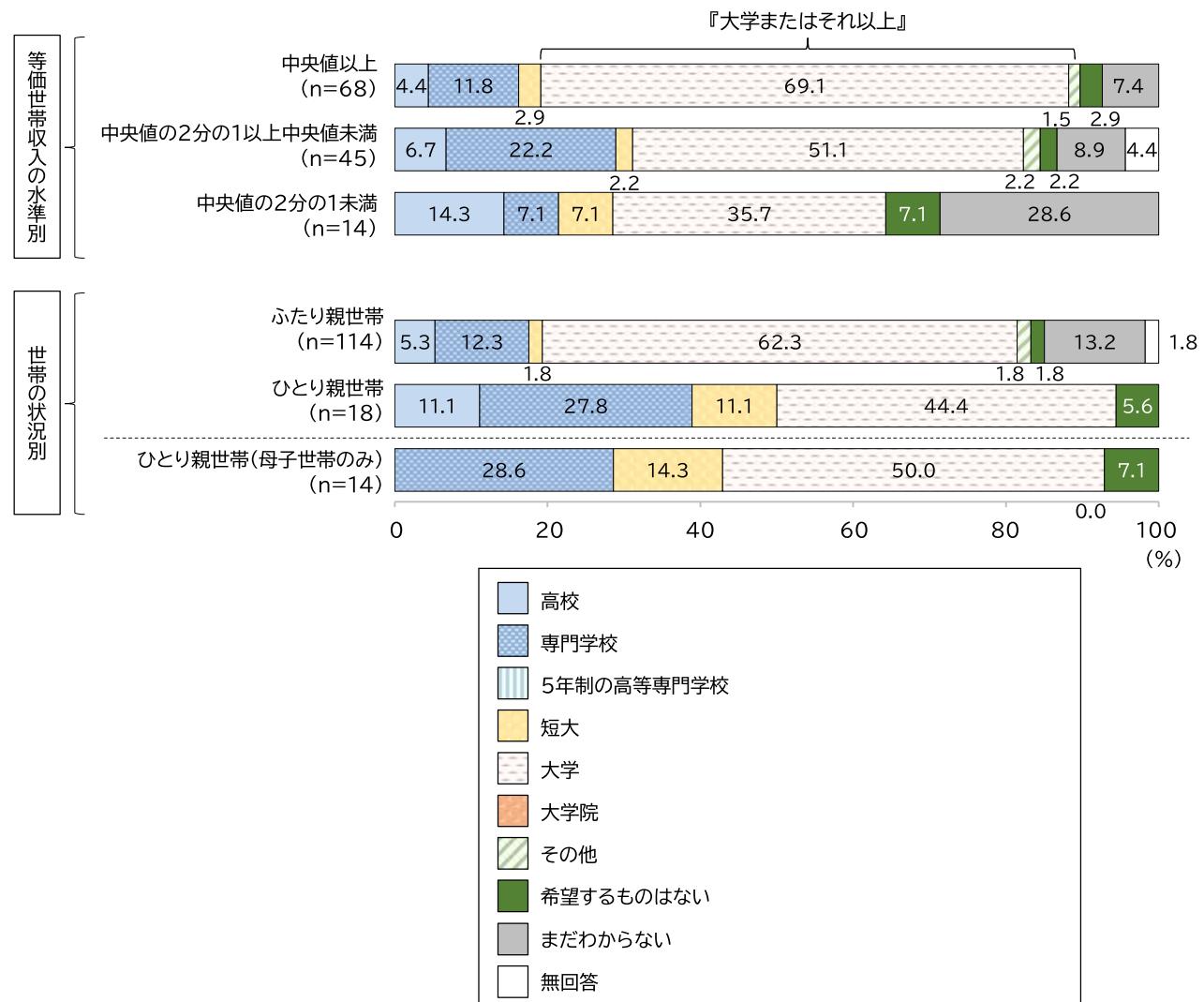
## 【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別\_中学生】



等価世帯収入の水準別にみると、『大学またはそれ以上』は、「中央値以上」では 56.9%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では 35.3%、「中央値の2分の1未満」では 19.4%となっている。

世帯の状況別にみると、『大学またはそれ以上』は、「ふたり親世帯」では 47.7%、「ひとり親世帯全体」では 27.5%、「母子世帯のみ」では 25.9%となっている。

## 【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別\_高校生】



等価世帯収入の水準別にみると、『大学またはそれ以上』は、「中央値以上」では 69.1%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では 51.1%、「中央値の2分の1未満」では 35.7%となっている。

世帯の状況別にみると、『大学またはそれ以上』は、「ふたり親世帯」では 62.3%、「ひとり親世帯全体」では 44.4%、「母子世帯のみ」では 50.0%となっている。

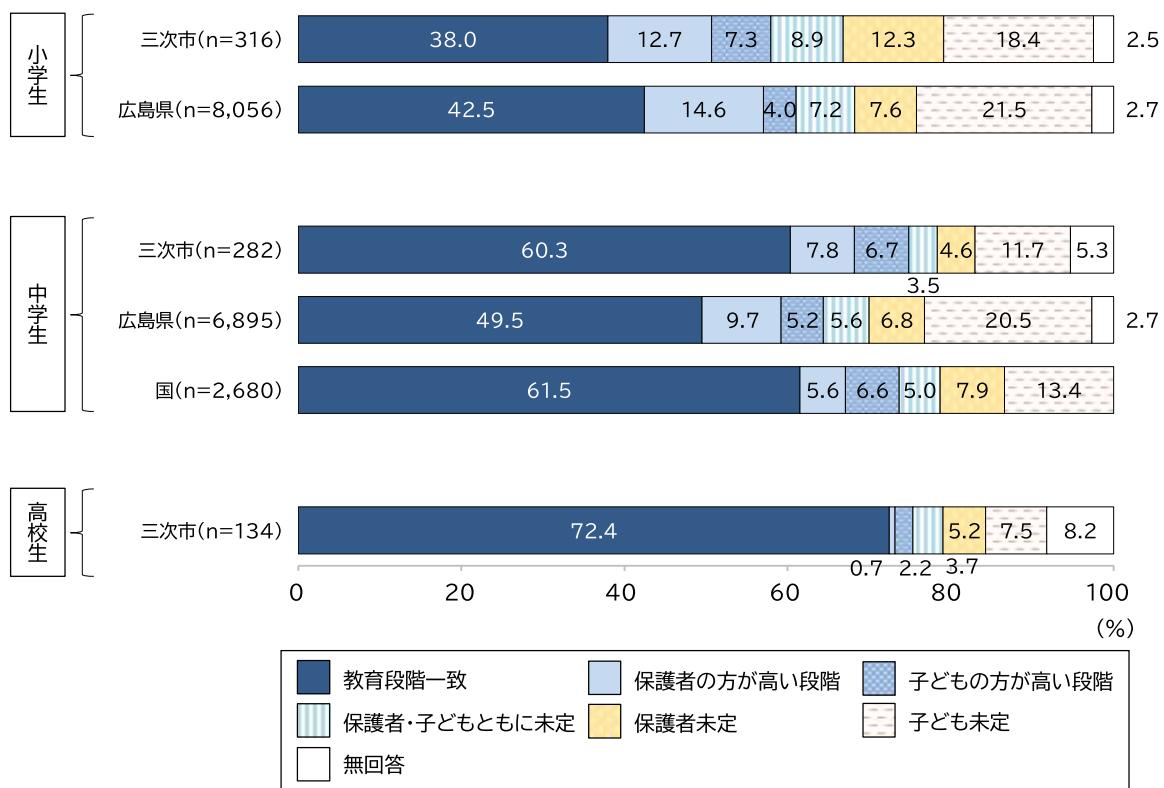
## = 保護者と子どもの考え方の一致・不一致の状況 =

保護者が考える子どもの進学段階に関する希望・展望的回答(P.104 参照)と、子ども自身が進学したいと思う教育段階(P.181 参照)の一致・不一致の状況について、「教育段階一致」、「保護者の方が高い段階」、「子どもの方が高い段階」、「保護者・子どもともに未定」、「保護者未定」、「子ども未定」の6分類で集計した。

※短大・高専・専門学校、大学・大学院はそれぞれ同じ段階として集計した。

※保護者・子どものいずれかまたは両方が「その他」や「希望するものはない」、「不明・無回答」の場合は「無回答」として集計した。

## 【全体】

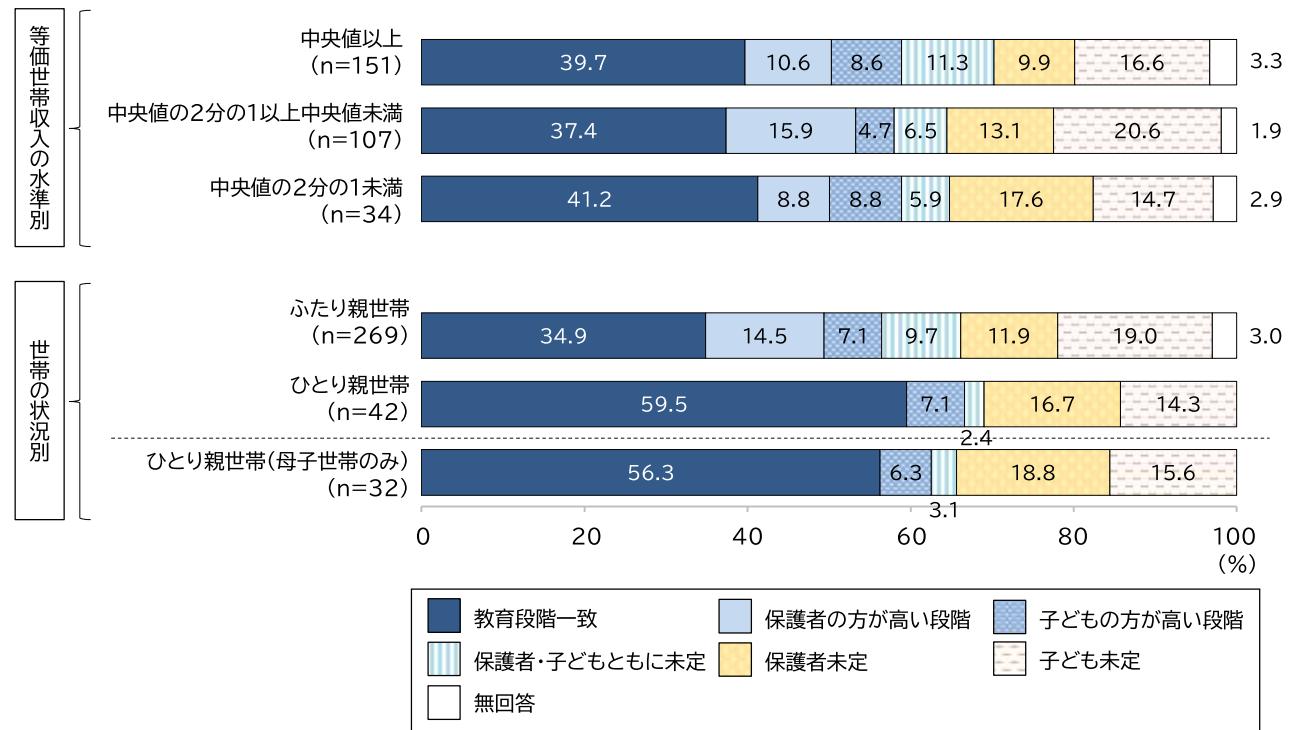


保護者と子どもの考え方の一致・不一致の状況について、小学生では、「教育段階一致」が 38.0%と最も高く、次いで「子ども未定」が 18.4%、「保護者の方が高い段階」が 12.7%などの順となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。

中学生では、「教育段階一致」が 60.3%と最も高く、次いで「子ども未定」が 11.7%、「保護者の方が高い段階」が 7.8%などの順となっている。広島県と比較すると、「教育段階一致」は三次市(60.3%)が広島県(49.5%)を 10.8 ポイント上回っている。国と比較すると、大きな差はみられない。

高校生では、「教育段階一致」が 72.4%と最も高く、次いで「子ども未定」が 7.5%、「保護者未定」が 5.2%などの順となっている。

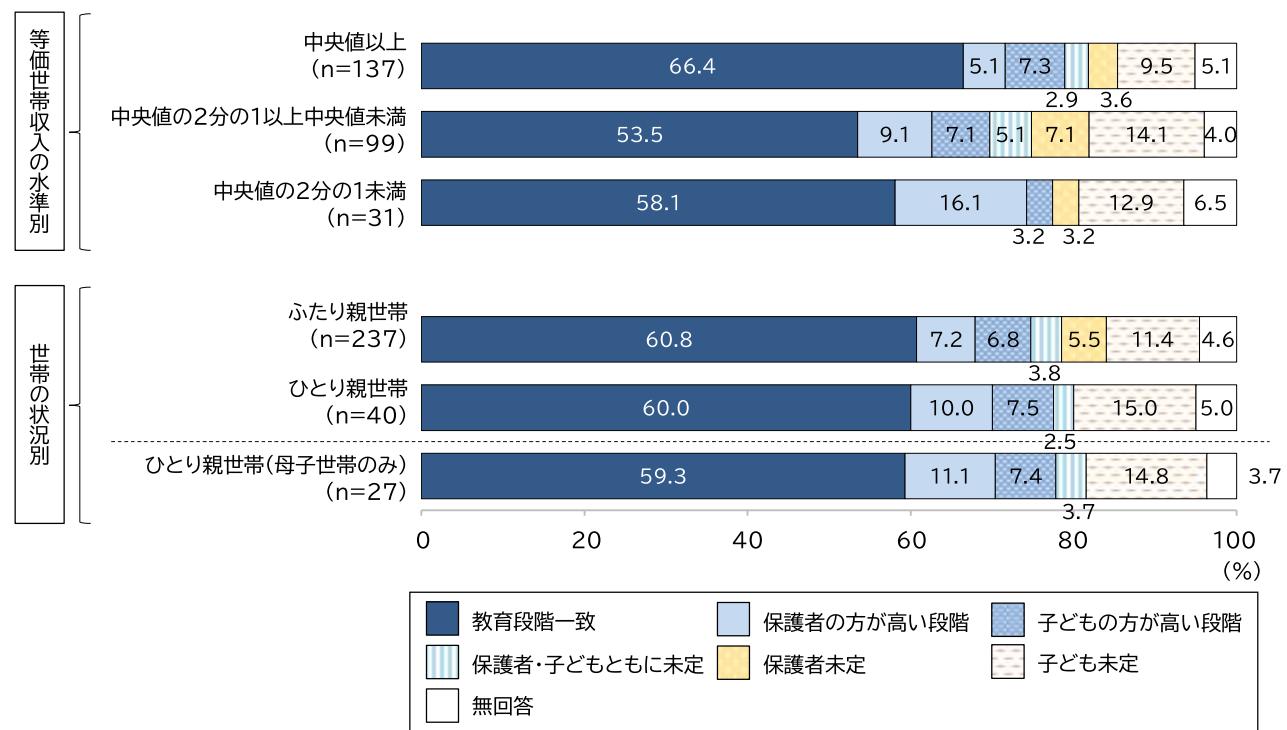
## 【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別\_小学生】



等価世帯収入の水準別にみると、「教育段階一致」は、「中央値以上」では 39.7%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では 37.4%、「中央値の2分の1未満」では 41.2%となっている。

世帯の状況別にみると、「教育段階一致」は、「ふたり親世帯」では 34.9%、「ひとり親世帯全体」では 59.5%、「母子世帯のみ」では 56.3%となっている。

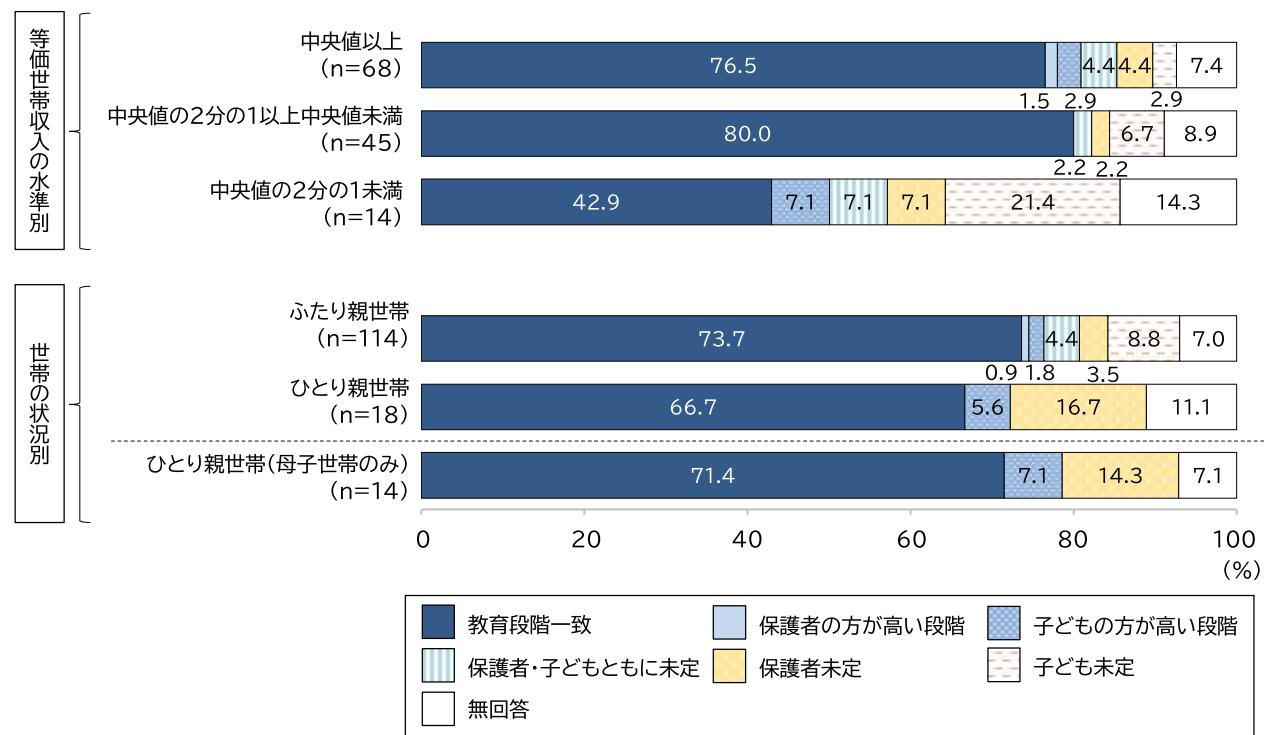
## 【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別\_中学生】



等価世帯収入の水準別にみると、「教育段階一致」は、「中央値以上」では 66.4%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では 53.5%、「中央値の2分の1未満」では 58.1%となっている。

世帯の状況別にみると、「教育段階一致」は、「ふたり親世帯」では 60.8%、「ひとり親世帯全体」では 60.0%、「母子世帯のみ」では 59.3%となっている。

## 【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別\_高校生】



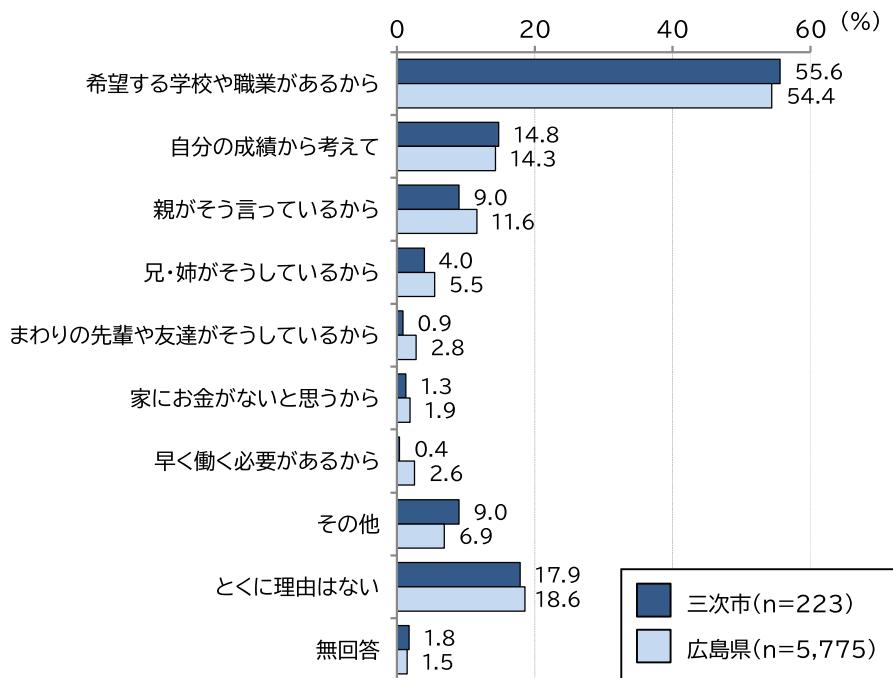
等価世帯収入の水準別にみると、「教育段階一致」は、「中央値以上」では 76.5%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では 80.0%、「中央値の2分の1未満」では 42.9%となっている。

世帯の状況別にみると、「教育段階一致」は、「ふたり親世帯」では 73.7%、「ひとり親世帯全体」では 66.7%、「母子世帯のみ」では 71.4%となっている。

※問7で希望する学校を答えた方に

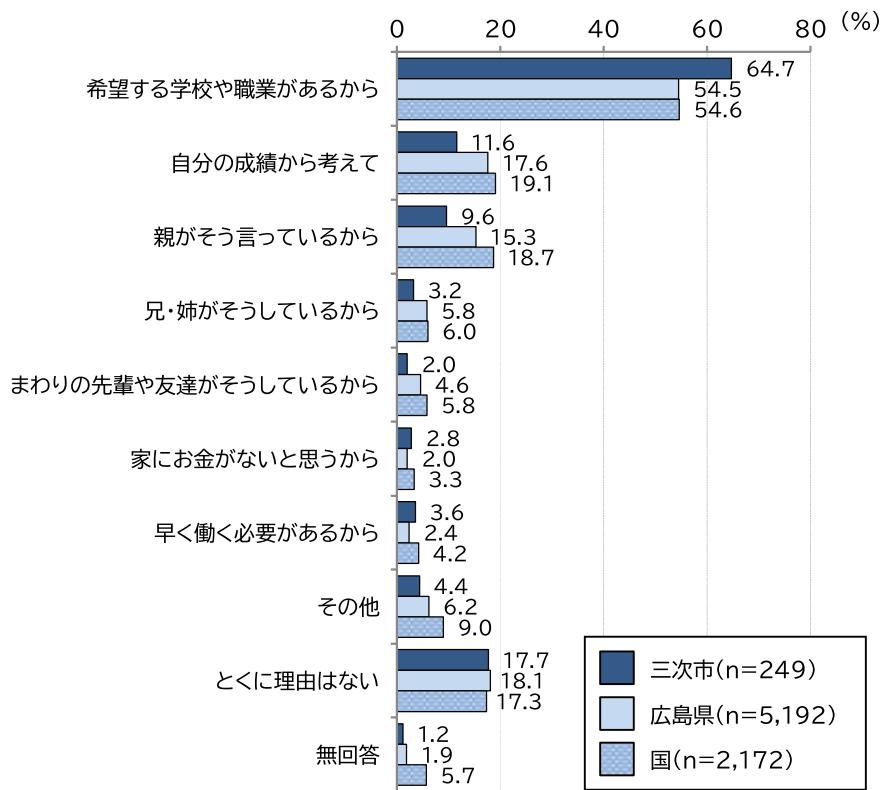
子ども票問8. その理由を答えてください。(MA)

【小学生】



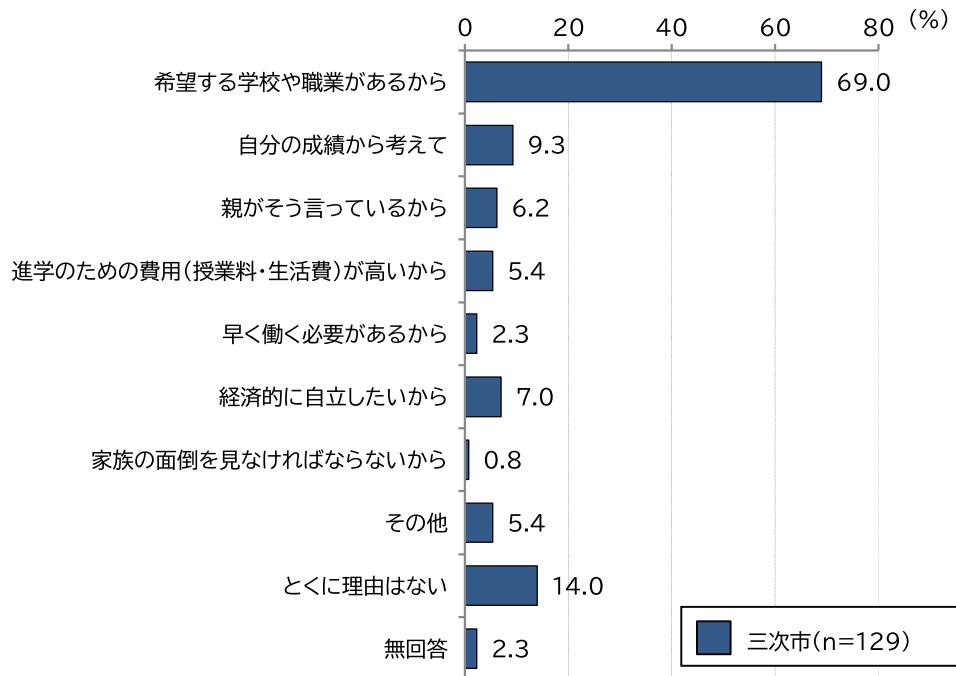
進学希望の理由について、小学生では、「希望する学校や職業があるから」が 55.6%と最も高く、次いで「自分の成績から考えて」が 14.8%、「親がそう言っているから」が 9.0%などの順となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。

## 【中学生】



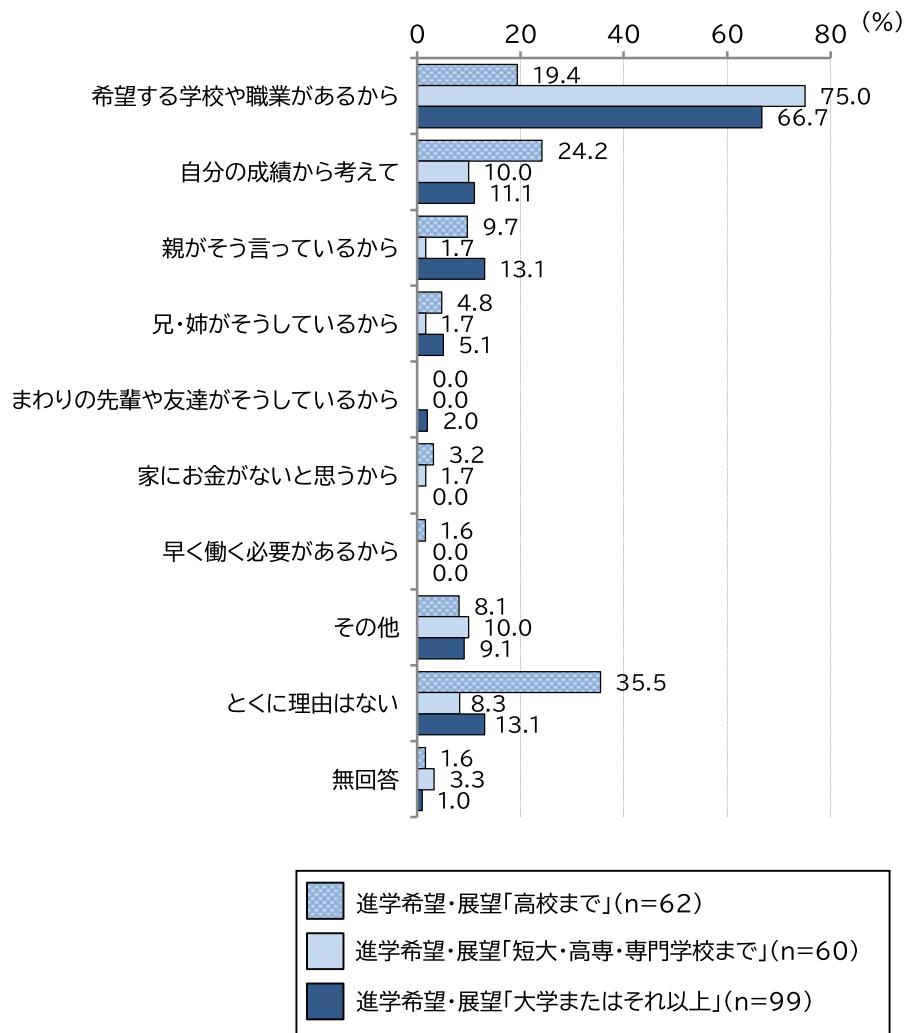
中学生では、「希望する学校や職業があるから」が 64.7%と最も高く、次いで「自分の成績から考えて」が 11.6%、「親がそう言っているから」が 9.6%などの順となっている。広島県と比較すると、「希望する学校や職業があるから」は三次市(64.7%)が広島県(54.5%)を 10.2 ポイント上回っている。国と比較すると、「」は三次市(64.7%)が国(54.6%)を 10.1 ポイント上回っている。

## 【高校生】



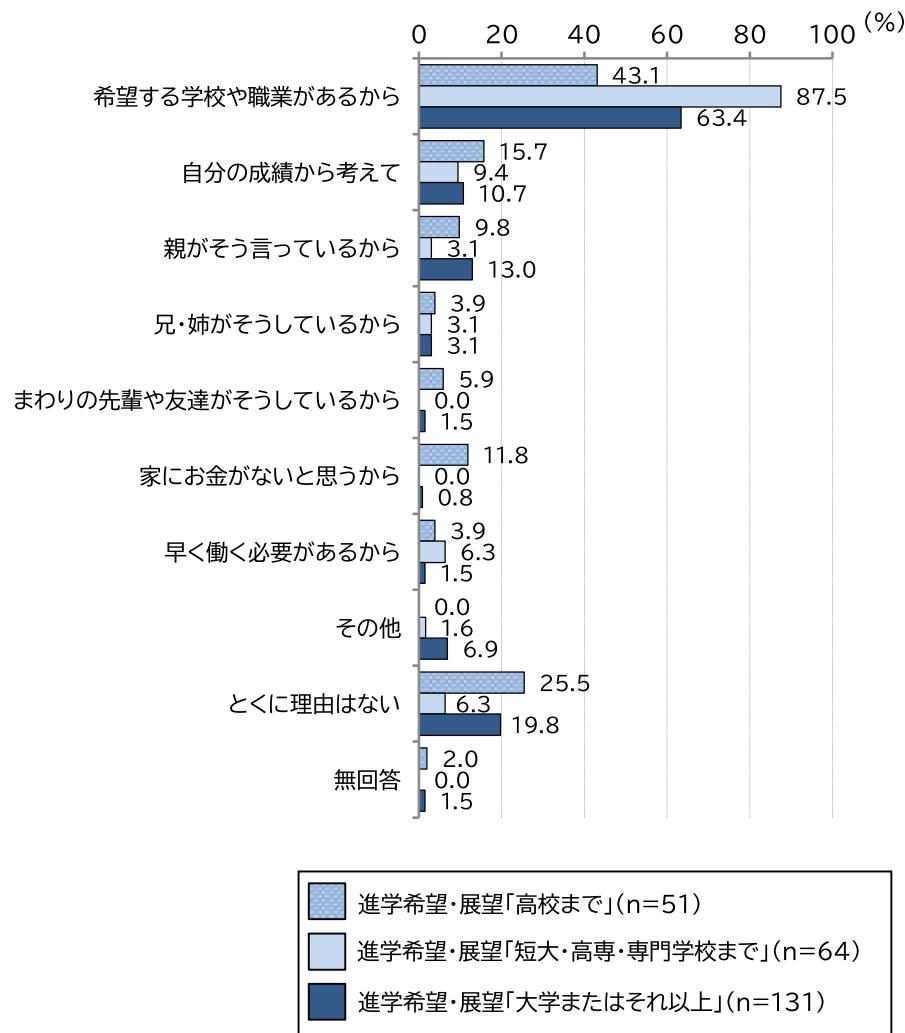
高校生では、「希望する学校や職業があるから」が 69.0%と最も高く、次いで「自分の成績から考えて」が 9.3%、「経済的に自立したいから」が 7.0%などの順となっている。

## 【進学したいと思う教育段階別\_小学生】



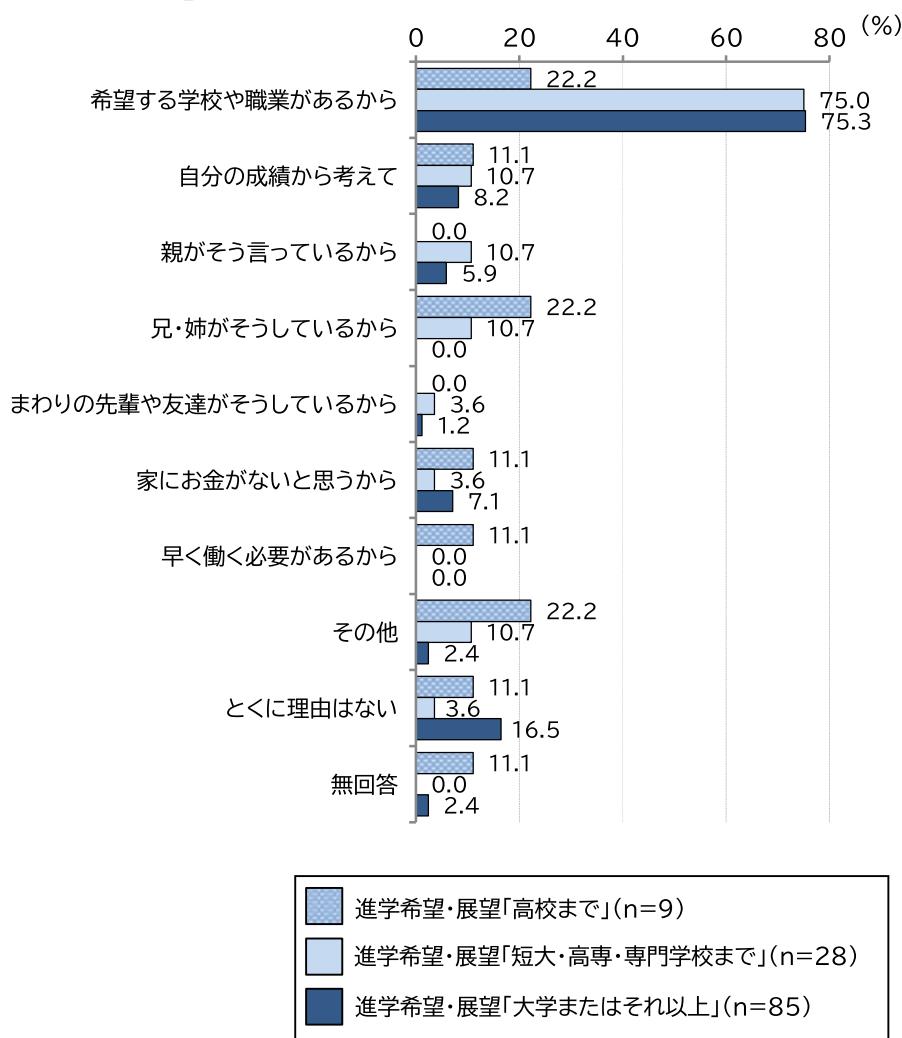
進学したいと思う教育段階別にみると、『高校まで』では、「希望する学校や職業があるから」が 19.4%となつており、『短大・高専・専門学校まで』や『大学またはそれ以上』と比べて低くなつてゐる。一方で、「自分の成績から考えて」は 24.2%、「とくに理由はない」は 35.5%と高くなつてゐる。

## 【進学したいと思う教育段階別 中学生】



進学したいと思う教育段階別にみると、『高校まで』では、「希望する学校や職業があるから」が43.1%となっており、『短大・高専・専門学校まで』や『大学またはそれ以上』と比べて低くなっている。一方で、「自分の成績から考えて」は15.7%、「家にお金がないと思うから」は11.8%、「とくに理由はない」は25.5%と高くなっている。

## 【進学したいと思う教育段階別\_高校生】

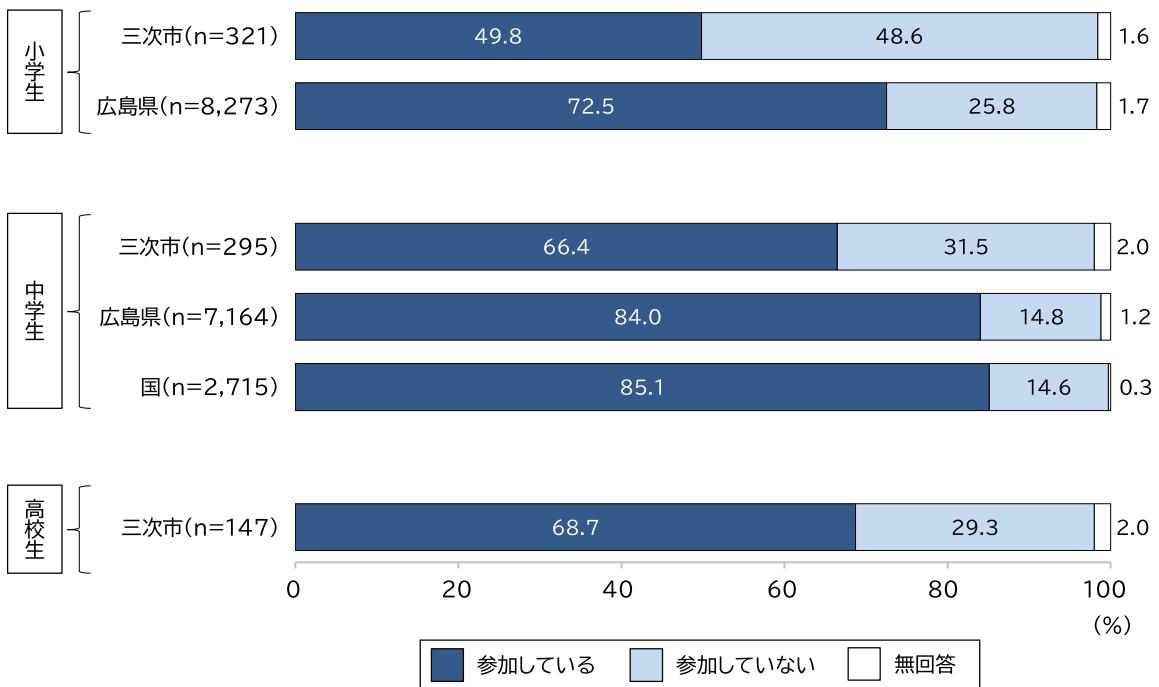


進学したいと思う教育段階別にみると、『高校まで』では、「希望する学校や職業があるから」が 22.2% となっており、『短大・高専・専門学校まで』や『大学またはそれ以上』と比べて低くなっている。一方で、「兄・姉がそうしているから」は 22.2% と高くなっている。

## (3)部活動等への参加状況

子ども票問9. あなたは、地域のスポーツ・文化活動や学校の部活動に参加していますか。(SA)

## 【全体】

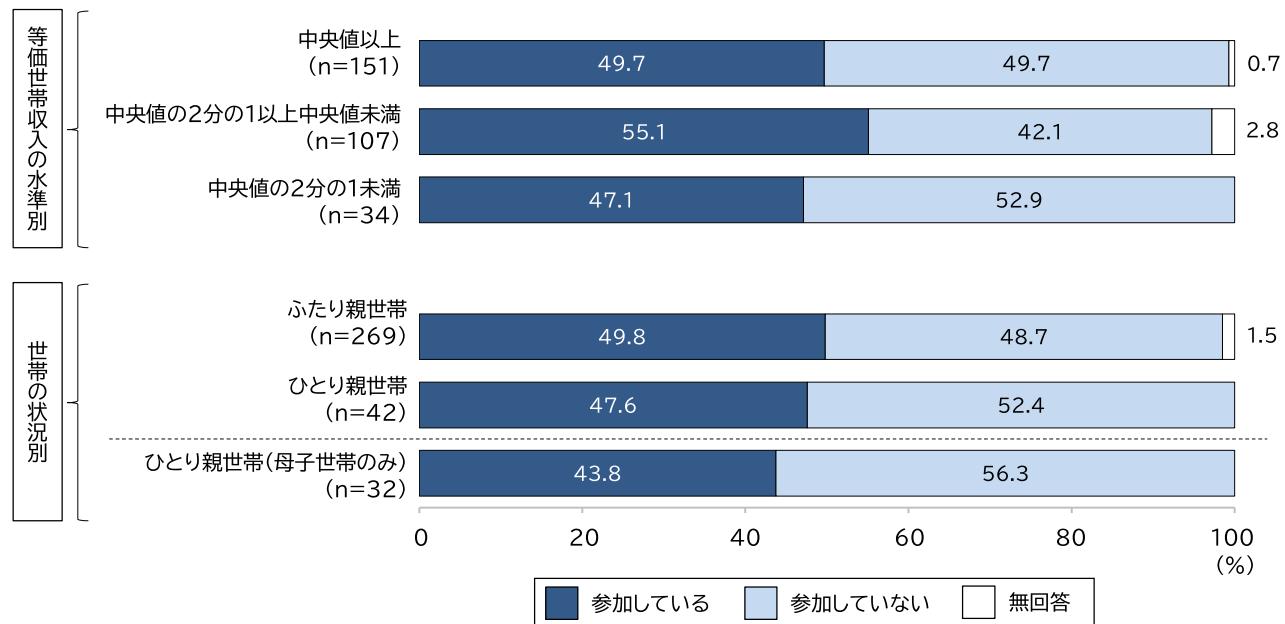


部活動等への参加状況について、小学生では、「参加している」が 49.8%、「参加していない」が 48.6%となっている。広島県と比較すると、「参加していない」は三次市(48.6%)が広島県(25.8%)を 22.8 ポイント上回っている。

中学生では、「参加している」が 66.4%、「参加していない」が 31.5%となっている。広島県と比較すると、「」は三次市(31.5%)が広島県(14.8%)を 16.7 ポイント上回っている。国と比較すると、「参加していない」は三次市(31.5%)が国(14.6%)を 16.9 ポイント上回っている。

高校生では、「参加している」が 68.7%、「参加していない」が 29.3%となっている。

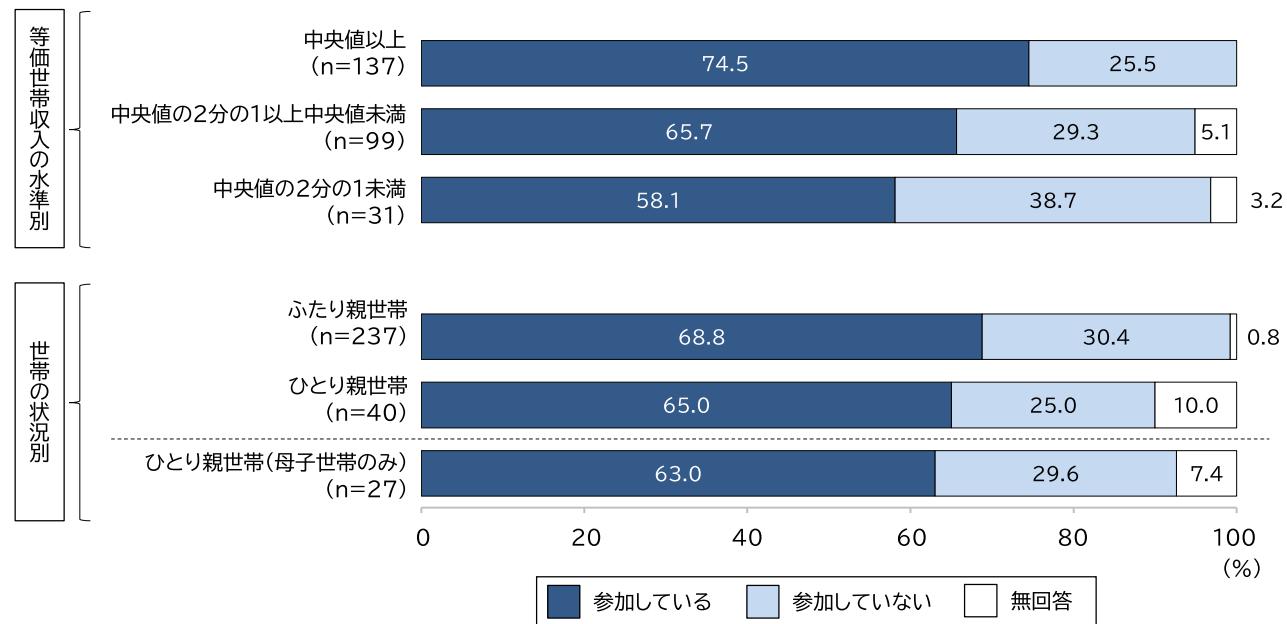
## 【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別\_小学生】



等価世帯収入の水準別にみると、「参加していない」は、「中央値以上」では 49.7%,「中央値の2分の1以上中央値未満」では 42.1%,「中央値の2分の1未満」では 52.9%となっている。

世帯の状況別にみると、「参加していない」は、「ふたり親世帯」では 48.7%,「ひとり親世帯全体」では 52.4%,「母子世帯のみ」では 56.3%となっている。

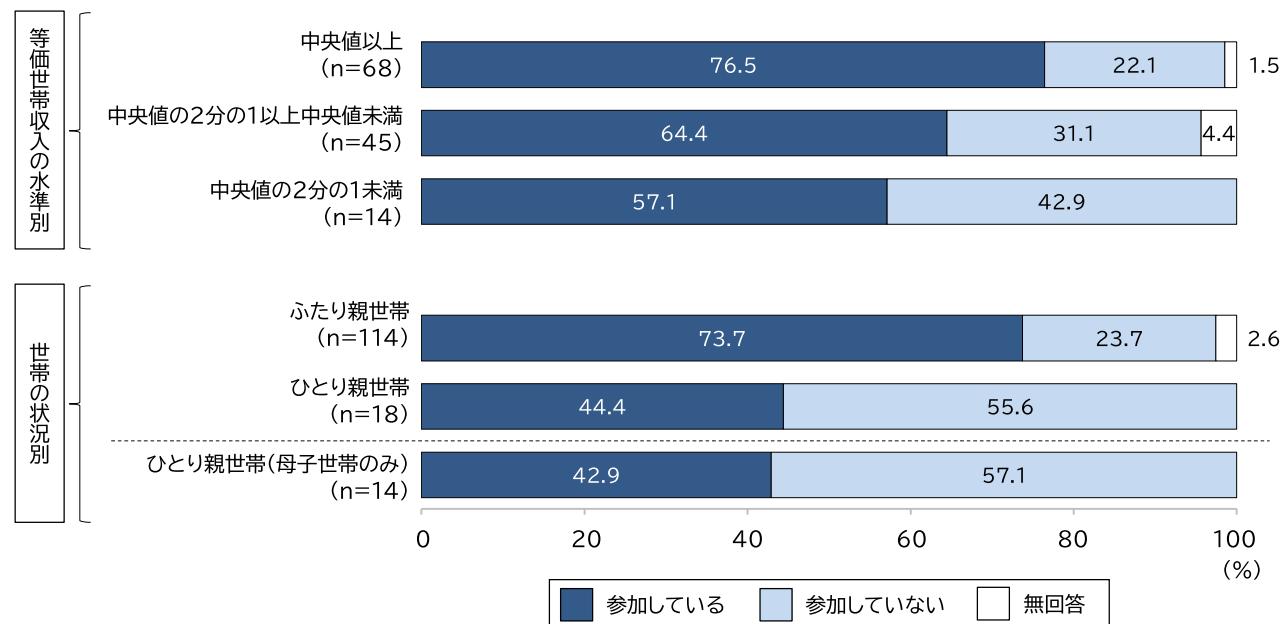
## 【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別\_中学生】



等価世帯収入の水準別にみると、「参加していない」は、「中央値以上」では 25.5%,「中央値の2分の1以上中央値未満」では 29.3%,「中央値の2分の1未満」では 38.7%となっている。

世帯の状況別にみると、「参加していない」は、「ふたり親世帯」では 30.4%,「ひとり親世帯全体」では 25.0%,「母子世帯のみ」では 29.6%となっている。

## 【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別\_高校生】



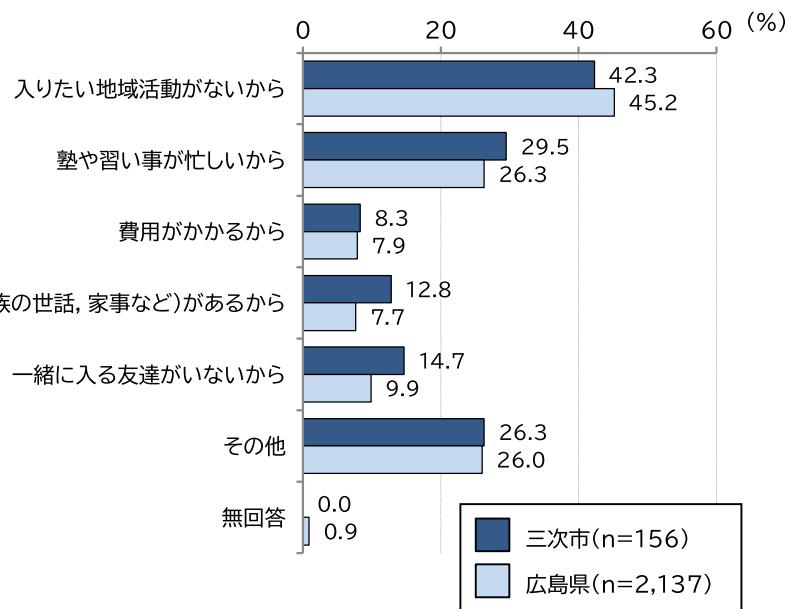
等価世帯収入の水準別にみると、「参加していない」は、「中央値以上」では 22.1%,「中央値の2分の1以上中央値未満」では 31.1%,「中央値の2分の1未満」では 42.9%となっている。

世帯の状況別にみると、「参加していない」は、「ふたり親世帯」では 23.7%,「ひとり親世帯全体」では 55.6%,「母子世帯のみ」では 57.1%となっている。

※問9で「2 参加していない」と答えた方に

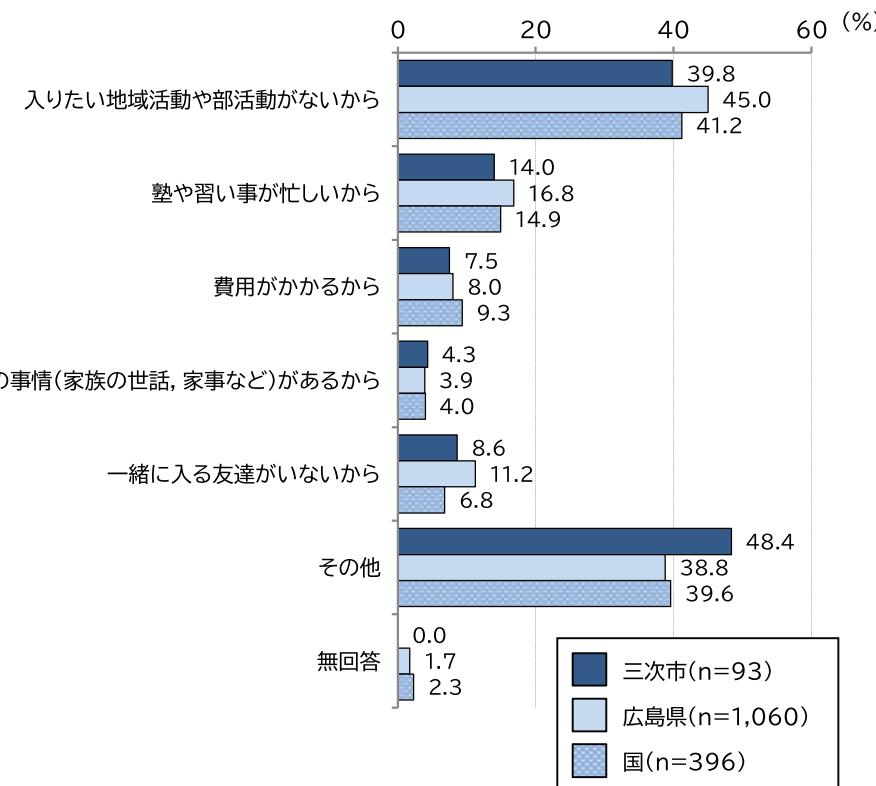
子ども票問 10. 参加していない理由は何ですか。(MA)

【小学生】



部活動等に参加していない理由について、小学生では、「入りたい地域活動がないから」が 42.3%と最も高く、次いで「塾や習い事が忙しいから」が 29.5%、「家の事情(家族の世話、家事など)があるから」が 12.8%などの順となっている。広島県と比較すると、「家の事情(家族の世話、家事など)があるから」は三次市(12.8%)が広島県(7.7%)を 5.1 ポイント上回っている。

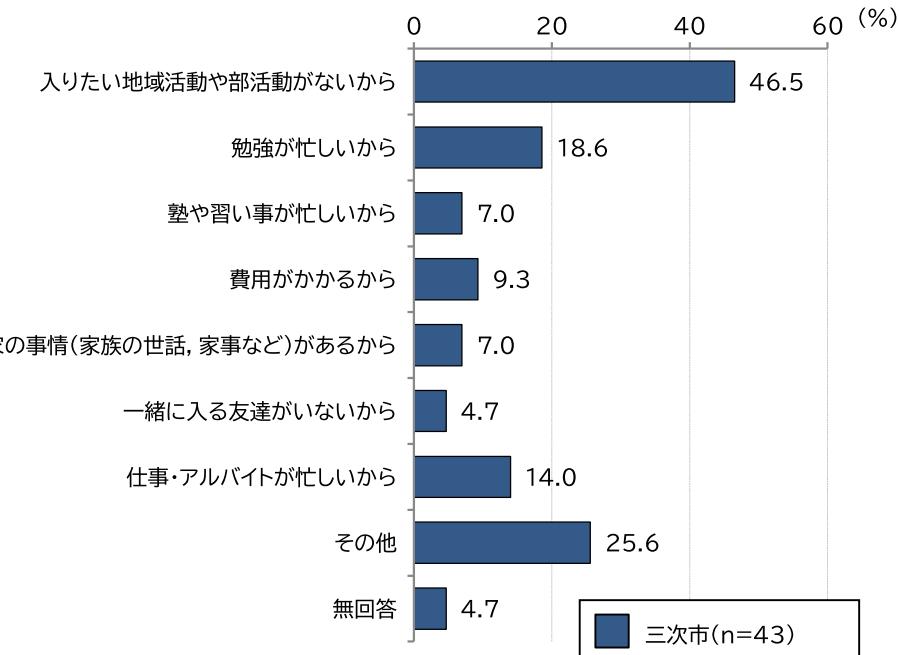
## 【中学生】



中学生では、「入りたい地域活動や部活動がないから」が 39.8%と最も高く、次いで「塾や習い事が忙しいから」が 14.0%、「一緒にいる友達がないから」が 8.6%などの順となっている。広島県と比較すると、「入りたい地域活動や部活動がないから」は三次市(39.8%)が広島県(45.0%)を 5.2 ポイント下回っている。一方で、「その他」は三次市(48.4%)が広島県(38.8%)を 9.6 ポイント上回っている。

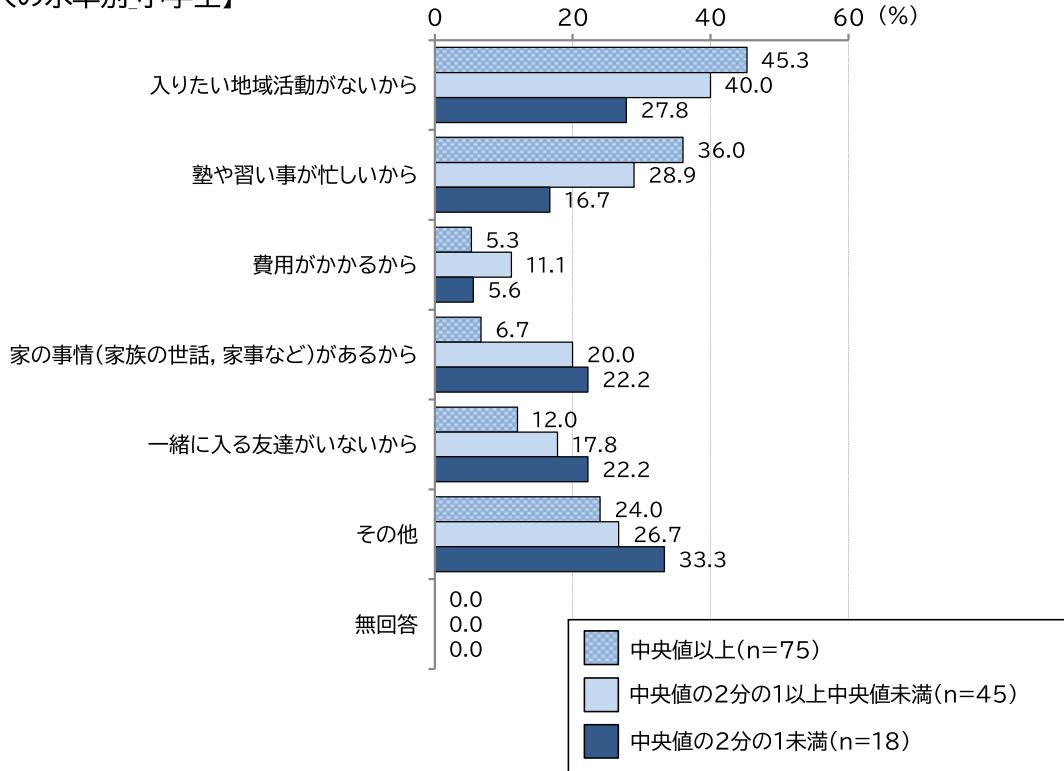
国と比較すると、「その他」は三次市(48.4%)が国(39.6%)を 8.8 ポイント上回っている。

## 【高校生】



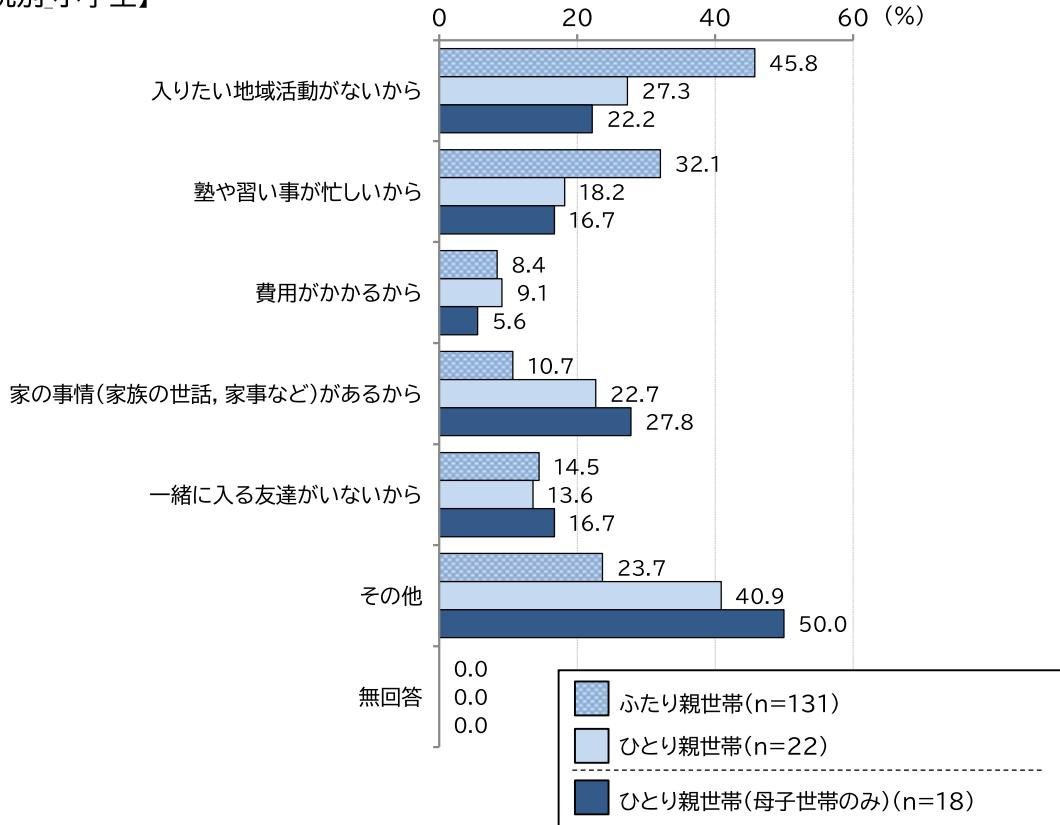
高校生では、「入りたい地域活動や部活動がないから」が 46.5%と最も高く、次いで「勉強が忙しいから」が 18.6%、「仕事・アルバイトが忙しいから」が 14.0%などの順となっている。

## 【等価世帯収入の水準別\_小学生】



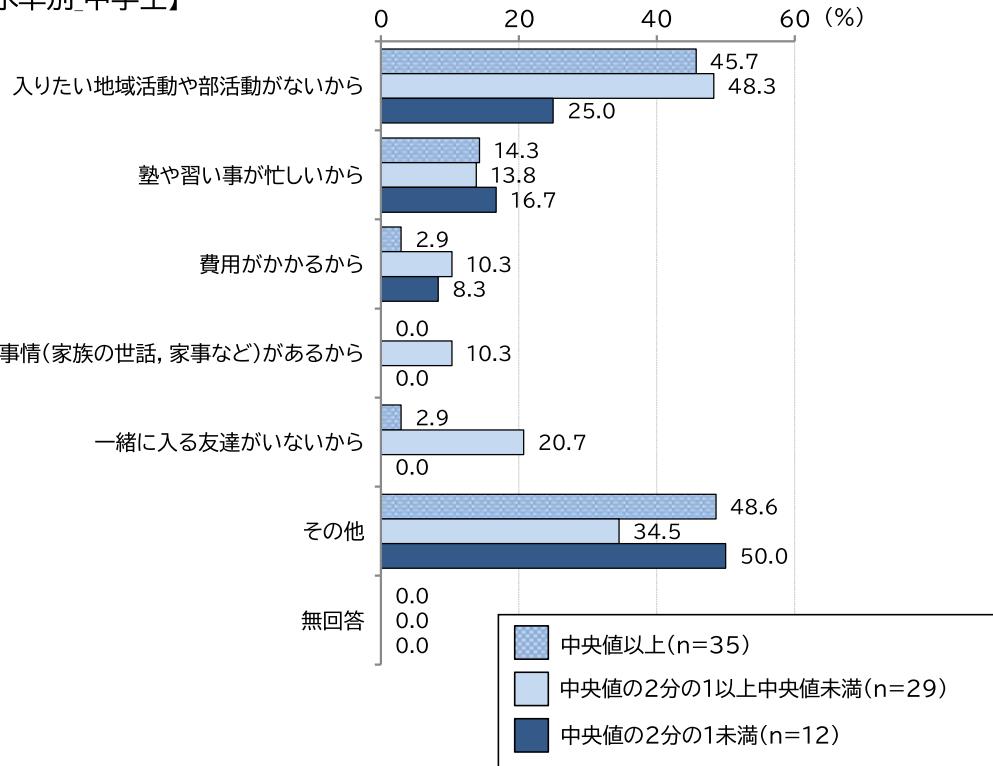
等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の2分の1未満」では、「家の事情(家族の世話、家事など)があるから」、「一緒にいる友達がないから」が22.2%と他の世帯と比べて高くなっている。

## 【世帯の状況別\_小学生】



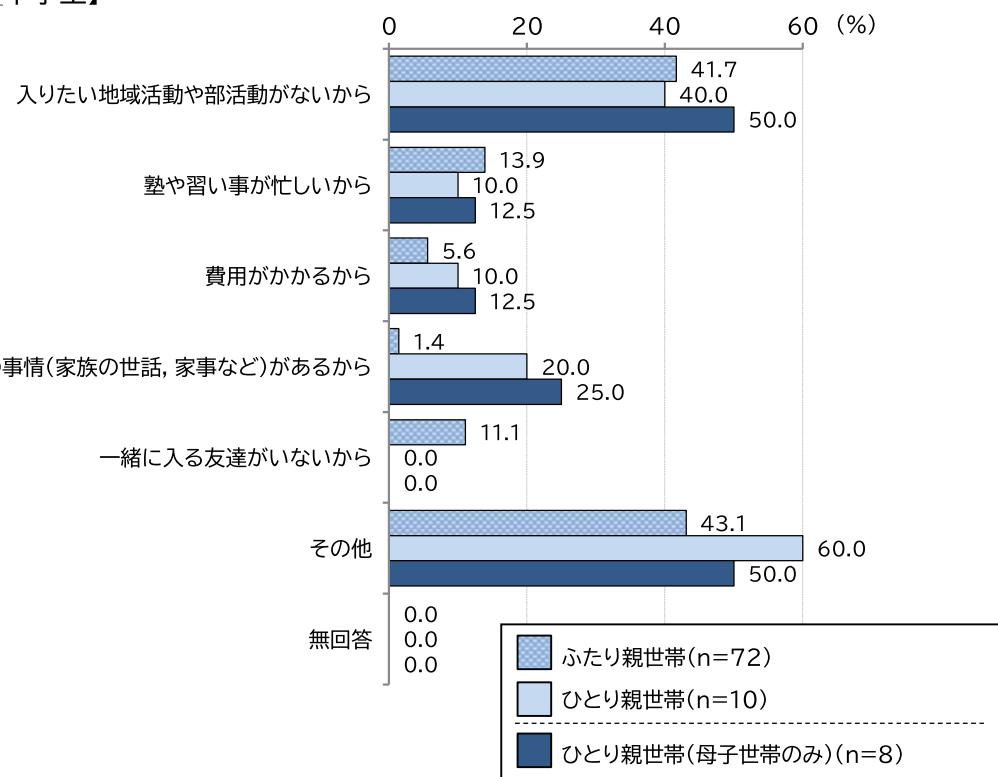
世帯の状況別にみると、「ひとり親世帯」は「ふたり親世帯」に比べて、「家の事情(家族の世話、家事など)があるから」が22.7%と高くなっている。

## 【等価世帯収入の水準別\_中学生】



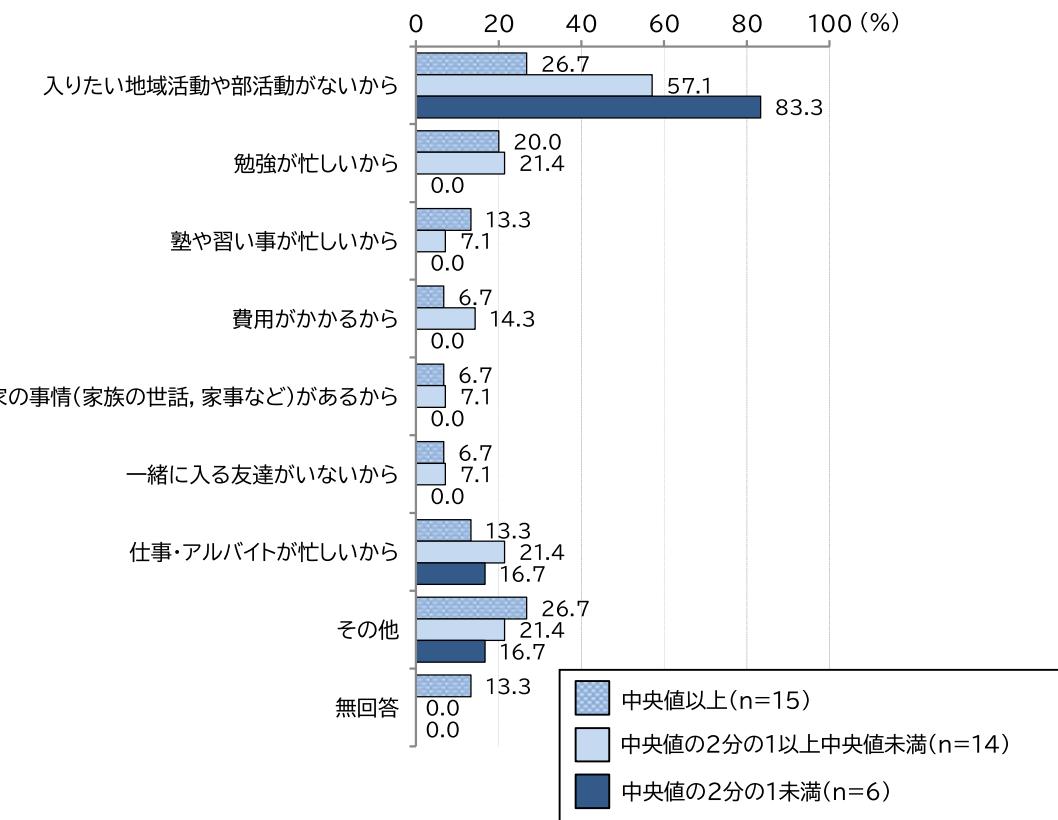
等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の2分の1未満」では、「入りたい地域活動や部活動がないから」が25.0%と他の世帯と比べて低くなっている。

## 【世帯の状況別\_中学生】



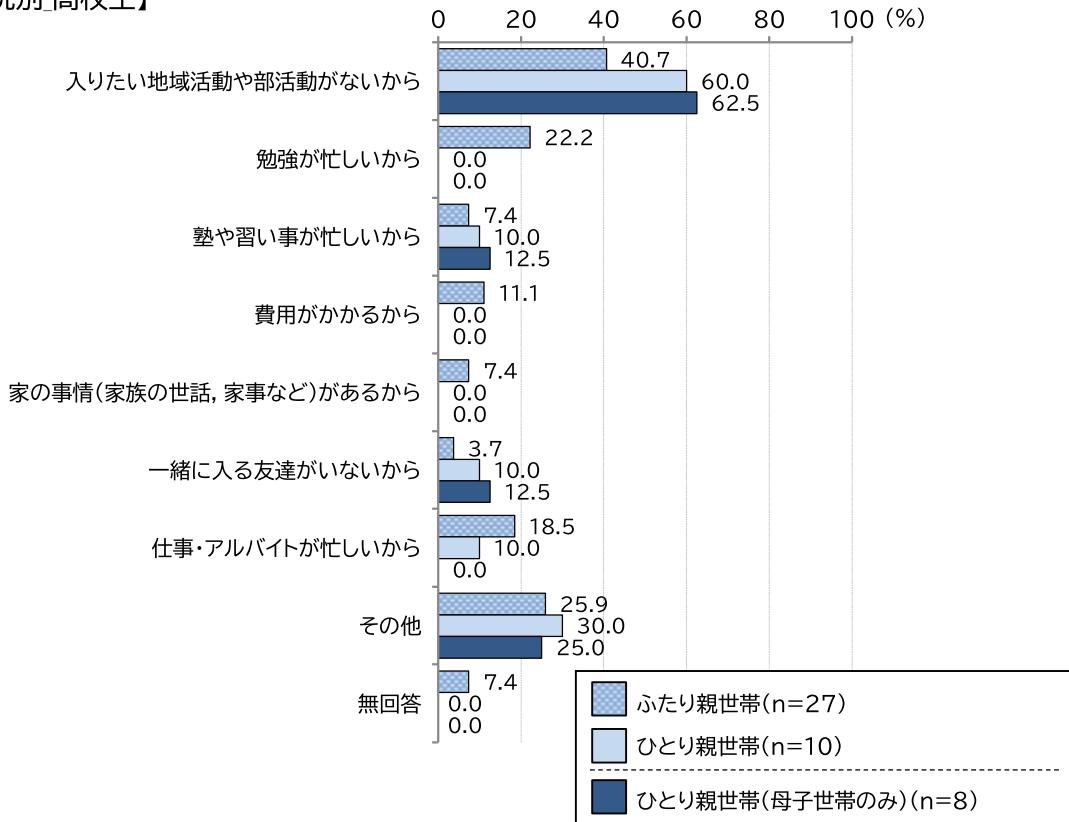
世帯の状況別にみると、「ひとり親世帯」は「ふたり親世帯」に比べて、「家の事情(家族の世話, 家事など)があるから」が20.0%と高くなっている。

## 【等価世帯収入の水準別\_高校生】



等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の2分の1未満」では、「入りたい地域活動や部活動がないから」が83.3%と他の世帯と比べて高くなっている。

## 【世帯の状況別\_高校生】



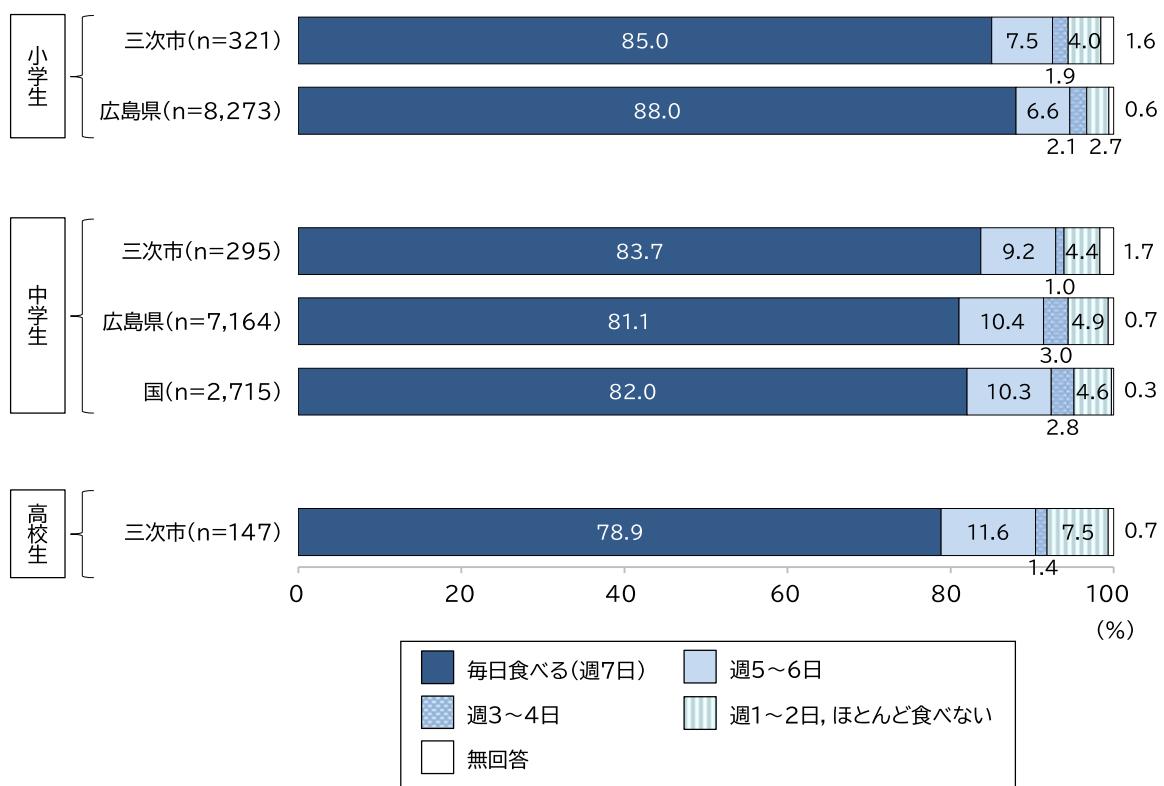
世帯の状況別にみると、「ひとり親世帯」は「ふたり親世帯」に比べて、「入りたい地域活動や部活動がないから」が 60.0%と高くなっている。

## (4)日常的な生活の状況

子ども票問 11. あなたは週にどのくらい、食事をしていますか。(SA)

= 朝食 =

【全体】

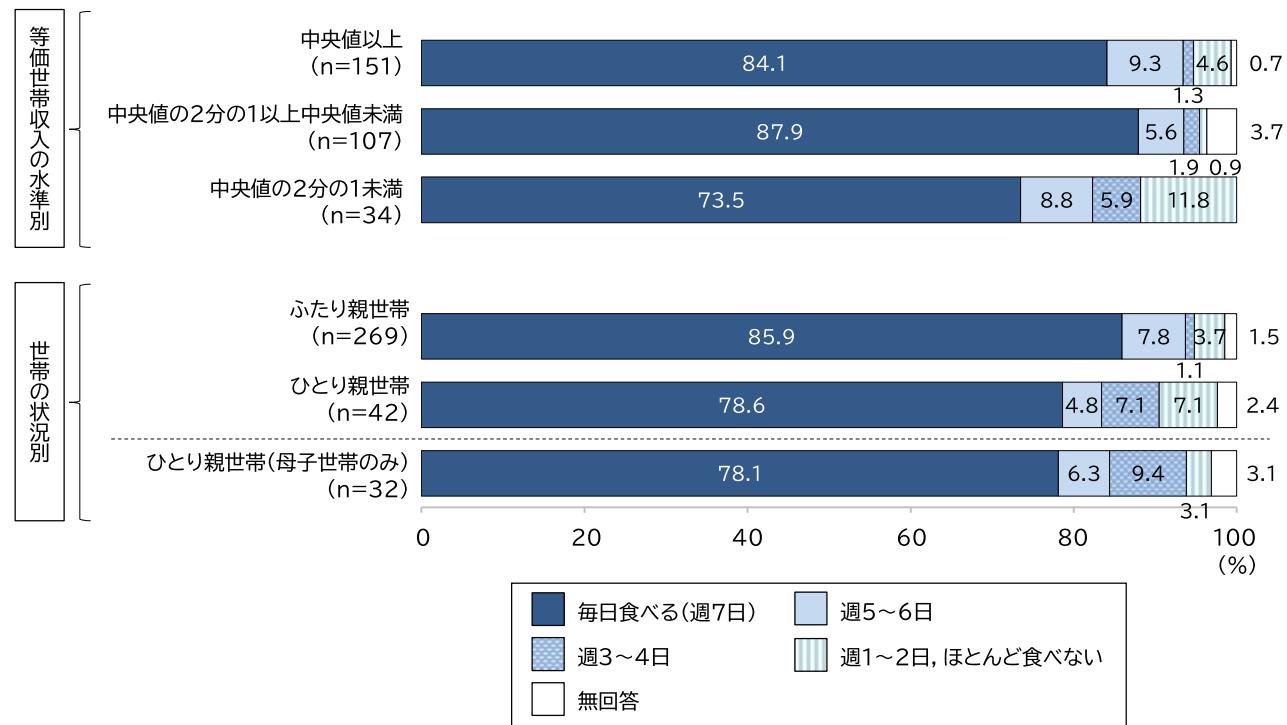


朝食について、小学生では、「毎日食べる(週7日)」が 85.0%, 「週5~6日」が 7.5%, 「週3~4日」が 1.9%, 「週1~2日、ほとんど食べない」が 4.0%となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。

中学生では、「毎日食べる(週7日)」が 83.7%, 「週5~6日」が 9.2%, 「週3~4日」が 1.0%, 「週1~2日、ほとんど食べない」が 4.4%となっている。広島県、国と比較すると、どちらとも大きな差はみられない。

高校生では、「毎日食べる(週7日)」が 78.9%, 「週5~6日」が 11.6%, 「週3~4日」が 1.4%, 「週1~2日、ほとんど食べない」が 7.5%となっている。

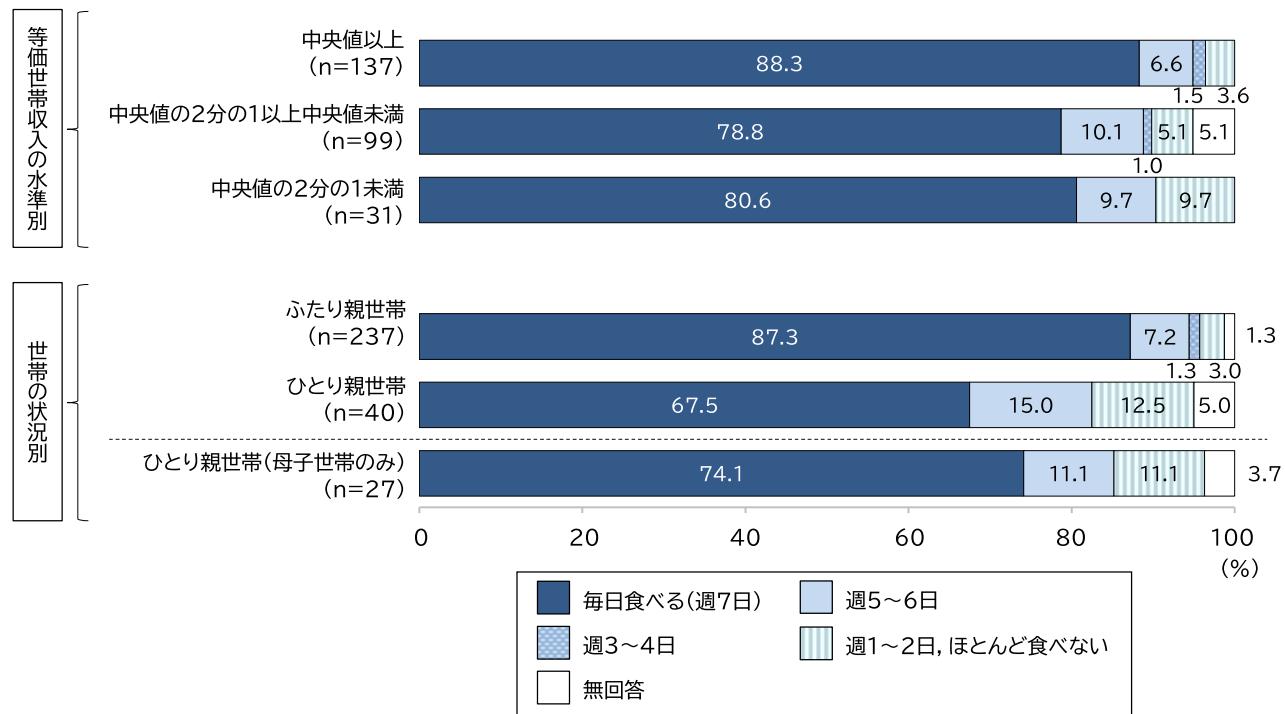
## 【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別\_小学生】



等価世帯収入の水準別にみると、「毎日食べる(週7日)」は、「中央値以上」では 84.1%, 「中央値の2分の1以上中央値未満」では 87.9%, 「中央値の2分の1未満」では 73.5% となっている。

世帯の状況別にみると、「毎日食べる(週7日)」は、「ふたり親世帯」では 85.9%, 「ひとり親世帯全体」では 78.6%, 「母子世帯のみ」では 78.1% となっている。

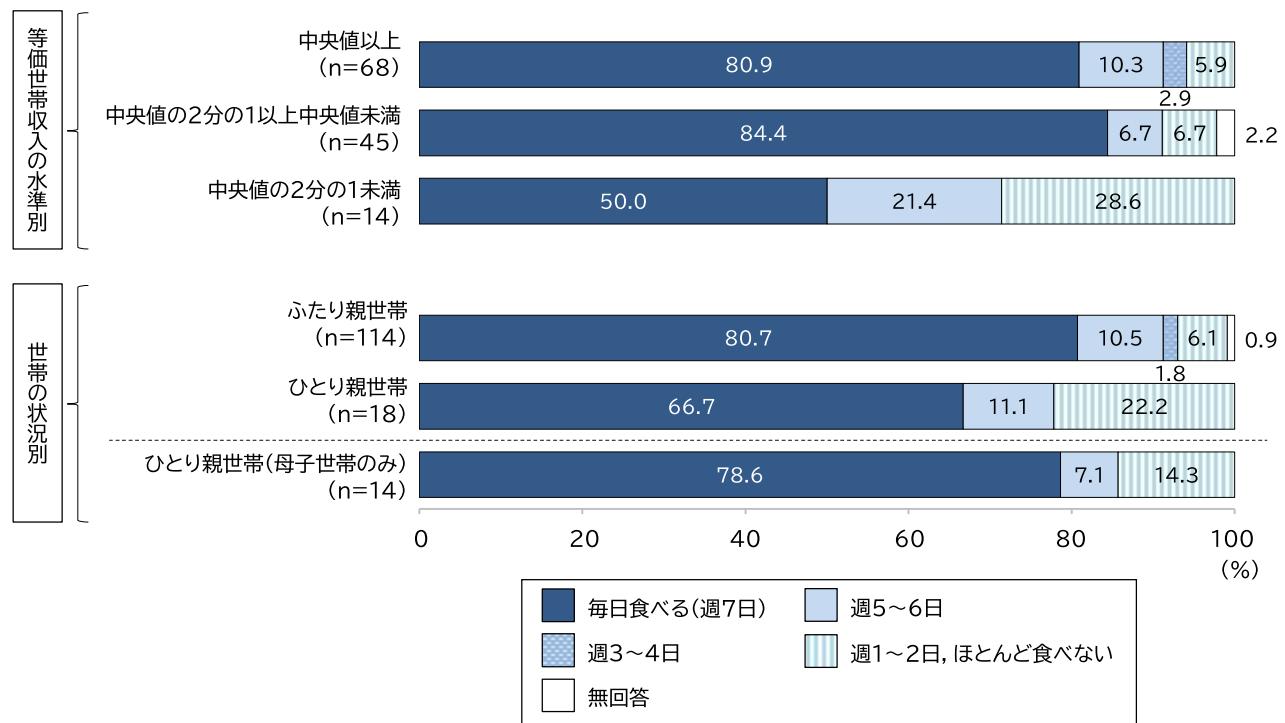
## 【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別\_中学生】



等価世帯収入の水準別にみると、「毎日食べる(週7日)」は、「中央値以上」では 88.3%, 「中央値の2分の1以上中央値未満」では 78.8%, 「中央値の2分の1未満」では 80.6% となっている。

世帯の状況別にみると、「毎日食べる(週7日)」は、「ふたり親世帯」では 87.3%, 「ひとり親世帯全体」では 67.5%, 「母子世帯のみ」では 74.1% となっている。

## 【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別\_高校生】

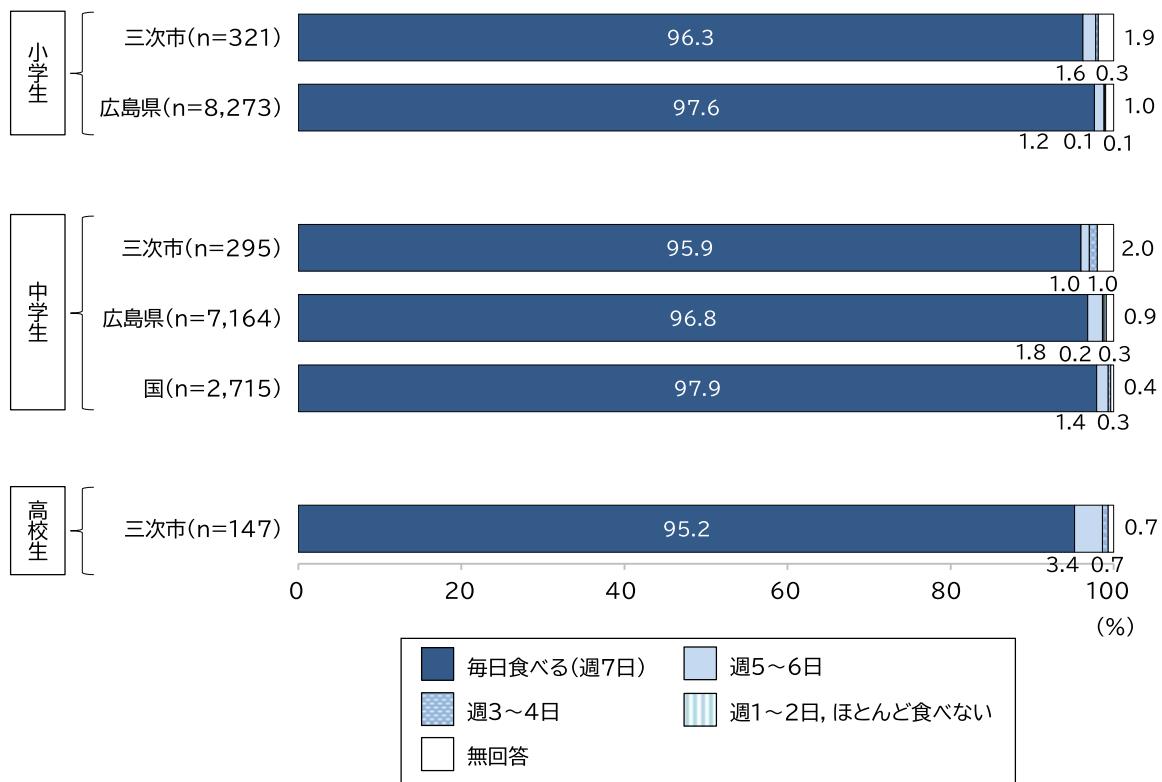


等価世帯収入の水準別にみると、「毎日食べる(週7日)」は、「中央値以上」では 80.9%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では 84.4%、「中央値の2分の1未満」では 50.0%となっている。

世帯の状況別にみると、「毎日食べる(週7日)」は、「ふたり親世帯」では 80.7%、「ひとり親世帯全体」では 66.7%、「母子世帯のみ」では 78.6%となっている。

= 夕食 =

【全体】

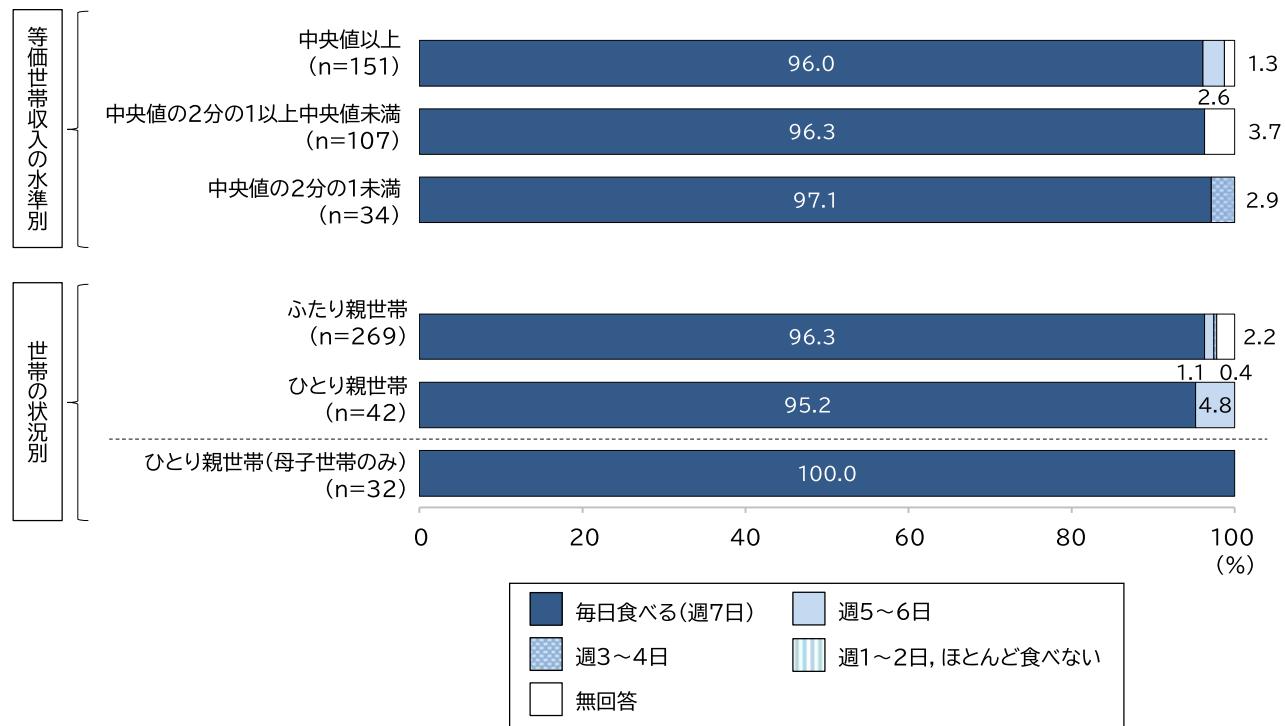


夕食について、小学生では、「毎日食べる(週7日)」が 96.3%、「週5~6日」が 1.6%、「週3~4日」が 0.3%、「週1~2日, ほとんど食べない」が 0.0%となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。

中学生では、「毎日食べる(週7日)」が 95.9%、「週5~6日」が 1.0%、「週3~4日」が 1.0%、「週1~2日, ほとんど食べない」が 0.0%となっている。広島県、国と比較すると、どちらとも大きな差はみられない。

高校生では、「毎日食べる(週7日)」が 95.2%、「週5~6日」が 3.4%、「週3~4日」が 0.7%、「週1~2日, ほとんど食べない」が 0.0%となっている。

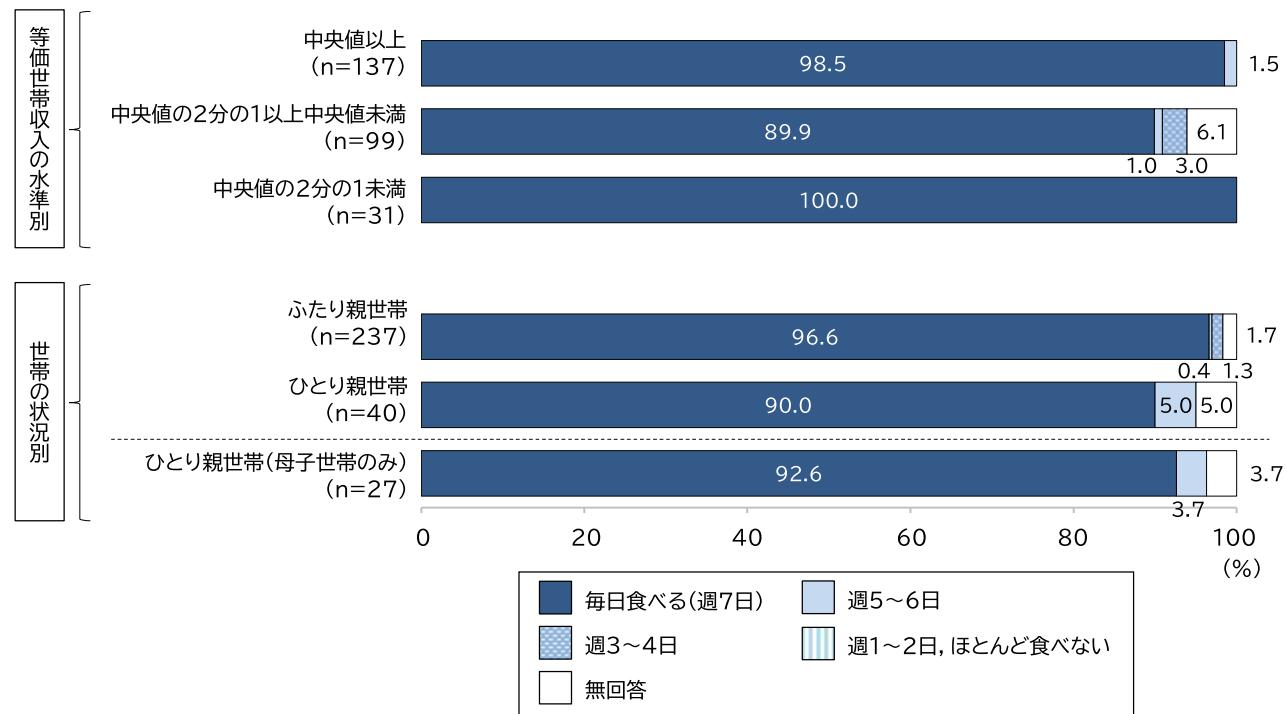
## 【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別\_小学生】



等価世帯収入の水準別にみると、「毎日食べる(週7日)」は、「中央値以上」では 96.0%, 「中央値の2分の1以上中央値未満」では 96.3%, 「中央値の2分の1未満」では 97.1% となっている。

世帯の状況別にみると、「毎日食べる(週7日)」は、「ふたり親世帯」では 96.3%, 「ひとり親世帯全体」では 95.2%, 「母子世帯のみ」では 100.0% となっている。

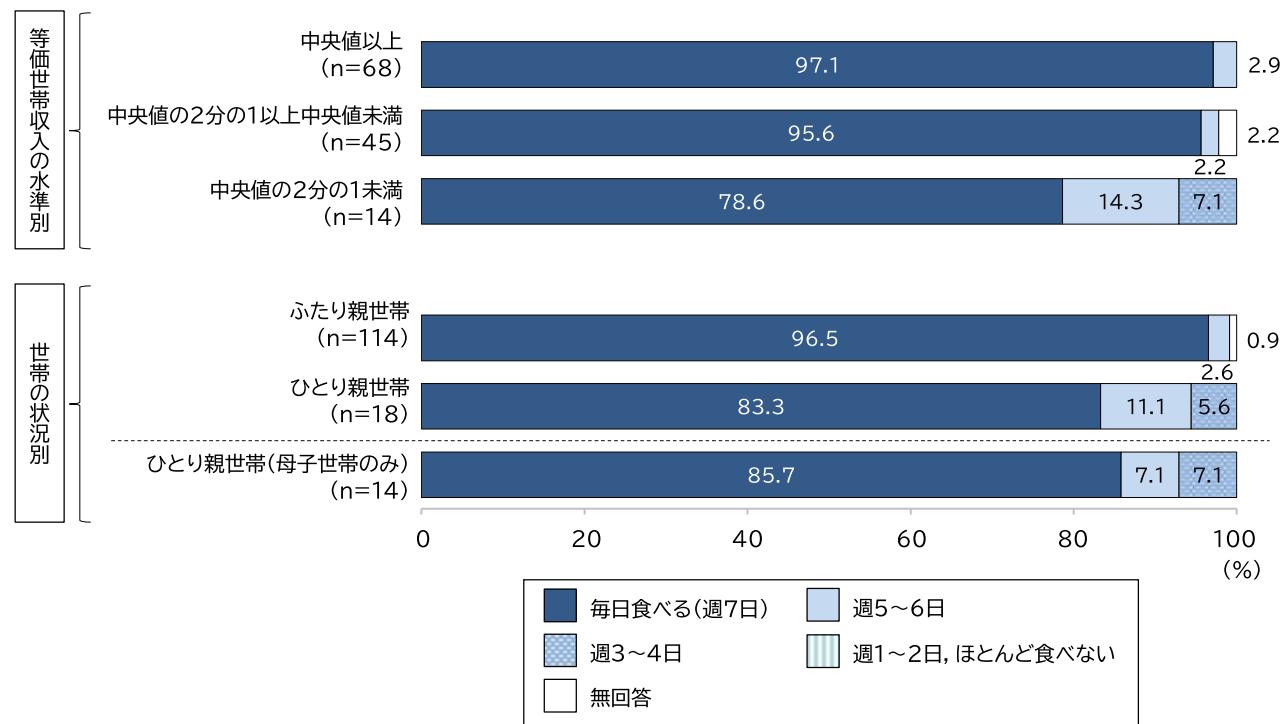
## 【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別\_中学生】



等価世帯収入の水準別にみると、「毎日食べる(週7日)」は、「中央値以上」では 98.5%, 「中央値の2分の1以上中央値未満」では 89.9%, 「中央値の2分の1未満」では 100.0% となっている。

世帯の状況別にみると、「毎日食べる(週7日)」は、「ふたり親世帯」では 96.6%, 「ひとり親世帯全体」では 90.0%, 「母子世帯のみ」では 92.6% となっている。

## 【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別\_高校生】

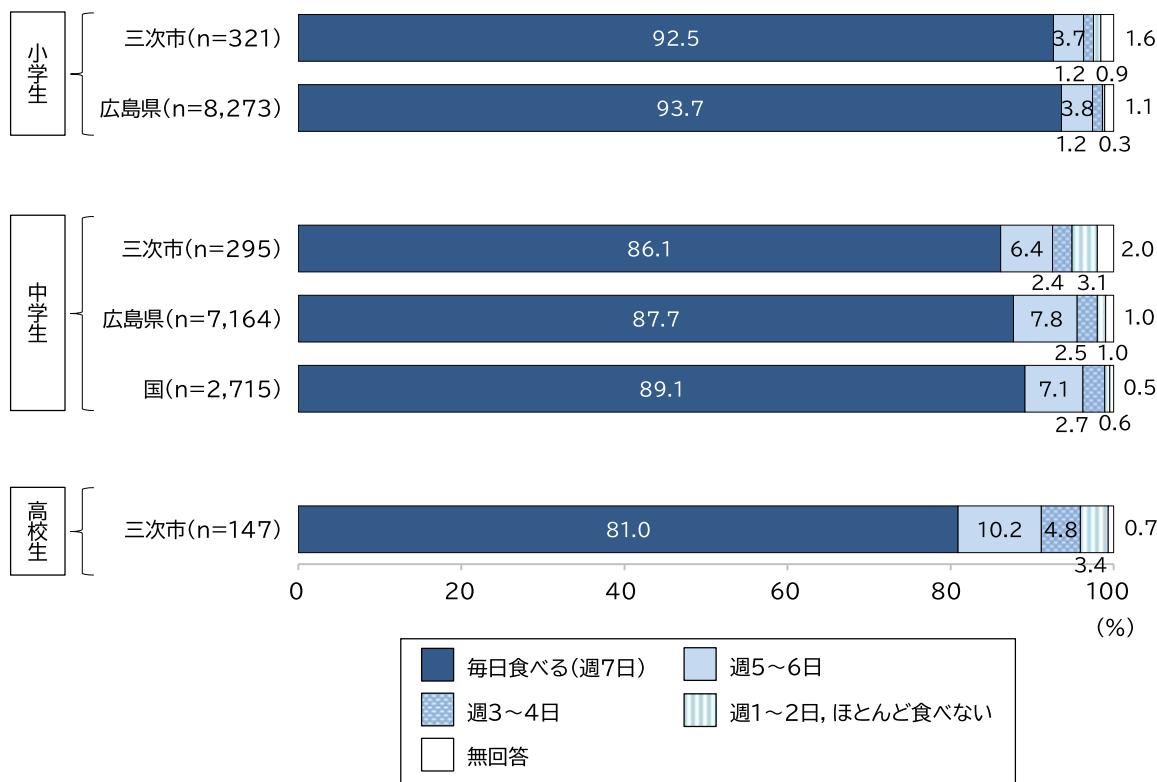


等価世帯収入の水準別にみると、「毎日食べる(週7日)」は、「中央値以上」では 97.1%, 「中央値の2分の1以上中央値未満」では 95.6%, 「中央値の2分の1未満」では 78.6% となっている。

世帯の状況別にみると、「毎日食べる(週7日)」は、「ふたり親世帯」では 96.5%, 「ひとり親世帯全体」では 83.3%, 「母子世帯のみ」では 85.7% となっている。

= 夏休みや冬休みなどの期間の昼食 =

【全体】

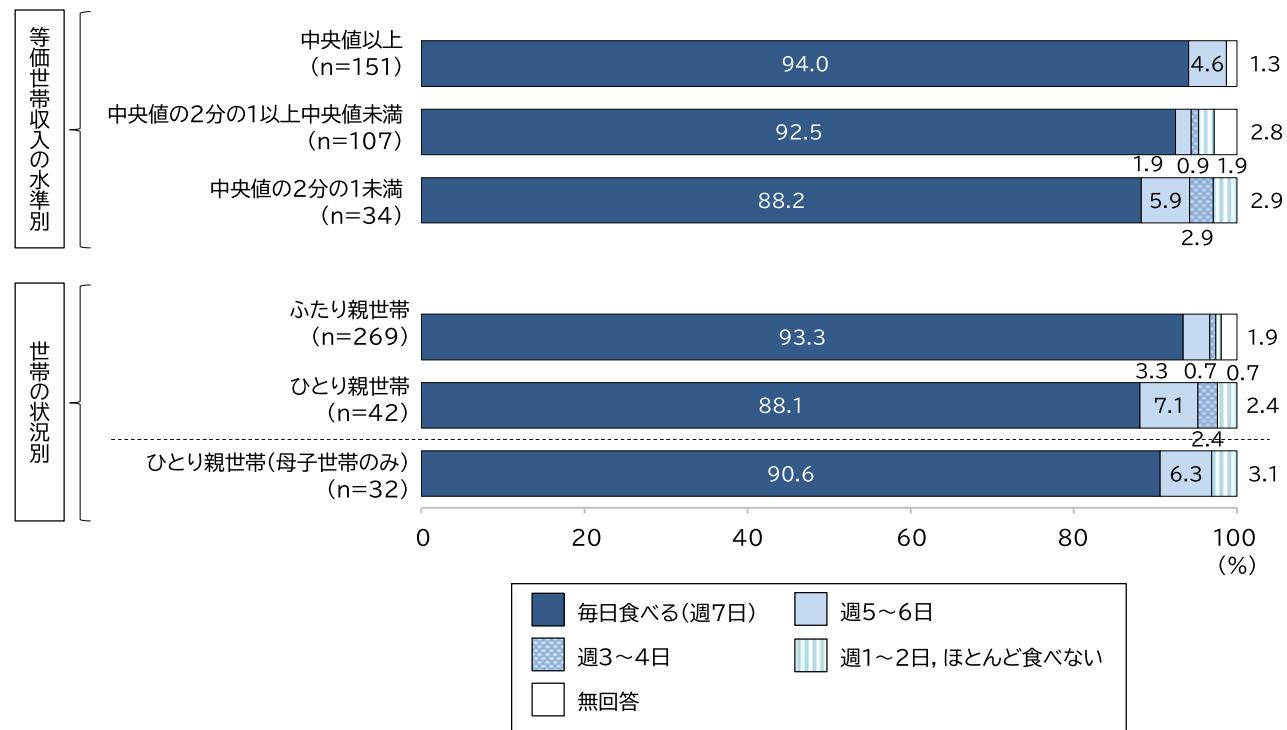


夏休みや冬休みなどの期間の昼食について、小学生では、「毎日食べる(週7日)」が 92.5%, 「週5~6日」が 3.7%, 「週3~4日」が 1.2%, 「週1~2日, ほとんど食べない」が 0.9%となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。

中学生では、「毎日食べる(週7日)」が 86.1%, 「週5~6日」が 6.4%, 「週3~4日」が 2.4%, 「週1~2日, ほとんど食べない」が 3.1%となっている。広島県、国と比較すると、大きな差はみられない。

高校生では、「毎日食べる(週7日)」が 81.0%, 「週5~6日」が 10.2%, 「週3~4日」が 4.8%, 「週1~2日, ほとんど食べない」が 3.4%となっている。

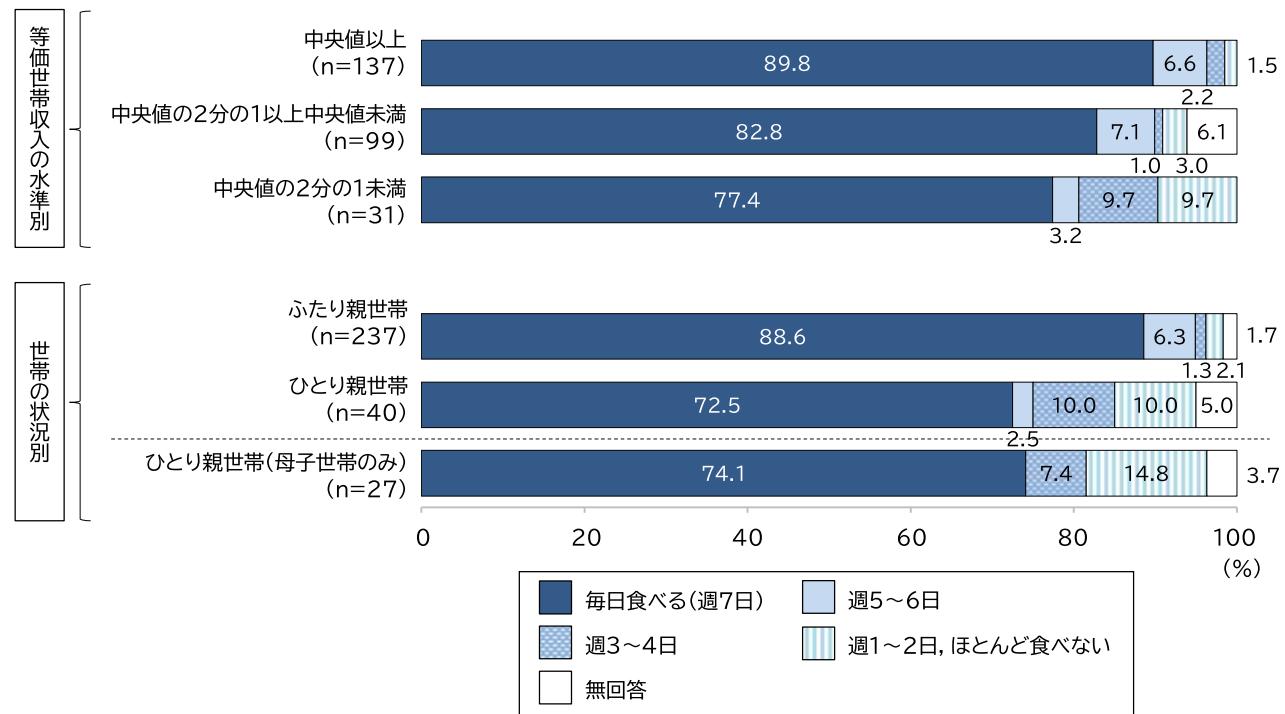
## 【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別\_小学生】



等価世帯収入の水準別にみると、「毎日食べる(週7日)」は、「中央値以上」では 94.0%, 「中央値の2分の1以上中央値未満」では 92.5%, 「中央値の2分の1未満」では 88.2% となっている。

世帯の状況別にみると、「毎日食べる(週7日)」は、「ふたり親世帯」では 93.3%, 「ひとり親世帯全体」では 88.1%, 「母子世帯のみ」では 90.6% となっている。

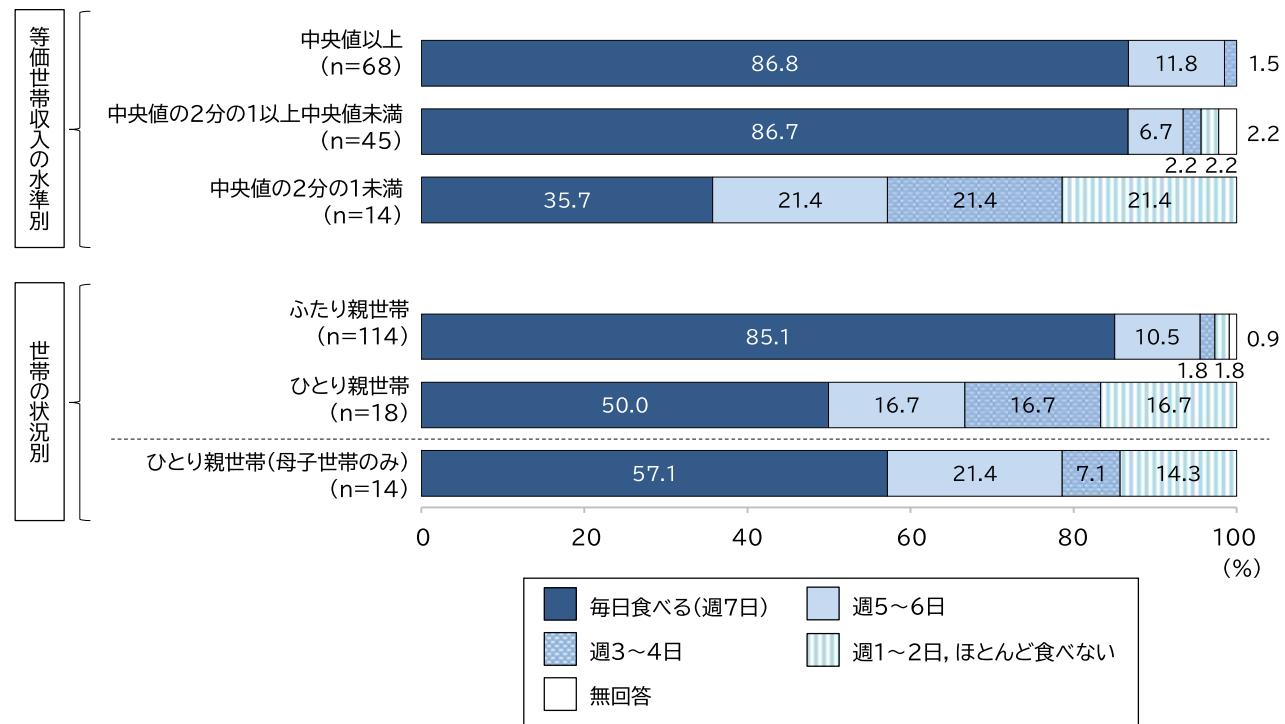
## 【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別\_中学生】



等価世帯収入の水準別にみると、「毎日食べる(週7日)」は、「中央値以上」では 89.8%, 「中央値の2分の1以上中央値未満」では 82.8%, 「中央値の2分の1未満」では 77.4% となっている。

世帯の状況別にみると、「毎日食べる(週7日)」は、「ふたり親世帯」では 88.6%, 「ひとり親世帯全体」では 72.5%, 「母子世帯のみ」では 74.1% となっている。

## 【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別\_高校生】

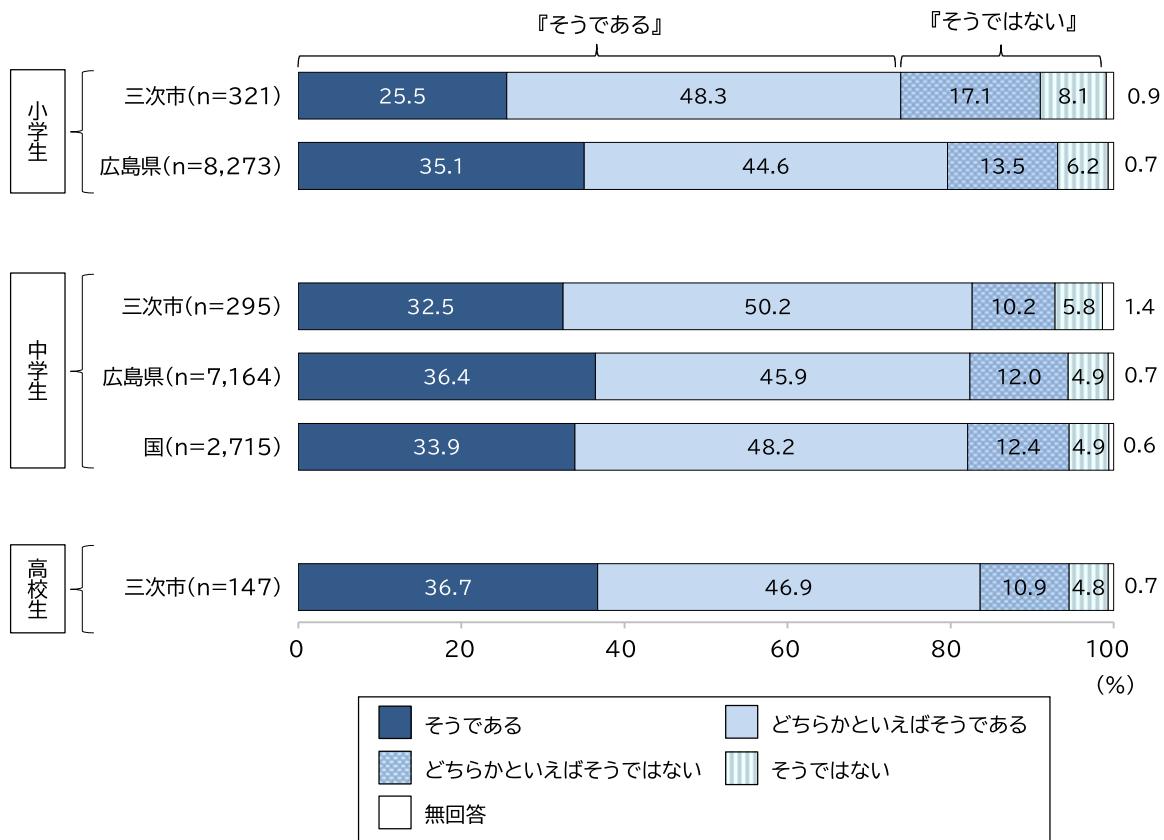


等価世帯収入の水準別にみると、「毎日食べる(週7日)」は、「中央値以上」では 86.8%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では 86.7%、「中央値の2分の1未満」では 35.7%となっている。

世帯の状況別にみると、「毎日食べる(週7日)」は、「ふたり親世帯」では 85.1%、「ひとり親世帯全体」では 50.0%、「母子世帯のみ」では 57.1%となっている。

## 子ども票問 12. あなたは、ふだん(月曜日～金曜日)、ほぼ同じ時間に寝ていますか。(SA)

【全体】

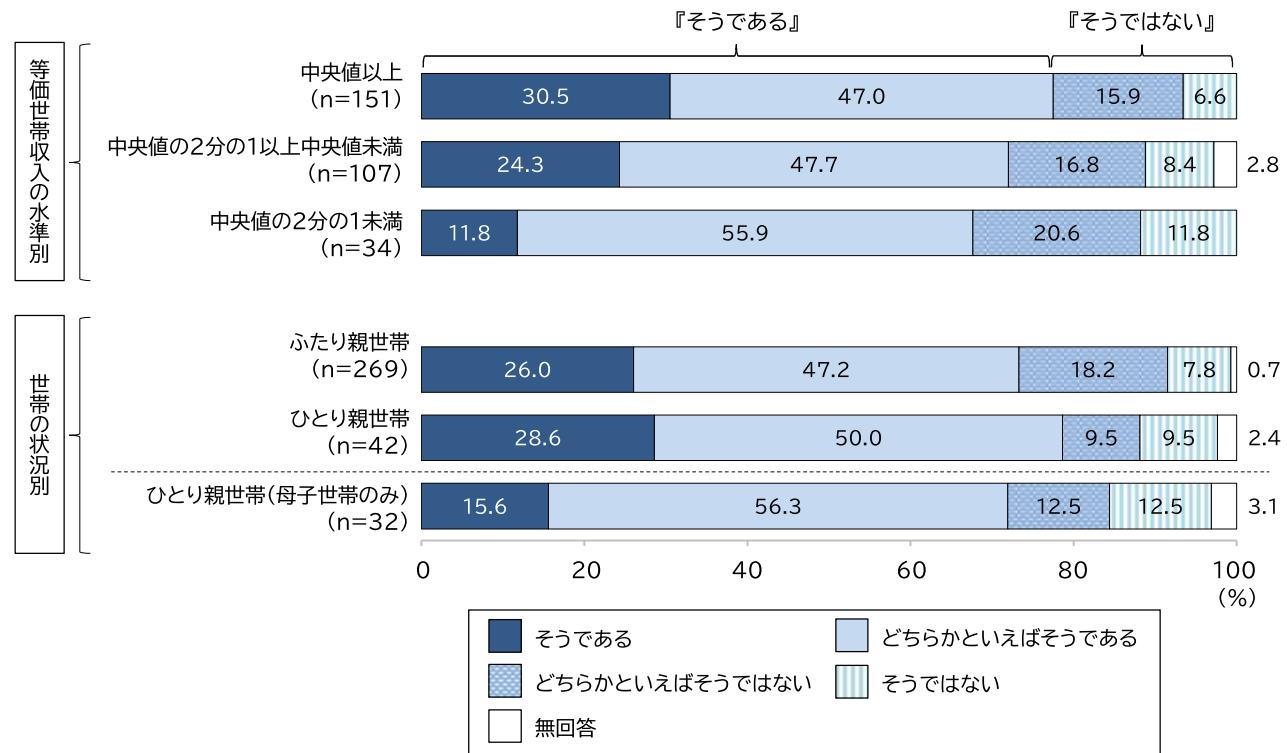


就寝時間に関してほぼ同じ時間に寝ているかについて、小学生では、『そうである』(「そうである」と「どちらかといえばそうである」を合わせた割合)が 73.8%、『そうではない』(「どちらかといえばそうではない」と「そうではない」を合わせた割合)が 25.2%となっている。広島県と比較すると、『そうである』は三次市(73.8%)が広島県(79.7%)を 5.9 ポイント下回っている。

中学生では、『そうである』が 82.7%、『そうではない』が 16.0% となっている。広島県、国と比較すると、どちらとも大きな差はみられない。

高校生では、『そうである』が 83.6%、『そうではない』が 15.7% となっている。

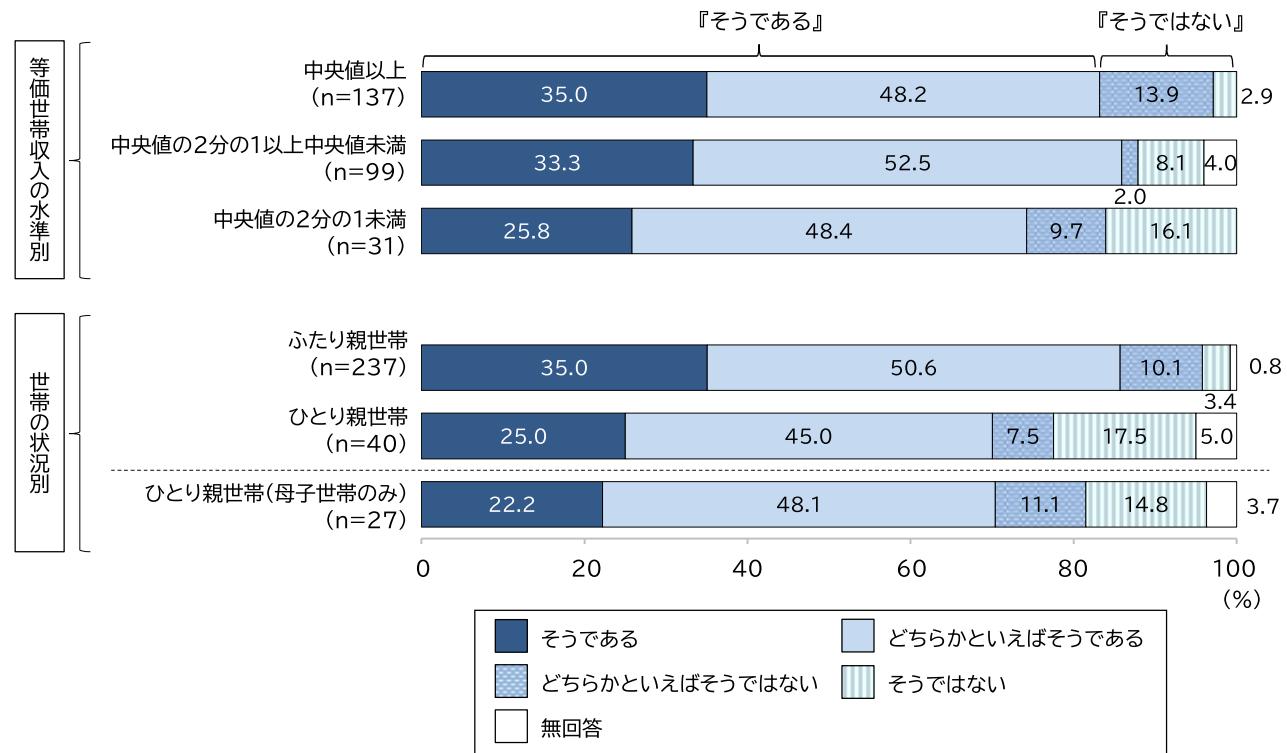
## 【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別\_小学生】



等価世帯収入の水準別にみると、『そうである』は、「中央値以上」では 77.5%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では 72.0%、「中央値の2分の1未満」では 67.7%となっている。

世帯の状況別にみると、『そうである』は、「ふたり親世帯」では 73.2%、「ひとり親世帯全体」では 78.6%、「母子世帯のみ」では 71.9%となっている。

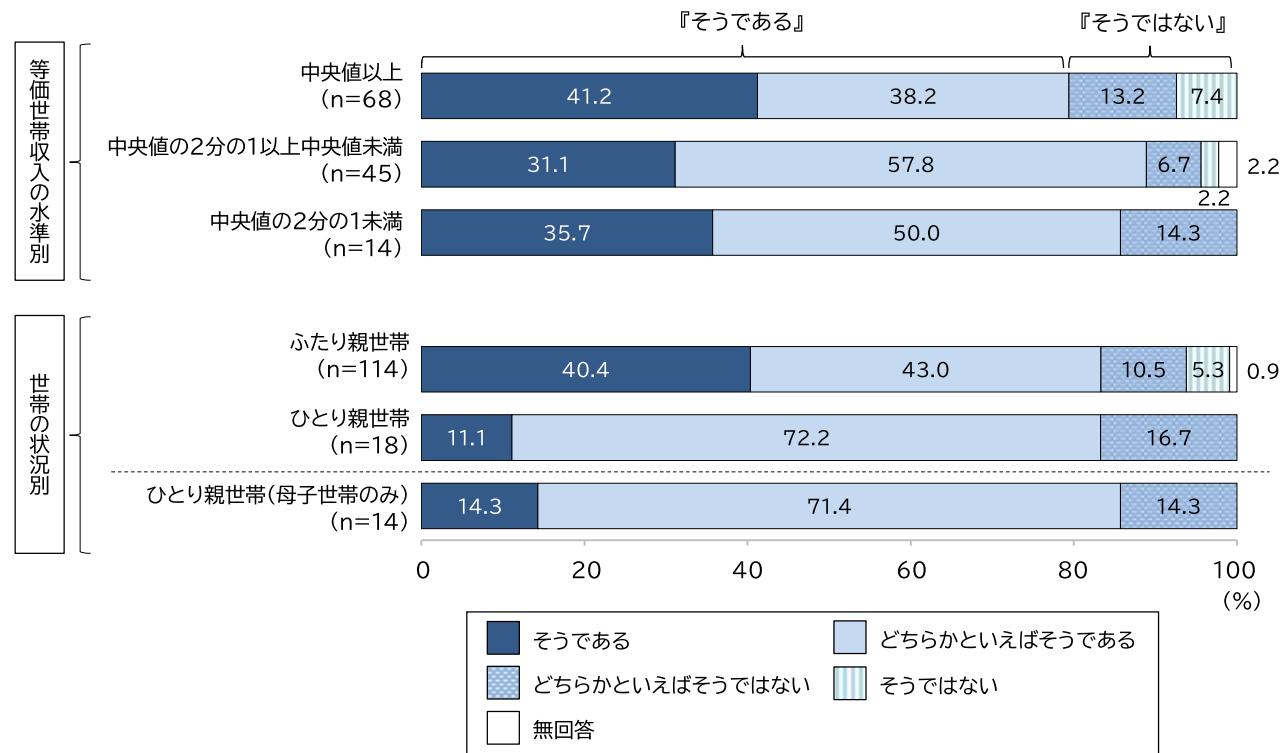
## 【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別\_中学生】



等価世帯収入の水準別にみると、『そうである』は、「中央値以上」では 83.2%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では 85.8%、「中央値の2分の1未満」では 74.2%となっている。

世帯の状況別にみると、『そうである』は、「ふたり親世帯」では 85.6%、「ひとり親世帯全体」では 70.0%、「母子世帯のみ」では 70.3%となっている。

## 【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別\_高校生】



等価世帯収入の水準別にみると、『そうである』は、「中央値以上」では 79.4%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では 88.9%、「中央値の2分の1未満」では 85.7%となっている。

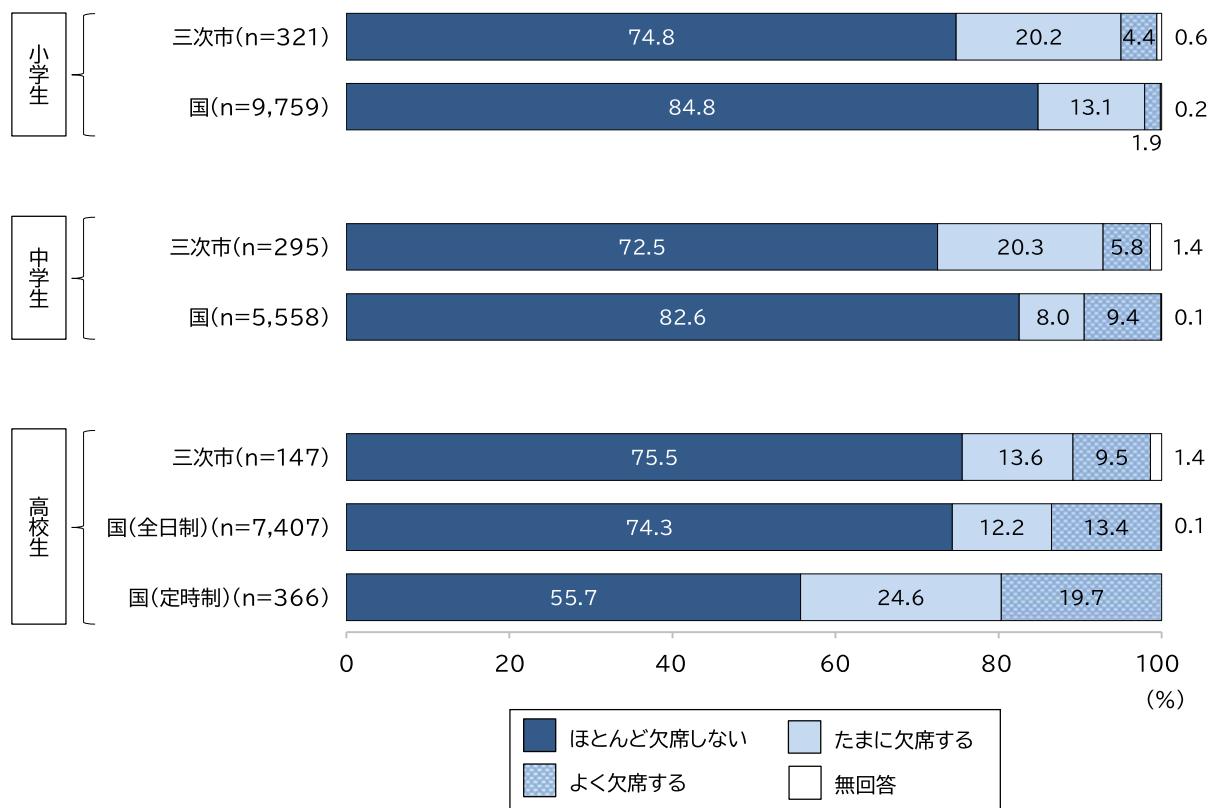
世帯の状況別にみると、『そうである』は、「ふたり親世帯」では 83.4%、「ひとり親世帯全体」では 83.3%、「母子世帯のみ」では 85.7%となっている。

## (5)学校生活の状況

子ども票問 13. 学校への通学状況などについて教えてください。(SA)

= 出席状況 =

【全体】

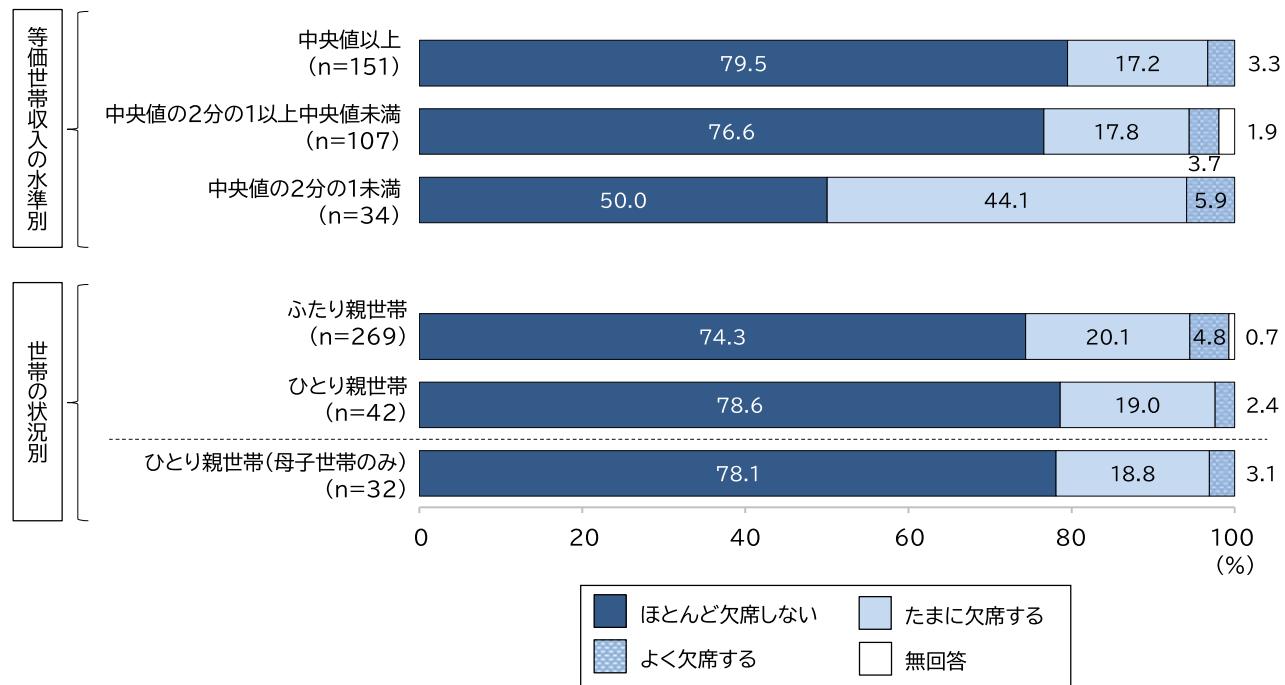


学校の出席状況について、小学生では、「ほとんど欠席しない」が 74.8%、「たまに欠席する」が 20.2%、「よく欠席する」が 4.4%となっている。国と比較すると、「ほとんど欠席しない」は、三次市(74.8%)が国(84.8%)を 10.0 ポイント下回っている。

中学生では、「ほとんど欠席しない」が 72.5%、「たまに欠席する」が 20.3%、「よく欠席する」が 5.8% となっている。国と比較すると、「ほとんど欠席しない」は、三次市(72.5%)が国(82.6%)を 10.1 ポイント下回っている。

高校生では、「ほとんど欠席しない」が 75.5%、「たまに欠席する」が 13.6%、「よく欠席する」が 9.5% となっている。国(全日制)と比較すると、大きな差はみられない。

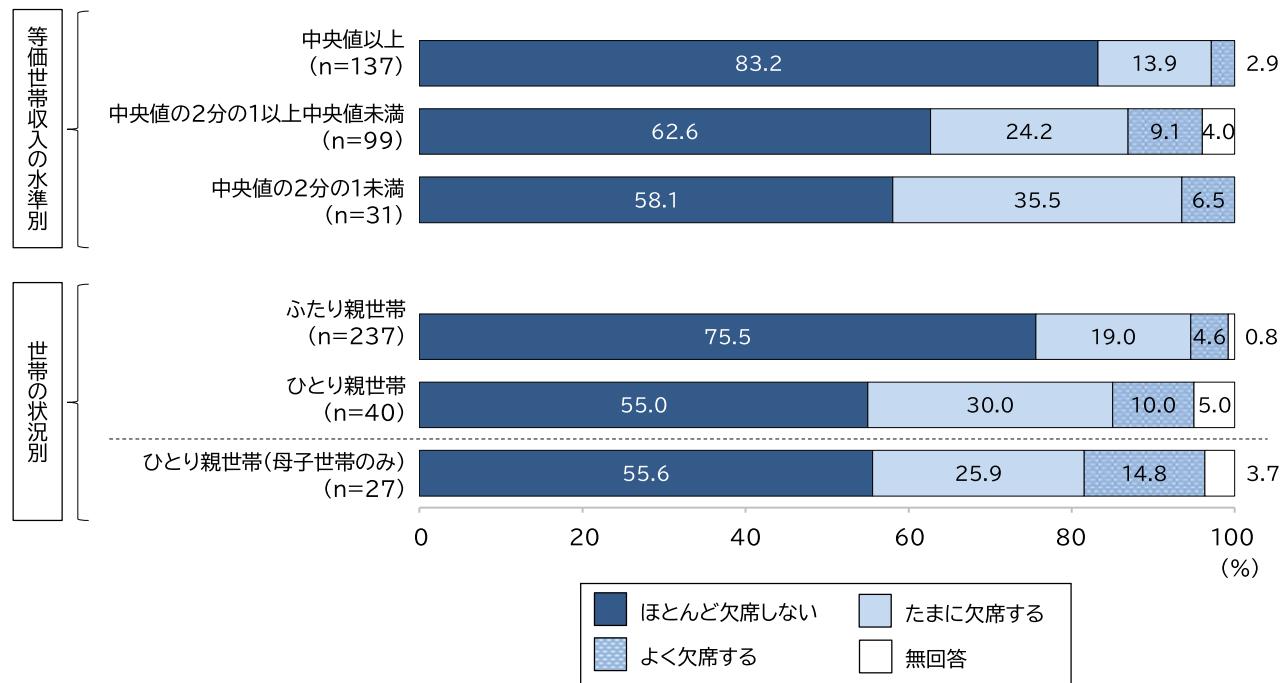
## 【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別\_小学生】



等価世帯収入の水準別にみると、「ほとんど欠席しない」は、「中央値以上」では 79.5%, 「中央値の2分の1以上中央値未満」では 76.6%, 「中央値の2分の1未満」では 50.0%となっている。

世帯の状況別にみると、「ほとんど欠席しない」は、「ふたり親世帯」では 74.3%, 「ひとり親世帯全体」では 78.6%, 「母子世帯のみ」では 78.1%となっている。

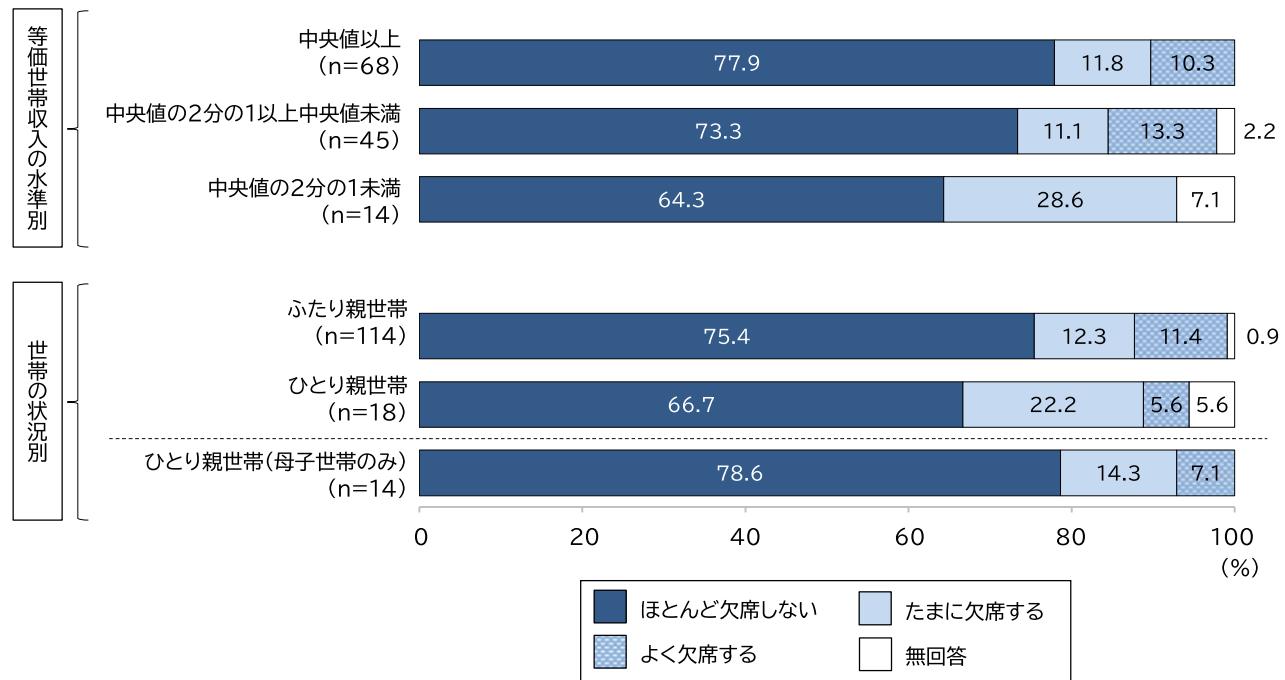
## 【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別\_中学生】



等価世帯収入の水準別にみると、「ほとんど欠席しない」は、「中央値以上」では 83.2%, 「中央値の2分の1以上中央値未満」では 62.6%, 「中央値の2分の1未満」では 58.1%となっている。

世帯の状況別にみると、「ほとんど欠席しない」は、「ふたり親世帯」では 75.5%, 「ひとり親世帯全体」では 55.0%, 「母子世帯のみ」では 55.6%となっている。

## 【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別\_高校生】

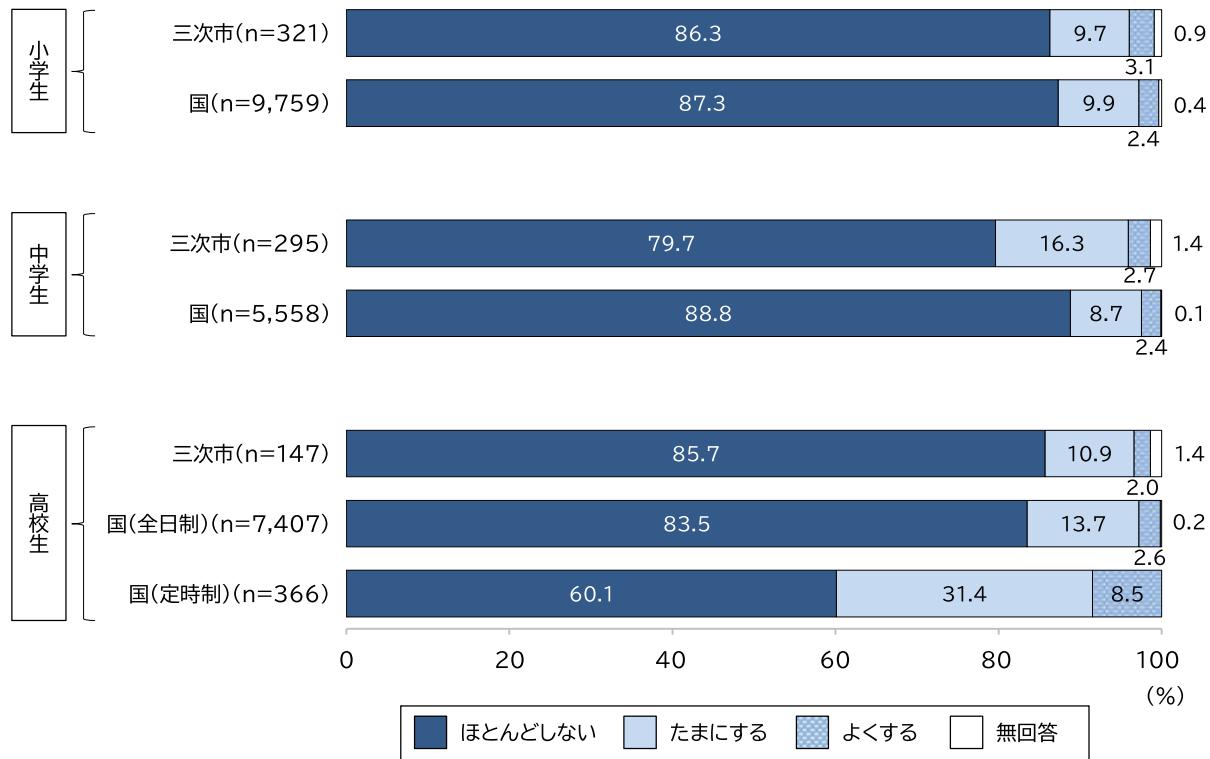


等価世帯収入の水準別にみると、「ほとんど欠席しない」は、「中央値以上」では 77.9%,「中央値の2分の1以上中央値未満」では 73.3%,「中央値の2分の1未満」では 64.3%となっている。

世帯の状況別にみると、「ほとんど欠席しない」は、「ふたり親世帯」では 75.4%,「ひとり親世帯全体」では 66.7%,「母子世帯のみ」では 78.6%となっている。

= 遅刻や早退の状況 =

【全体】

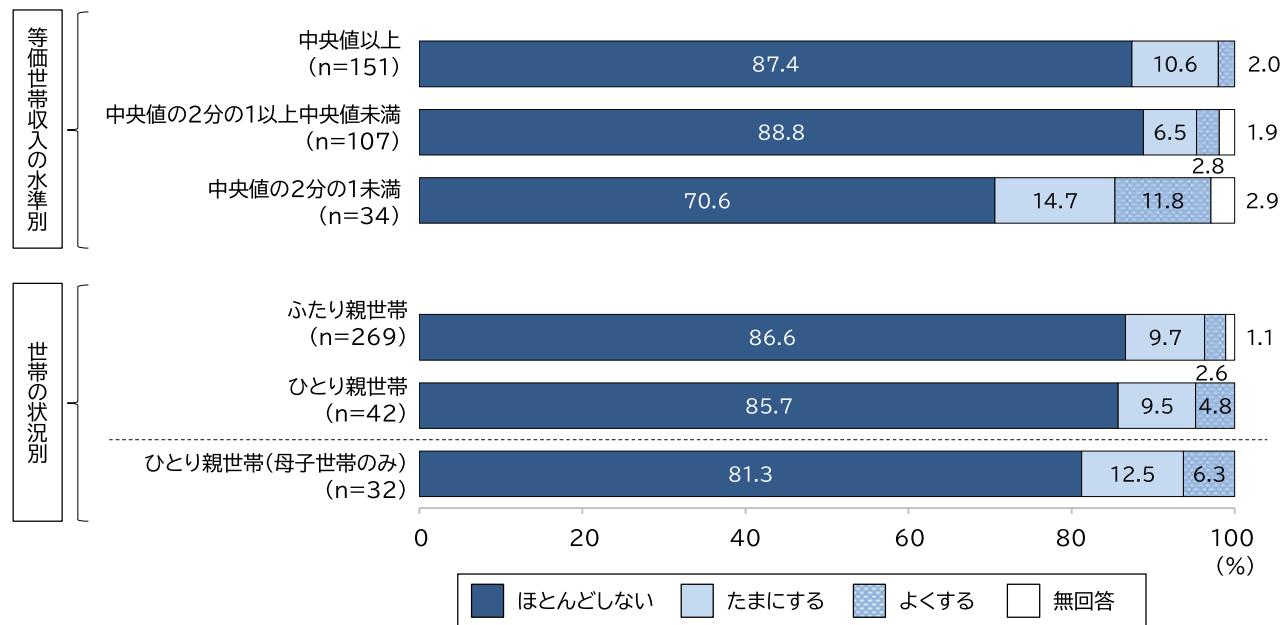


学校の遅刻や早退の状況について、小学生では、「ほとんどしない」が 86.3%,「たまにする」が 9.7%,「よくする」が 3.1%となっている。国と比較すると、大きな差はみられない。

中学生では、「ほとんどしない」が 79.7%,「たまにする」が 16.3%,「よくする」が 2.7%となっている。国と比較すると、「ほとんどしない」は、三次市(79.7%)が国(88.8%)を 9.1 ポイント下回っている。

高校生では、「ほとんどしない」が 85.7%,「たまにする」が 10.9%,「よくする」が 2.0%となっている。国(全日制)と比較すると、大きな差はみられない。

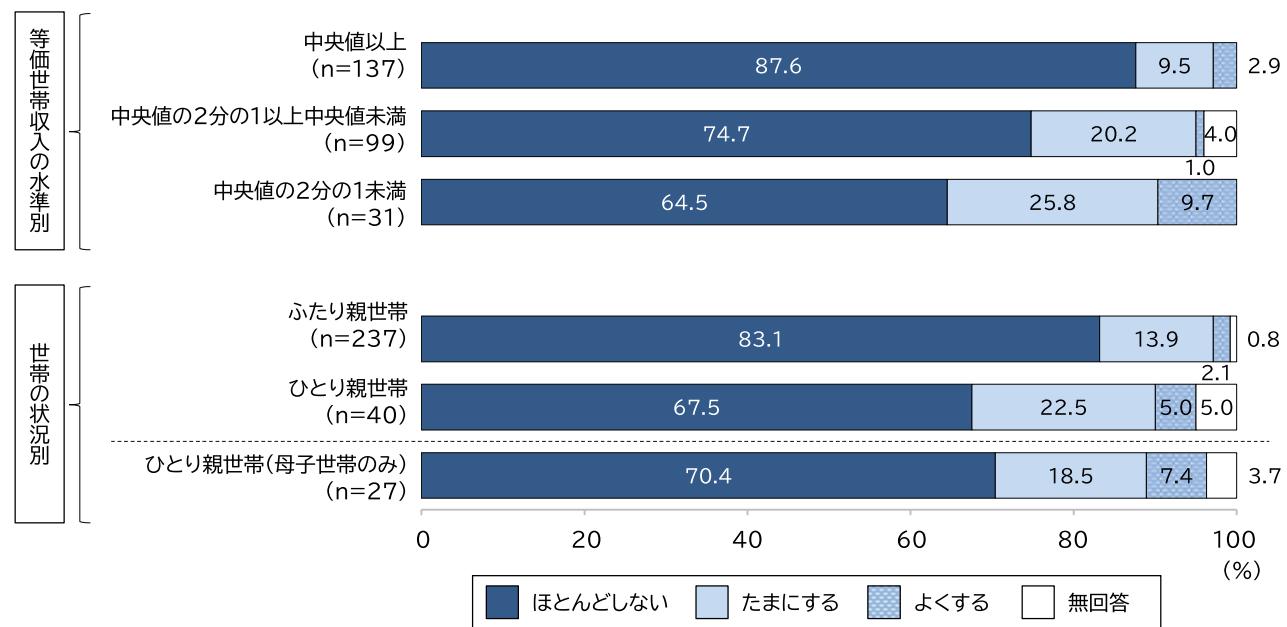
## 【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別\_小学生】



等価世帯収入の水準別にみると、「ほとんどしない」は、「中央値以上」では 87.4%,「中央値の2分の1以上中央値未満」では 88.8%,「中央値の2分の1未満」では 70.6%となっている。

世帯の状況別にみると、「ほとんどしない」は、「ふたり親世帯」では 86.6%,「ひとり親世帯全体」では 85.7%,「母子世帯のみ」では 81.3%となっている。

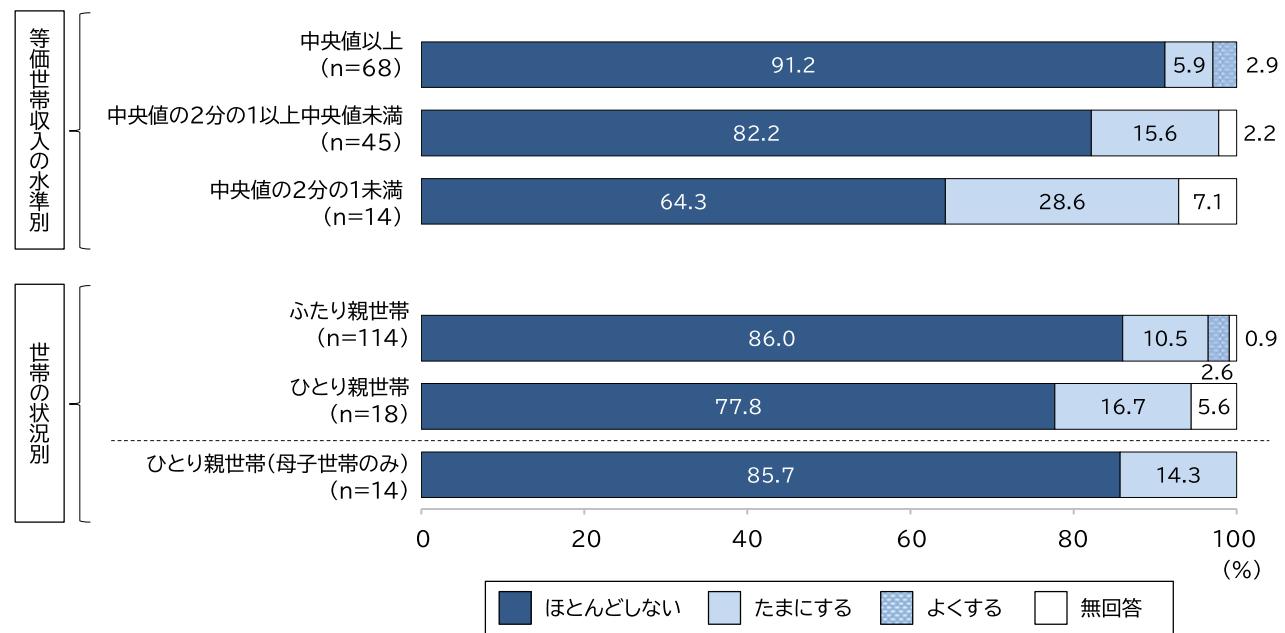
## 【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別\_中学生】



等価世帯収入の水準別にみると、「ほとんどしない」は、「中央値以上」では 87.6%,「中央値の2分の1以上中央値未満」では 74.7%,「中央値の2分の1未満」では 64.5%となっている。

世帯の状況別にみると、「ほとんどしない」は、「ふたり親世帯」では 83.1%,「ひとり親世帯全体」では 67.5%,「母子世帯のみ」では 70.4%となっている。

## 【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別\_高校生】

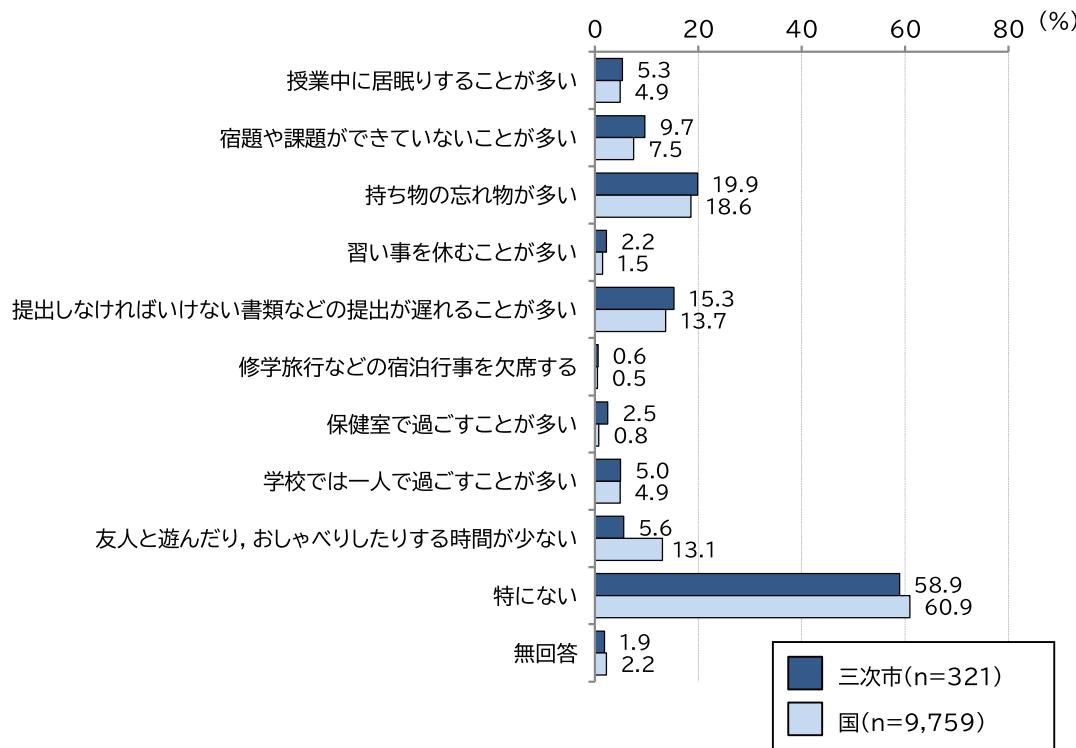


等価世帯収入の水準別にみると、「ほとんどしない」は、「中央値以上」では91.2%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では82.2%、「中央値の2分の1未満」では64.3%となっている。

世帯の状況別にみると、「ほとんどしない」は、「ふたり親世帯」では86.0%、「ひとり親世帯全体」では77.8%、「母子世帯のみ」では85.7%となっている。

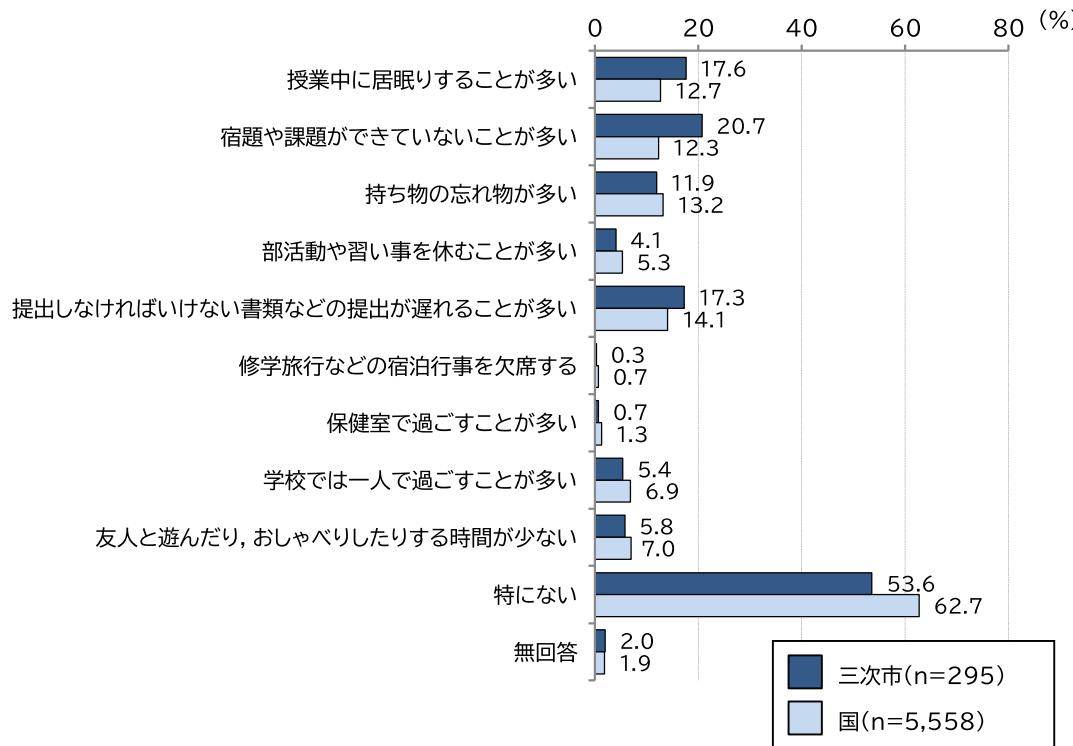
## 子ども票問 14. ふだんの学校生活などにおいて、以下の中であてはまるものはありますか。(MA)

【小学生】



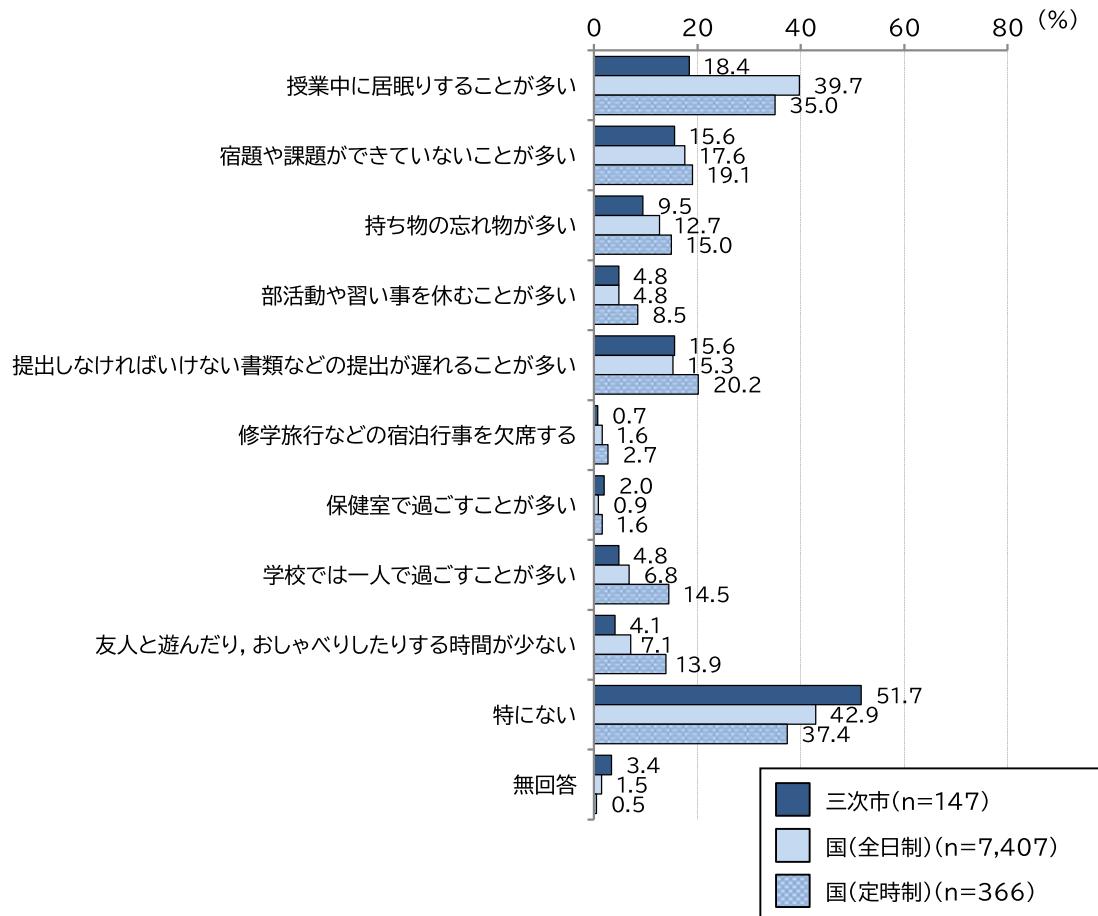
ふだんの学校生活について、小学生では、「持ち物の忘れ物が多い」が 19.9%と高く、次いで「提出しなければいけない書類などの提出が遅れることが多い」が 15.3%、「宿題や課題ができていないことが多い」が 9.7%などの順となっている。「特にない」は 58.9%と最も高くなっている。国と比較すると、「友人と遊んだり、おしゃべりしたりする時間が少ない」は三次市(5.6%)が国(13.1%)を 7.5 ポイント下回っている。

## 【中学生】



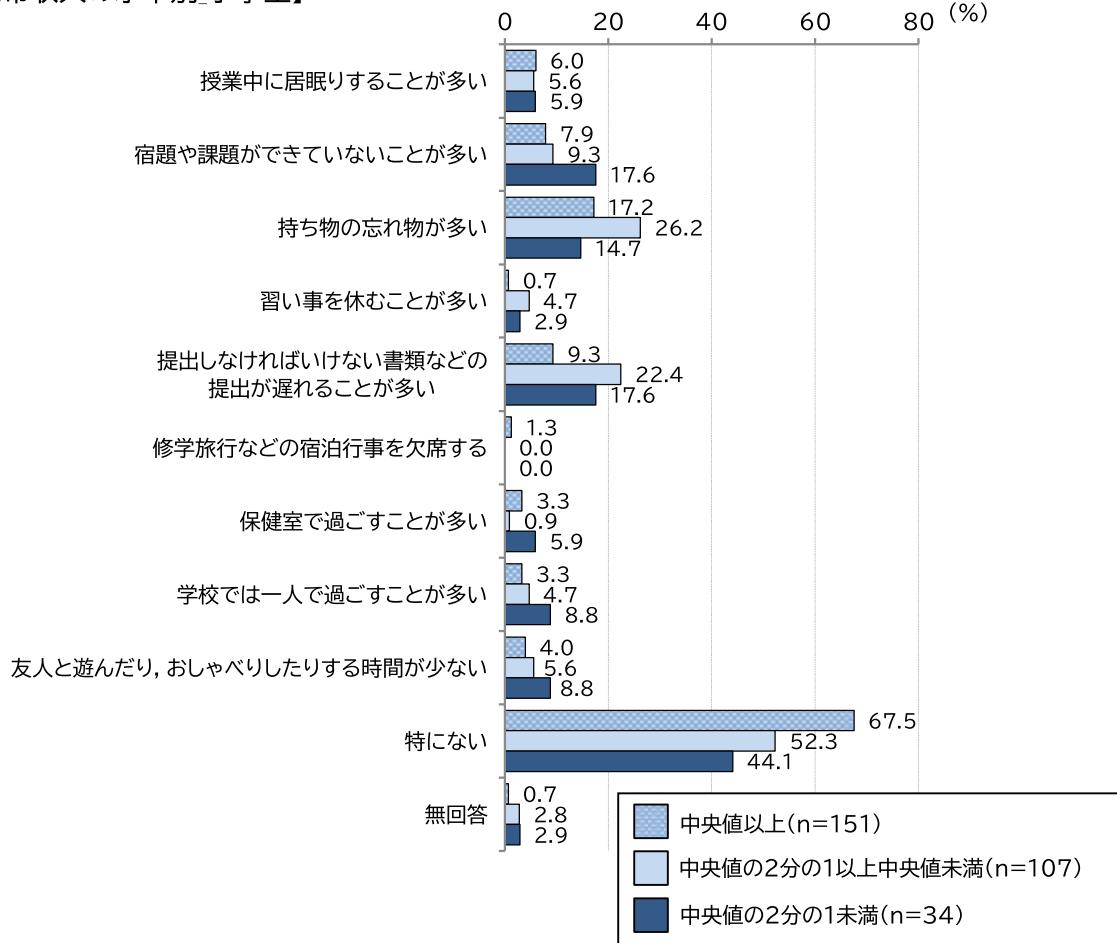
ふだんの学校生活、中学生では、「宿題や課題ができていないことが多い」が 20.7%と高く、次いで「授業中に居眠りすることが多い」が 17.6%、「提出しなければいけない書類などの提出が遅れることが多い」が 17.3%などの順となっている。「特ない」は 53.6%と最も高くなっている。国と比較すると、「宿題や課題ができていないことが多い」は三次市(20.7%)が国(12.3%)を 8.4 ポイント上回っている。

## 【高校生】



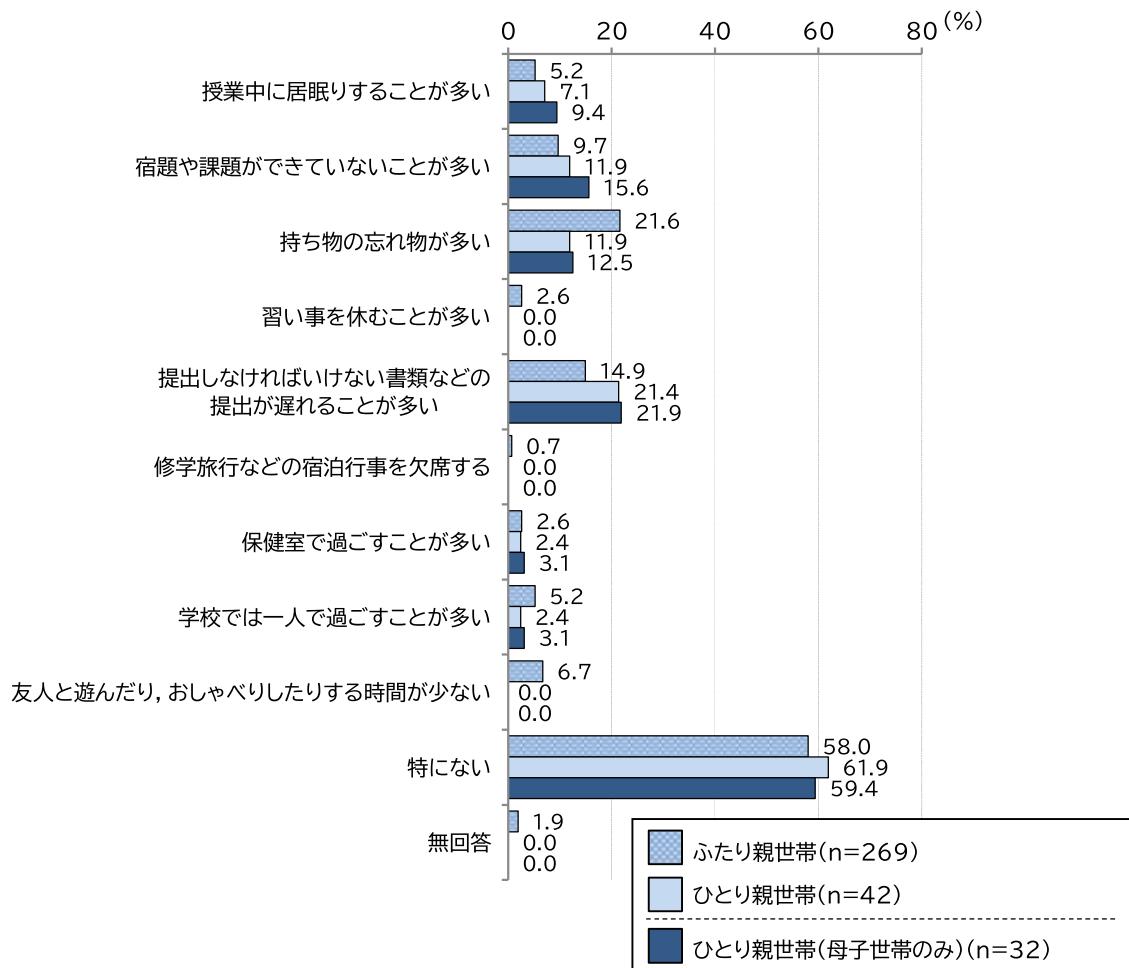
ふだんの学校生活について、高校生では、「授業中に居眠りすることが多い」が 18.4%と高く、次いで「宿題や課題ができていないことが多い」、「提出しなければいけない書類などの提出が遅れることが多い」がともに 15.6%などの順となっている。「特にない」は 51.7%と最も高くなっている。国(全日制)と比較すると、「授業中に居眠りすることが多い」は三次市(18.4%)が国(39.7%)を 21.3 ポイント下回っている。

## 【等価世帯収入の水準別\_小学生】



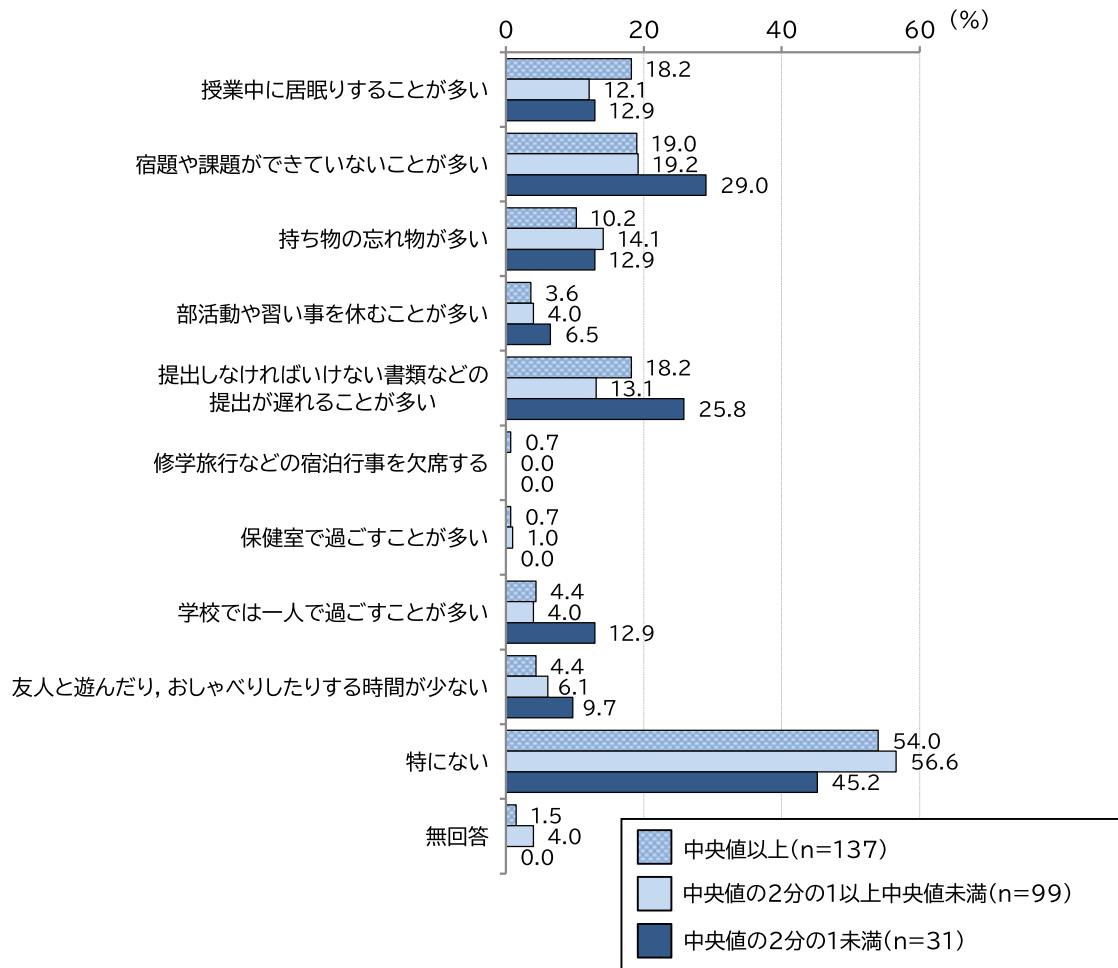
等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の2分の1未満」では、「宿題や課題ができていないことが多い」が17.6%となっており、他の世帯と比べて高くなっている。

## 【世帯の状況別\_小学生】



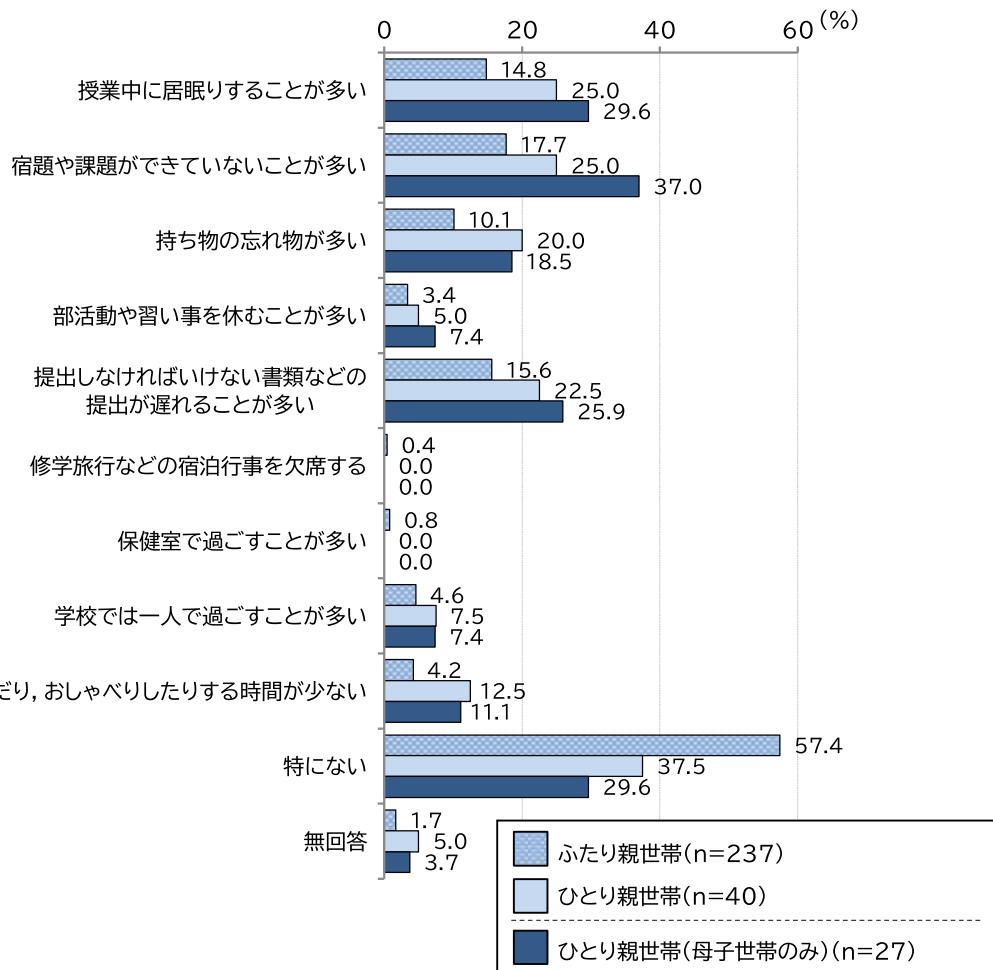
世帯の状況別にみると、「ひとり親世帯」では、「提出しなければいけない書類などの提出が遅れることが多い」が21.4%となっており、「ふたり親世帯」に比べて高くなっている。

## 【等価世帯収入の水準別\_中学生】



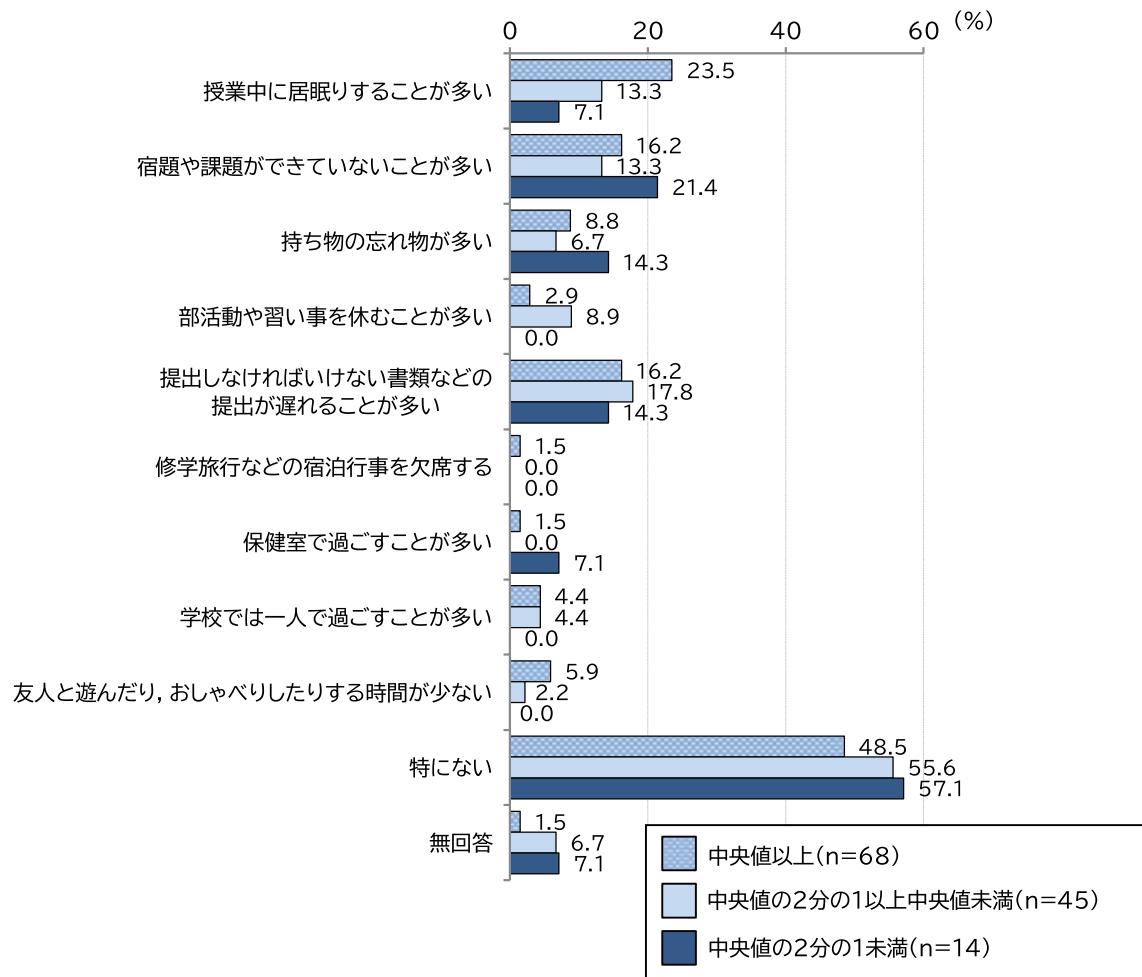
等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の2分の1未満」では、「宿題や課題ができていないことが多い」が 29.0%、「提出しなければいけない書類などの提出が遅れることが多い」が 25.8%、「学校では一人で過ごすことが多い」が 12.9%となっており、他の世帯と比べて高くなっている。

## 【世帯の状況別\_中学生】



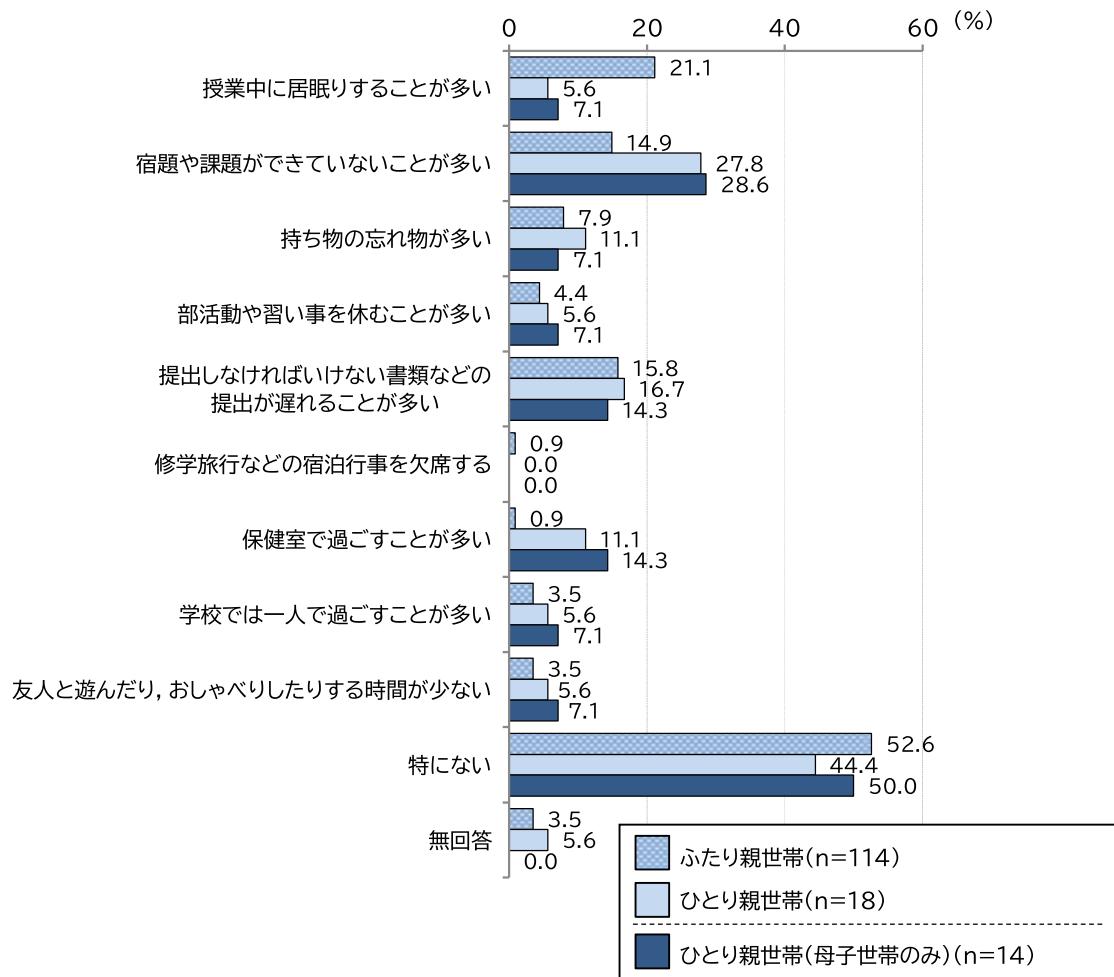
世帯の状況別にみると、「ひとり親世帯」では、「授業中に居眠りすることが多い」が 25.0%、「宿題や課題ができていないことが多い」が 25.0%、「持ち物の忘れ物が多い」が 20.0%、「提出しなければいけない書類などの提出が遅れることが多い」が 22.5%、「友人と遊んだり、おしゃべりしたりする時間が少ない」が 12.5%となっており、「ふたり親世帯」に比べて高くなっている。

## 【等価世帯収入の水準別\_高校生】



等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の2分の1未満」では、「宿題や課題ができていないことが多い」が 21.4%、「持ち物の忘れ物が多い」が 14.3%、「保健室で過ごすことが多い」が 7.1%となっており、他の世帯と比べて高くなっている。

## 【世帯の状況別\_高校生】



世帯の状況別にみると、「ひとり親世帯」では、「宿題や課題ができていないことが多い」が 27.8%、「保健室で過ごすことが多い」が 11.1%となっており、「ふたり親世帯」に比べて高くなっている。

## (6)ヤングケアラーの実態

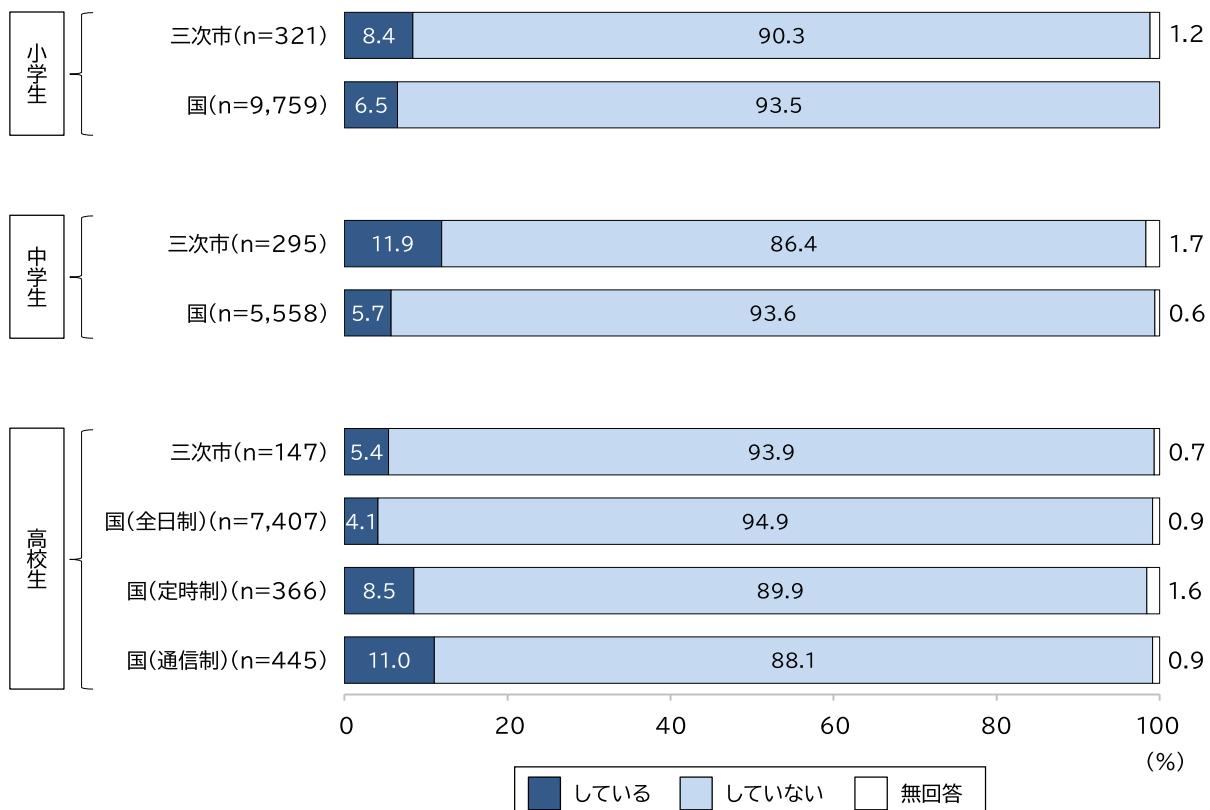
子ども票問 15. あなたは家族のお世話(※)をしていますか。(SA)

※ここで「お世話」とは本来大人がするとされている家事や家族の世話などをすることです。

「1 している」と答えた場合、お世話を必要としている人を教えてください。(MA)

= お世話の実施状況 =

【全体】

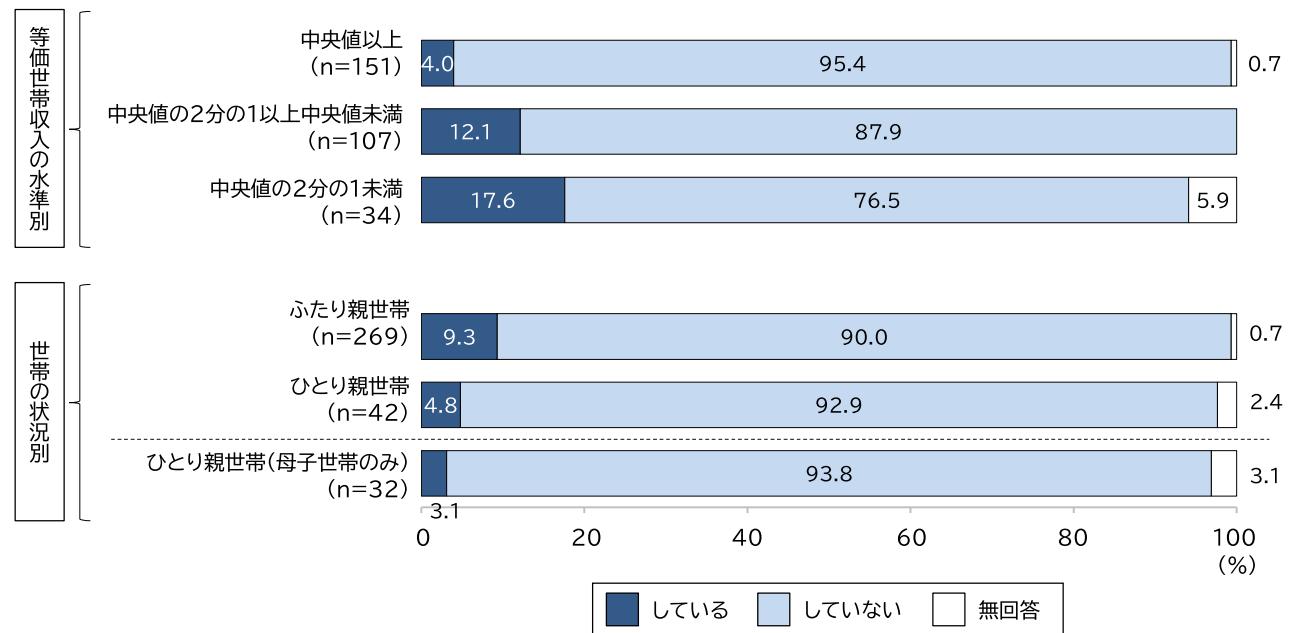


お世話の実施状況について、小学生では、「している」が 8.4%、「していない」が 90.3%となっている。国と比較すると、大きな差はみられない。

中学生では、「している」が 11.9%、「していない」が 86.4%となっている。国と比較すると、「している」は、三次市(11.9%)が国(5.7%)を 6.2 ポイント上回っている。

高校生では、「している」が 5.4%、「していない」が 93.9%となっている。国(全日制)と比較すると、大きな差はみられない。

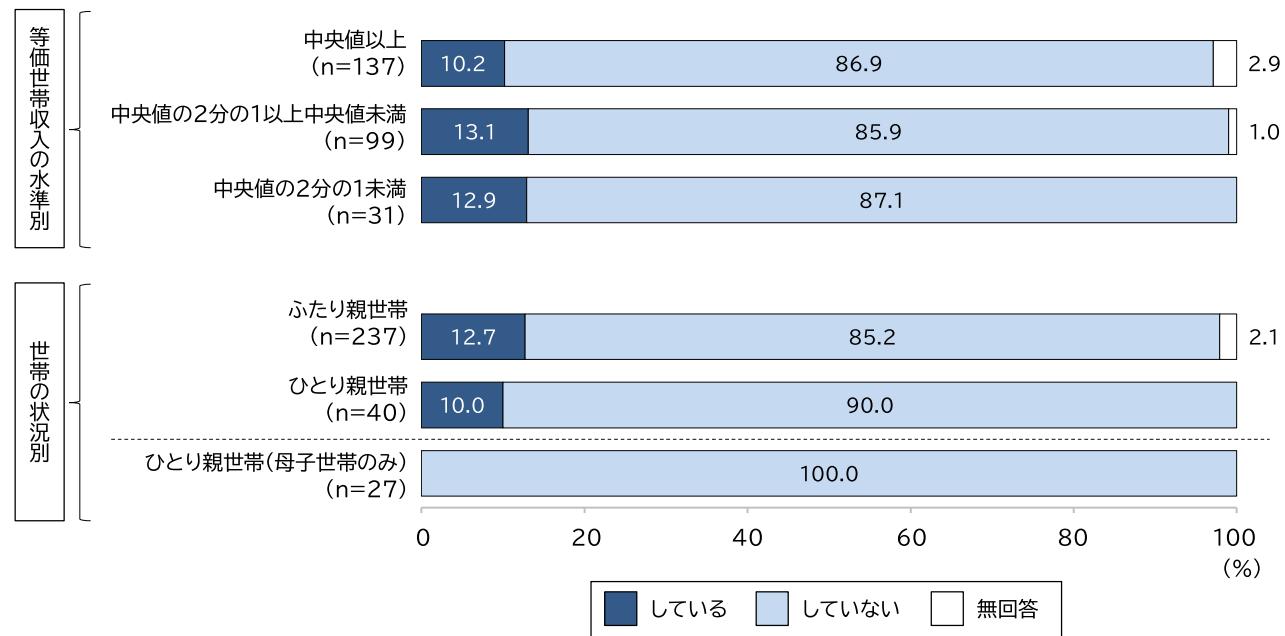
## 【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別\_小学生】



等価世帯収入の水準別にみると、「している」は、「中央値以上」では 4.0%, 「中央値の2分の1以上中央値未満」では 12.1%, 「中央値の2分の1未満」では 17.6% となっている。

世帯の状況別にみると、「している」は、「ふたり親世帯」では 9.3%, 「ひとり親世帯全体」では 4.8%, 「母子世帯のみ」では 3.1% となっている。

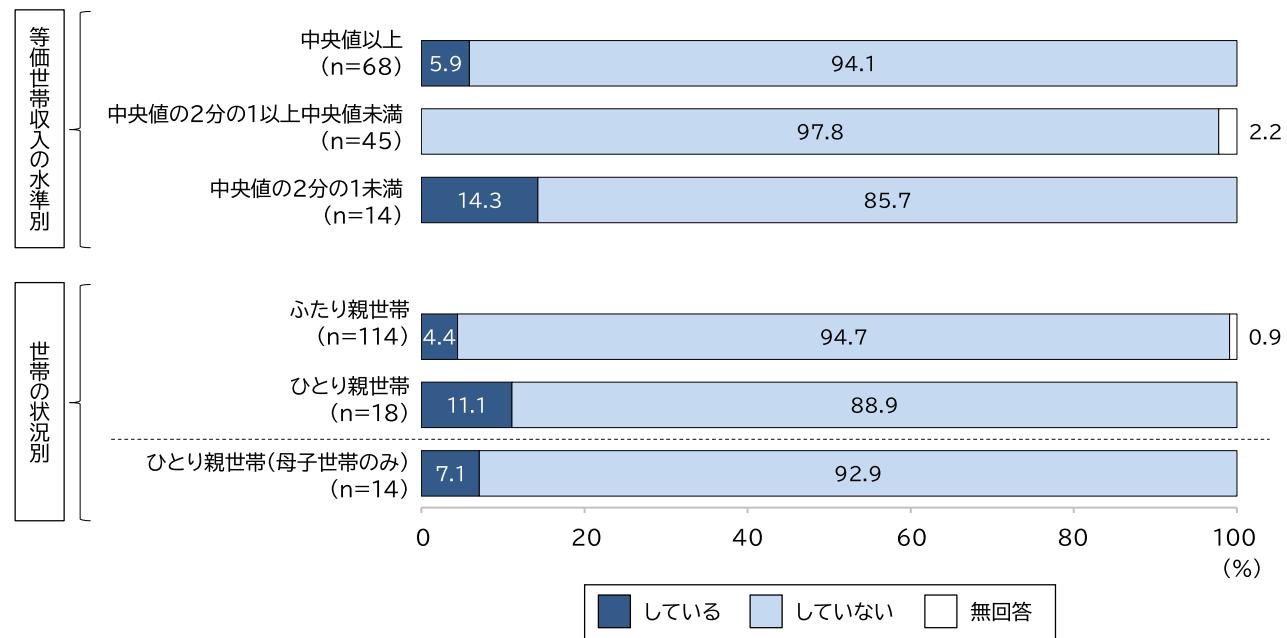
## 【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別\_中学生】



等価世帯収入の水準別にみると、「している」は、「中央値以上」では 10.2%,「中央値の2分の1以上中央値未満」では 13.1%,「中央値の2分の1未満」では 12.9%となっている。

世帯の状況別にみると、「している」は、「ふたり親世帯」では 12.7%,「ひとり親世帯全体」では 10.0%,「母子世帯のみ」では 0.0%となっている。

## 【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別\_高校生】

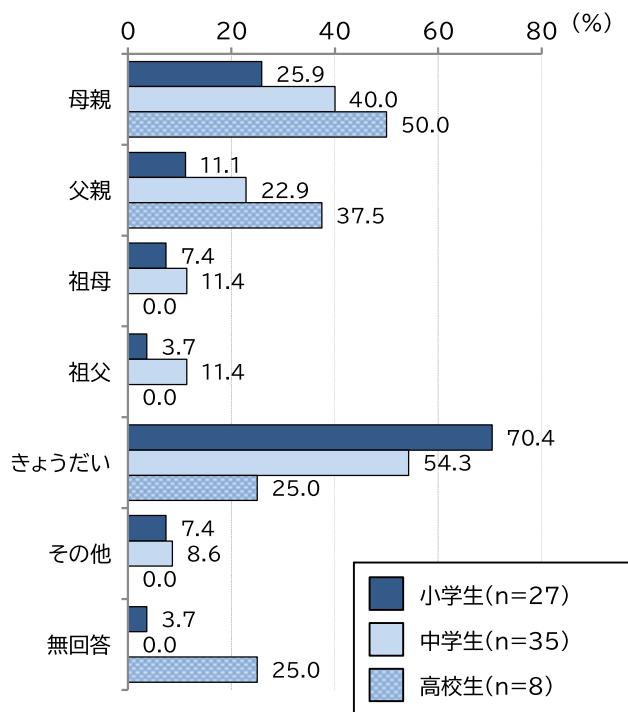


等価世帯収入の水準別にみると、「している」は、「中央値以上」では 5.9%, 「中央値の2分の1以上中央値未満」では 0.0%, 「中央値の2分の1未満」では 14.3% となっている。

世帯の状況別にみると、「している」は、「ふたり親世帯」では 4.4%, 「ひとり親世帯全体」では 11.1%, 「母子世帯のみ」では 7.1% となっている。

= お世話を必要としている人 =

【全体】



お世話を必要としている人について、小学生では、「きょうだい」が 70.4%と最も高く、次いで、「母親」(25.9%), 「父親」(11.1%)などの順となっている。

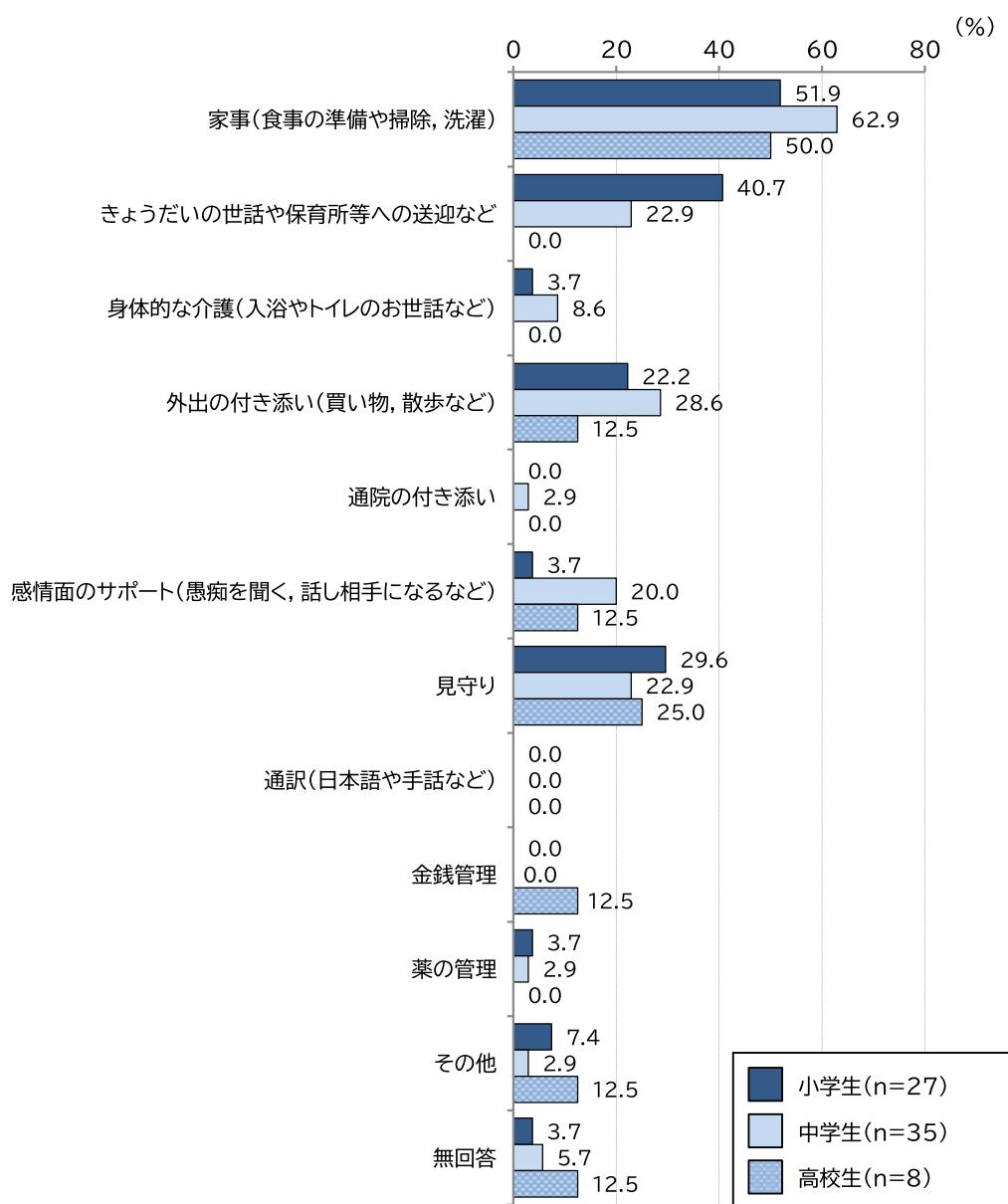
中学生では、「きょうだい」が 54.3%と最も高く、次いで、「母親」(40.0%), 「父親」(22.9%)などの順となっている。

高校生では、「母親」が 50.0%と最も高く、次いで、「父親」(37.5%), 「きょうだい」(25.0%)などの順となっている。

※問15で「1 している」と答えた方に

子ども票問16. あなたが行っているお世話の内容を教えてください。(MA)

【全体】



お世話の内容について、小学生では、「家事(食事の準備や掃除、洗濯)」が 51.9%と最も高く、次いで、「きょうだいの世話や保育所等への送迎など」(40.7%), 「見守り」(29.6%)などの順となっている。

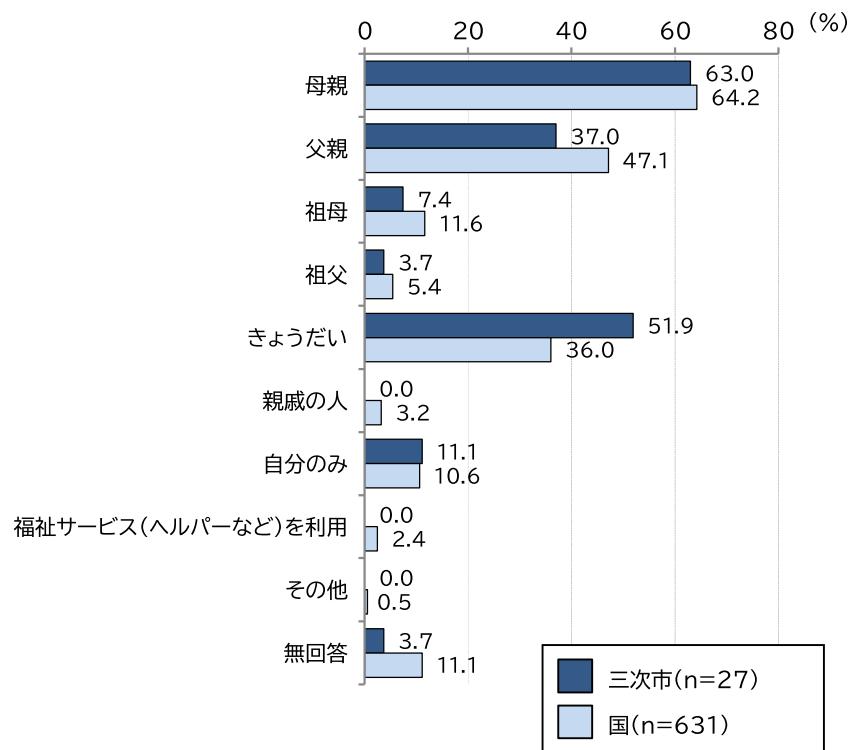
中学生では、「家事(食事の準備や掃除、洗濯)」が 62.9%と最も高く、次いで、「外出の付き添い(買い物、散歩など)」(28.6%), 「きょうだいの世話や保育所等への送迎など」、「見守り」(ともに 22.9%)などの順となっている。

高校生では、「家事(食事の準備や掃除、洗濯)」が 50.0%と最も高く、次いで、「見守り」(25.0%)などの順となっている。

※問15で「1 している」と答えた方に

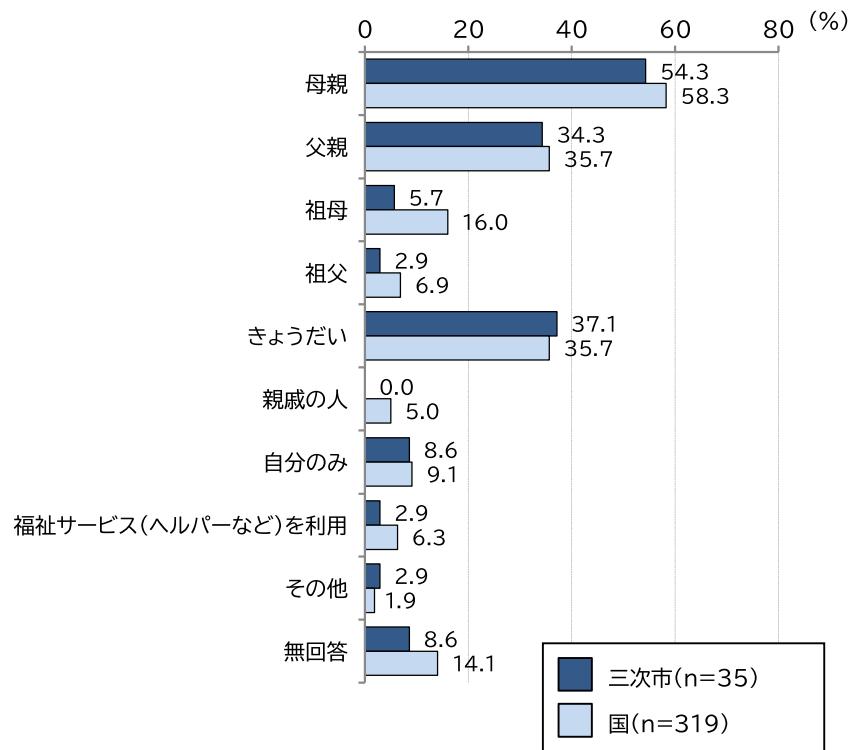
子ども票問17. お世話は誰と行っていますか。(MA)

【小学生】



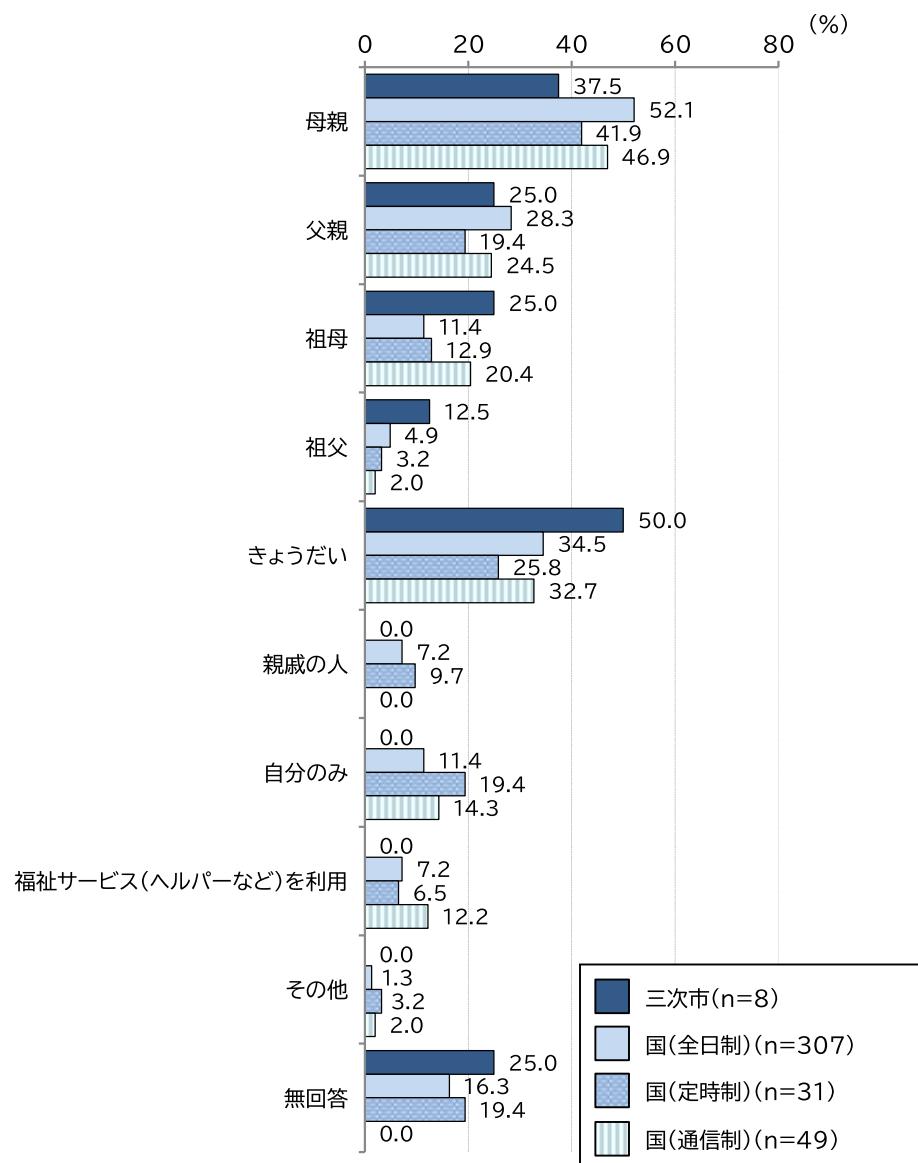
一緒にお世話をしている人について、小学生では、「母親」が 63.0%と最も高く、次いで、「きょうだい」(51.9%)、「父親」(37.0%)などの順となっている。国と比較すると、「自分のみ」は大きな差はみられない。

## 【中学生】



中学生では、「母親」が 54.3%と最も高く、次いで、「きょうだい」(37.1%)、「父親」(34.3%)などの順となっている。国と比較すると、「自分のみ」は大きな差はみられない。

## 【高校生】

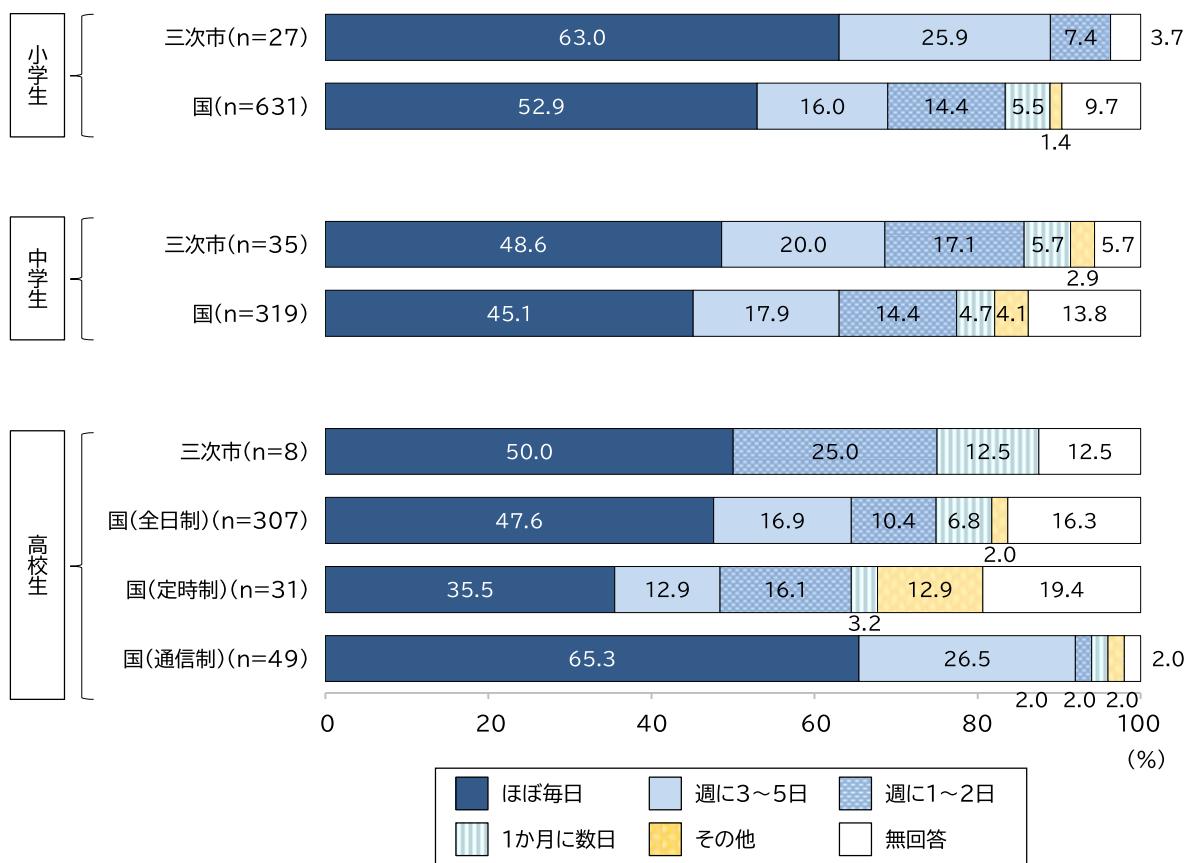


高校生では、「きょうだい」が 50.0%と最も高く、次いで、「母親」(37.5%),「父親」、「祖母」(ともに 25.0%)などの順となっている。

※問15で「1 している」と答えた方に

子ども票問18. お世話をしている頻度を教えてください。(SA)

【全体】



お世話の頻度について、小学生では、「ほぼ毎日」が 63.0%、「週に3~5日」が 25.9%、「週に1~2日」が 7.4%、「1か月に数日」が 0.0%となっている。国と比較すると、「ほぼ毎日」は、三次市(63.0%)が国(52.9%)を 10.1 ポイント上回っている。

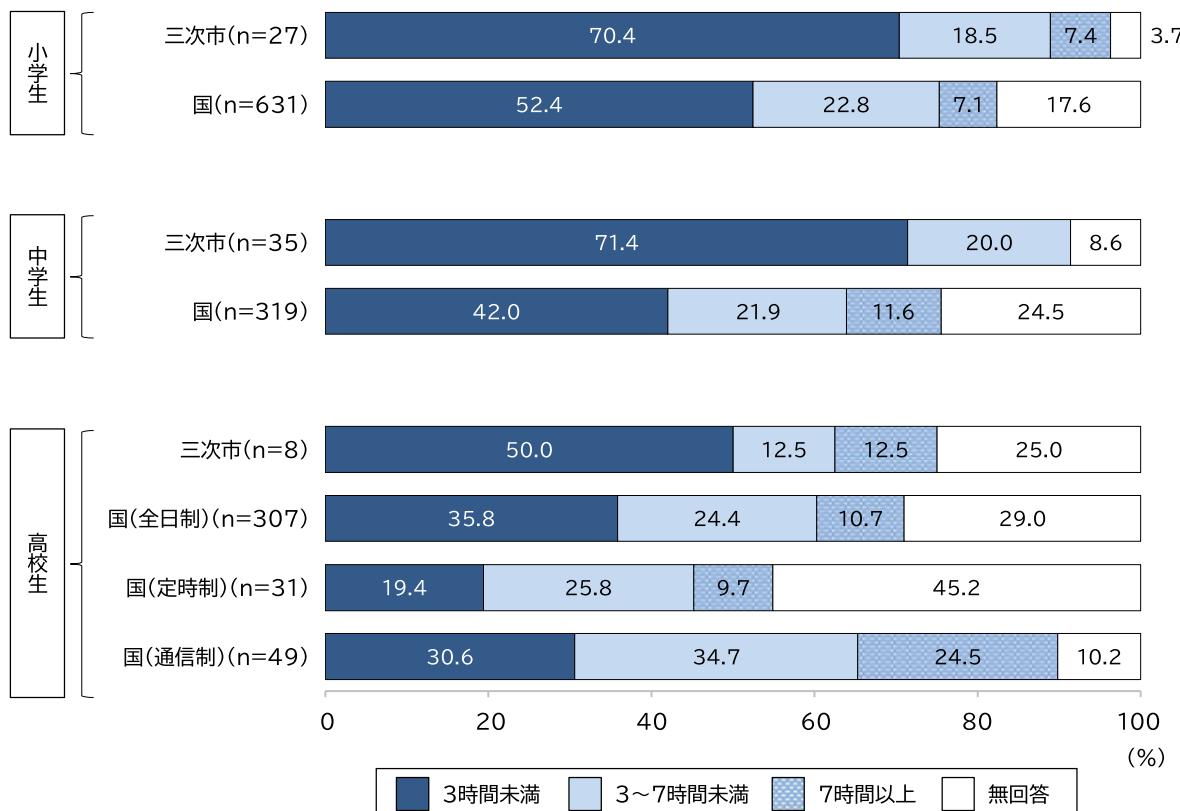
中学生では、「ほぼ毎日」が 48.6%、「週に3~5日」が 20.0%、「週に1~2日」が 17.1%、「1か月に数日」が 5.7%となっている。国と比較すると、大きな差はみられない。

高校生では、「ほぼ毎日」が 50.0%、「週に3~5日」が 0.0%、「週に1~2日」が 25.0%、「1か月に数日」が 12.5%となっている。

※問15で「1 している」と答えた方に

子ども票問19. 平日にお世話はどれくらい行っていますか。時間数をお答えください。(NA)  
(日によって異なる場合は、この1か月の中で最も長かった日の時間をお答えください)

## 【全体】



お世話の時間について、小学生では、「3時間未満」が 70.4%、「3~7時間未満」が 18.5%、「7時間以上」が 7.4%となっている。国と比較すると、「3時間未満」は、三次市(70.4%)が国(52.4%)を 18.0 ポイント上回っている。

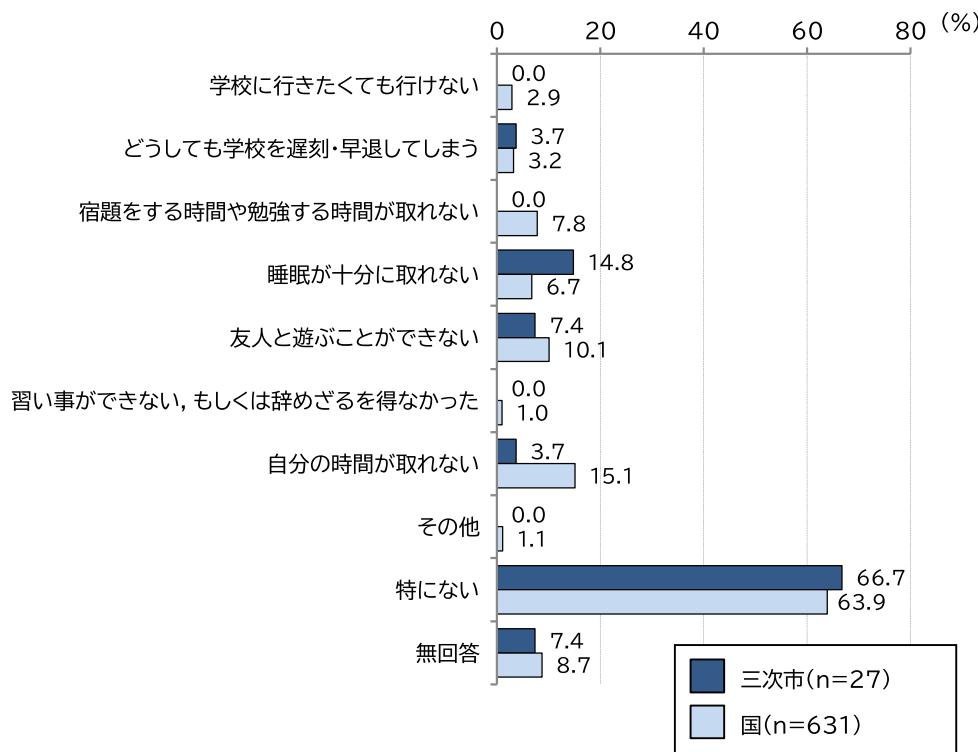
中学生では、「3時間未満」が 71.4%、「3~7時間未満」が 20.0%、「7時間以上」が 0.0%となっている。国と比較すると、「3時間未満」は、三次市(71.4%)が国(42.0%)を 29.4 ポイント上回っている。

高校生では、「3時間未満」が 50.0%、「3~7時間未満」が 12.5%、「7時間以上」が 12.5%となっている。

※問15で「1 している」と答えた方に

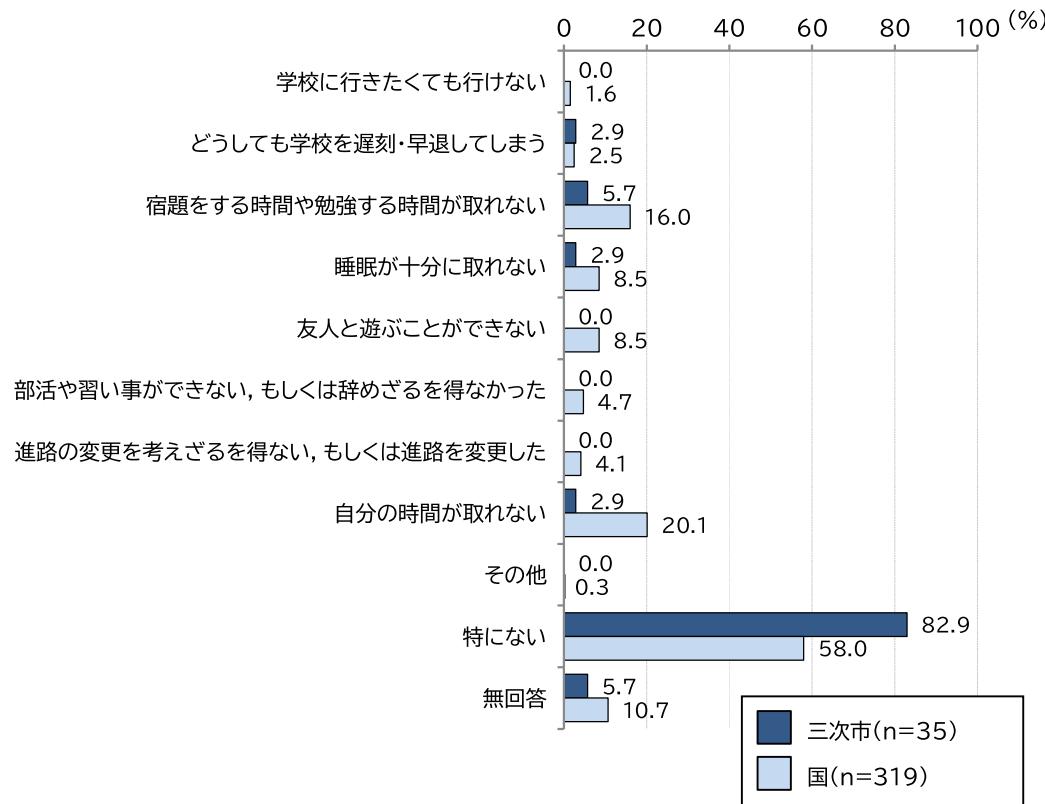
子ども票問20. お世話をしていることで、やりたいけど、できていないことはありますか。(MA)

【小学生】



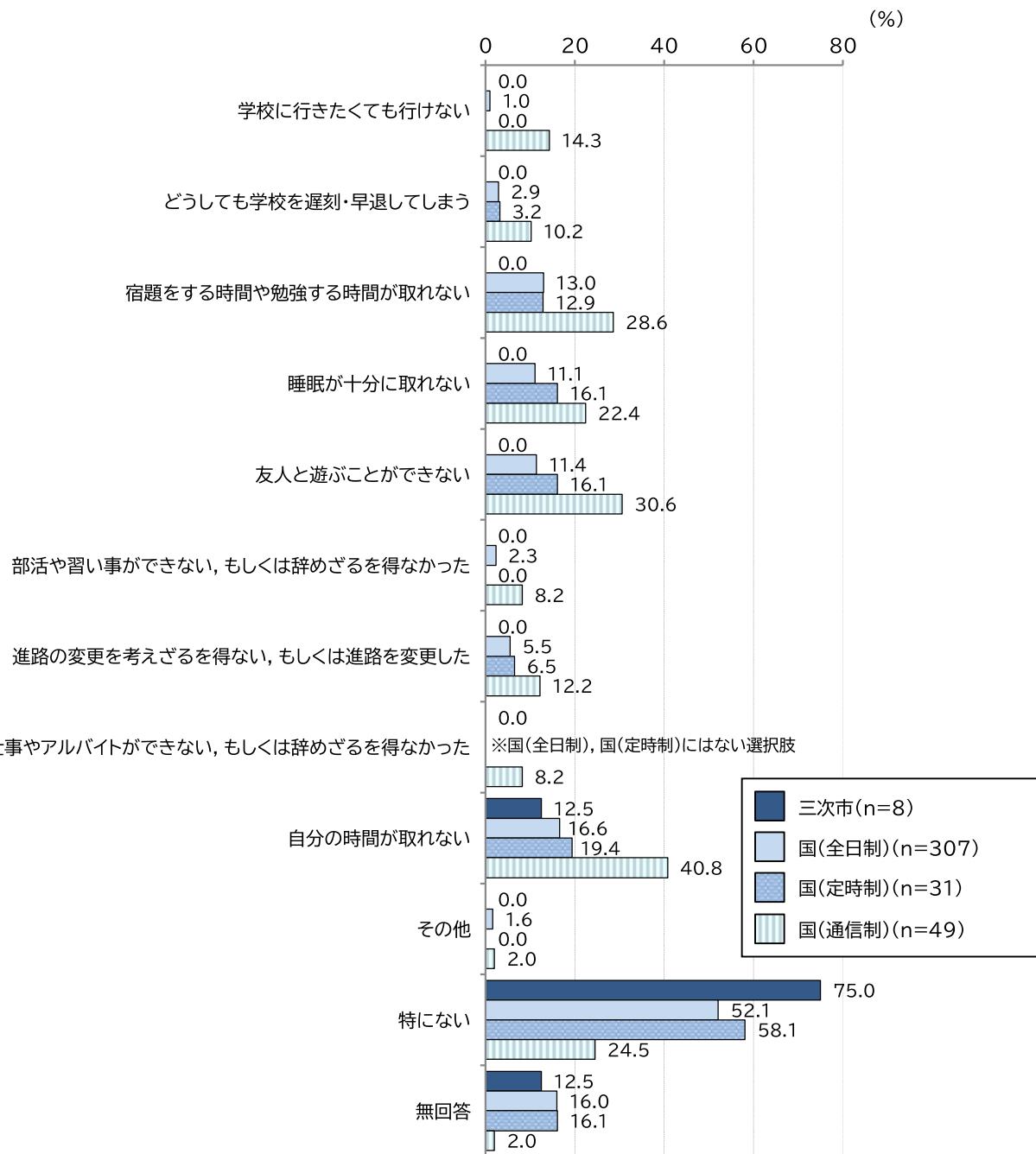
お世話によりやりたいけどできていないことについて、小学生では、「睡眠が十分に取れない」が 14.8%，次いで、「友人と遊ぶことができない」(7.4%)，「自分の時間が取れない」，「どうしても学校を遅刻・早退してしまう」(ともに 3.7%)などの順となっている。「特にない」は 66.7%と最も高くなっている。国と比較すると、「睡眠が十分に取れない」は、三次市(14.8%)が国(6.7%)を 8.1 ポイント上回っている。

## 【中学生】



中学生では、「宿題をする時間や勉強する時間が取れない」が 5.7%，次いで、「どうしても学校を遅刻・早退してしまう」，「睡眠が十分に取れない」，「自分の時間が取れない」(ともに 2.9%)の順となっている。「特にない」は 82.9%と最も高くなっている。国と比較すると、「特にない」は、三次市(82.9%)が国(58.0%)を 24.9 ポイント上回っている。

## 【高校生】

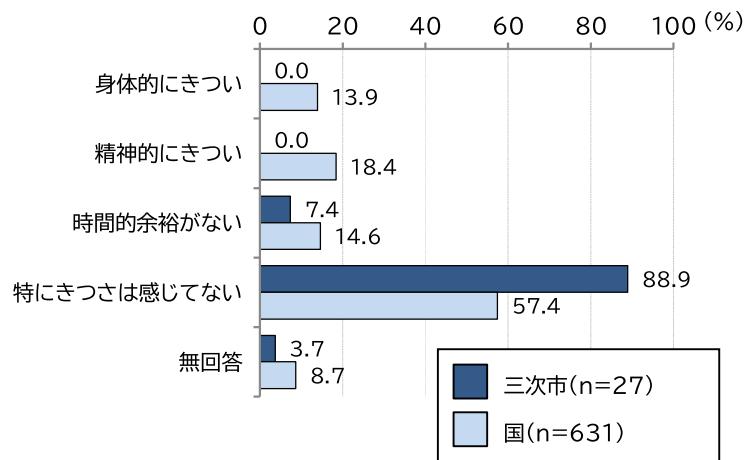


高校生では、「自分の時間が取れない」が 12.5%となっている。「特にない」は 75.0%と最も高くなっている。

※問15で「1 している」と答えた方に

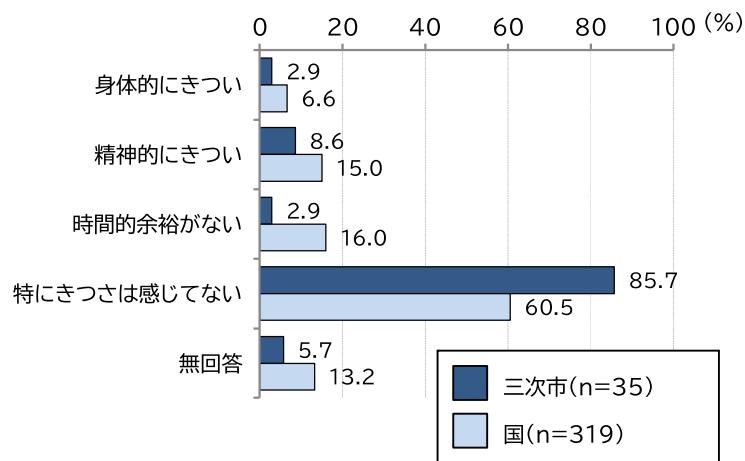
子ども票問21. お世話をすることにきつさを感じていますか。(MA)

## 【小学生】



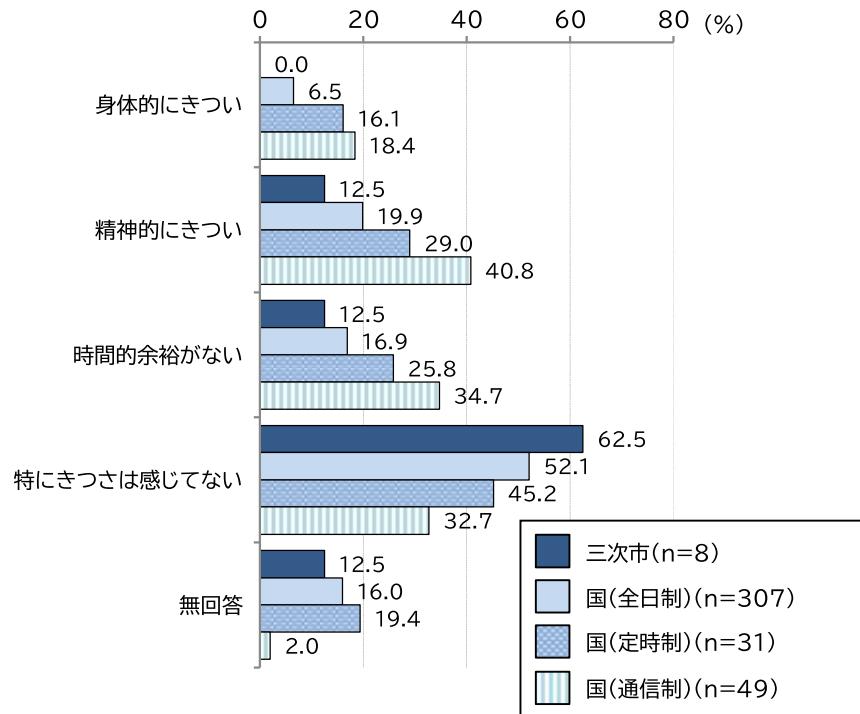
お世話に対するきつさについて、小学生では、「特にきつさは感じてない」が 88.9%と最も高く、次いで、「時間的余裕がない」(7.4%)となっている。国と比較すると、「特にきつさは感じてない」は、三次市(88.9%)が国(57.4%)を 31.5 ポイント上回っている。

## 【中学生】



中学生では、「特にきつさは感じてない」が 85.7%と最も高く、次いで、「精神的にきつい」(8.6%), 「身体的にきつい」、「時間的余裕がない」(ともに 2.9%)となっている。国と比較すると、「特にきつさは感じてない」は、三次市(85.7%)が国(60.5%)を 25.2 ポイント上回っている。

## 【高校生】

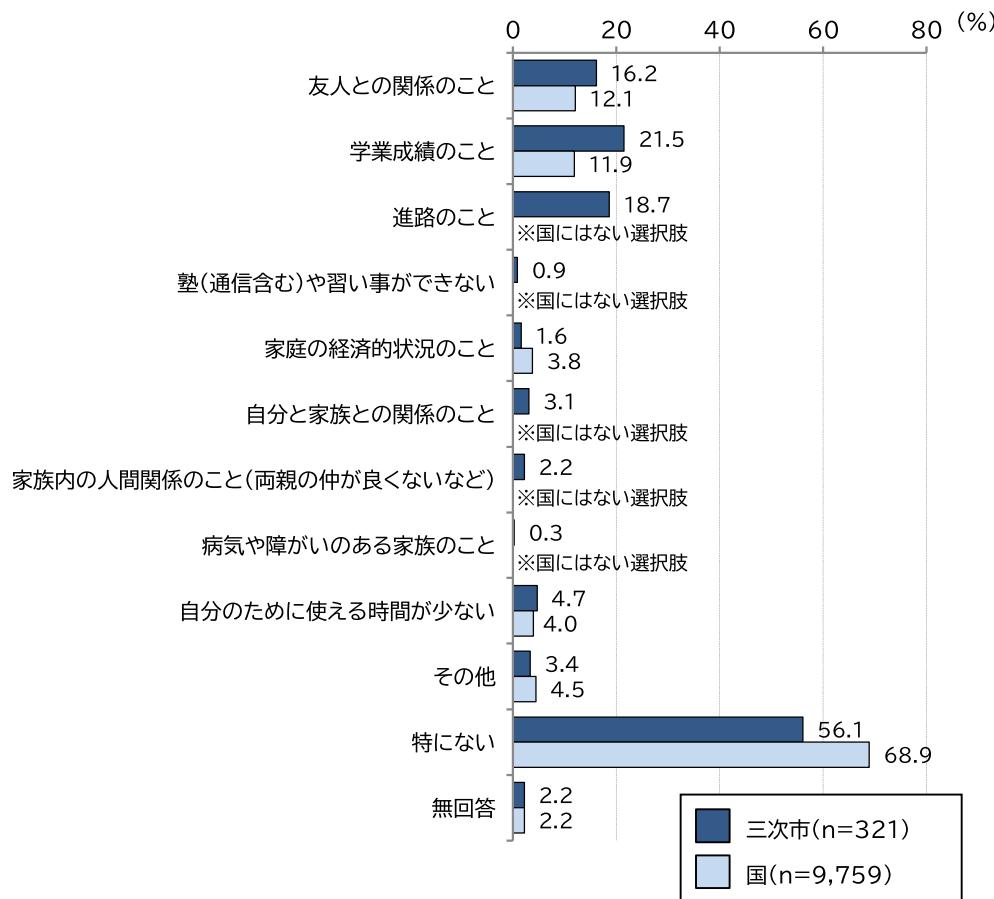


高校生では、「特にきつさは感じてない」が 62.5%と最も高く、次いで、「精神的にきつい」、「時間的余裕がない」(ともに 12.5%)となっている。

## (7)悩みごとや相談相手

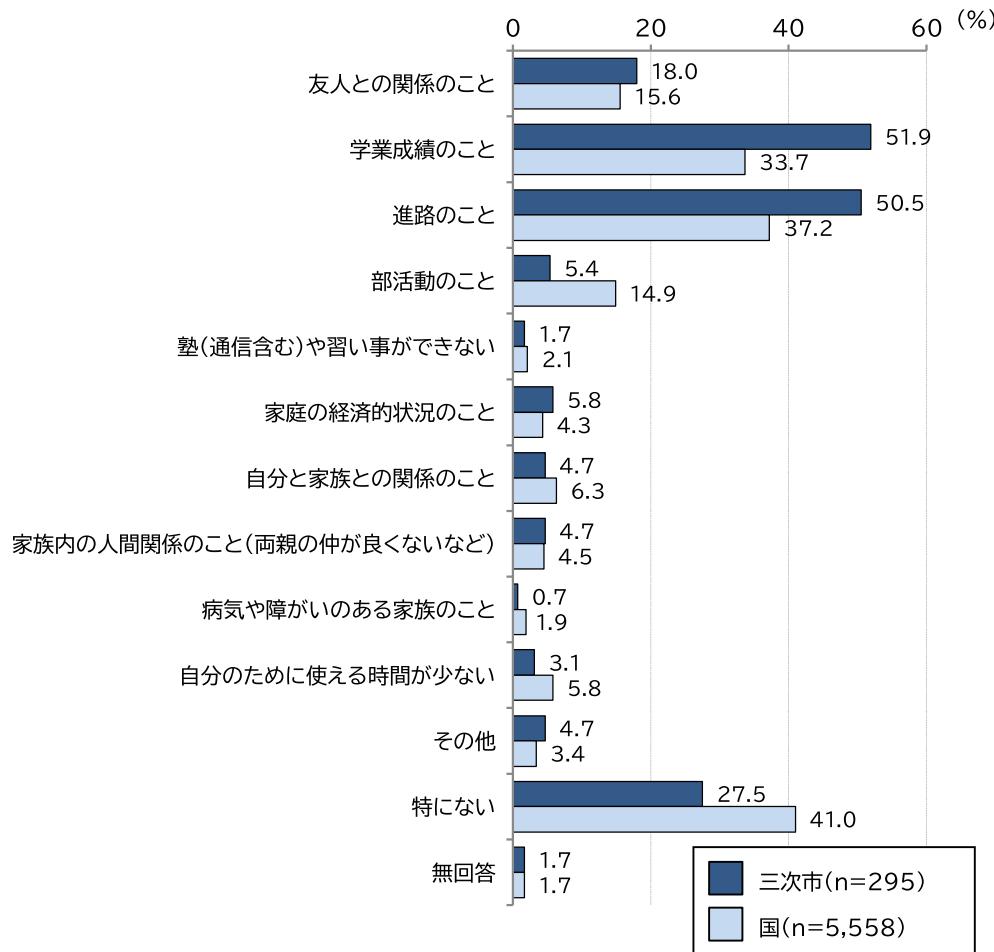
子ども票問 24. 現在、悩んだり困っていることはありますか。(MA)

## 【小学生】



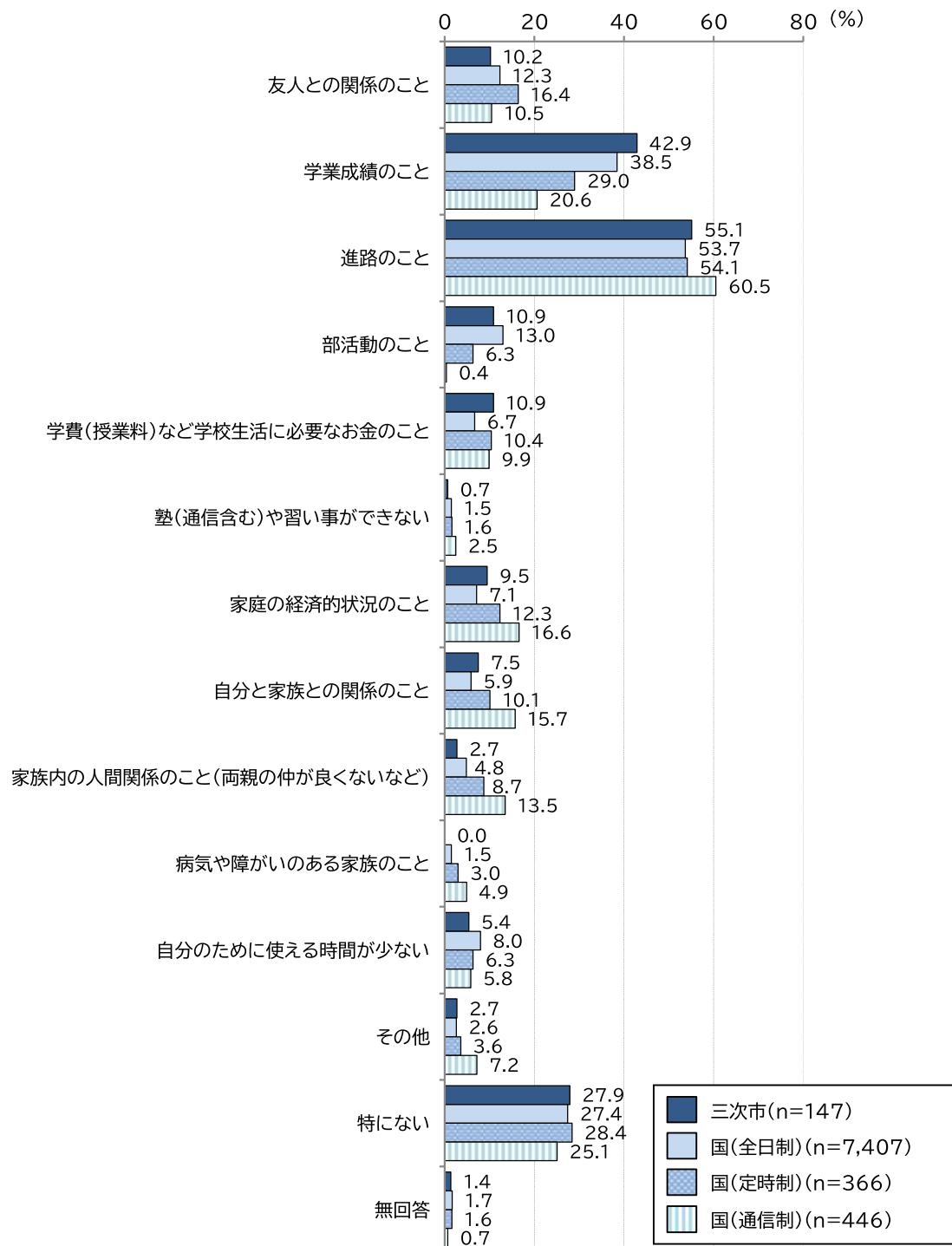
現在の悩みや困りごとについて、小学生では、「学業成績のこと」が 21.5%, 次いで、「進路のこと」(18.7%), 「友人との関係のこと」(16.2%)などの順となっている。「特にない」は 56.1%と最も高くなっている。国と比較すると、「学業成績のこと」は、三次市(21.5%)が国(11.9%)を 9.6 ポイント上回っている。

## 【中学生】



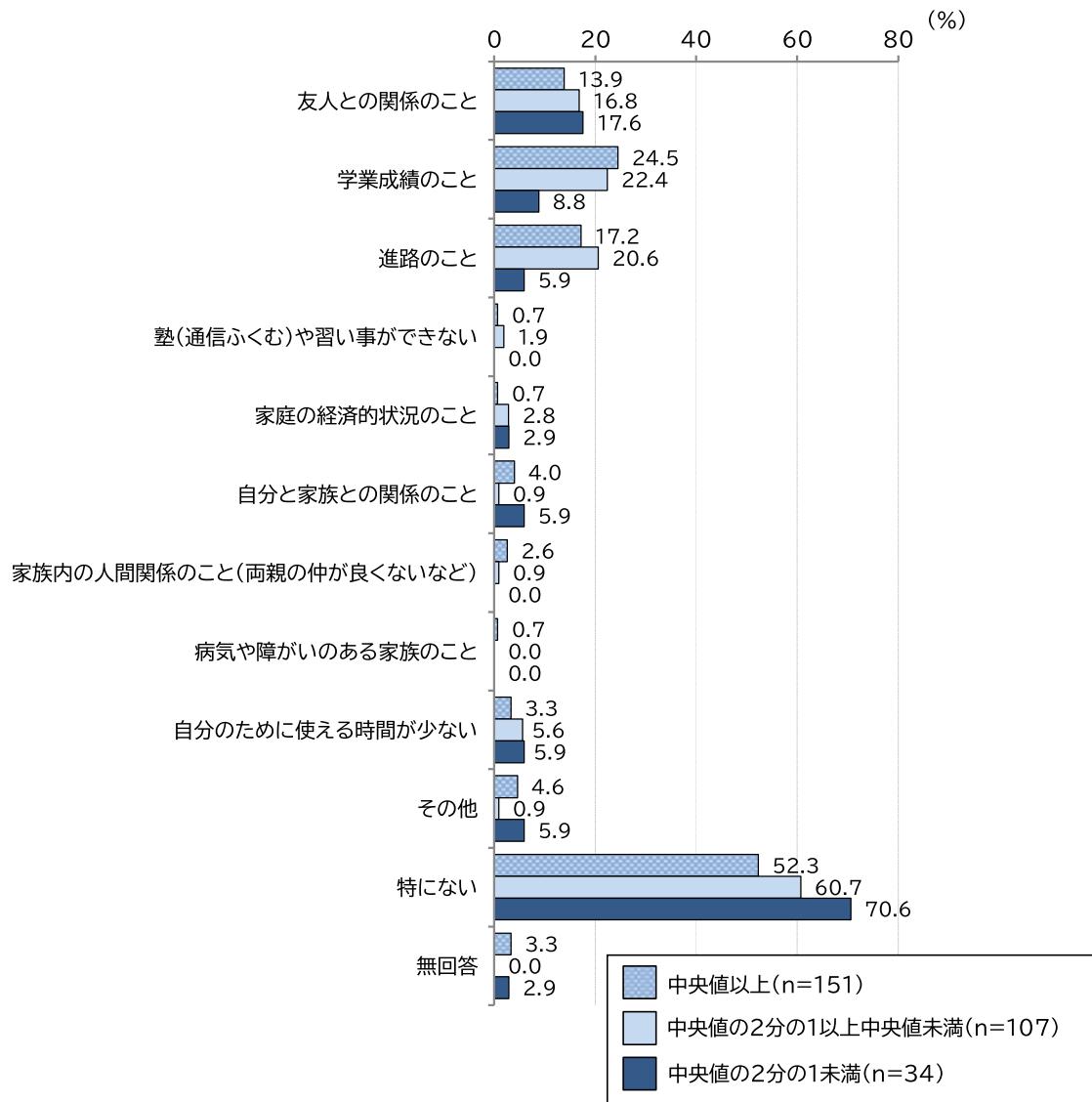
中学生では、「学業成績のこと」が 51.9%と最も高く、次いで、「進路のこと」(50.5%),「友人との関係のこと」(18.0%)などの順となっている。国と比較すると、「学業成績のこと」は、三次市(51.9%)が国(33.7%)を 18.2 ポイント、「進路のこと」は、三次市(50.5%)が国(37.2%)を 13.3 ポイント上回っている。

## 【高校生】



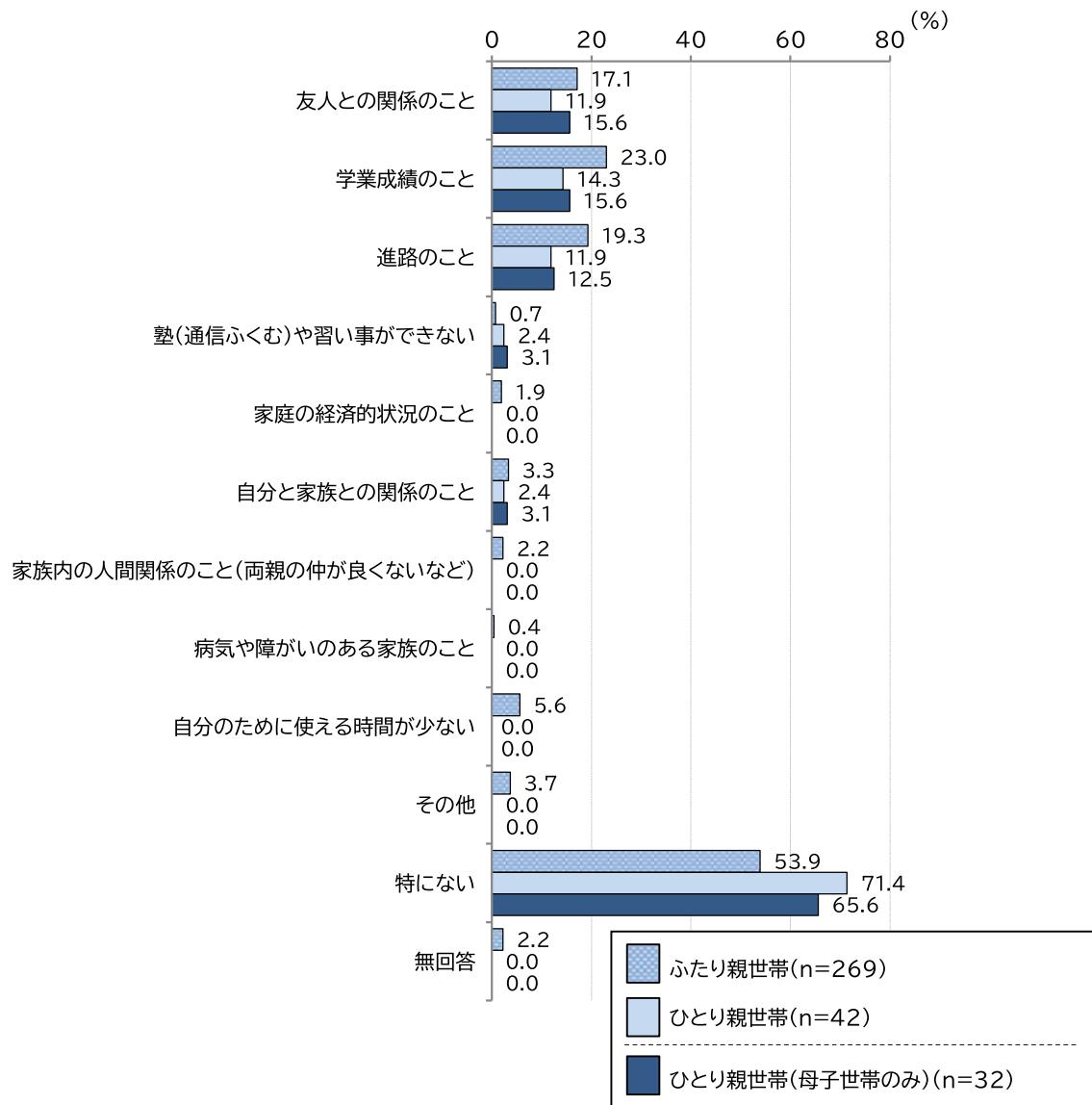
高校生では、「進路のこと」が 55.1%と最も高く、次いで、「学業成績のこと」(42.9%),「部活動のこと」、「学費(授業料)など学校生活に必要なお金のこと」(ともに 10.9%)などの順となっている。国(全日制)と比較すると、大きな差はみられない。

## 【等価世帯収入の水準別\_小学生】



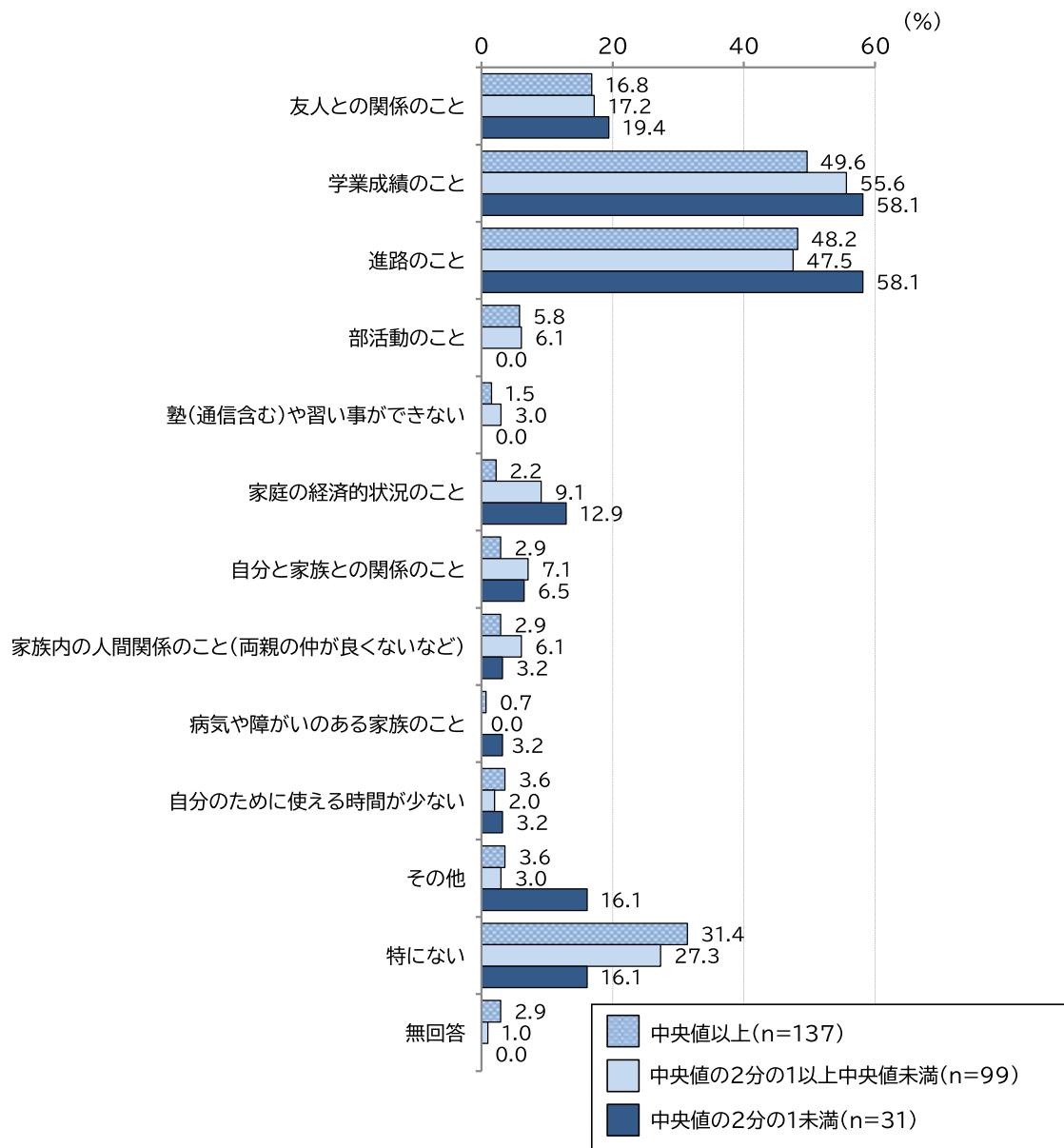
等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の2分の1未満」では、「学業成績のこと」が 8.8%, 「進路のこと」が 5.9%となつておる、他の世帯と比べて低くなつてゐる。

## 【世帯の状況別\_小学生】



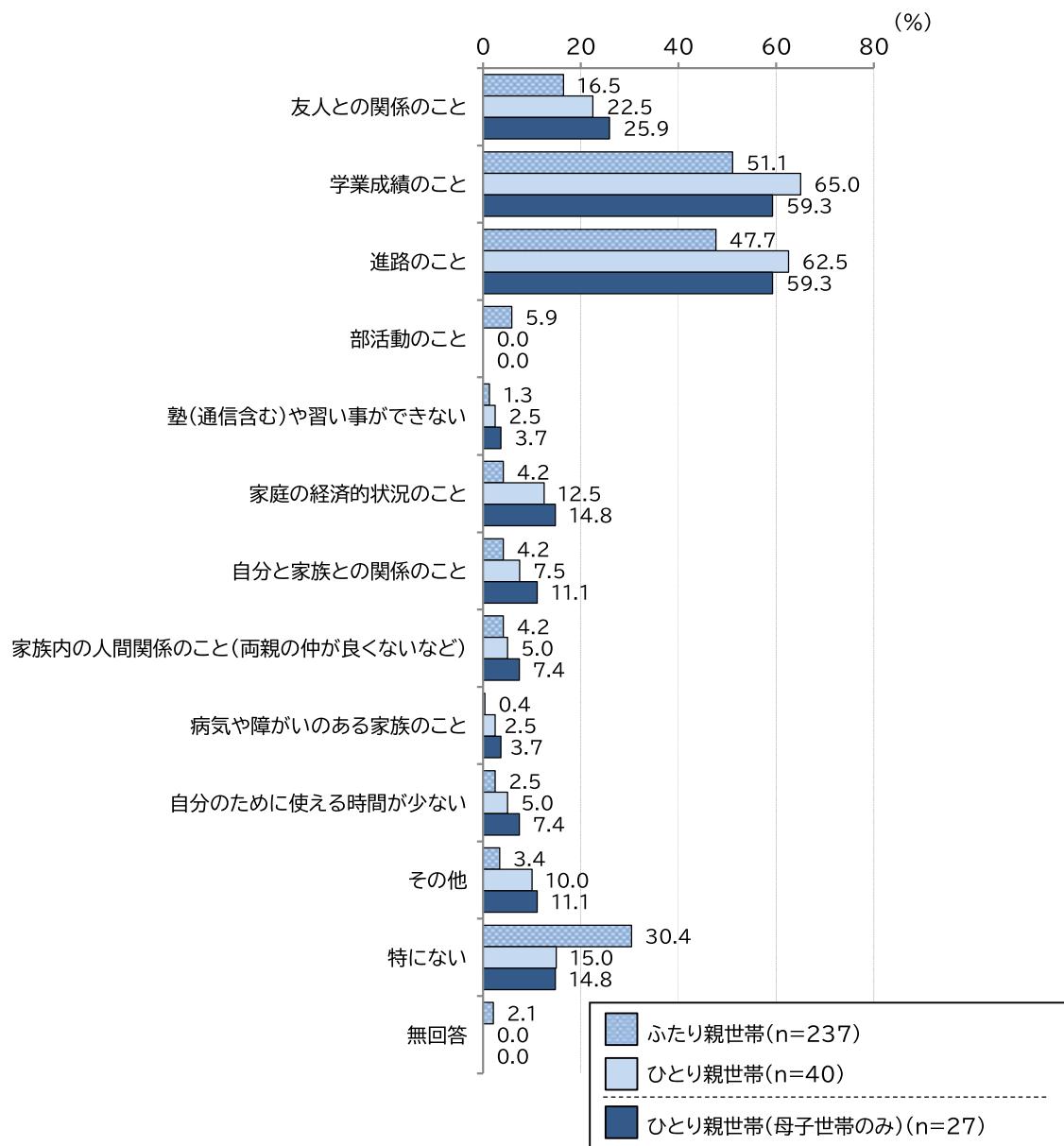
世帯の状況別にみると、「ひとり親世帯」では、「友人との関係のこと」が 11.9%、「学業成績のこと」が 14.3%、「進路のこと」が 11.9%となっており、「ふたり親世帯」に比べて低くなっている。

## 【等価世帯収入の水準別\_中学生】



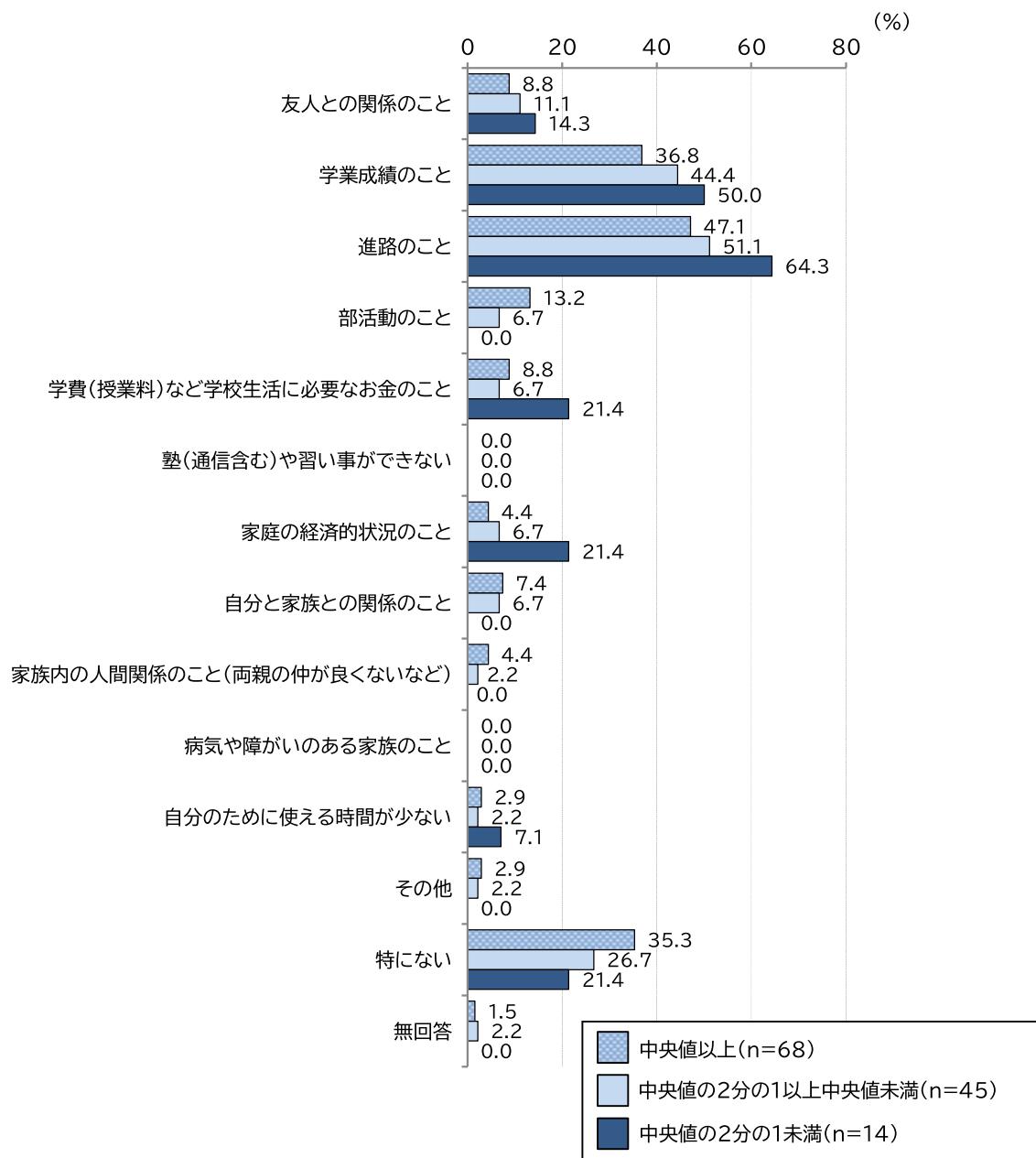
等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の2分の1未満」では、「学業成績のこと」、「進路のこと」がともに58.1%、「家庭の経済的状況のこと」が12.9%となっており、他の世帯と比べて高くなっている。

## 【世帯の状況別\_中学生】



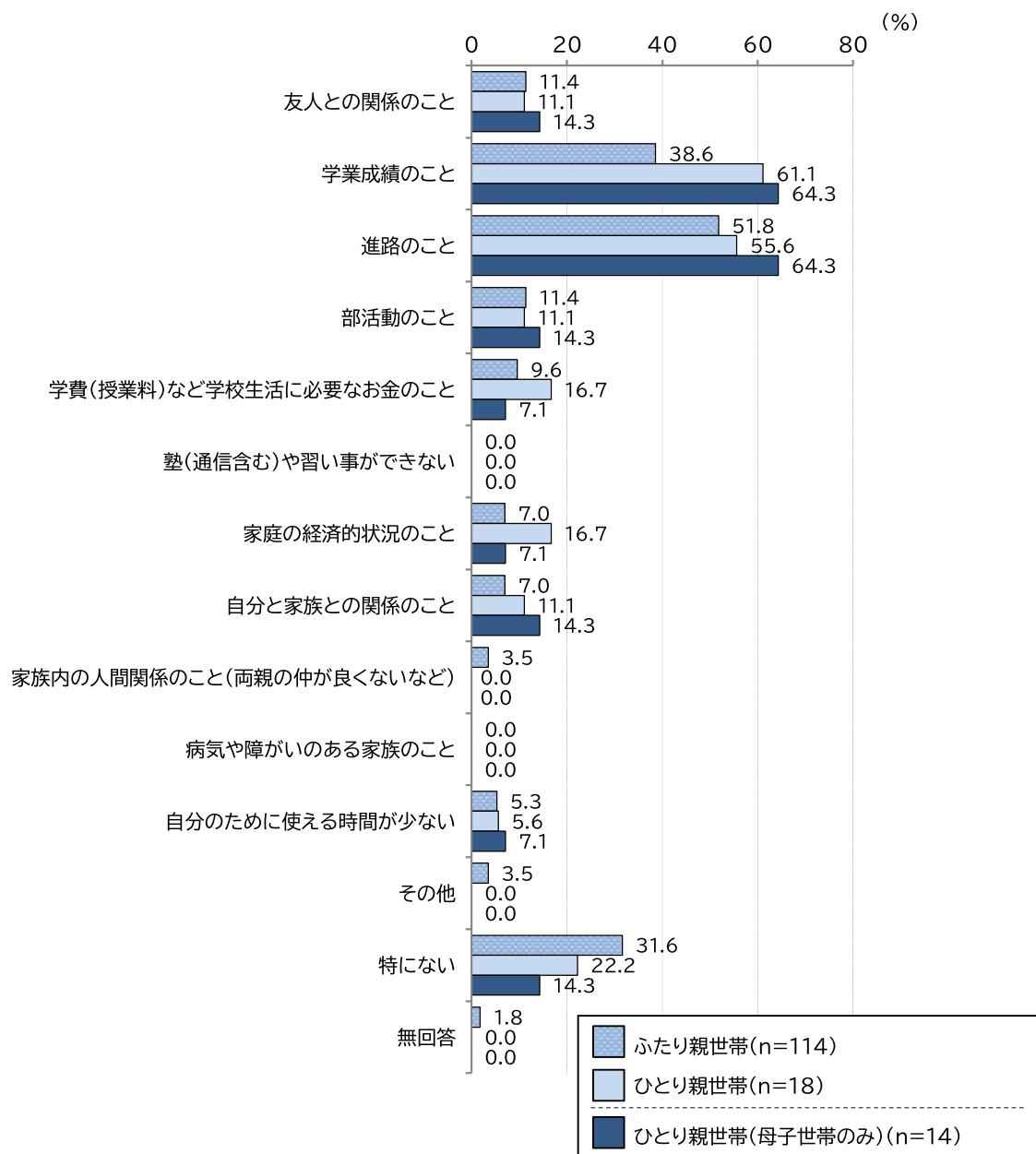
世帯の状況別にみると、「ひとり親世帯」では、「友人との関係のこと」が 22.5%、「学業成績のこと」が 65.0%、「進路のこと」が 62.5%、「家庭の経済的状況のこと」が 12.5%となっており、「ふたり親世帯」に比べて高くなっている。

## 【等価世帯収入の水準別\_高校生】



等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の2分の1未満」では、「友人との関係のこと」が 14.3%, 「学業成績のこと」が 50.0%, 「進路のこと」が 64.3%, 「学費(授業料)など学校生活に必要なお金のこと」が 21.4%, 「家庭の経済的状況のこと」が 21.4%となつておる、他の世帯と比べて高くなつてゐる。

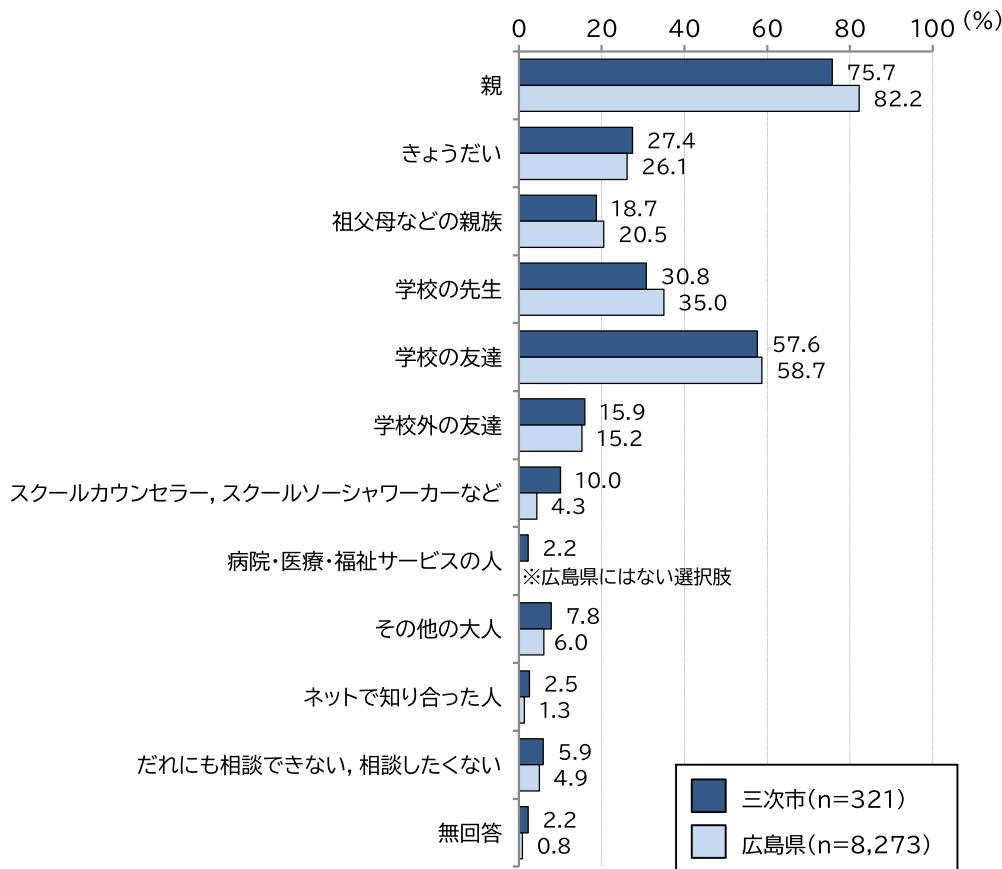
## 【世帯の状況別\_高校生】



世帯の状況別にみると、「ひとり親世帯」では、「学業成績のこと」が 61.1%、「学費(授業料)など学校生活に必要なお金のこと」が 16.7%、「家庭の経済的状況のこと」が 16.7%となっており、「ふたり親世帯」に比べて高くなっている。

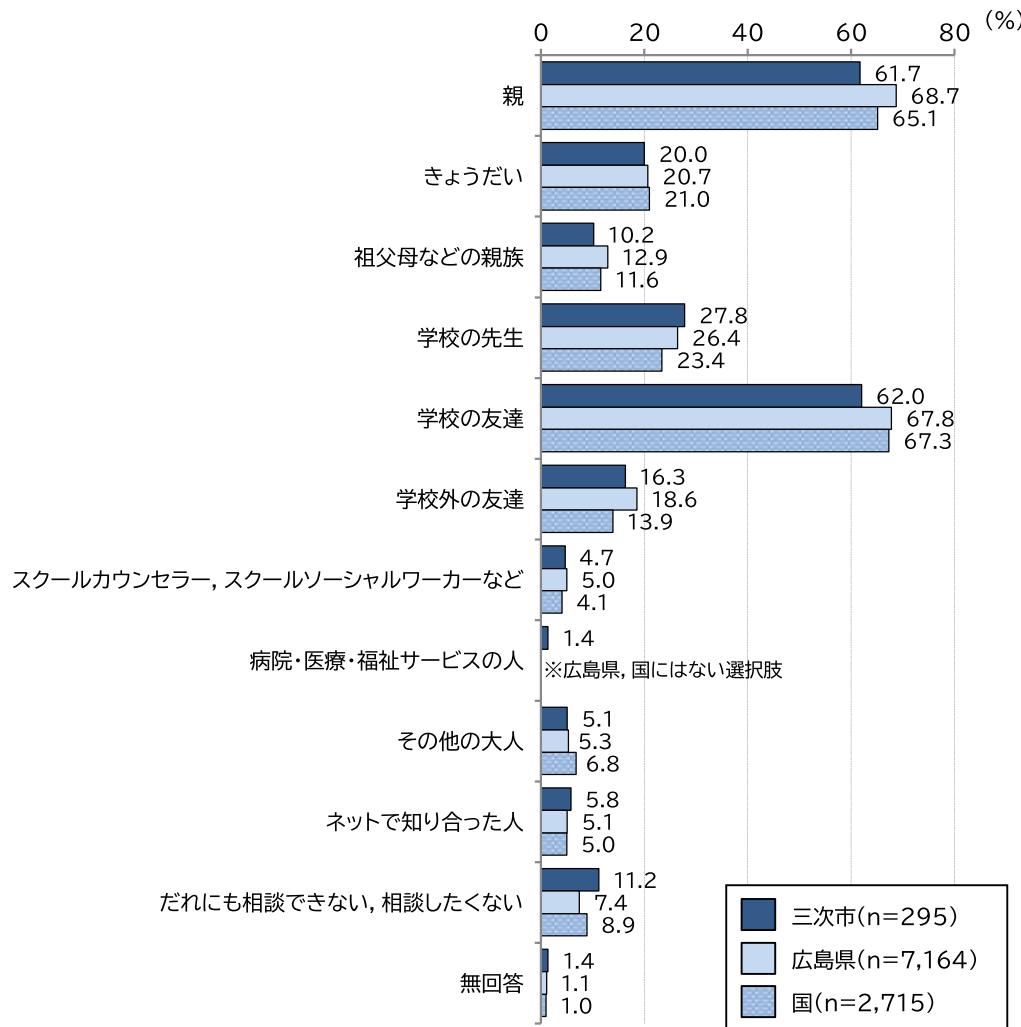
子ども票問 25. あなたに困っていることや悩みごとがあるとき、あなたが相談できると思う人はだれですか。(MA)

【小学生】



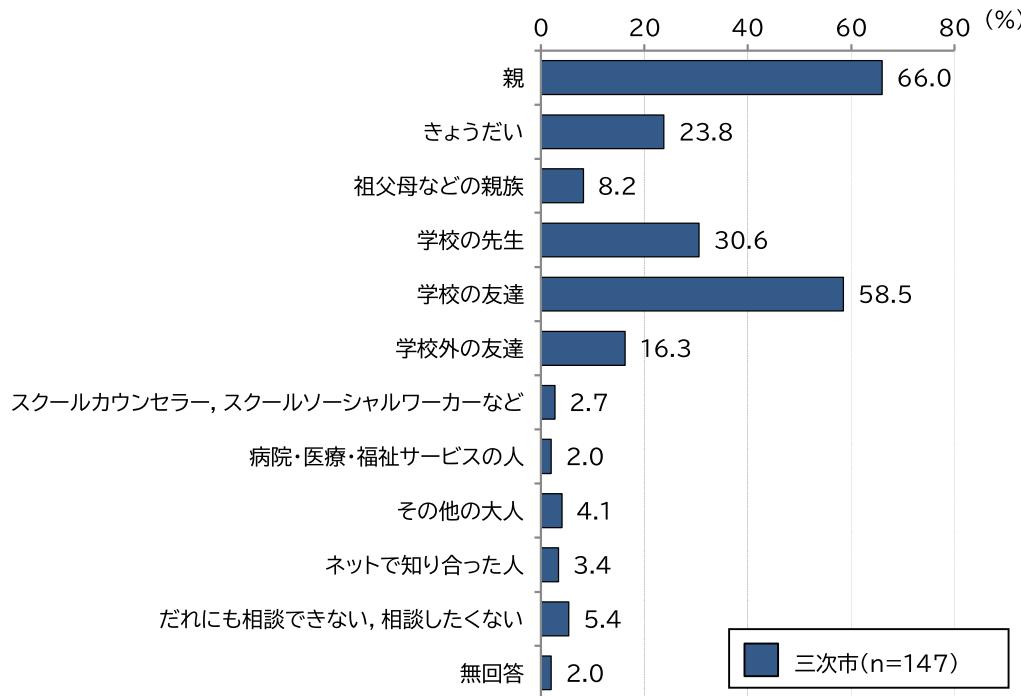
困りごとや悩みごとを相談できる人について、小学生では、「親」が 75.7%と最も高く、次いで、「学校の友達」(57.6%)、「学校の先生」(30.8%)などの順となっている。広島県と比較すると、「だれにも相談できない、相談したくない」は大きな差はみられない。

## 【中学生】



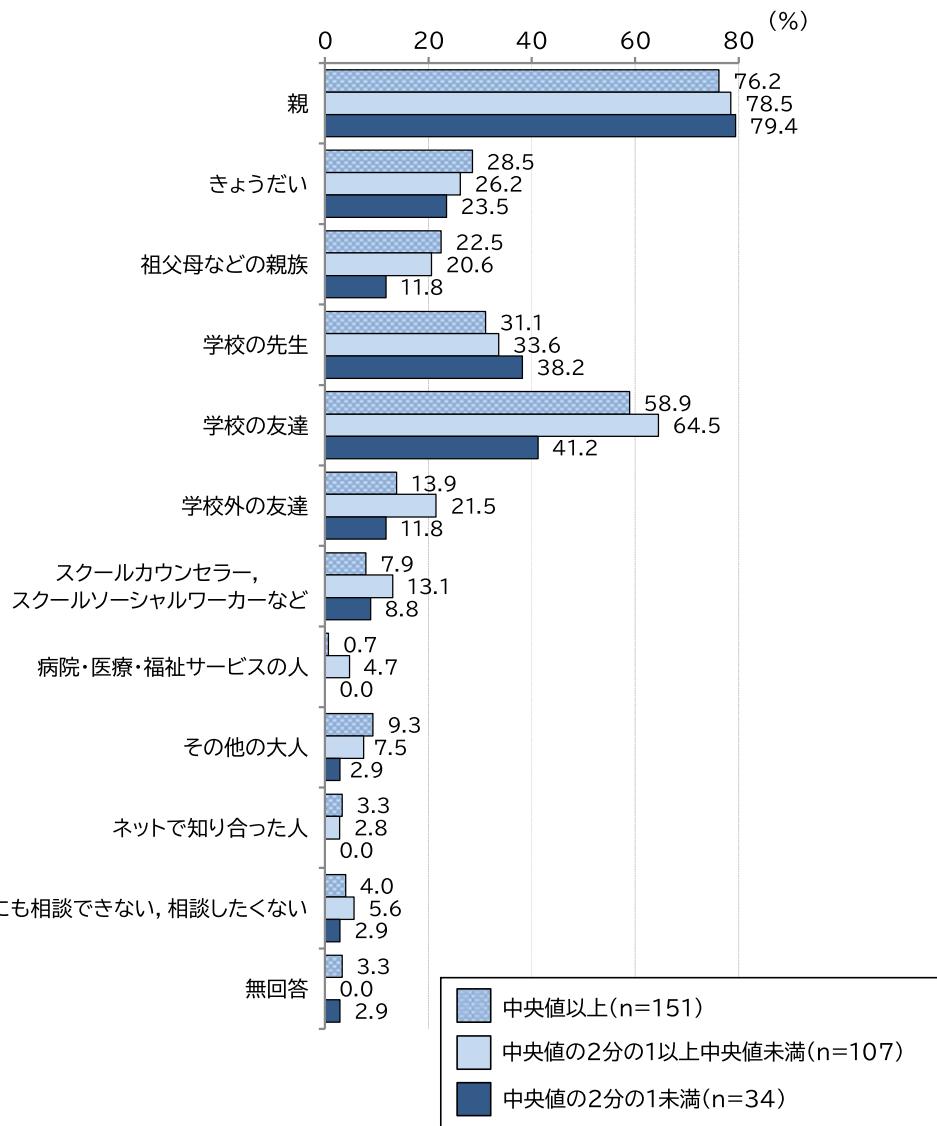
中学生では、「学校の友達」が62.0%と最も高く、次いで、「親」(61.7%),「学校の先生」(27.8%)などの順となっている。広島県、国と比較すると、「だれにも相談できない、相談したくない」は大きな差はみられない。

## 【高校生】



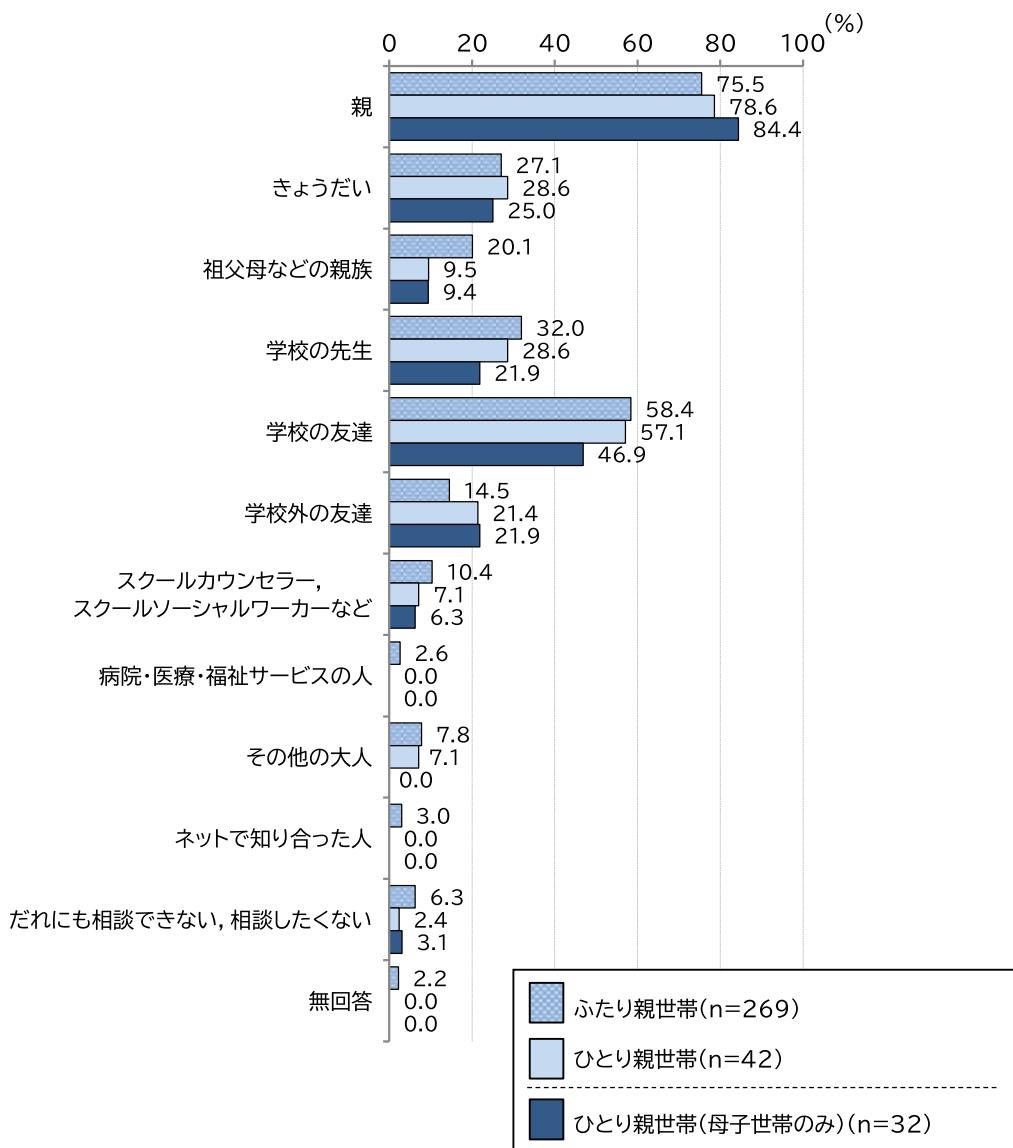
高校生では、「親」が 66.0%と最も高く、次いで、「学校の友達」(58.5%)、「学校の先生」(30.6%)などの順となっている。

## 【等価世帯収入の水準別\_小学生】



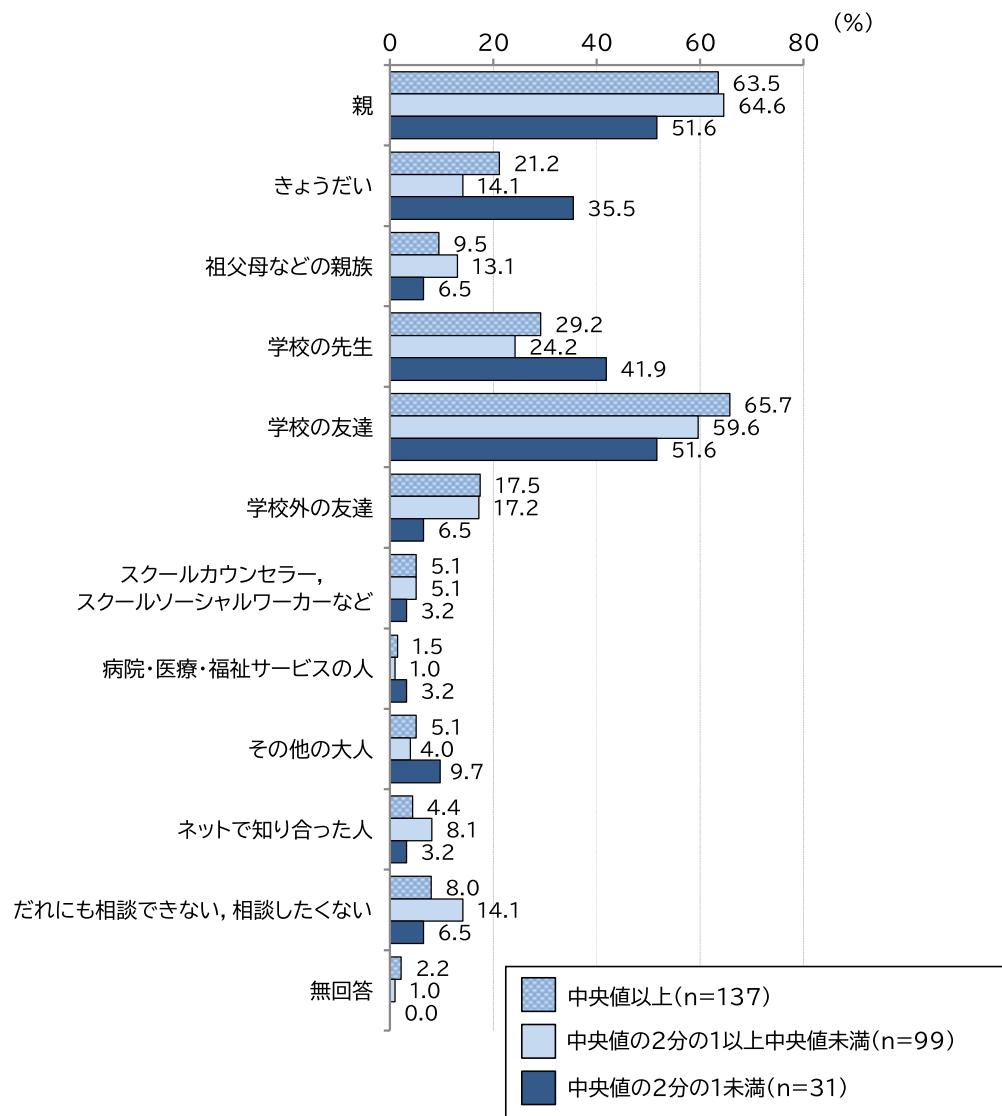
等価世帯収入の水準別にみると、「だれにも相談できない、相談したくない」は、「中央値以上」では4.0%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では5.6%、「中央値の2分の1未満」では2.9%となっている。

## 【世帯の状況別\_小学生】



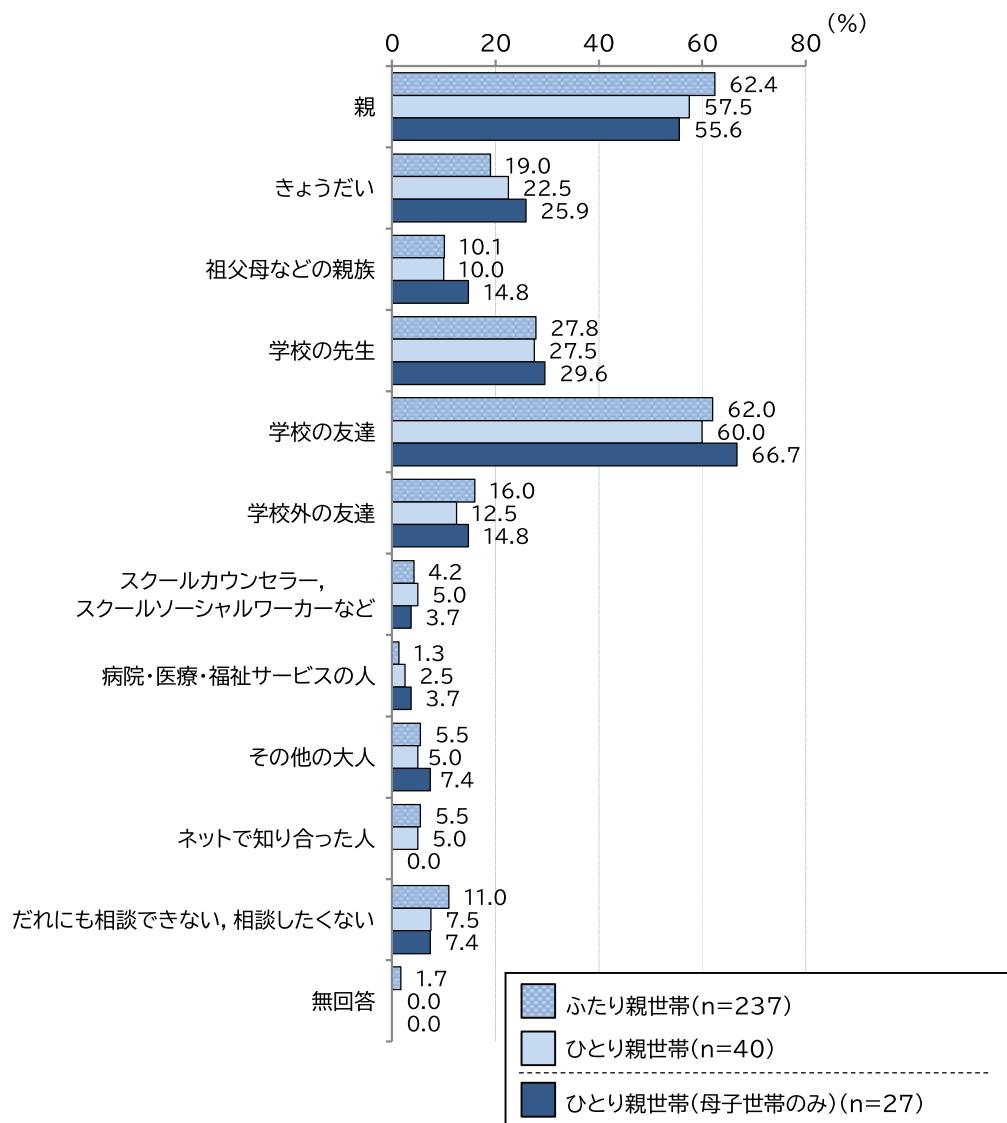
世帯の状況別にみると、「だれにも相談できない、相談したくない」は、「ふたり親世帯」では 6.3%、「ひとり親世帯全体」では 2.4%、「母子世帯のみ」では 3.1%となっている。

## 【等価世帯収入の水準別\_中学生】



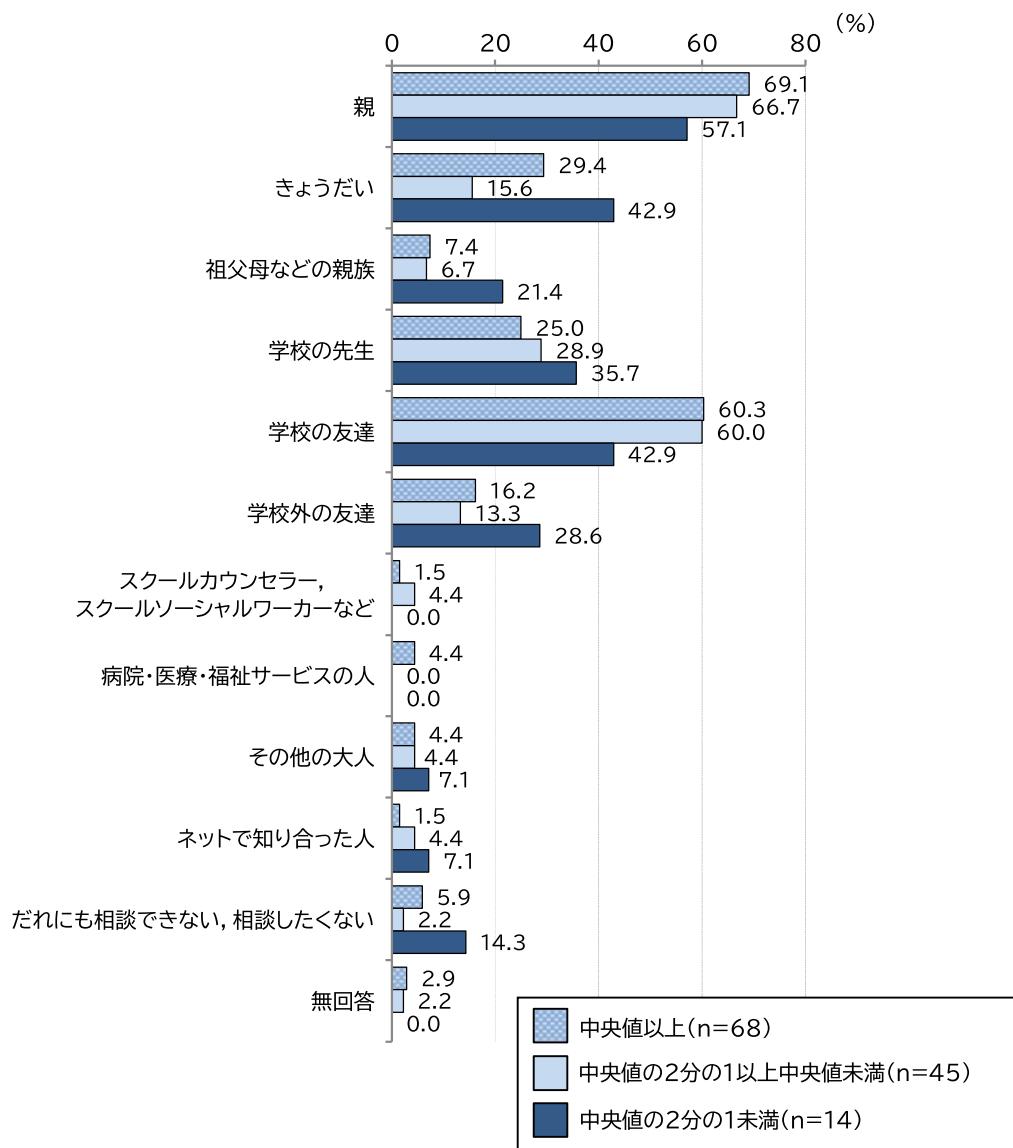
等価世帯収入の水準別にみると、「だれにも相談できない、相談したくない」は、「中央値以上」では 8.0%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では 14.1%、「中央値の2分の1未満」では 6.5%となっている。

## 【世帯の状況別\_中学生】



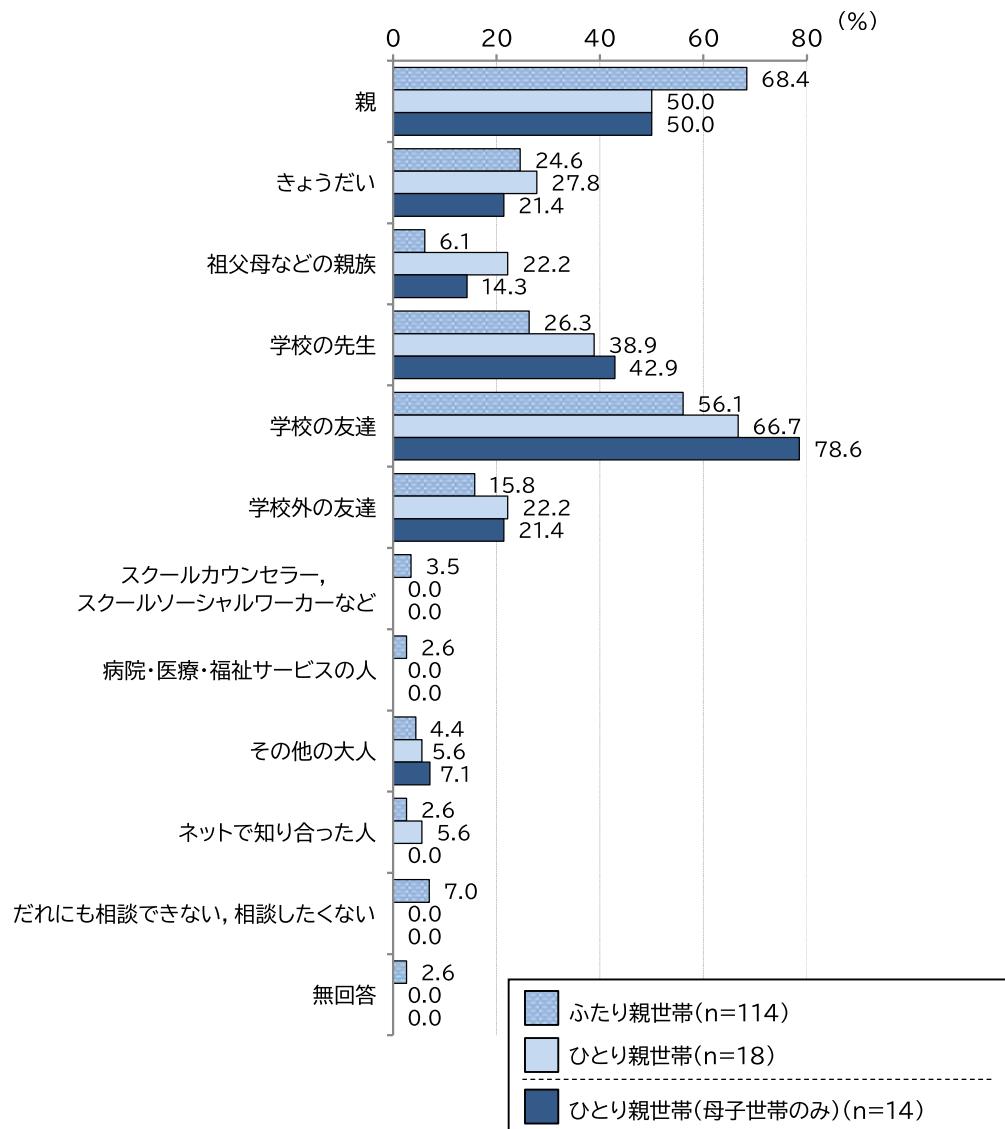
世帯の状況別にみると、「だれにも相談できない、相談したくない」は、「ふたり親世帯」では 11.0%、「ひとり親世帯全体」では 7.5%、「母子世帯のみ」では 7.4%となっている。

## 【等価世帯収入の水準別\_高校生】



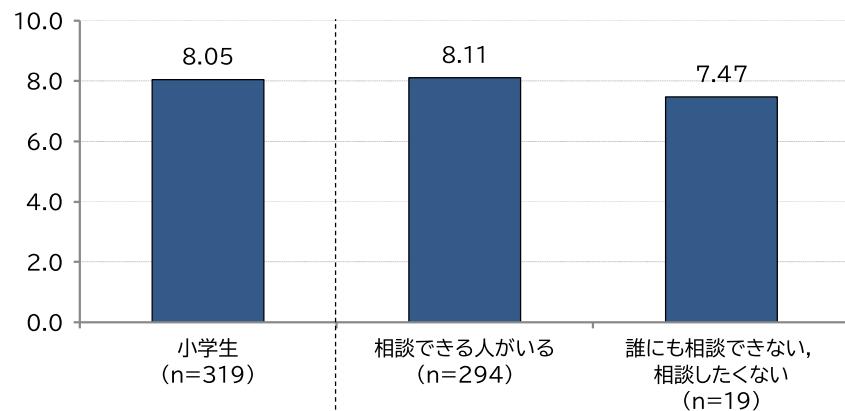
等価世帯収入の水準別にみると、「だれにも相談できない、相談したくない」は、「中央値以上」では 5.9%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では 2.2%、「中央値の2分の1未満」では 14.3%となっている。

## 【世帯の状況別\_高校生】



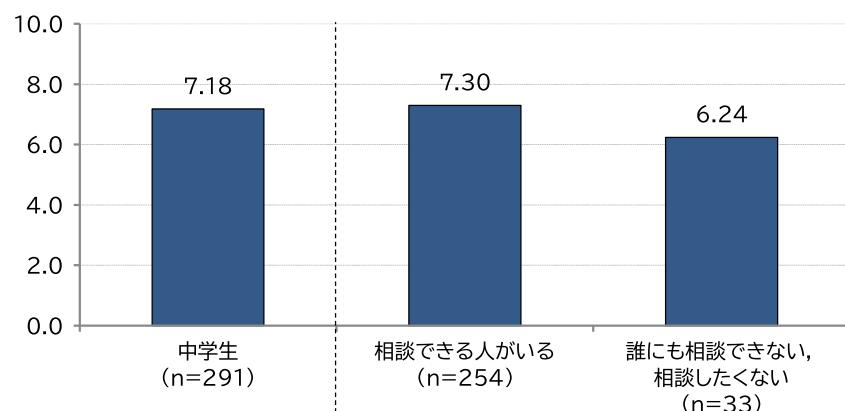
世帯の状況別にみると、「だれにも相談できない、相談したくない」は、「ふたり親世帯」では 7.0%、「ひとり親世帯全体」では 0.0%となっている。

## 【相談できる人の有無別 生活満足度\_小学生】



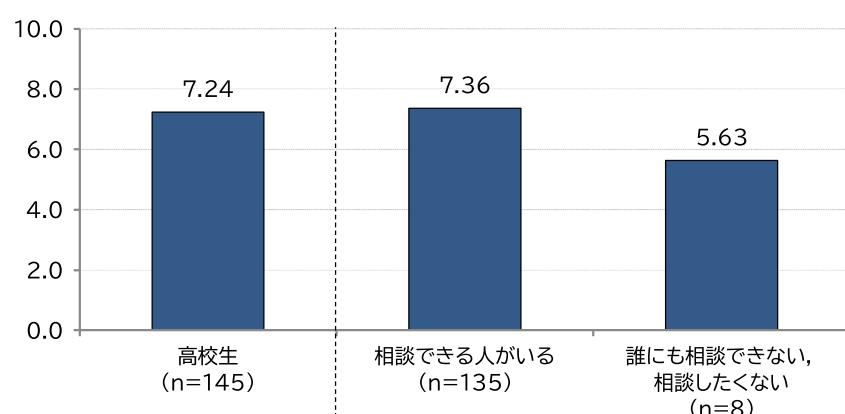
相談できる人の有無別にみると、子どもの生活満足度の平均値は、「誰にも相談できない、相談したくない」(7.47)が「相談できる人がいる」(8.11)を 0.64 点下回っている。

## 【相談できる人の有無別 生活満足度\_中学生】



相談できる人の有無別にみると、子どもの生活満足度の平均値は、「誰にも相談できない、相談したくない」(6.24)が「相談できる人がいる」(7.30)を 1.06 点下回っている。

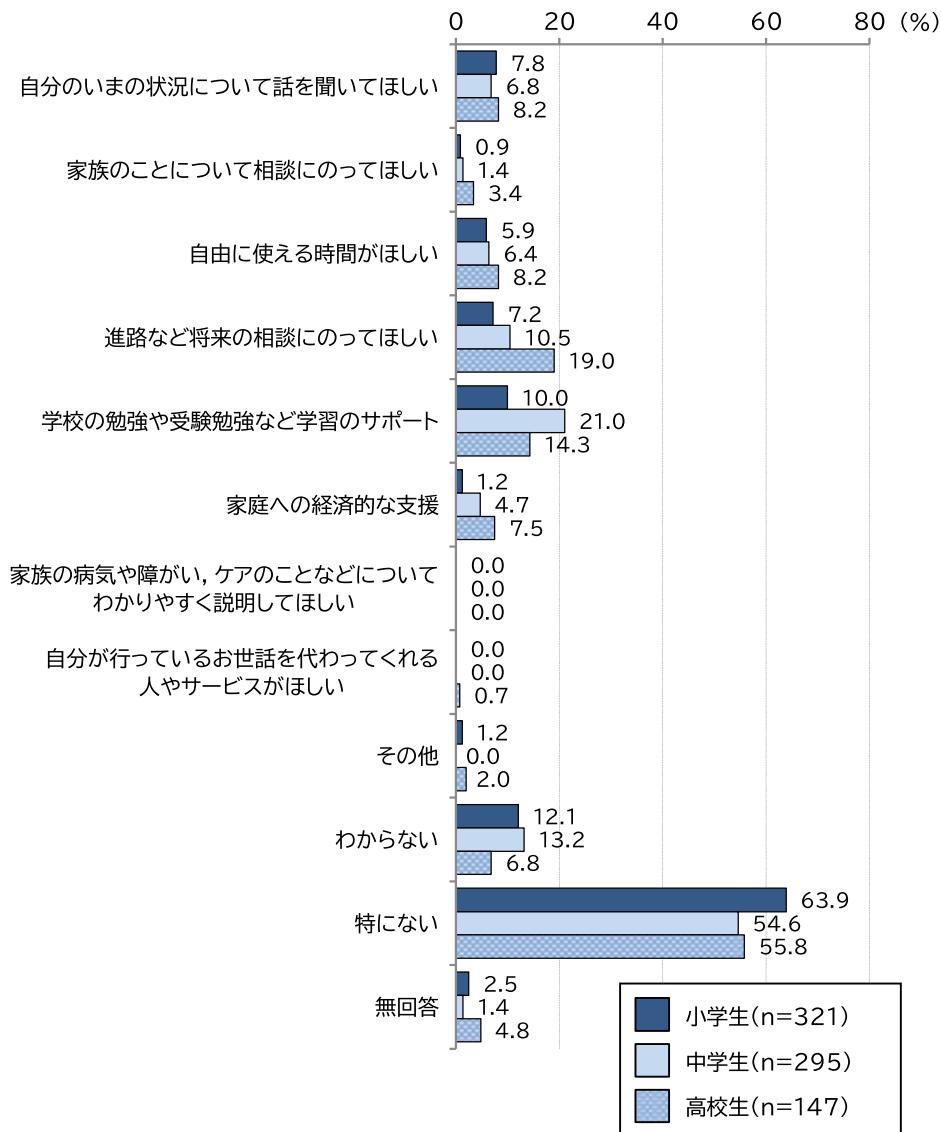
## 【相談できる人の有無別 生活満足度\_高校生】



相談できる人の有無別にみると、子どもの生活満足度の平均値は、「誰にも相談できない、相談したくない」(5.63)が「相談できる人がいる」(7.36)を 1.73 点下回っている。

## 子ども票問 26. 学校や周りの大人に助けてほしいことや、必要としている支援はありますか。(MA)

【全体】

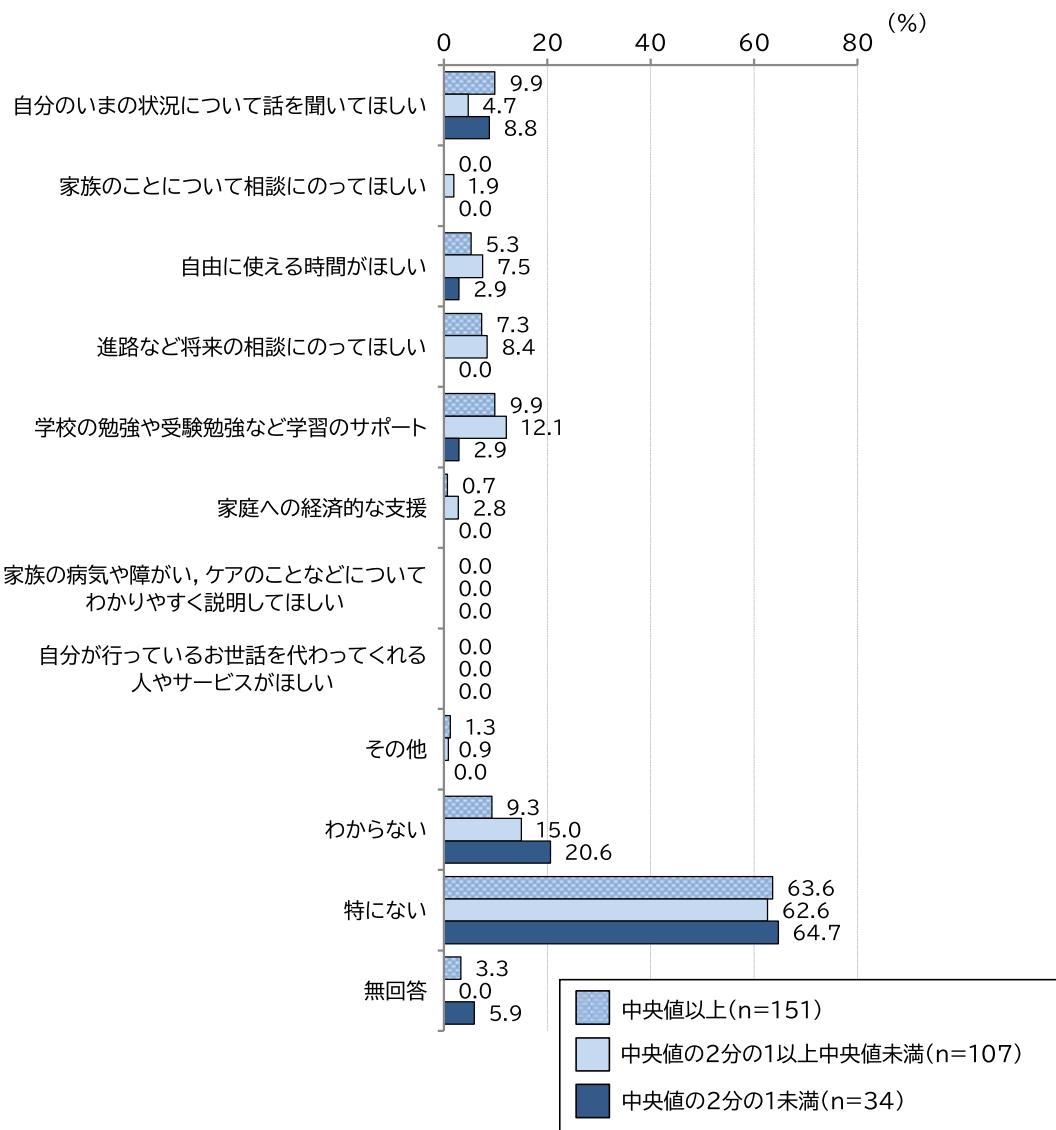


周りの大人に助けてほしいことや、必要としている支援について、小学生では、「学校の勉強や受験勉強など学習のサポート」が 10.0%，次いで、「自分のいまの状況について話を聞いてほしい」(7.8%)、「進路など将来の相談にのってほしい」(7.2%)などの順となっている。「特にない」は 63.9%と最も高くなっている。

中学生では、「学校の勉強や受験勉強など学習のサポート」が 21.0%，次いで、「進路など将来の相談にのってほしい」(10.5%),「自分のいまの状況について話を聞いてほしい」(6.8%)などの順となっている。「特にない」は 54.6%と最も高くなっている。

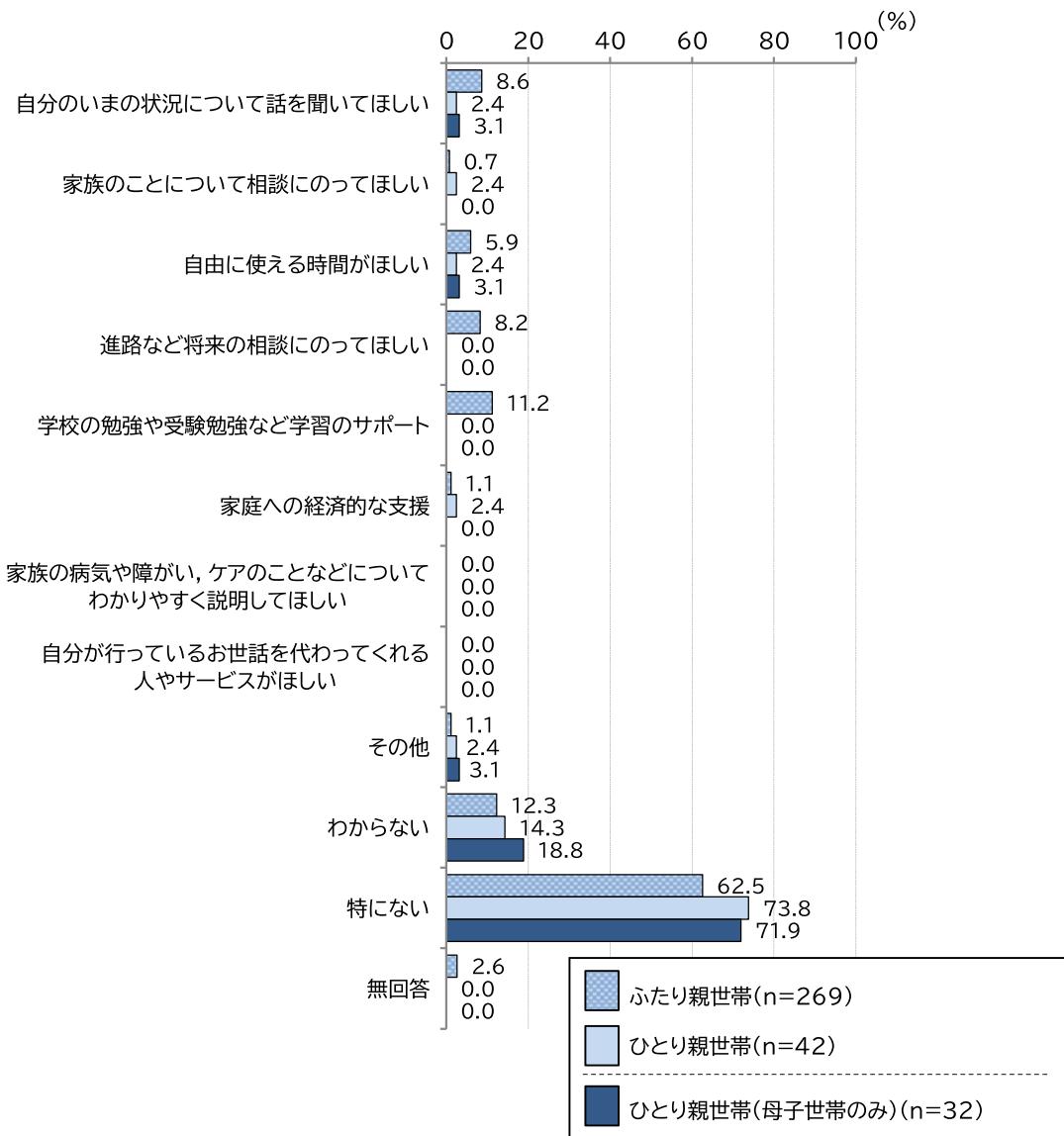
高校生では、「進路など将来の相談にのってほしい」が 19.0%，次いで、「学校の勉強や受験勉強など学習のサポート」(14.3%),「自分のいまの状況について話を聞いてほしい」、「自由に使える時間がほしい」(ともに 8.2%)などの順となっている。「特にない」は 55.8%と最も高くなっている。

## 【等価世帯収入の水準別\_小学生】



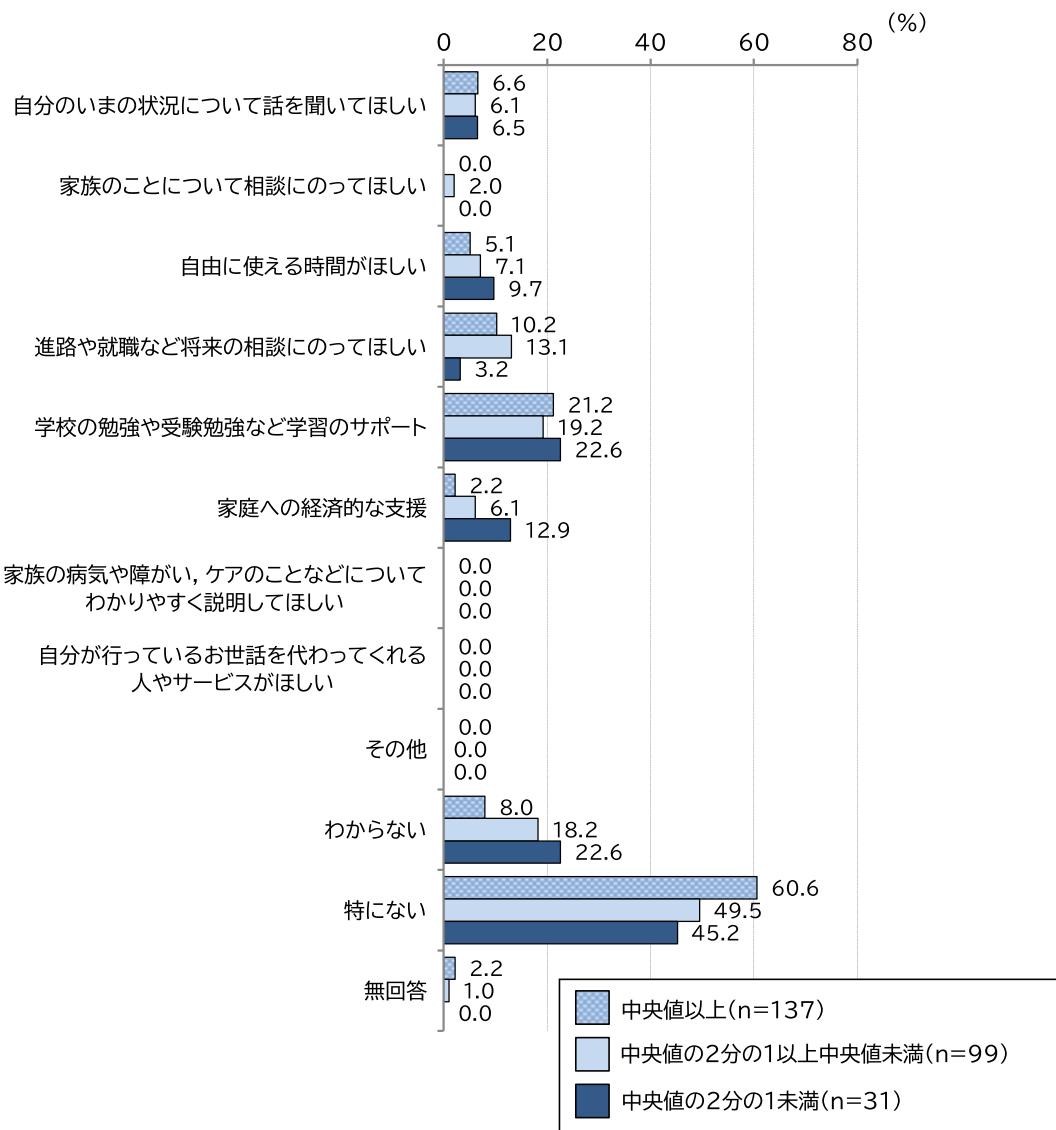
等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の2分の1未満」では、「わからない」が 20.6%となっており、他の世帯と比べて高くなっている。

## 【世帯の状況別\_小学生】



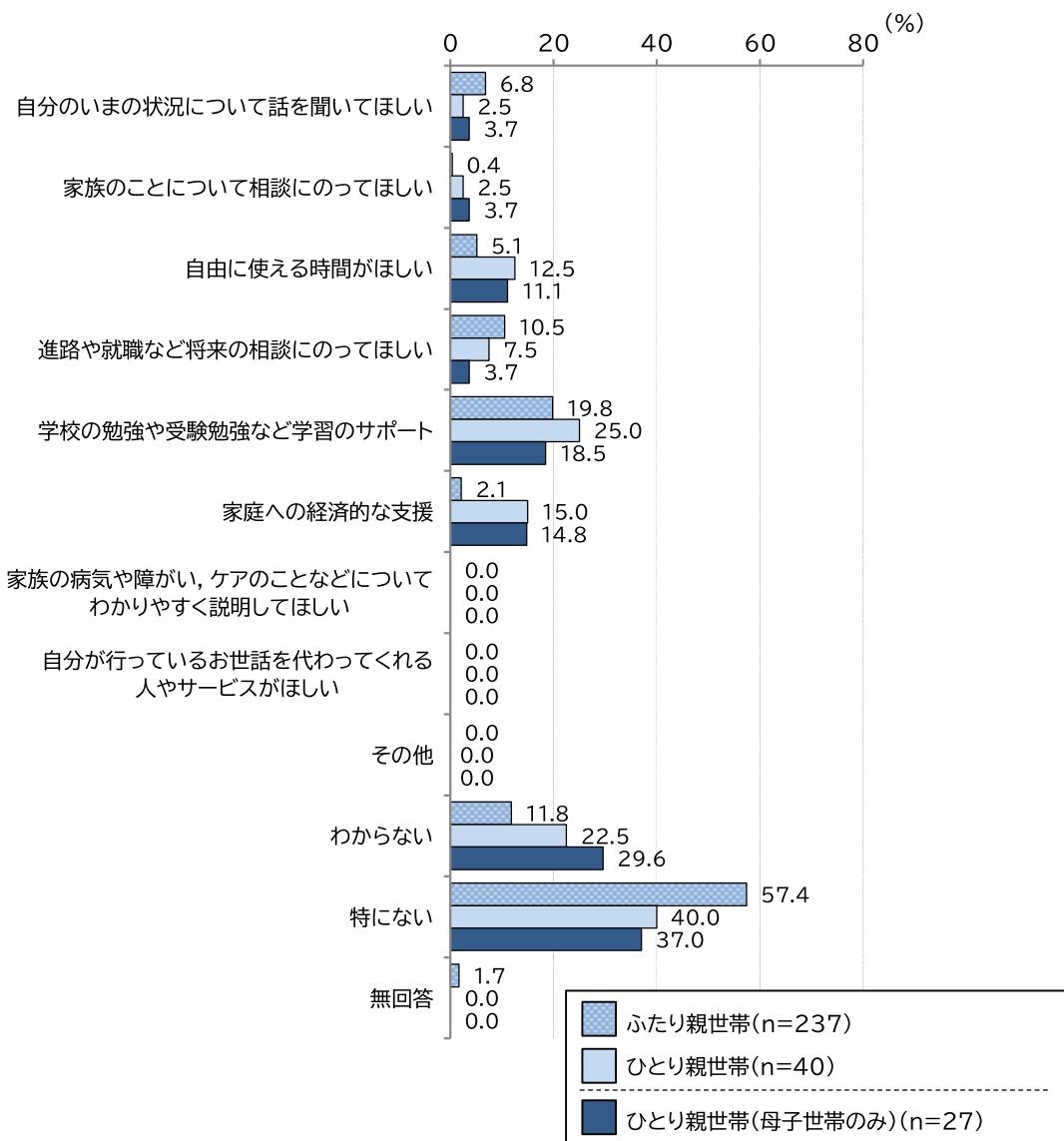
世帯の状況別にみると、「ひとり親世帯」では、「特にない」が 73.8%となっており、「ふたり親世帯」に比べて高くなっている。

## 【等価世帯収入の水準別\_中学生】



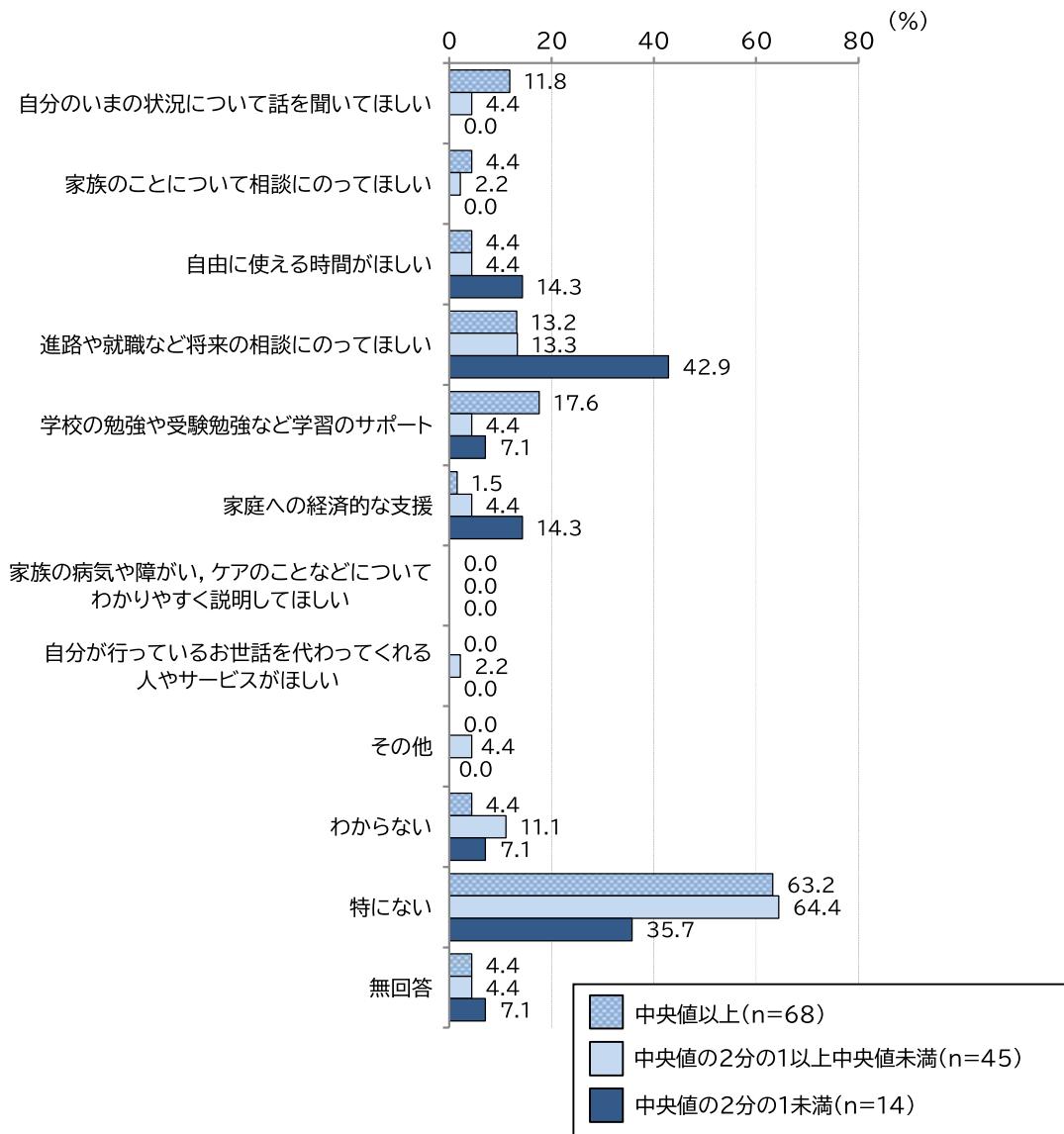
等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の2分の1未満」では、「家庭への経済的な支援」が 12.9%となつており、他の世帯と比べて高くなっている。

## 【世帯の状況別\_中学生】



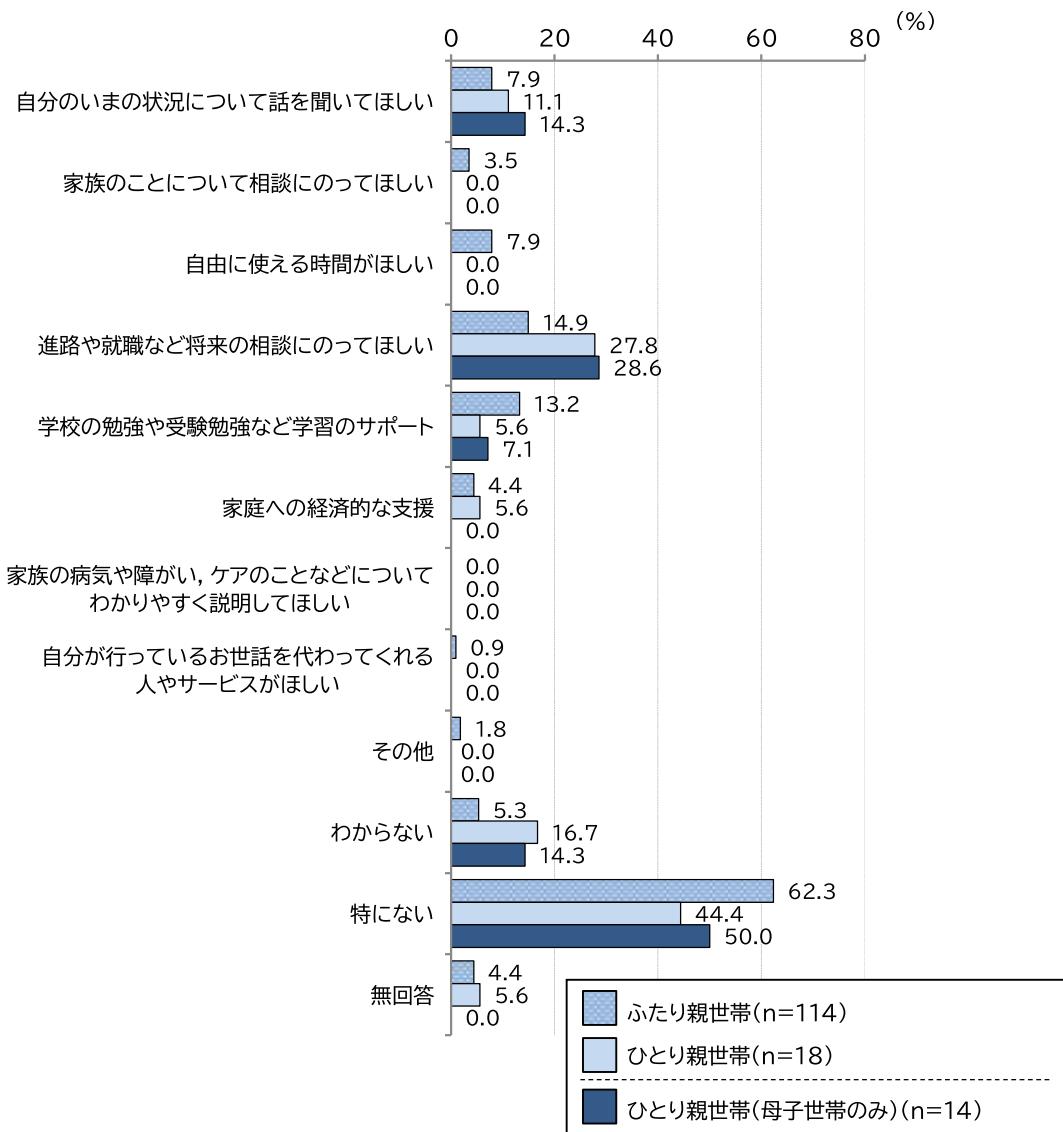
世帯の状況別にみると、「ひとり親世帯」では、「自由に使える時間がほしい」が 12.5%、「学校の勉強や受験勉強など学習のサポート」が 25.0%、「家庭への経済的な支援」が 15.0%となっており、「ふたり親世帯」に比べて高くなっている。

## 【等価世帯収入の水準別\_高校生】



等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の2分の1未満」では、「自由に使える時間がほしい」が14.3%、「進路や就職など将来の相談にのってほしい」が42.9%、「家庭への経済的な支援」が14.3%となっており、他の世帯と比べて高くなっている。

## 【世帯の状況別\_高校生】



世帯の状況別にみると、「ひとり親世帯」では、「進路や就職など将来の相談にのってほしい」が 27.8% となっており、「ふたり親世帯」に比べて高くなっている。

## (8)子どもの心理的な状態

「子どもの心理的な状態」に関して、調査では「強さと困難アンケート(SDQ:Strengths and Difficulties Questionnaire)」の調査項目のうち、「情緒(不安や抑うつなど)」「仲間関係」の問題、「向社会性」を把握するための項目を設定した。

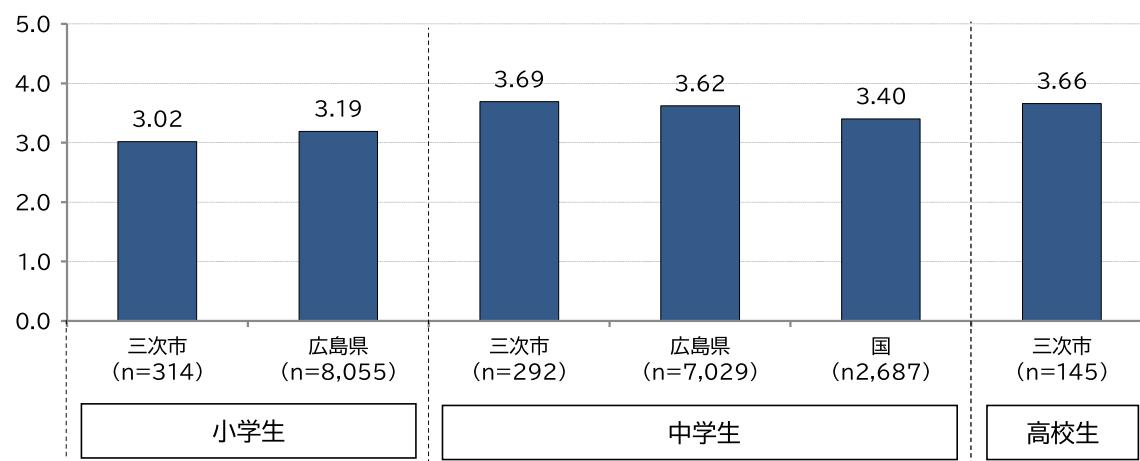
**子ども票問 23.**以下のそれぞれの質問について、「1 あてはまらない」「2 まああてはまる」「3 あてはまる」のどれかから回答してください。あなたのここ半年くらいのことを見て、全部の質問に答えてください。(SA)

= 情緒の問題 =

- b. 私は、よく頭やお腹がいたくなったり、気持ちが悪くなったりする。
- e. 私は、心配ごとが多く、いつも不安だ。
- h. 私は、落ち込んでしづんでいたり、涙ぐんだりすることがよくある。
- j. 私は、新しい場面に直面すると不安になり、自信をなくしやすい。
- o. 私は、こわがりで、すぐにおびえたりする。

「情緒の問題」に関して、5つの項目の結果を足し合わせて、スコアを算出した(0~10 点、得点が高いほど、問題性が高いと考えられる)。

## 【全体】

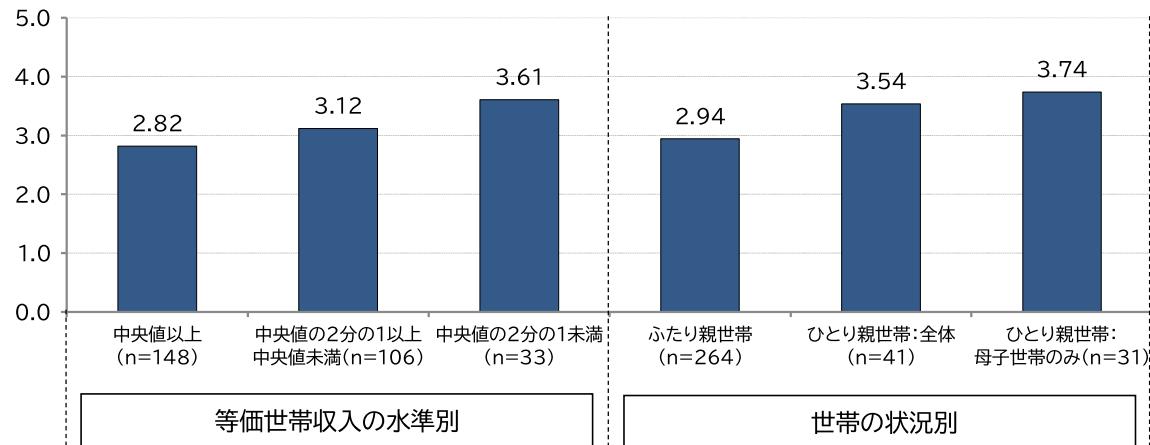


「情緒の問題」について、小学生全体の平均値は 3.02 となっている。広島県と比較すると、三次市(3.02)が広島県(3.19)を 0.17 点下回っている。

中学生全体の平均値は 3.69 となっている。広島県と比較すると、三次市(3.69)が広島県(3.62)を 0.07 点上回っている。国と比較すると、三次市(3.69)が国(3.40)を 0.29 点上回っている。

高校生全体の平均値は 3.66 となっている。

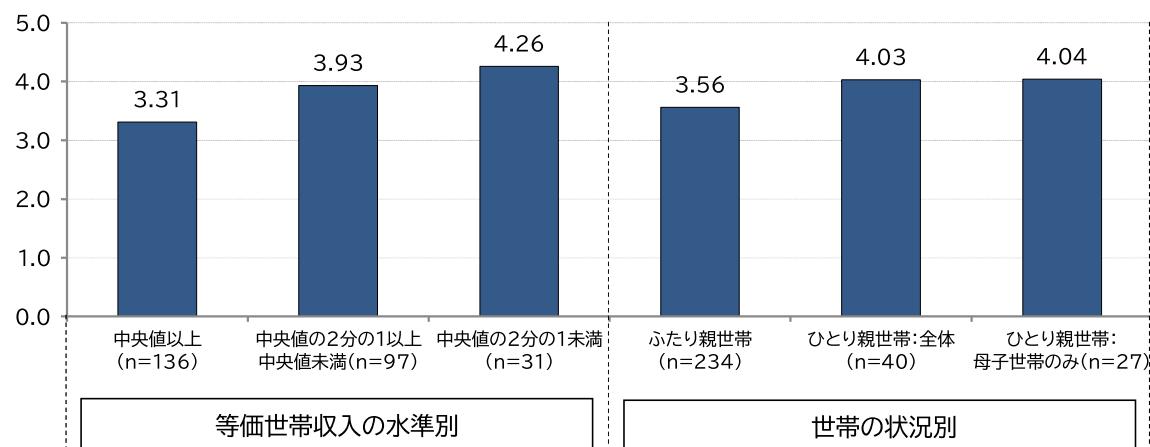
## 【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別\_小学生】



等価世帯収入の水準別にみると、「情緒の問題」の平均値は、「中央値以上」では 2.82,「中央値の2分の1以上中央値未満」では 3.12,「中央値の2分の1未満」では 3.61 となっている。

世帯の状況別にみると、「情緒の問題」の平均値は、「ふたり親世帯」では 2.94,「ひとり親世帯全体」では 3.54,「母子世帯のみ」では 3.74 となっている。

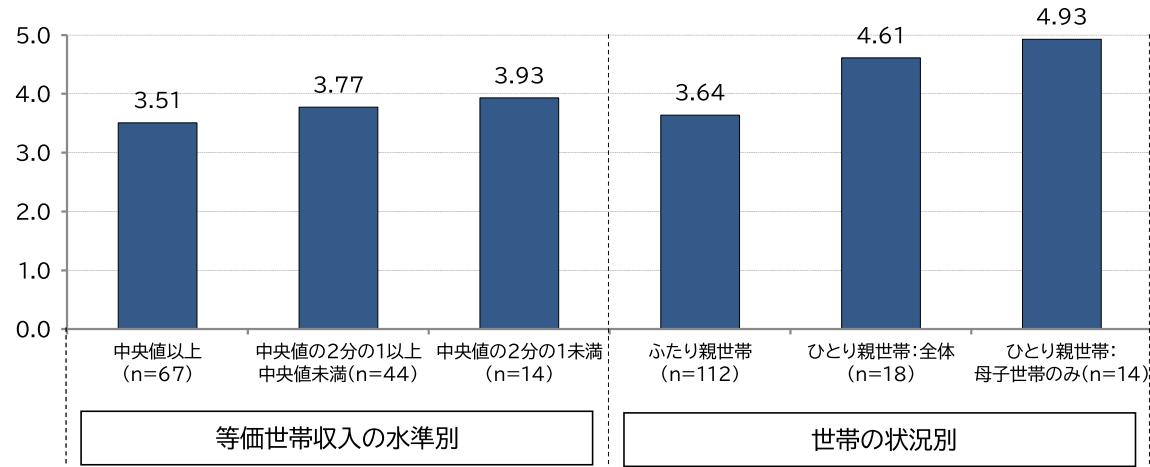
## 【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別\_中学生】



等価世帯収入の水準別にみると、「情緒の問題」の平均値は、「中央値以上」では 3.31,「中央値の2分の1以上中央値未満」では 3.93,「中央値の2分の1未満」では 4.26 となっている。

世帯の状況別にみると、「情緒の問題」の平均値は、「ふたり親世帯」では 3.56,「ひとり親世帯全体」では 4.03,「母子世帯のみ」では 4.04 となっている。

## 【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別\_高校生】



等価世帯収入の水準別にみると、「情緒の問題」の平均値は、「中央値以上」では 3.51、「中央値の2分の1以上中央値未満」では 3.77、「中央値の2分の1未満」では 3.93 となっている。

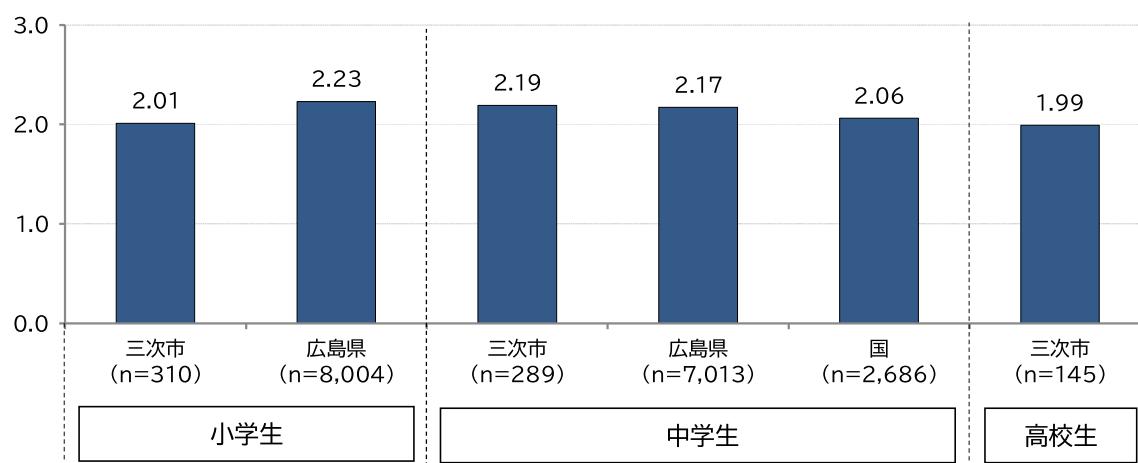
世帯の状況別にみると、「情緒の問題」の平均値は、「ふたり親世帯」では 3.64、「ひとり親世帯全体」では 4.61、「母子世帯のみ」では 4.93 となっている。

## = 仲間関係の問題 =

- d. 私は、たいてい一人でいる。だいたいいつも一人で遊ぶか、人と付き合うことを避ける。
- g. 私は、仲の良い友だちが少なくとも一人はいる。
- i. 私は、同じくらいの年齢の子どもからは、だいたいは好かれている。
- l. 私は、他の子どもから、いじめられたり、からかわれたりする。
- n. 私は、他の子どもたちより、大人といふ方がうまくいく。

「仲間関係の問題」に関して、5つの項目の結果を足し合わせて、スコアを算出した(0~10点、得点が高いほど、問題性が高いと考えられる)。

## 【全体】

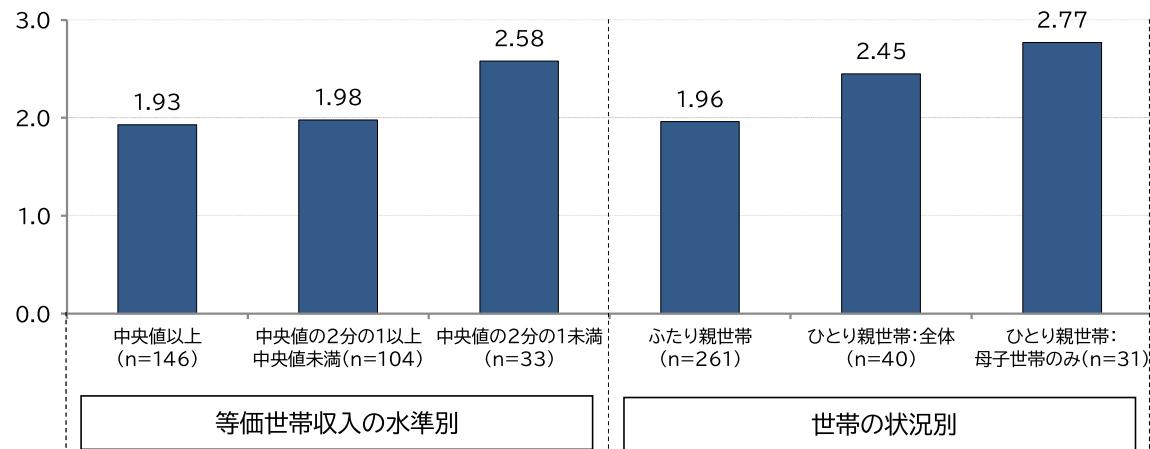


「仲間関係の問題」について、小学生全体の平均値は 2.01 となっている。広島県と比較すると、三次市(2.01)が広島県(2.23)を 0.22 点下回っている。

中学生全体の平均値は 2.19 となっている。広島県と比較すると、三次市(2.19)が広島県(2.17)を 0.02 点上回っている。国と比較すると、三次市(2.19)が国(2.06)を 0.13 点上回っている。

高校生全体の平均値は 1.99 となっている。

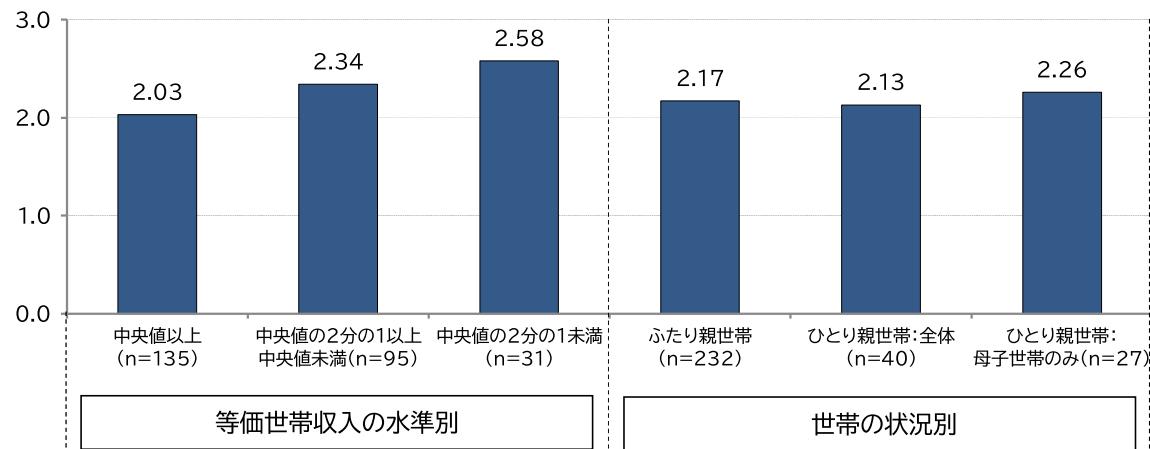
## 【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別\_小学生】



等価世帯収入の水準別にみると、「仲間関係の問題」の平均値は、「中央値以上」では 1.93、「中央値の2分の1以上中央値未満」では 1.98、「中央値の2分の1未満」では 2.58 となっている。

世帯の状況別にみると、「仲間関係の問題」の平均値は、「ふたり親世帯」では 1.96、「ひとり親世帯全体」では 2.45、「母子世帯のみ」では 2.77 となっている。

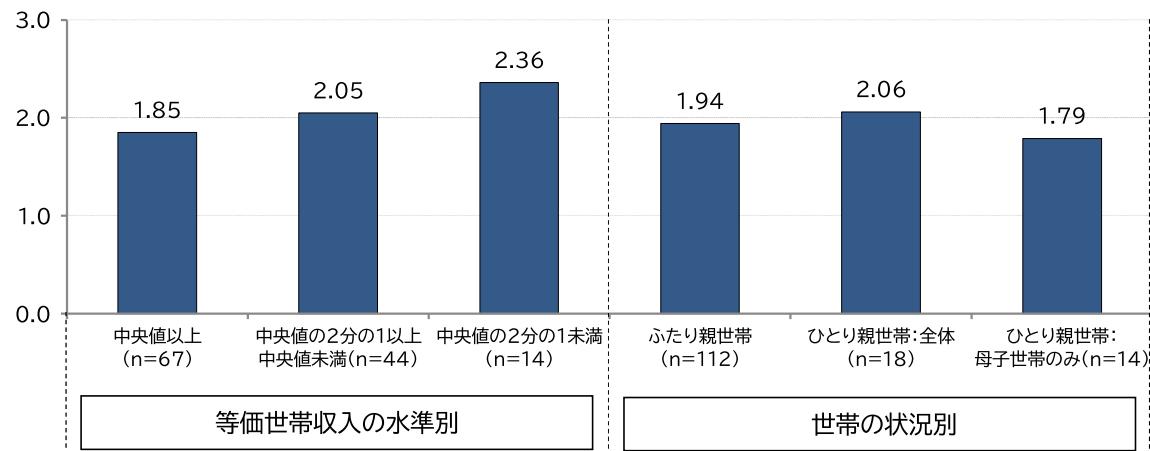
## 【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別\_中学生】



等価世帯収入の水準別にみると、「仲間関係の問題」の平均値は、「中央値以上」では 2.03、「中央値の2分の1以上中央値未満」では 2.34、「中央値の2分の1未満」では 2.58 となっている。

世帯の状況別にみると、「仲間関係の問題」の平均値は、「ふたり親世帯」では 2.17、「ひとり親世帯全体」では 2.13、「母子世帯のみ」では 2.26 となっている。

## 【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別\_高校生】



等価世帯収入の水準別にみると、「仲間関係の問題」の平均値は、「中央値以上」では 1.85,「中央値の2分の1以上中央値未満」では 2.05,「中央値の2分の1未満」では 2.36 となっている。

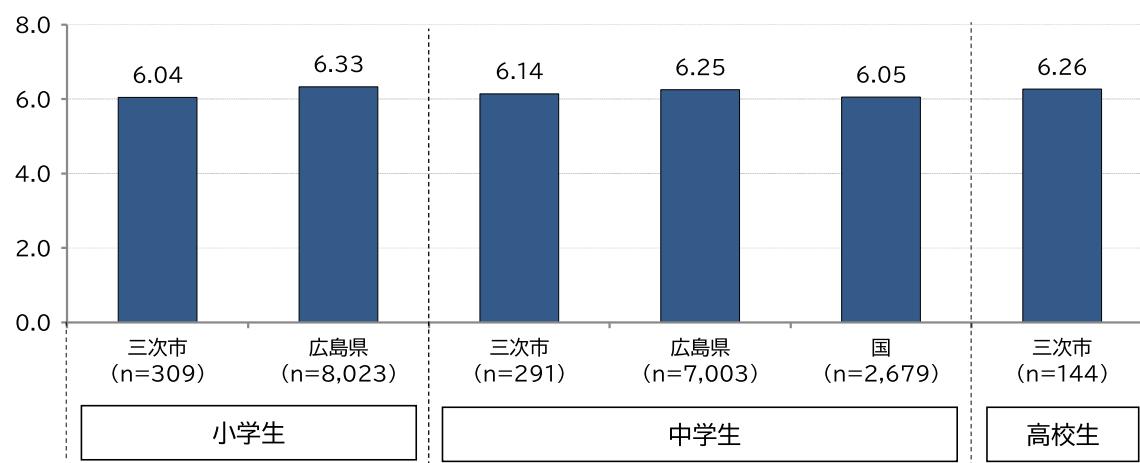
世帯の状況別にみると、「仲間関係の問題」の平均値は、「ふたり親世帯」では 1.94,「ひとり親世帯全体」では 2.06,「母子世帯のみ」では 1.79 となっている。

## = 向社会性 =

- a. 私は、他人に対して親切にするようにしている。私は、他人の気持ちをよく考える。
- c. 私は、他の子どもたちと、よく分け合う(食べ物・ゲーム・ペンなど)。
- f. 私は、誰かが心を痛めていたり、落ち込んでいたり、嫌な思いをしているときなど、すすんで助ける。
- k. 私は、年下の子どもたちに対してやさしくしている。
- m. 私は、自分からすすんでよくお手伝いをする(親・先生・他の子どもたちなど)。

「向社会性」に関して、5つの項目の結果を足し合わせて、スコアを算出した(0~10 点、得点が高いほど、社会性が高いと考えられる)。

## 【全体】

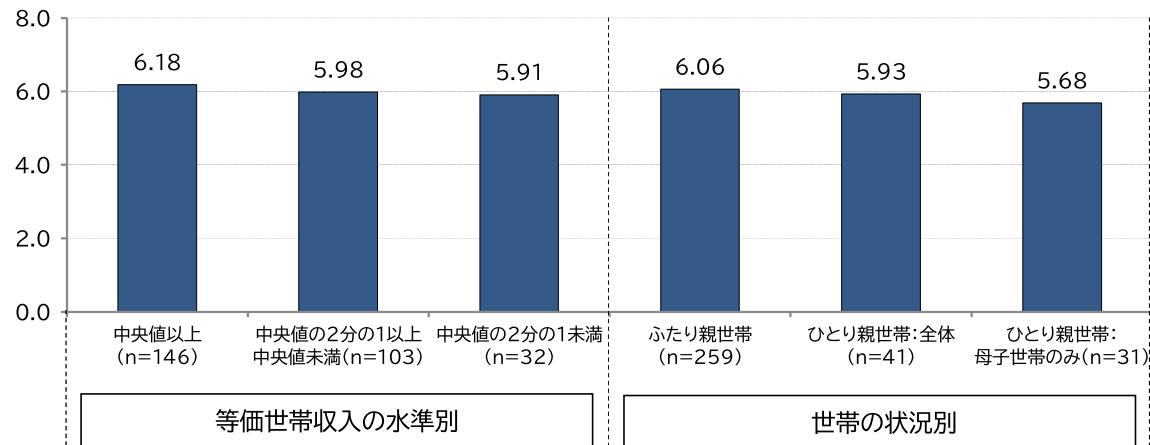


「向社会性」について、小学生全体の平均値は 6.04 となっている。広島県と比較すると、三次市(6.04)が広島県(6.33)を 0.29 点下回っている。

中学生全体の平均値は 6.14 となっている。広島県と比較すると、三次市(6.14)が広島県(6.25)を 0.11 点下回っている。国と比較すると、三次市(6.14)が国(6.05)を 0.09 点上回っている。

高校生全体の平均値は 6.26 となっている。

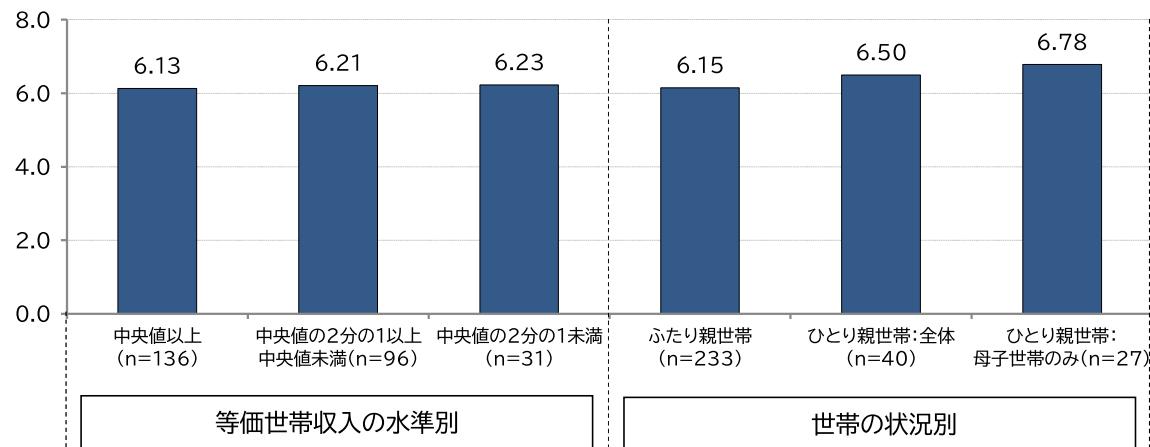
## 【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別\_小学生】



等価世帯収入の水準別にみると、「向社会性」の平均値は、「中央値以上」では 6.18、「中央値の2分の1以上中央値未満」では 5.98、「中央値の2分の1未満」では 5.91 となっている。

世帯の状況別にみると、「向社会性」の平均値は、「ふたり親世帯」では 6.06、「ひとり親世帯全体」では 5.93、「母子世帯のみ」では 5.68 となっている。

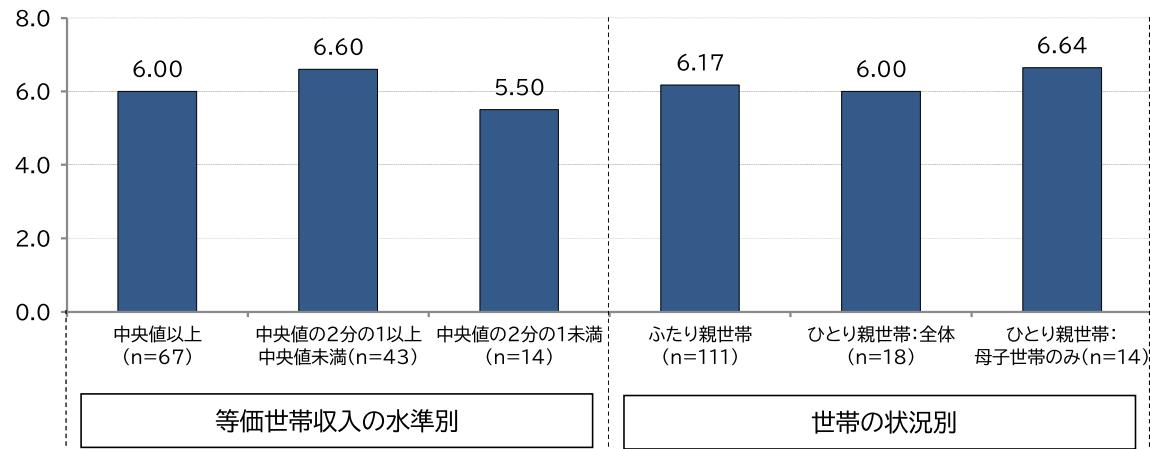
## 【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別\_中学生】



等価世帯収入の水準別にみると、「向社会性」の平均値は、「中央値以上」では 6.13、「中央値の2分の1以上中央値未満」では 6.21、「中央値の2分の1未満」では 6.23 となっている。

世帯の状況別にみると、「向社会性」の平均値は、「ふたり親世帯」では 6.15、「ひとり親世帯全体」では 6.50、「母子世帯のみ」では 6.78 となっている。

## 【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別\_高校生】



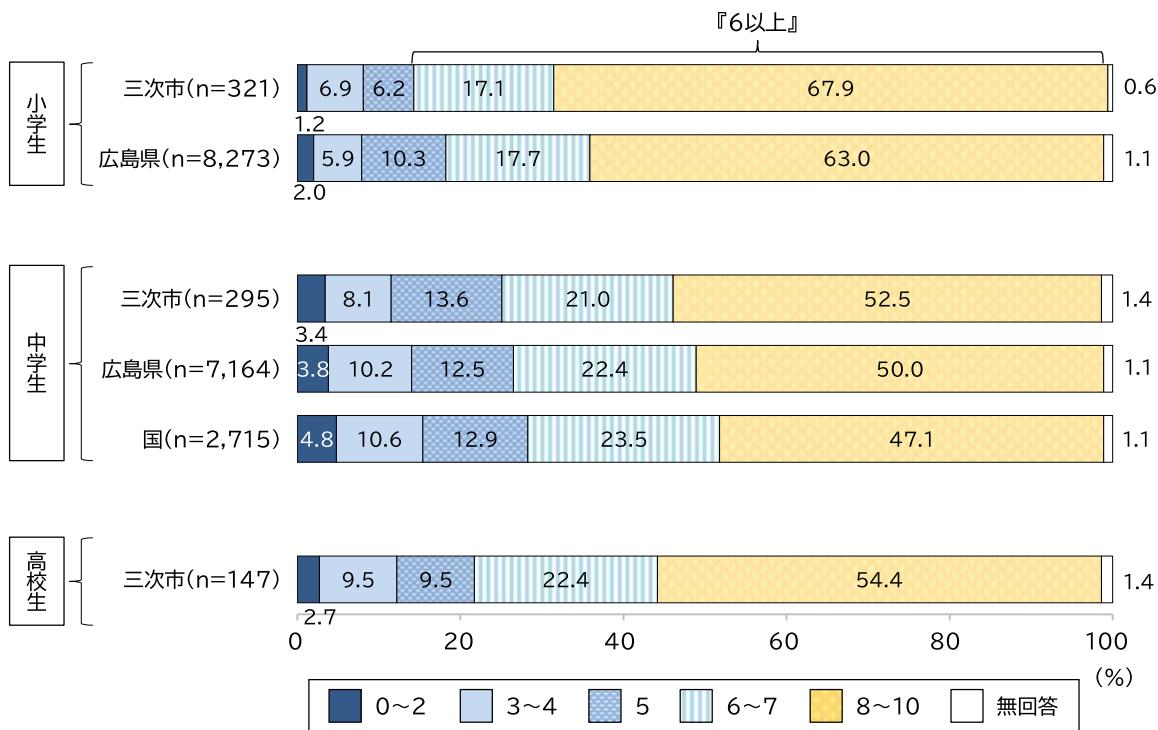
等価世帯収入の水準別にみると、「向社会性」の平均値は、「中央値以上」では 6.00, 「中央値の2分の1以上中央値未満」では 6.60, 「中央値の2分の1未満」では 5.50 となっている。

世帯の状況別にみると、「向社会性」の平均値は、「ふたり親世帯」では 6.17, 「ひとり親世帯全体」では 6.00, 「母子世帯のみ」では 6.64 となっている。

子ども票問 22. 全体として、あなたは最近の生活に、どのくらい満足していますか。(SA)

「0」(まったく満足していない)から「10」(十分に満足している)の数字で答えてください。

### 【全体】

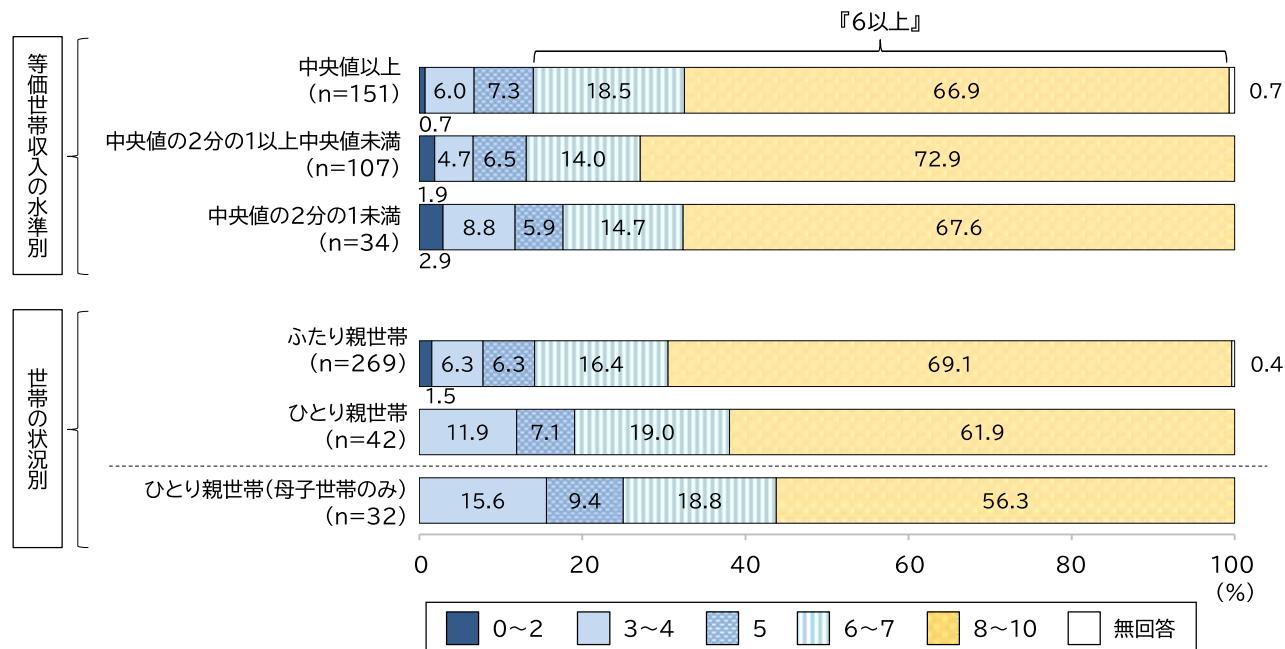


最近の生活の満足度について、小学生では、「0~2」が 1.2%, 「3~4」が 6.9%, 「5」が 6.2%, 「6~7」が 17.1%, 「8~10」が 67.9%となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。

中学生では、「0~2」が 3.4%, 「3~4」が 8.1%, 「5」が 13.6%, 「6~7」が 21.0%, 「8~10」が 52.5%となっている。広島県、国と比較すると、どちらとも大きな差はみられない。

高校生では、「0~2」が 2.7%, 「3~4」が 9.5%, 「5」が 9.5%, 「6~7」が 22.4%, 「8~10」が 54.4%となっている。

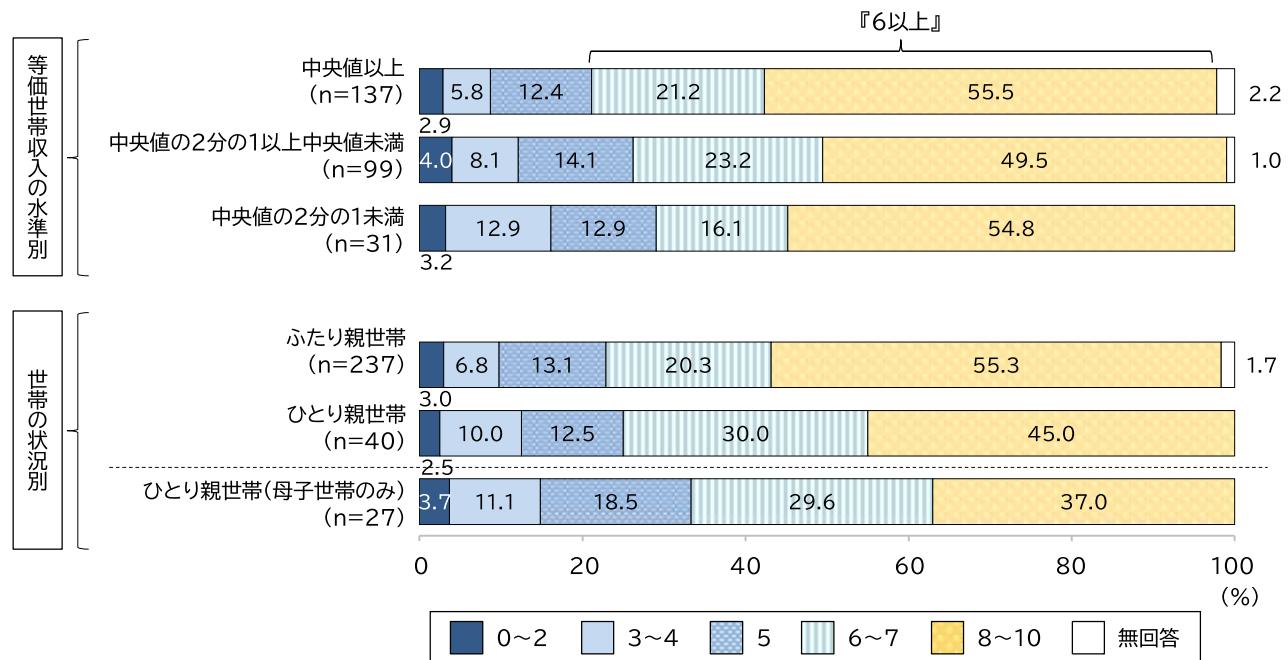
## 【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別\_小学生】



等価世帯収入の水準別にみると、『6以上』は、「中央値以上」では 85.4%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では 86.9%、「中央値の2分の1未満」では 82.3%となっている。

世帯の状況別にみると、『6以上』は、「ふたり親世帯」では 85.5%、「ひとり親世帯全体」では 80.9%、「母子世帯のみ」では 75.1%となっている。

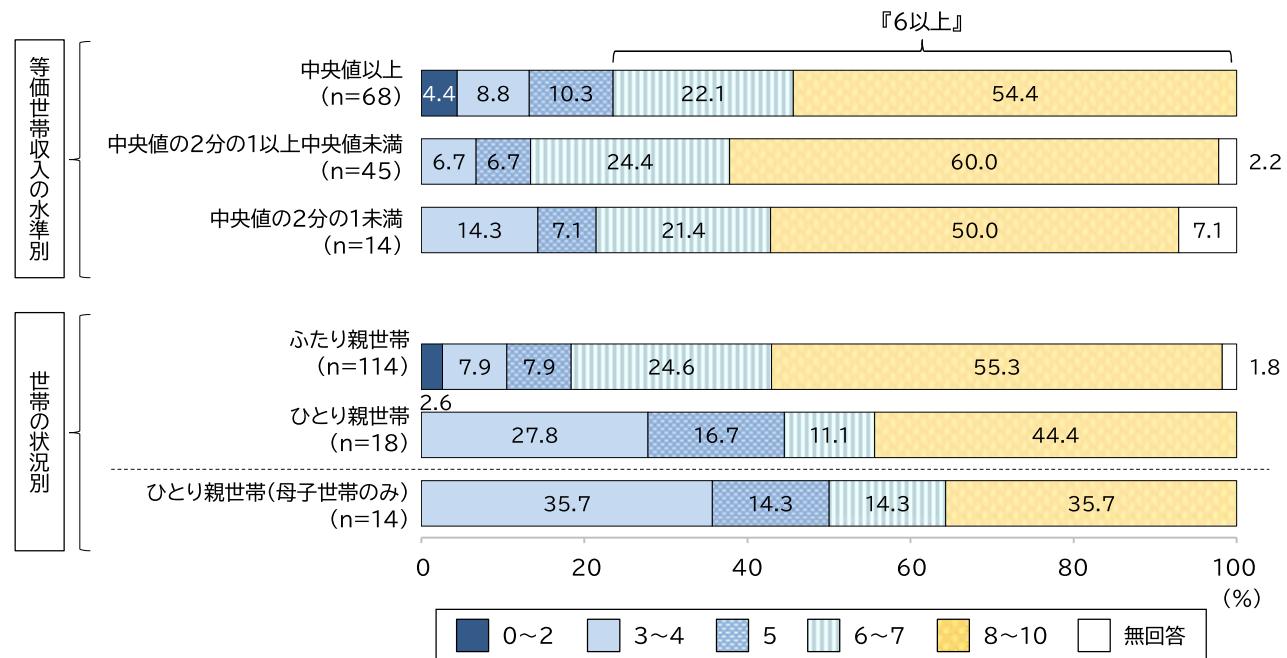
## 【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別\_中学生】



等価世帯収入の水準別にみると、『6以上』は、「中央値以上」では 76.7%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では 72.7%、「中央値の2分の1未満」では 70.9%となっている。

世帯の状況別にみると、『6以上』は、「ふたり親世帯」では 75.6%、「ひとり親世帯全体」では 75.0%，「母子世帯のみ」では 66.6%となっている。

## 【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別\_高校生】



等価世帯収入の水準別にみると、『6以上』は、「中央値以上」では 76.5%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では 84.4%、「中央値の2分の1未満」では 71.4%となっている。

世帯の状況別にみると、『6以上』は、「ふたり親世帯」では 79.9%、「ひとり親世帯全体」では 55.5%，「母子世帯のみ」では 50.0%となっている。